LET'S MAKE ★ CHARACTER ［レッツ メイク キャラクター］

CGイラストテクニック

vol.2

ILLUSTRATION AND EXPLANATION
by Shimeko

イラスト＆解説
しめ子



Photoshopテクニック徹底解説

**線画から彩色まで、
Photoshopで描く
デジタル工程を大公開!**

LET'S MAKE ★ CHARACTER [レッツ メイク キャラクター]

CGイラストテクニック

CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation by SHIMEKO

vol.2



BNN

はじめに

私の絵の原点は日々の生活の中での感動です。海に行き、大海原に感動すればその感動を絵にします。紅葉した葉を見て、その鮮やかさに感動すればその鮮やかさを絵にします。桜が咲けば春を喜びながらその様子を絵にします。感動したものは何でも絵にしようとします。

ツールはパソコンを使っていますが気の向くままに、気まぐれにペンタブレットを動かして、偶然できた色やマチエールを活かしつつ１枚の絵を仕上げていく。それはアナログの水彩や油彩での作品制作と基本的には少しも違いません。CGイラストという枠に捕われず、技術に捕われず、過程を楽しみながら日々の生活の中で感じた感動を絵にしていけたらと思っています。

そんなこともあり、私の制作過程は大変行き当たりばったりな描き方です。描いては消して色を変えて、形を変えてまた描いて消すをひたすら繰り返します。書籍ということで、できるだけスマートに作例をご紹介できれば……と思い作業をしましたが、それでも行き当たりばったり具合がいかんなく発揮された作例になってしまいました。ですが、それを通して、CGを使ったとしてもイラストを描くのに決まった方法はないということを感じて頂ければとも思います。手に鉛筆を握って絵を描くのと同じ感覚で、または素材を切り貼りしてコラージュ作品を創るのと同じ感覚で、「過程を楽しみつつ絵を描く」お手伝いができましたら嬉しく思います。

本書が少しでも皆様の創作のヒントになれば幸いです。

2009年11月　しめ子

Contents

Chapter.03 Photoshopで水彩タッチのイラストを描く…… 119



Chapter.04 Photoshopでアニメ塗り風のイラストを描く…… 147



作業環境と作業行程について

私が使用しているPCは、iMac G5(1.6GHz、メモリは1GB)の20インチモデル(1,680×1,050ピクセル)です。これほどのスペックがあればA3サイズのイラストを描く場合でも不足を感じることはありません。

ソフトはPhotoshop CS4、ペンタブレットはIntuos3のPTZ-930(A4サイズモデル)を使用しています。PhotoshopはIntuos3購入時に付属していたPhotoshop Elements 3を経て、現在はPhotoshop CS4を使用しています。とはいえ、本書では特殊な機能は使っておらず、購入時の状態のシンプルな設定と操作で作業をしているので、古いバージョンでも問題なくほぼ同じ操作ができると思います。

作業行程は、イラストによって少しずつ変化するので特に決まった方法はないのですが、今回は「ラフから直接イラストを描き起こす作例」(Chapter.03)と「線画を作って進める作例」(Chapter.01とChapter.04)の線画の作り方別に2種類ご紹介します。これらも数限りなくあるCG技法のほんの一端に過ぎませんが、皆様の参考の1つになればと思います。

Software

フォトレタッチソフト「Photoshop CS4」

Photoshopはもともと写真を修整するためのフォトレタッチソフトですが、イラストを描くためのペイントツールとしても多くの現場で使われています。ペンタブレットと「ペン」ツールを使えば鉛筆を使って紙に描くような感覚で下書きを描くことができたり、複数のレイヤーを作成して効率よく塗りの作業を進められることができます。

私の場合は、下書きをしたイラストを拡大縮小して調節したり、塗った色味を微妙に変更させるなど、試行錯誤できるところが気に入っています。気軽に購入できる価格ではありませんが、末永く付き合っていけるソフトです。



価格:99,750 円
問い合わせ先:アドビ システムズ
(http://www.adobe.com/jp/)

Chapter.01

ラフから線画の完成まで



CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation By Shimeko

Chapter.01 Chapter.02 Chapter.03 Chapter.04

Chapter.
01

Photoshopを使った線画の作成

ここではPhotoshopを使って線画を完成させるテクニックを紹介します。線画を作成する場合、「紙に描いた方が伸び伸びと描ける」という理由でラフはアナログで作成し、線を引く作業からはPhotoshop上で行うことが多いです。今回は特別にラフからPhotoshopで描いていく工程を紹介します。

ペン入れのガイドを作成

01 スケッチブックに鉛筆でラフを描き、スキャナで取り込みます。ラフはアナログで作成してスキャナで取り込む、または最初からPC上で作成してもどちらでもかまいません。



スケッチブックにラフを描いたものを取り込みました

02

Photoshopを起動し、取り込んだデータを読み込みます。アウトラインや小物の配置を整理してペン入れをしやすくするために、鉛筆ラフからペン入れのガイドを作成します。最初に「背景」レイヤーを複製します。



①「レイヤー」パネルを操作します。「レイヤー」パネルは画面右にあります



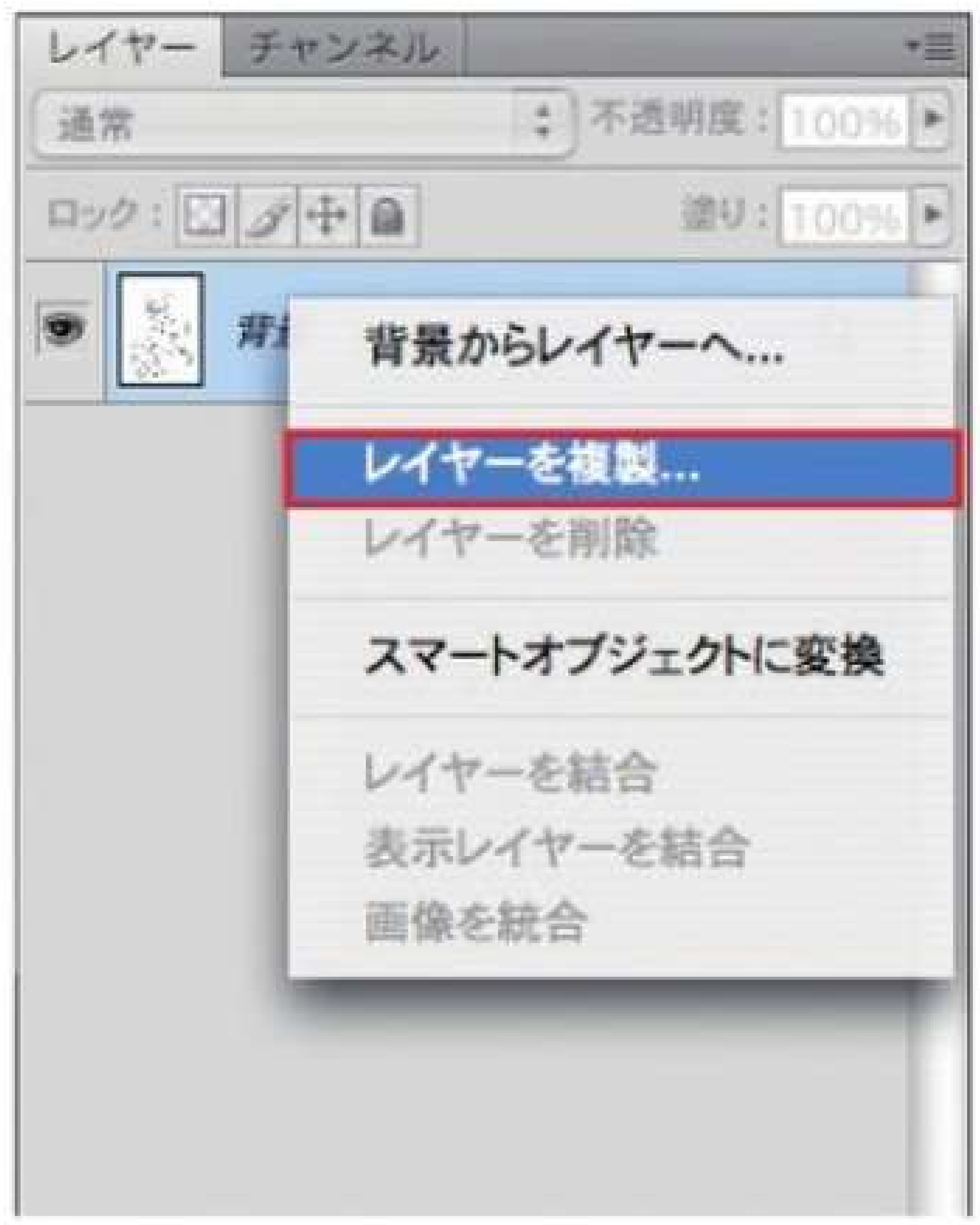
②「レイヤー」パネルは「背景」レイヤーのみの状態です

03

ポップアップメニューから「レイヤーを複製」を選択します。



①「背景」レイヤーを選択した状態でクリックしました



②「レイヤーを複製」を選択しました

04

レイヤーの名称を設定します。レイヤーの内容を名称にすると作業しやすくなります。



新規名称に「背景のコピー」と入力しました

05

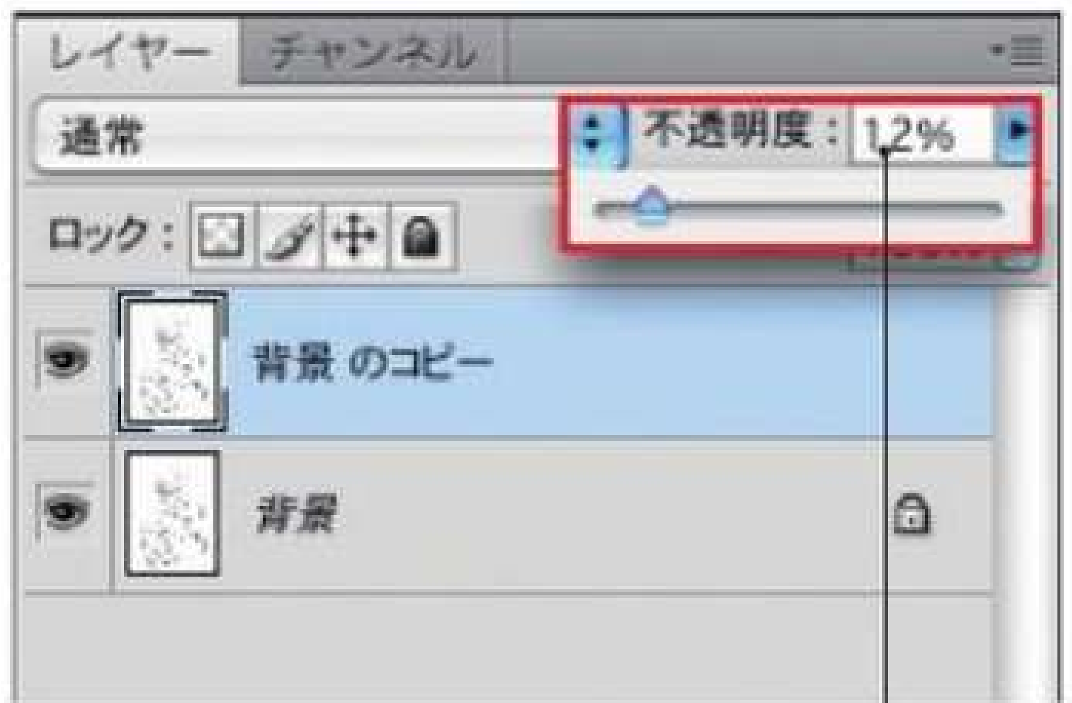
「背景」レイヤーが複製されました。



「背景」レイヤーがそのまま「背景のコピー」という名称で複製されました

06

ペン入れのガイドを描きやすくするために、「背景のコピー」レイヤーの線を薄くします。数値は好みでよいでしょう。



不透明度を「12%」に設定しました

07

「ブラシ」ツールを選択します。





①ツールパネルから「ブラシ」ツールを選択しました

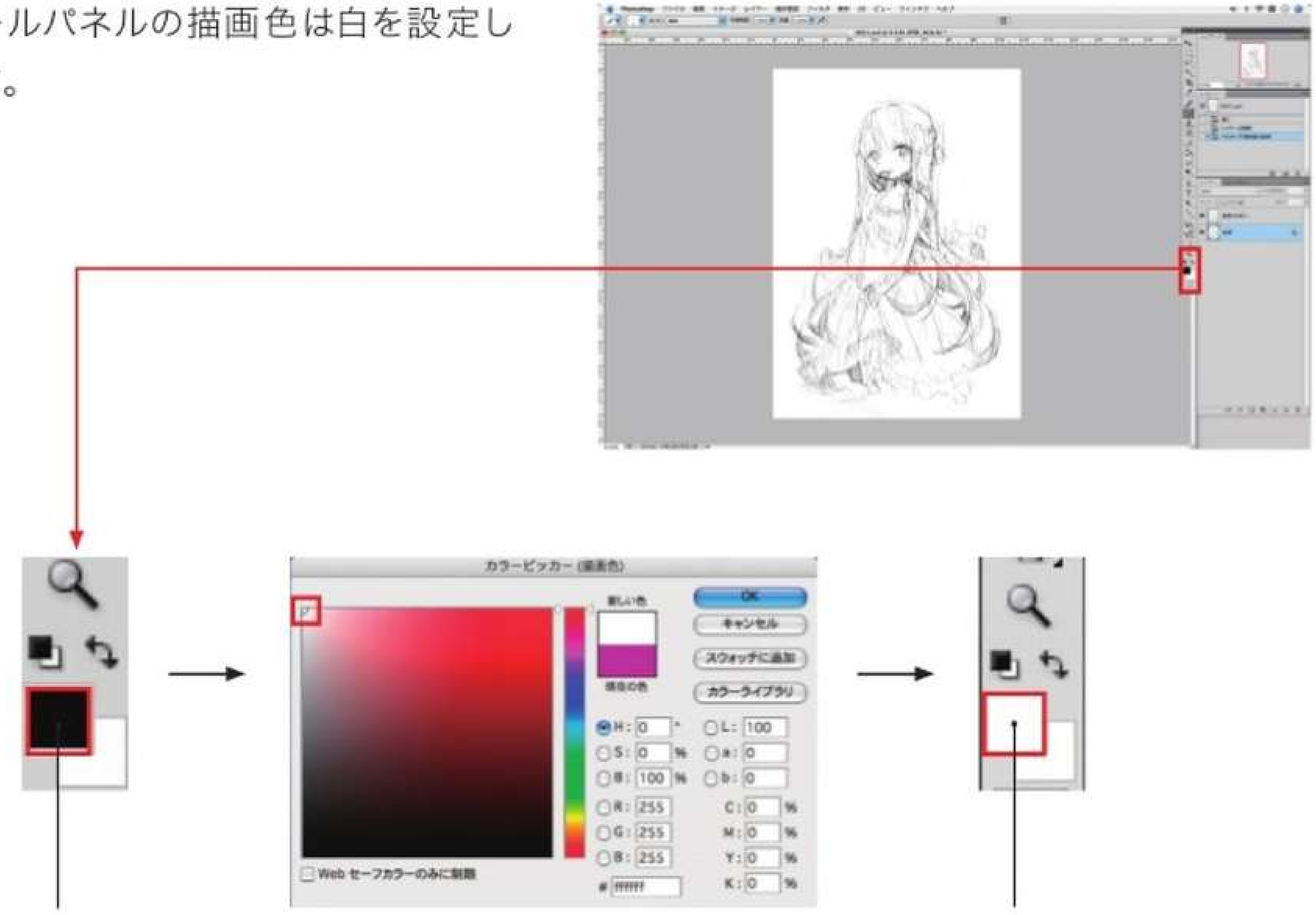


②ブラシプリセットピッカーをクリックしました

③「ハード円ブラシ」を選択しました（ハード円ブラシならばどれでもかまいません）

④マスター直径は「960」に設定しました

08 ツールパネルの描画色は白を設定します。



①「描画色」の黒をダブルクリックします

②カラーピッカーの左上を選択します

③「描画色」が白になりました

09 「背景」レイヤーを白で塗りつぶします。これで下準備が終わりました。



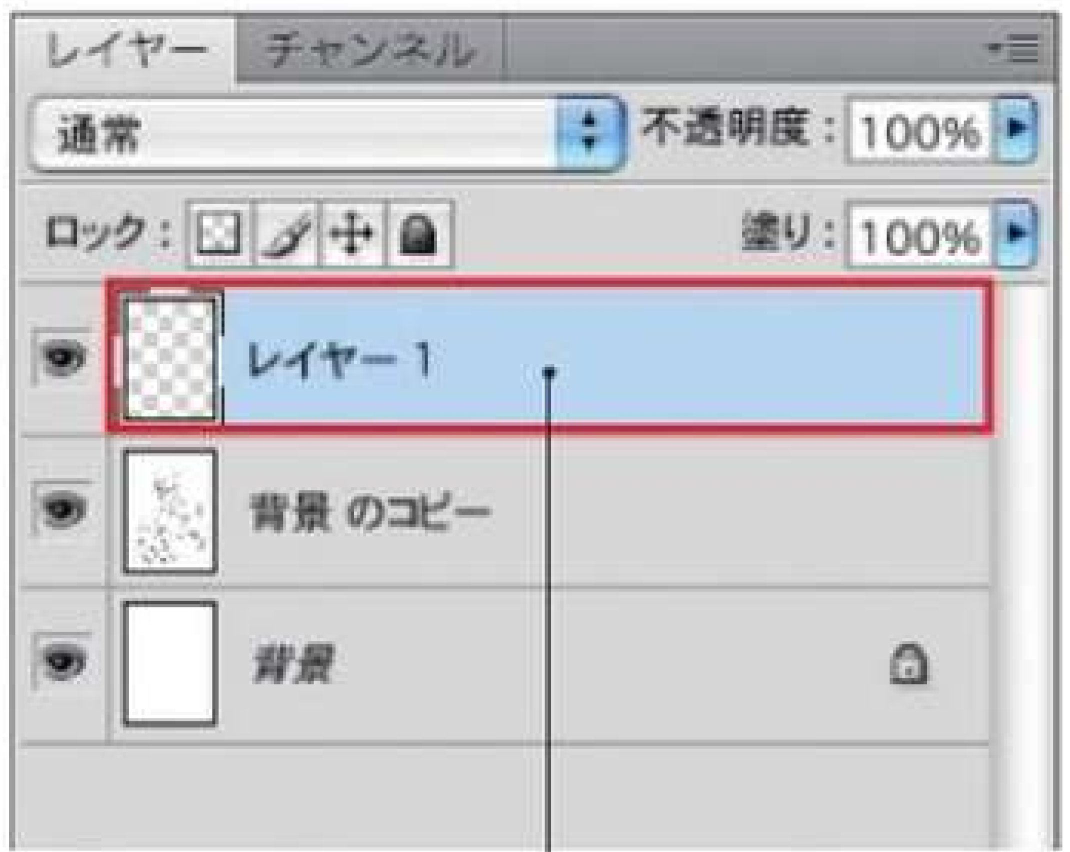
①「背景」レイヤーを選択しました

②「背景」レイヤーを真っ白に塗りつぶしました。カンバスには「不透明度」を12%に設定した「背景のコピー」レイヤーのみが描画されました

10 「レイヤー」パネルの右下にある「新規レイヤーを作成」ボタンをクリックし、新規レイヤーを作成します。このレイヤーにペン入れのガイドを描き込んでいきます。

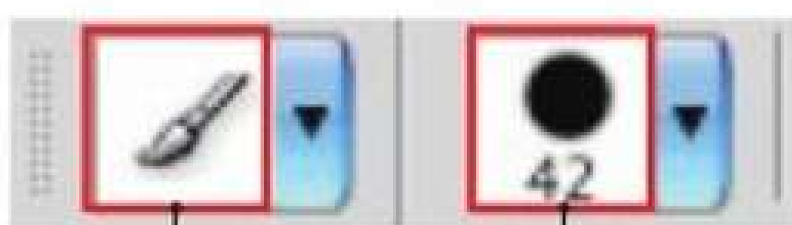


①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



②新規レイヤーの「レイヤー1」が作成されました

11 太めのブラシを選択して、ペン入れのガイドを描きます。顔パーツや手の位置がある程度整理できたかなと思います。



①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「42」を選択



→

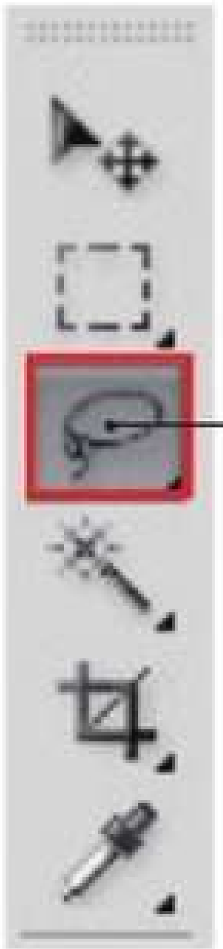


12 ペン入れのガイドになるものなので、
あまり描き込む必要はありません。



13

頭が少し大きく感じたので、縮小することにしました。「投げ縄」ツールで選択し、頭部を囲みます。



①「投げ縄」ツールを選択しました



②頭部を囲みました

14

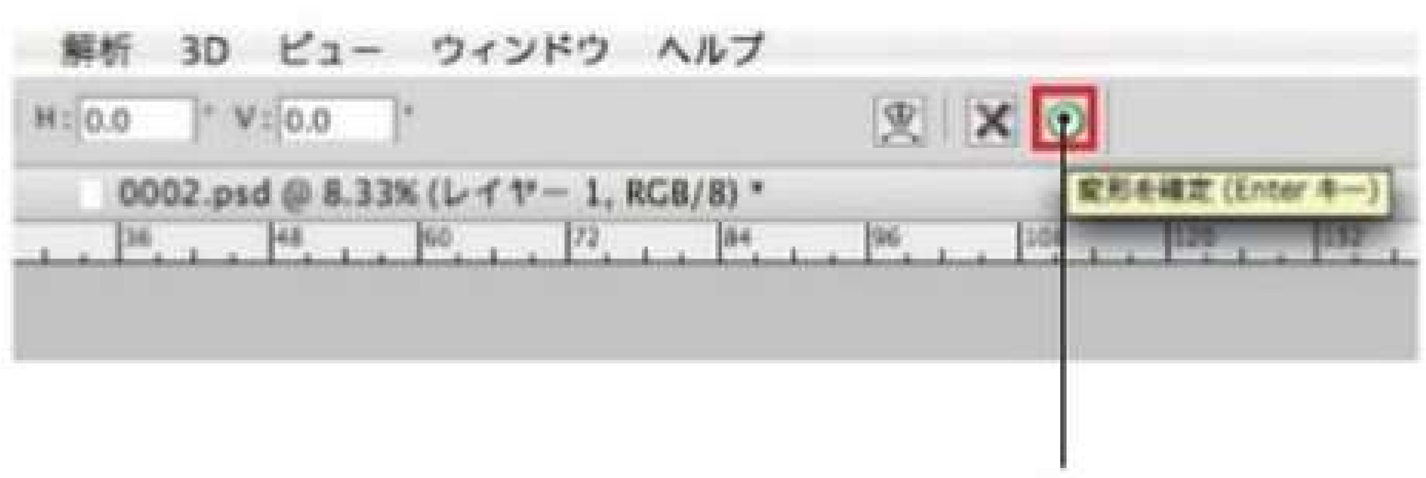
メインメニューの「編集」メニュー→「自由変形」を選択します。



15 範囲の四辺にバウンディングボックスが表示されます。Shiftキーを押しながら左上のコーナーハンドルをドラッグし、顔の中心部に向けて少し移動させると、縦横の比率を変えずに頭部が小さくなります。



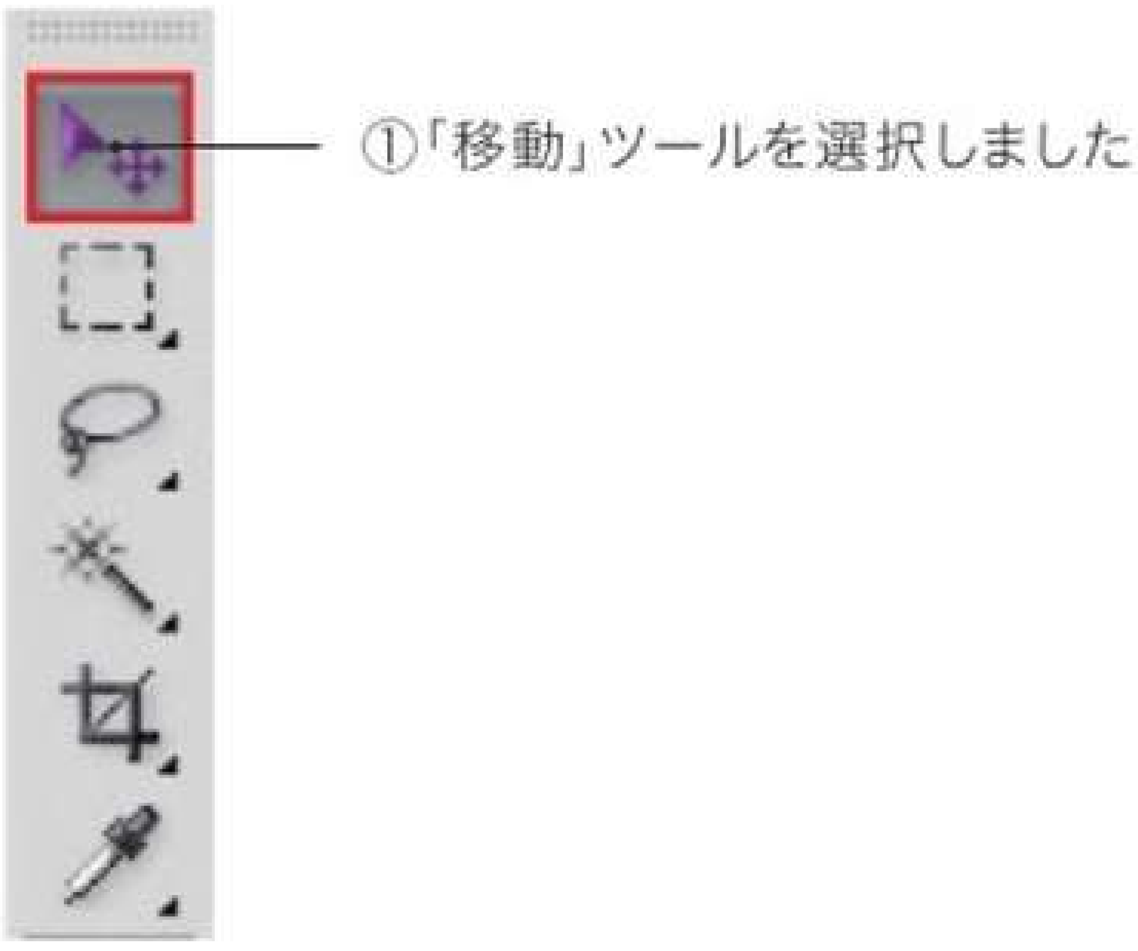
16 微調整しつつ、納得のいくところでオプションバーの確定ボタンを選択して、変形を確定します。



17 線画が選択されている状態になります。



18 「移動」ツールを選択して、頭部を自然な位置まで移動させました。





19 メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択を解除」で位置を確定します。



ペン入れの準備

01 ペン入れの準備に入ります。先ほど複製した「レイヤー1」レイヤーの不透明度を下げます。



①不透明度を「6%」に設定しました

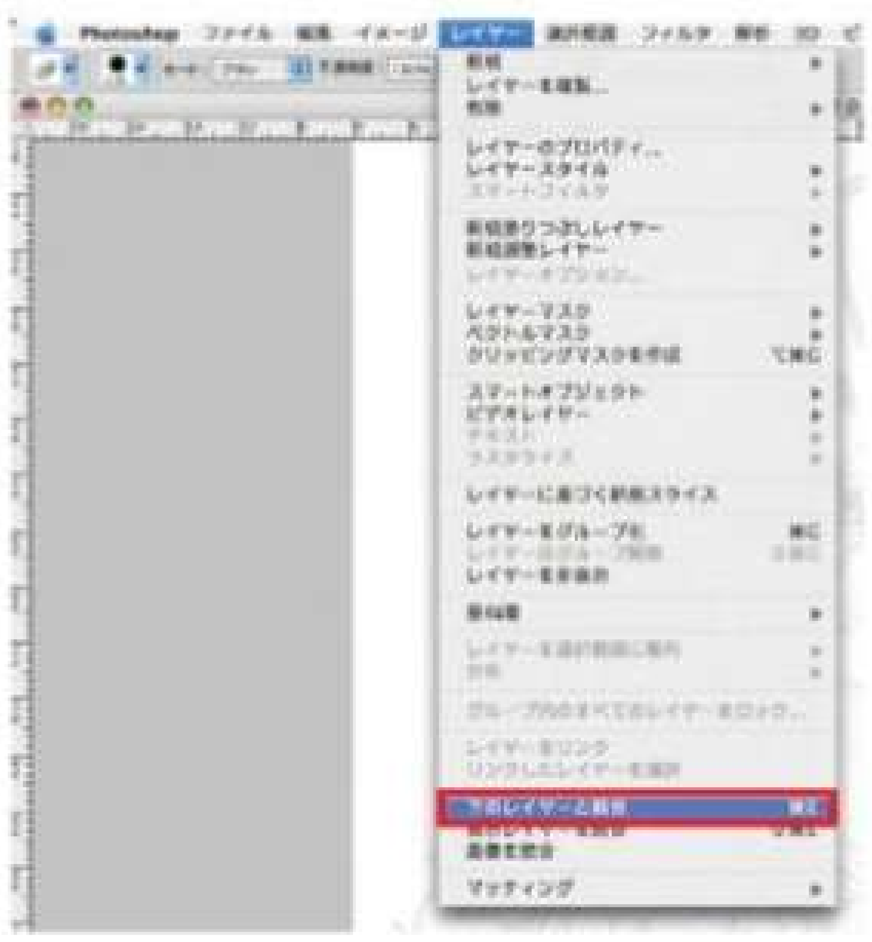
②ラフの表示が薄くなりました

02 「ペン入れのガイド」と「鉛筆ラフ」のレイヤーを一緒にします。メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーと結合」で下にある「背景のコピー」レイヤーと結合させます。



①「レイヤー1」を選択しました

→



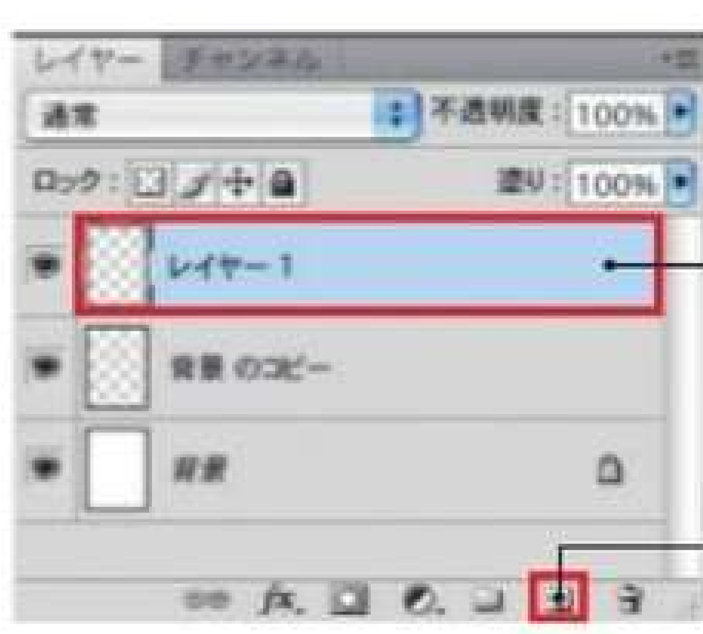
②「下のレイヤーと結合」を選択しました

→



③「レイヤー1」が「背景のコピー」レイヤーに結合されました

03 ペン入れに入ります。新規のレイヤーを作成して、このレイヤーにペン入れを描き込んでいきます。



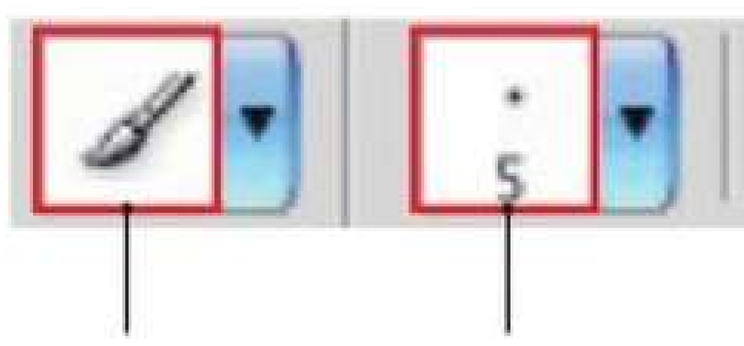
②新規レイヤーの「レイヤー1」が作成されました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

イチゴの作画

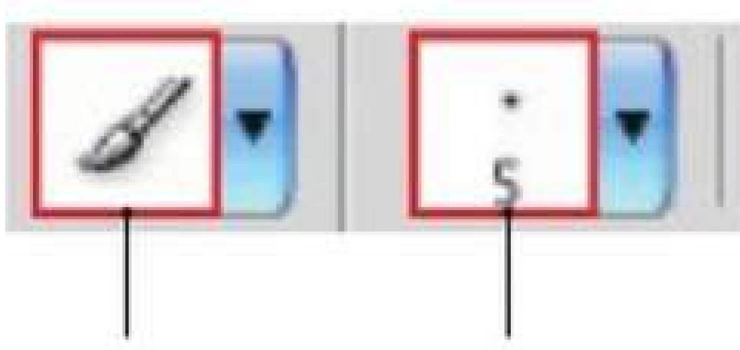
01 画面の主役になる中央のイチゴからペン入れをすることにしました。何本も線を重ねて描きます。





①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「5」を選択



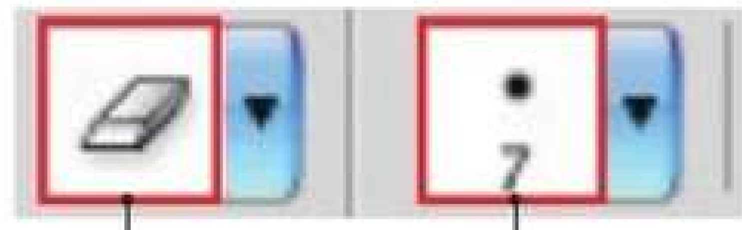


③「ブラシ」を選択　④「ハード円ブラシ」とサイズは「5」を選択



02

「ペン」ツールで描きながら「消しゴム」ツールで余分な線を消して線を整理します。有機物を描いているので、多少線に歪みやザラつきが残ってかまいません。



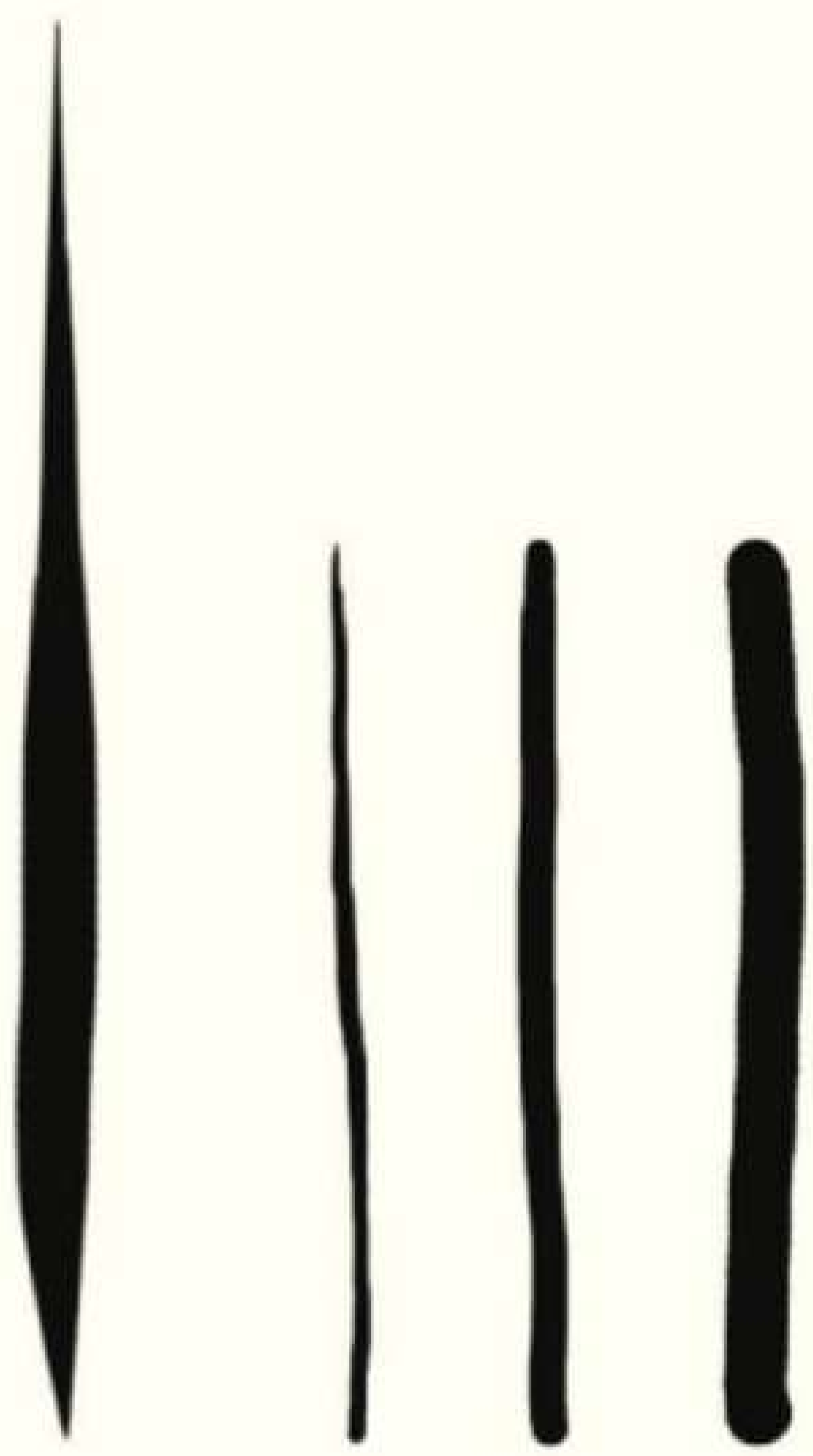
①「消しゴム」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「7」を選択



TECHNIQUE

筆圧感知による線の違い

ペンタブレットには筆圧感知機能がついており、同じサイズのブラシを使用しても力の入れ具合により様々な線が引けます。一番右の線は力を入れて引いた線です。強く、太い線になります。右から三番目の線は力を抜いて引いた線です。細く繊細な線になります。右から二番目の線は中間の力で引いた線です。筆圧感知による線の使い分けは表現の幅が広がりますので、ぜひ試してみてください。



入りと抜きが細く中間の太いメリハリの引いた線を引くことも可能です

Chapter.01

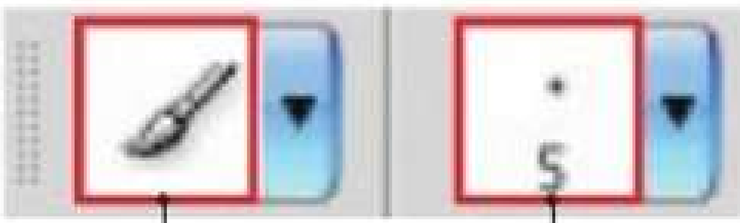
Chapter.02

Chapter.03

Chapter.04

顔の作画

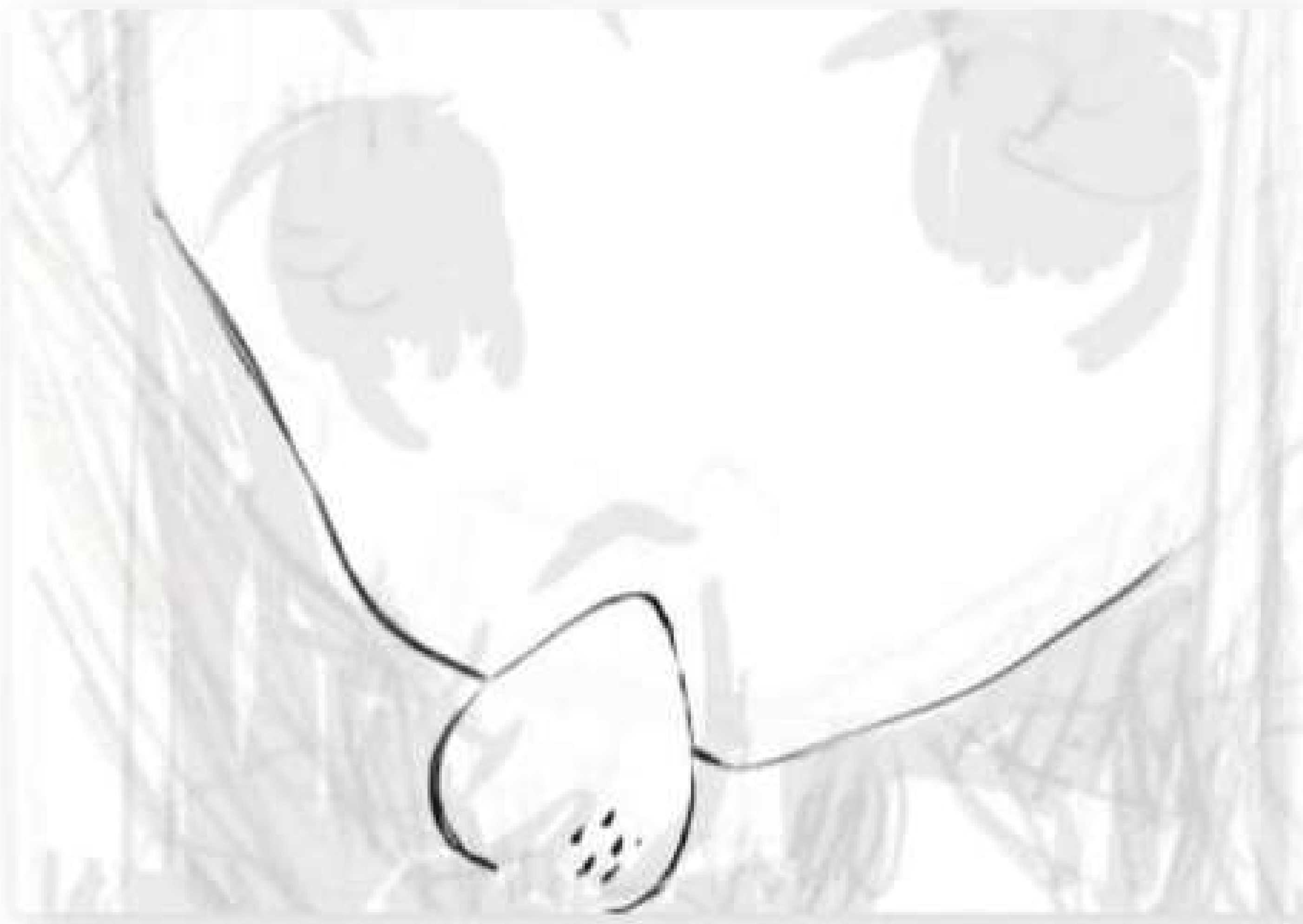
01 顔の輪郭も描きます。細めの線を重ねて太くします。



①「ブラシ」を選択 ②「ハード円ブラシ」とサイズは「5」を選択



↓



02 イチゴと顔の輪郭が接する部分は少し強めの線を入れて境界をはっきりとさせます。



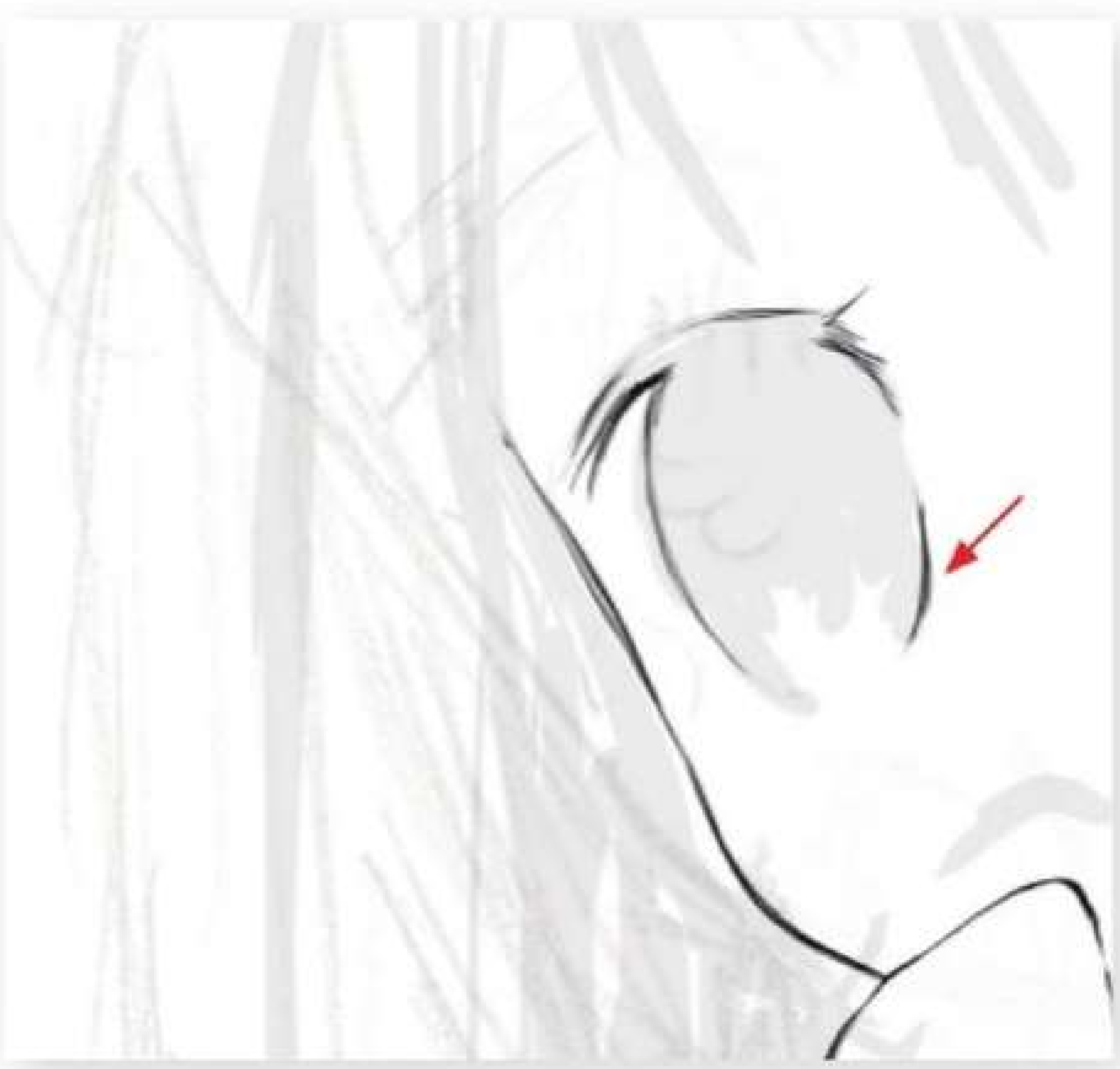
03 目を描きます。ペン入れの順番は固定化していないので、バラバラです。気楽に好きなところから描きます。



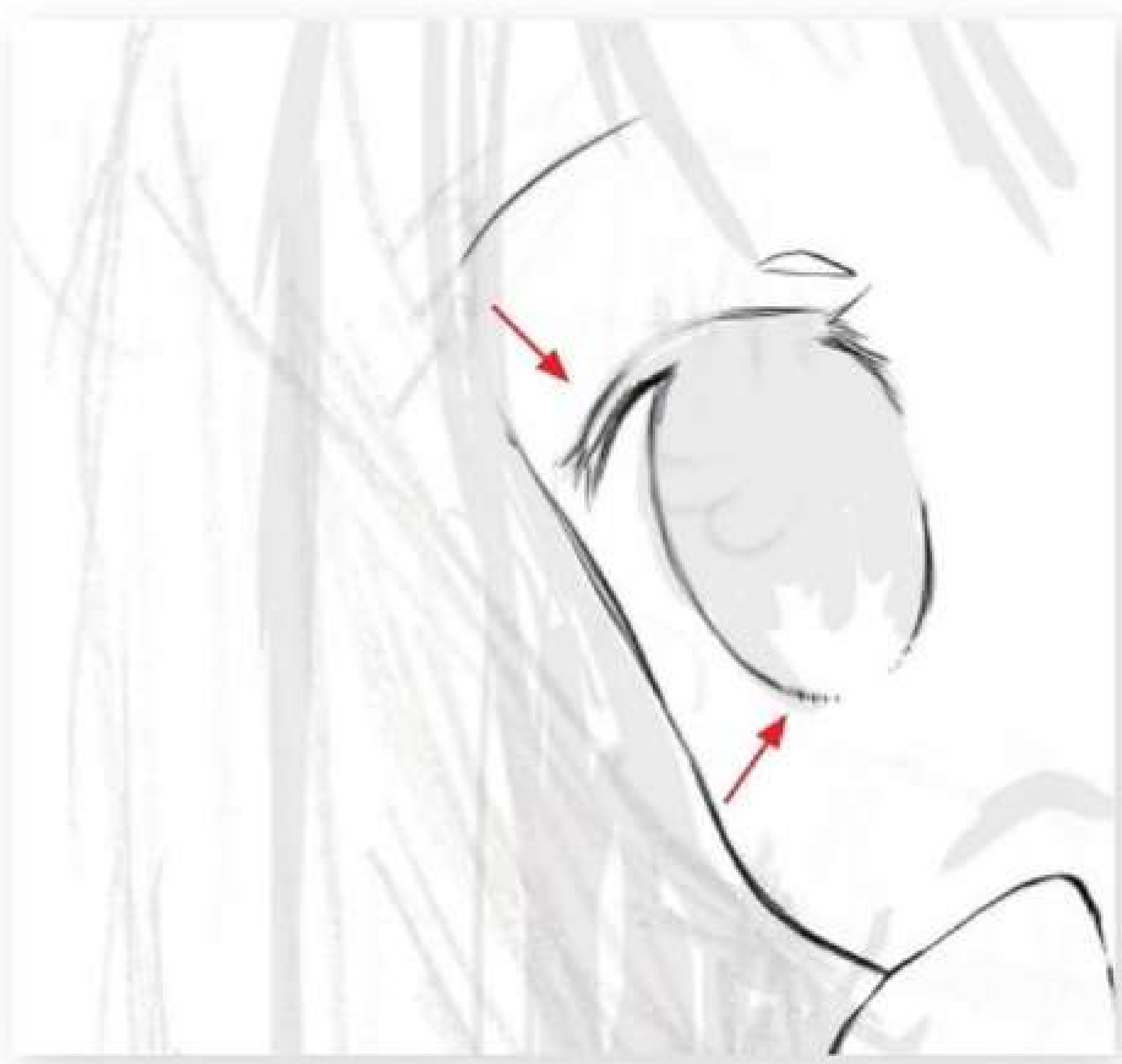
04 まつげなどの流れを意識しつつ、描きます。



↙



→



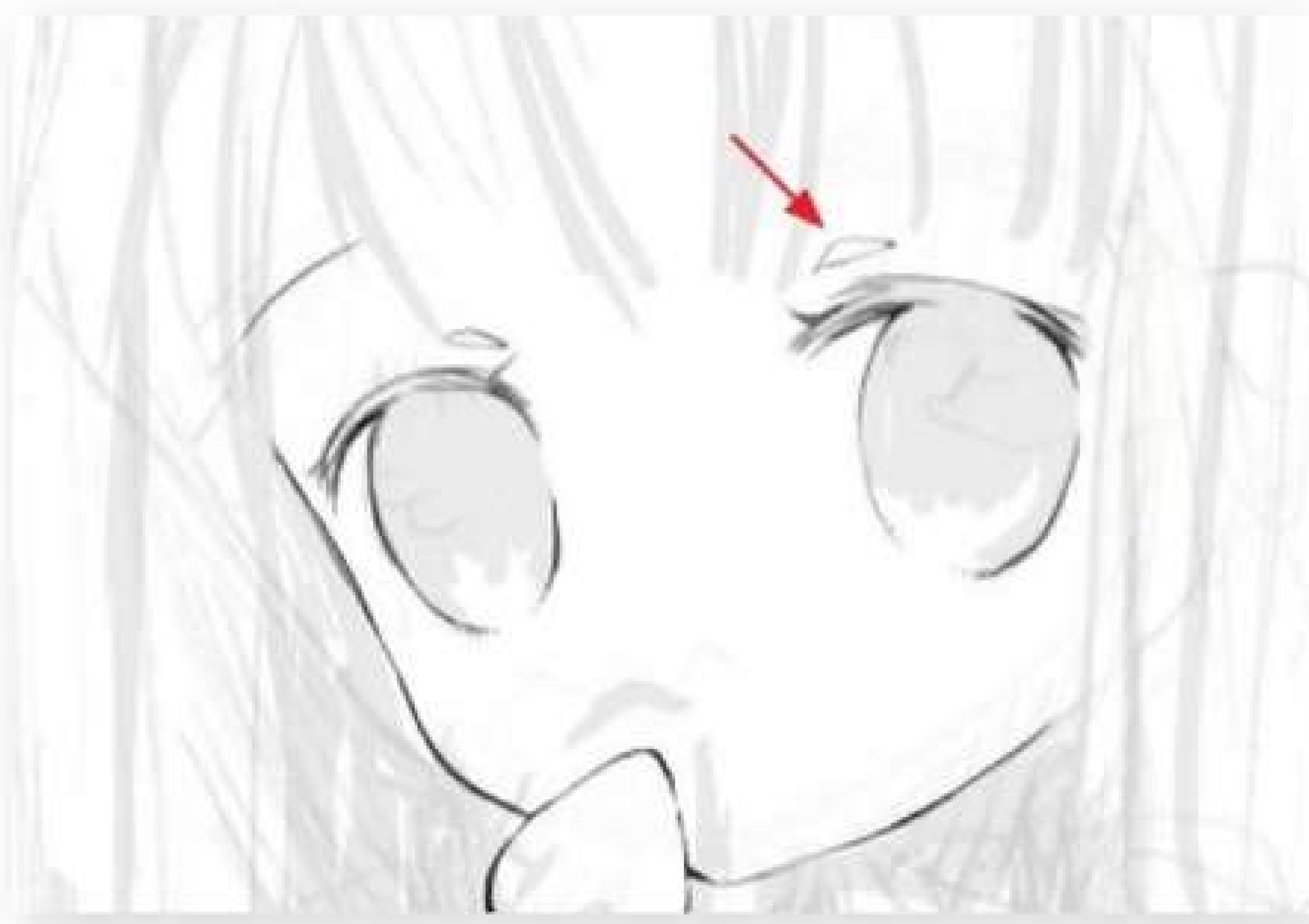
Chapter.01
Chapter.02
Chapter.03
Chapter.04

05

目の描き込みや形の整理は塗りの段階で行うので、この時点ではあまり描き込まずアウトラインを軽くとっておく程度にします。

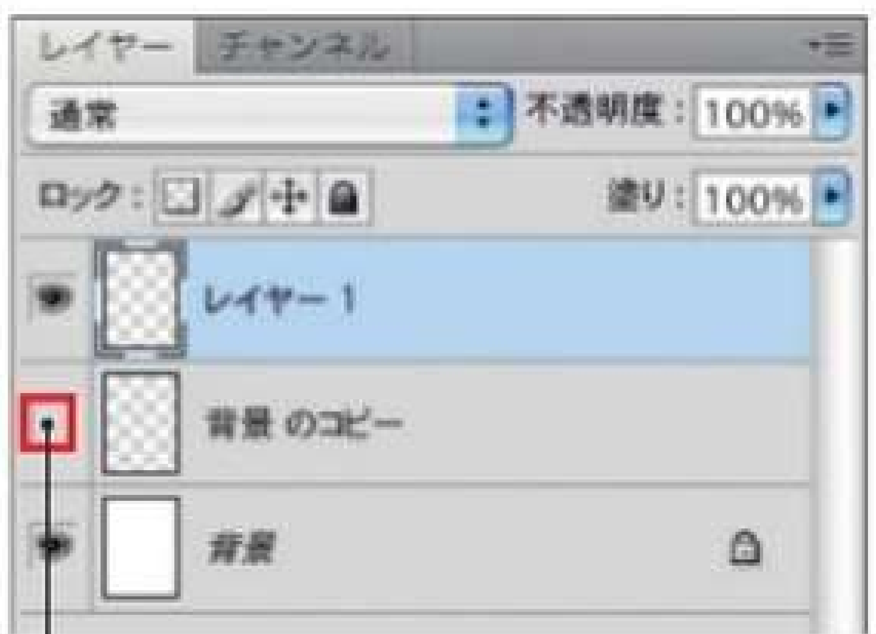






06

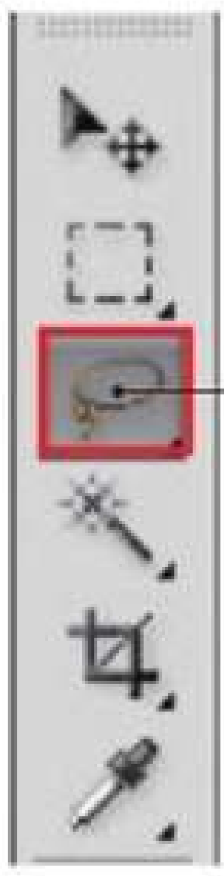
「背景のコピー」レイヤーを不可視にして、形を確認します。



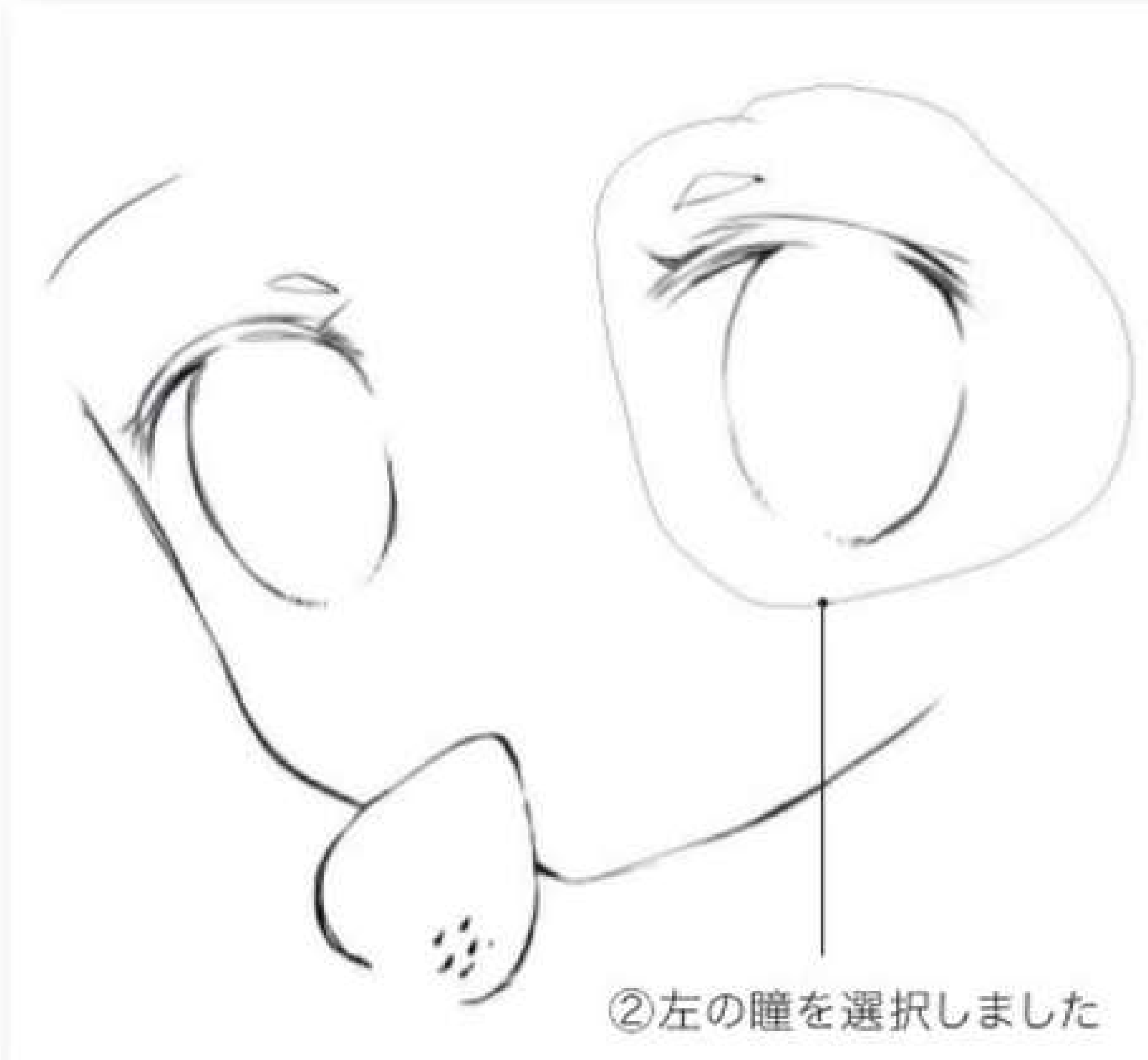
不可視のチェックボックスを外しました



07 左目の位置が気に入らないので、移動させます。「投げ縄」ツールを選択します。



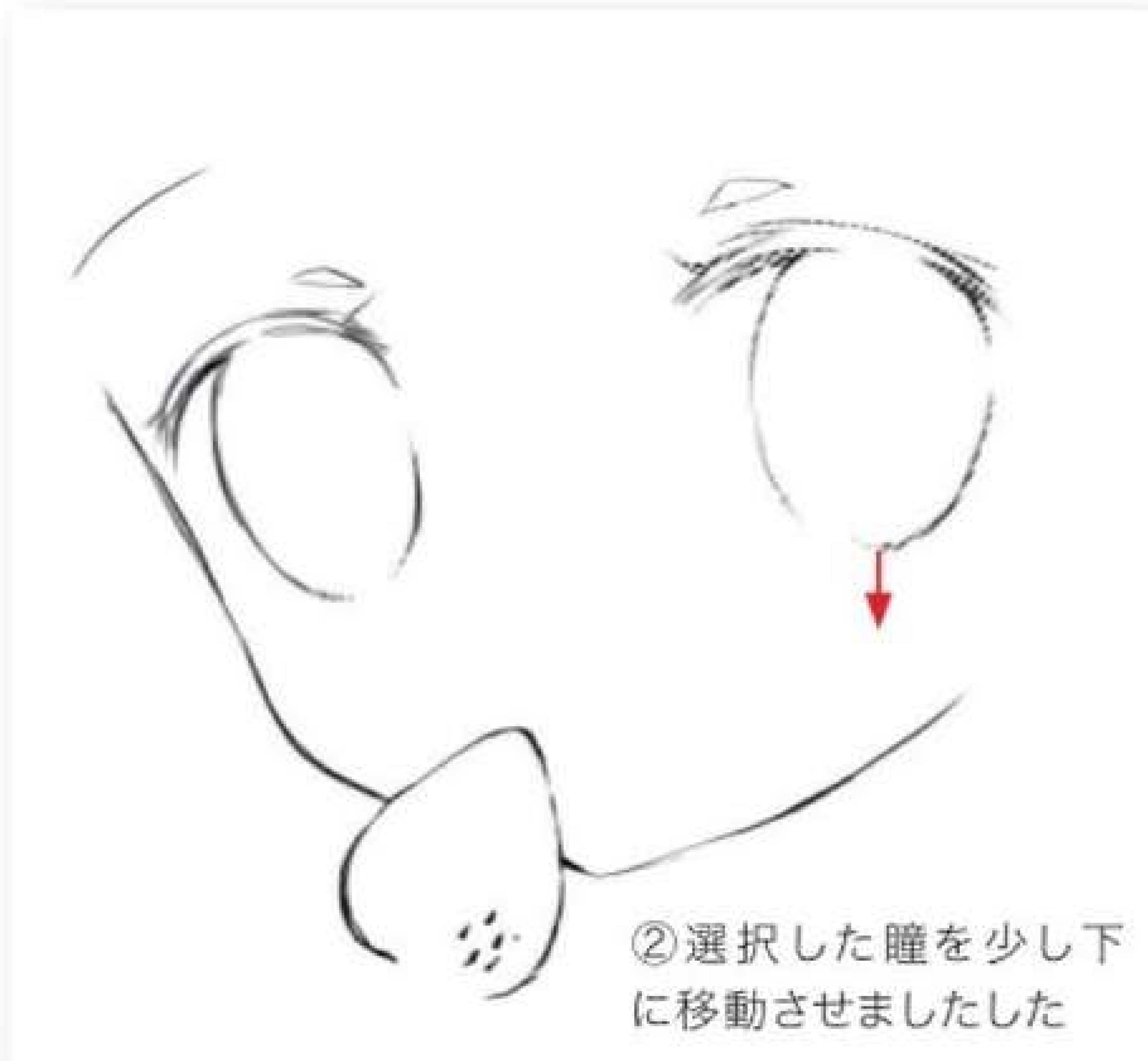
①「投げ縄」ツールを選択しました



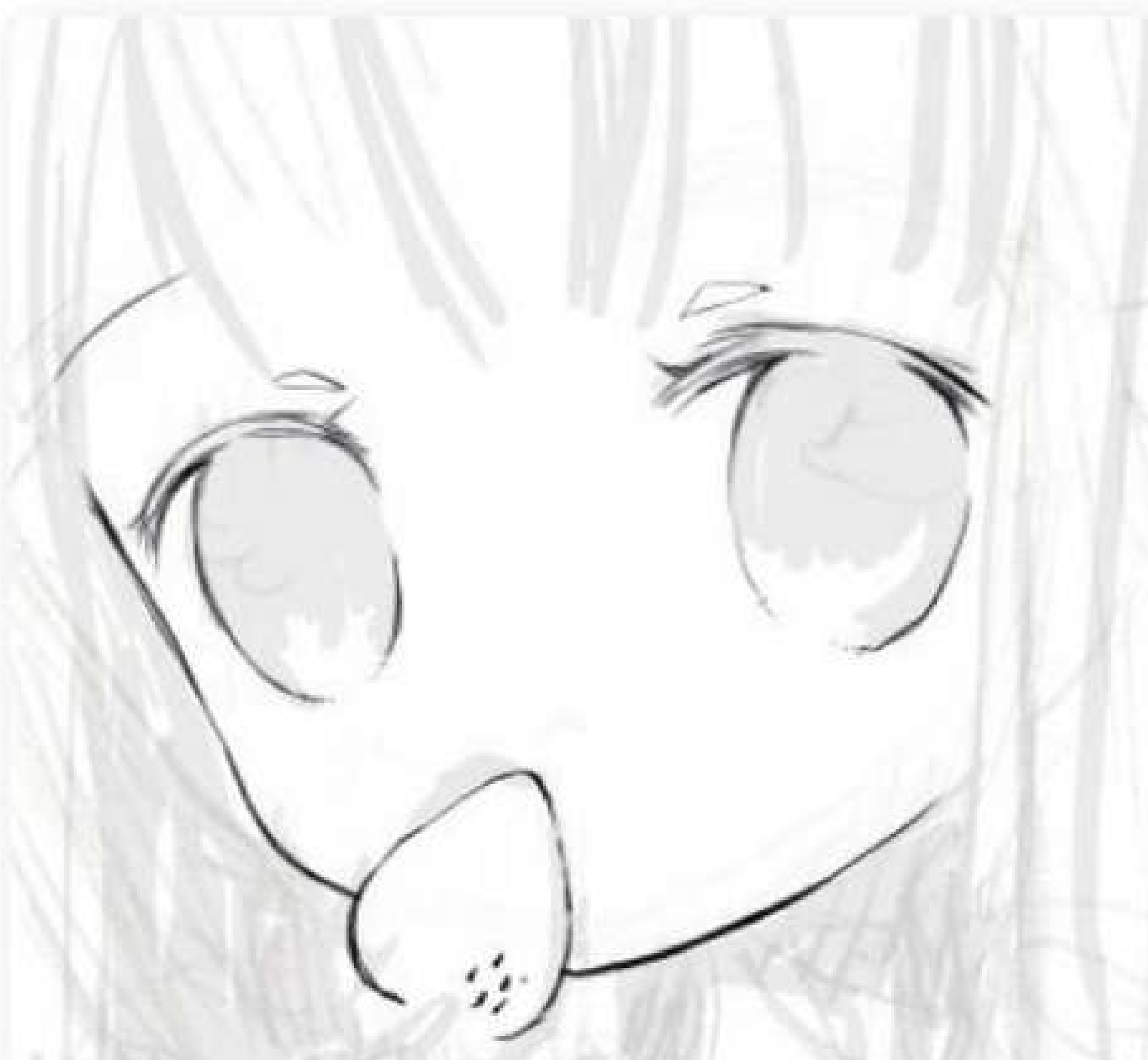
08 「移動」ツールで少し下に移動させます。メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択を解除」で位置を確定します。



①「移動」ツールを選択しました

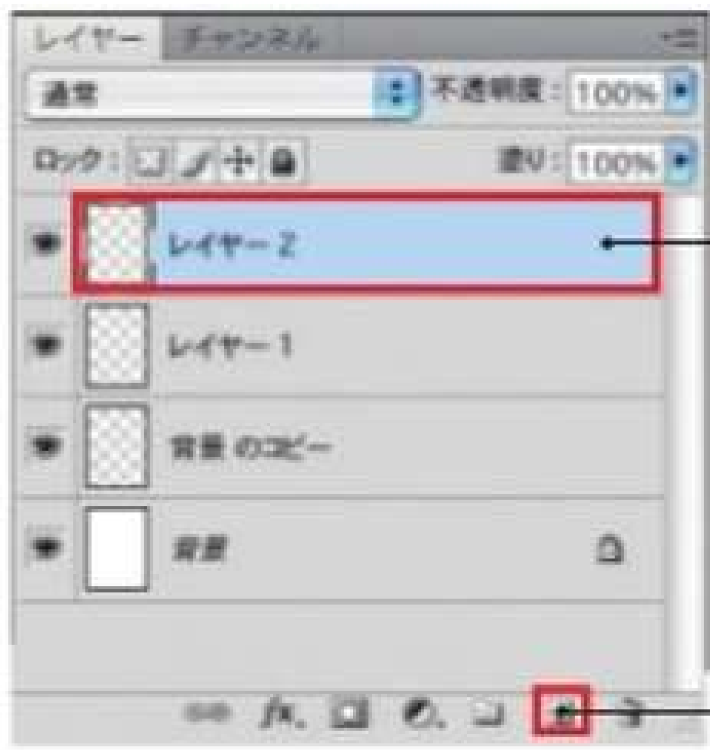


09 微々たる変化ですが、バランスが良くなりました。



髪と手の作画

01 新規レイヤーを作成します。このレイヤーには髪を描き込んでいきます。ペン入れレイヤー（レイヤー1）にそのまま描き続けてもよいのですが、レイヤーを分けたほうが描き直しが楽になります。



②新規レイヤーの「レイヤー2」が作成されました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

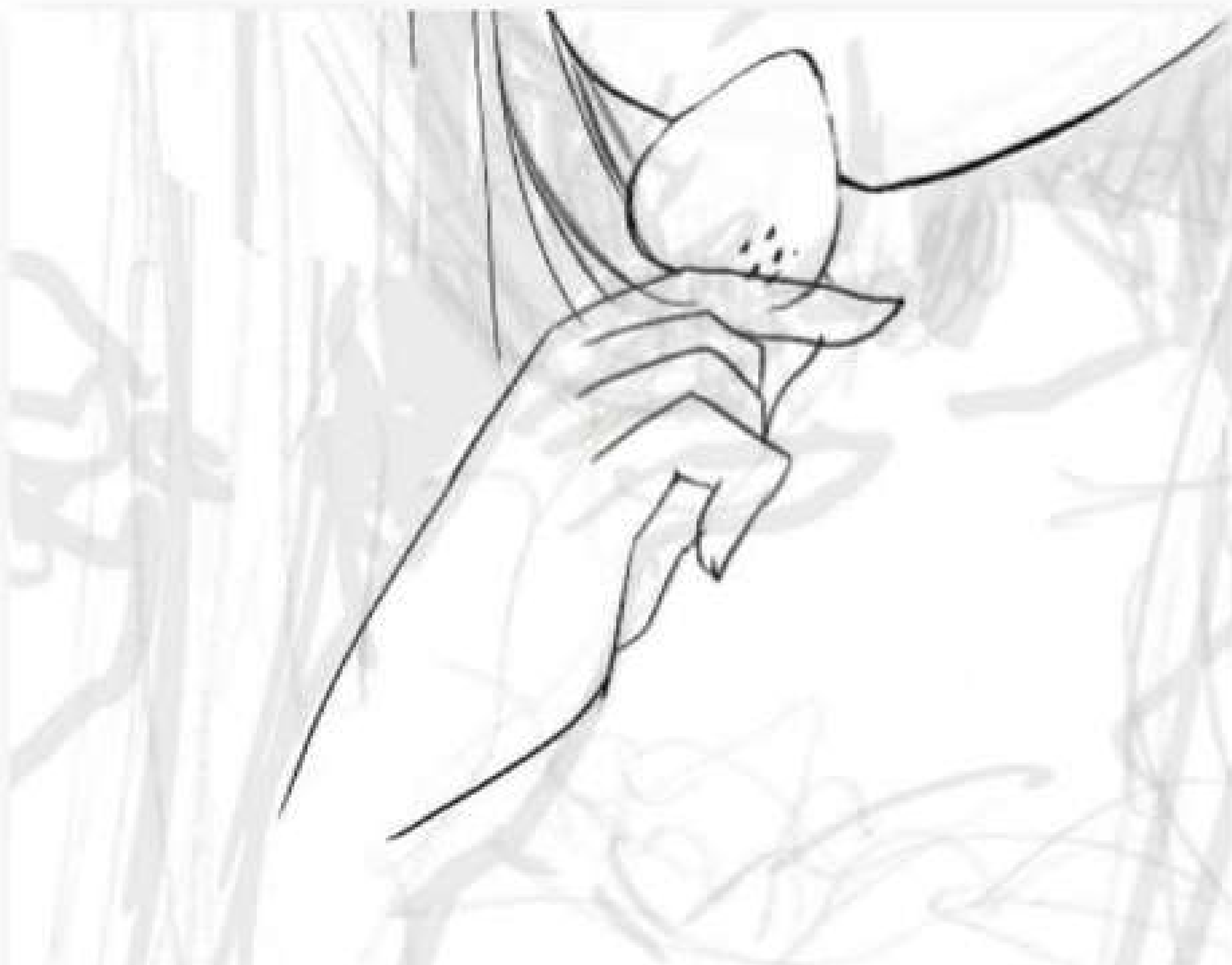
02 髪の流れを意識しながら軽く、やさしく線を引きます。





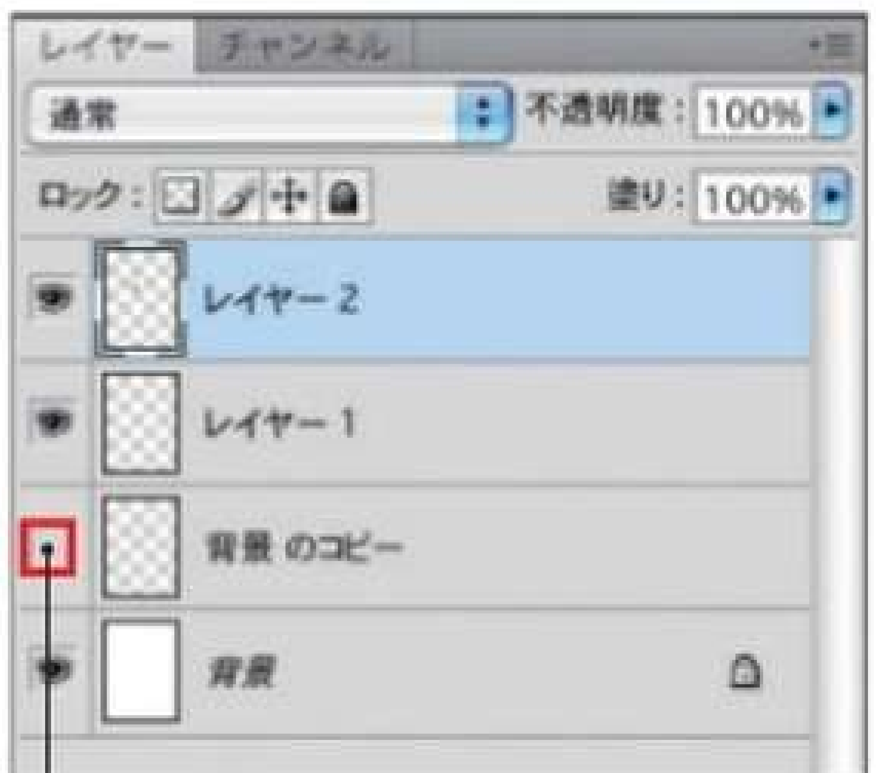
03

この段階で手を描きます。手は親指だけ他の４本の指と向きが違うことと、指には関節が３つあるということを意識するだけで、かなり描きやすくなります。



04

手の角度が不自然と思ったので、「背景のコピー」レイヤーを不可視にして確認します。

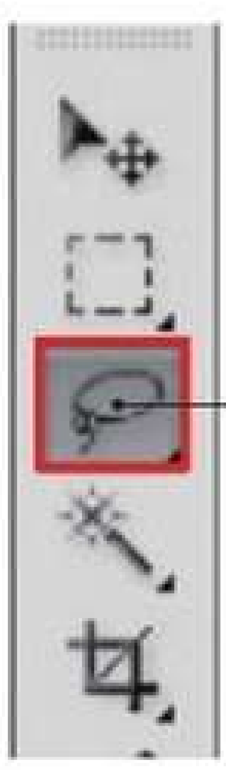


不可視のチェックボックスを外しました



05

再び「投げ縄」ツールで修正します。描いた後に何度も修正できるのはデジタルの長所です。「投げ縄」ツールで手部分を囲みます。



①「投げ縄」ツールを選択しました



06 メインメニューの「編集」メニュー→「自由変形」で選択範囲の角度を調節し、納得のいく位置で選択解除をします。





①選択範囲を反時計回りに回転させました



②少し右上に移動させました

07 切り離した部分の線画を「消しゴム」ツールと「ブラシ」ツールで整理します。



08 流れで胸のラインも引きます。



飾りと全身の作画

01 ここからはカンバスを左右反転させて進めます。私は右利きなので右側の髪の毛の線が引き辛いのと、左右反転をして全体のバランスをみながら描画をするためです。



①メインメニューの「イメージ」メニュー→「画像の回転」→「カンバスを左右に反転」を選択しました



②カンバスが左右反転しました

TECHNIQUE

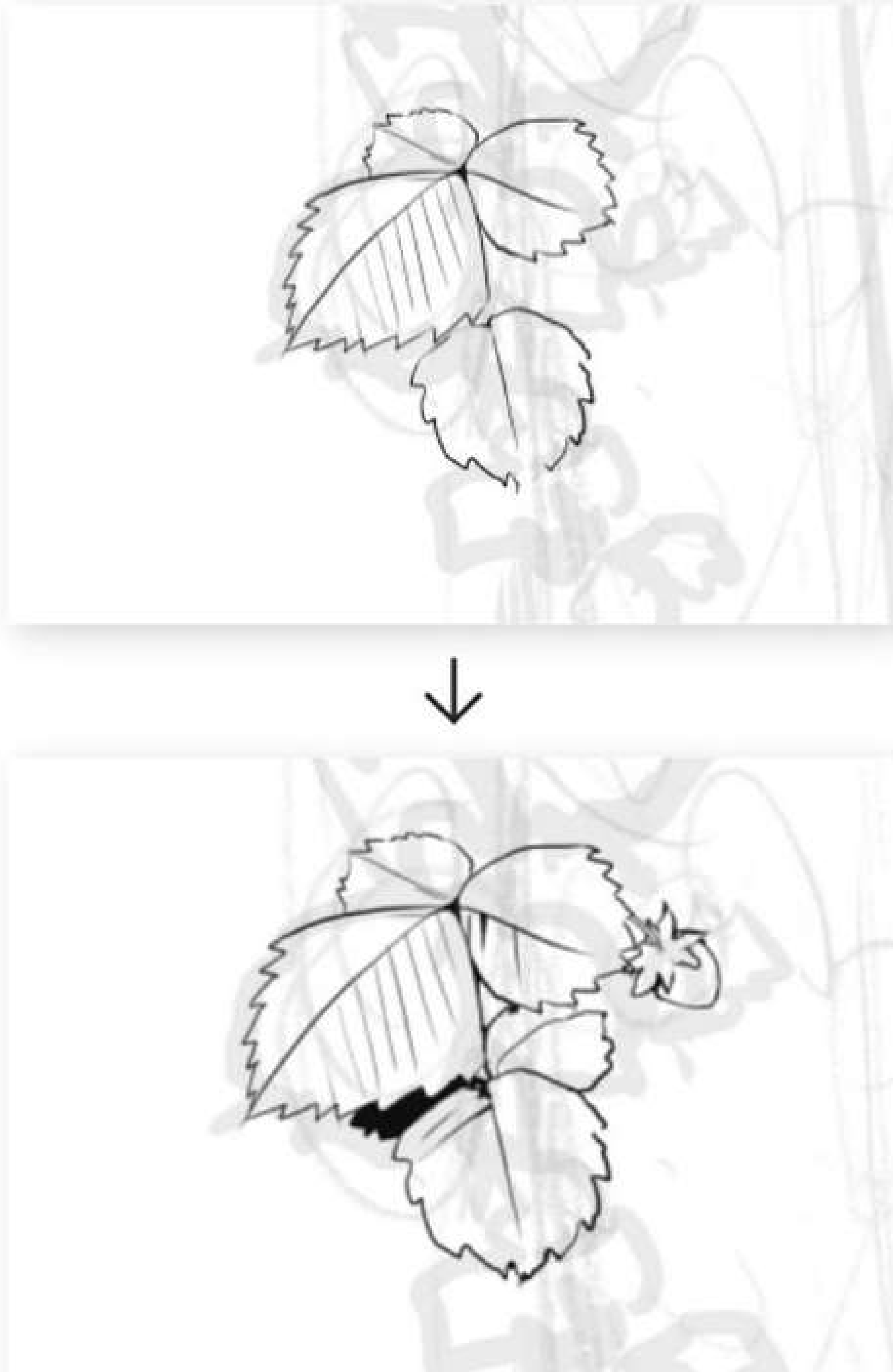
カンバスを描きやすい向きに設定できる「カンバスを左右に反転」

「線が描きやすい角度、描きにくい角度がある」という話をよく聞きます。恐らく手首を軸にペンが回転するような軌道（右利きの場合は右上から左下への線）がもっとも描きやすい角度で、左上から右下に流れるような線がもっとも描きにくいのではないかと思います。描きにくい角度になった場合は、「カンバスを左右に反転」機能を使って原稿自体を描きやすい角度にしましょう。



02

髪の線を引く前にイチゴの髪飾りを描きます。描く前にインターネット上でイチゴの色や形を確認しました。想像で描くのと、資料を確認しながら描くのとでは絵の説得力や完成度が全く違ってきます。小物などを描く時は手間を惜しまず、積極的に資料を確認しながら描くようにしましょう。



03

全体のバランスを確認しつつ、葉とイチゴを増殖させます。



04

力を抜いてやさしく髪を引きます。カンバスを左右反転しているので、線が引きやすくなりました。

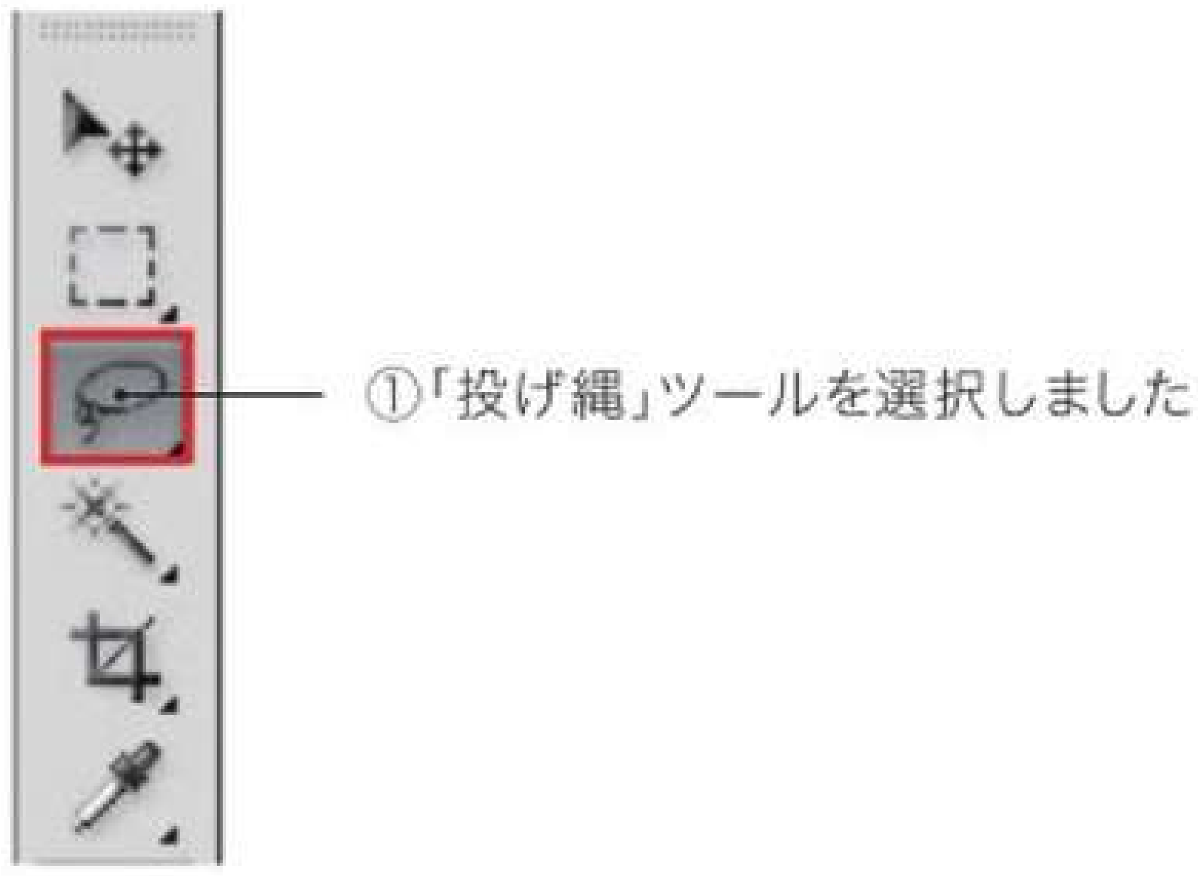


05

下部の髪も引きます。長い線は勢いをつけて一気に引くと描きやすくなります。



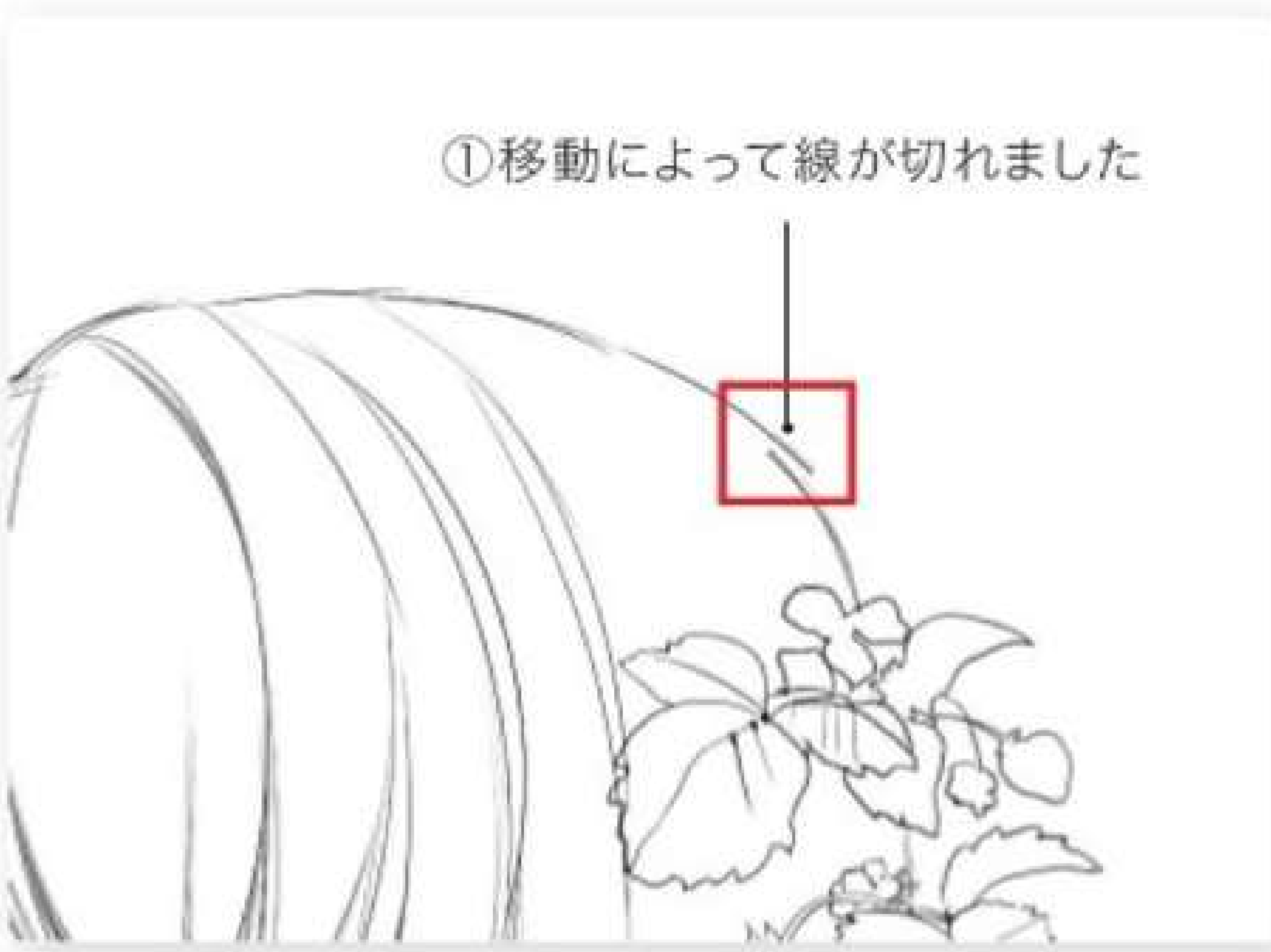
06 バランスを確認するため、再びカンバスを左右反転させます。髪飾りの位置が気になったので「投げ縄」ツールで位置を調整します。気になる部分を囲み、少しだけ左に移動させます。

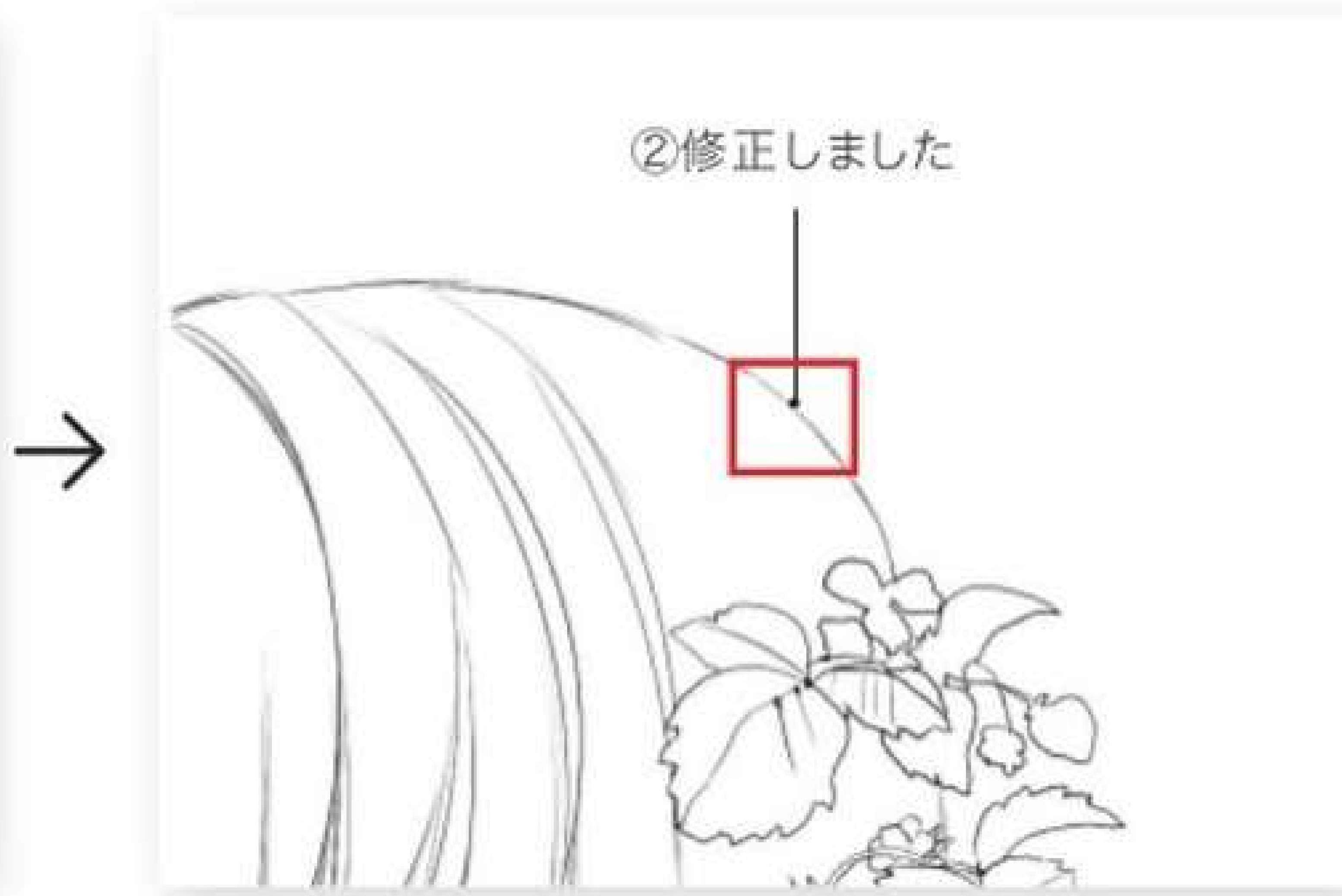






07 移動させたことによって切れた線は「消しゴム」ツールと「ブラシ」ツールで修正します。





08

新規レイヤーを作成します。このレイヤーには、服のラインや肩ひもを描きます。手や髪などと接する部分は強めの線を引きます。



①服のラインや肩ひもを描くための新規のレイヤーを作成しました



②接する部分は太めに描きます

09

服のアウトラインをとります。シワは塗りで表現するので、この段階で描き込まなくても大丈夫です。同時に腕も描きます。



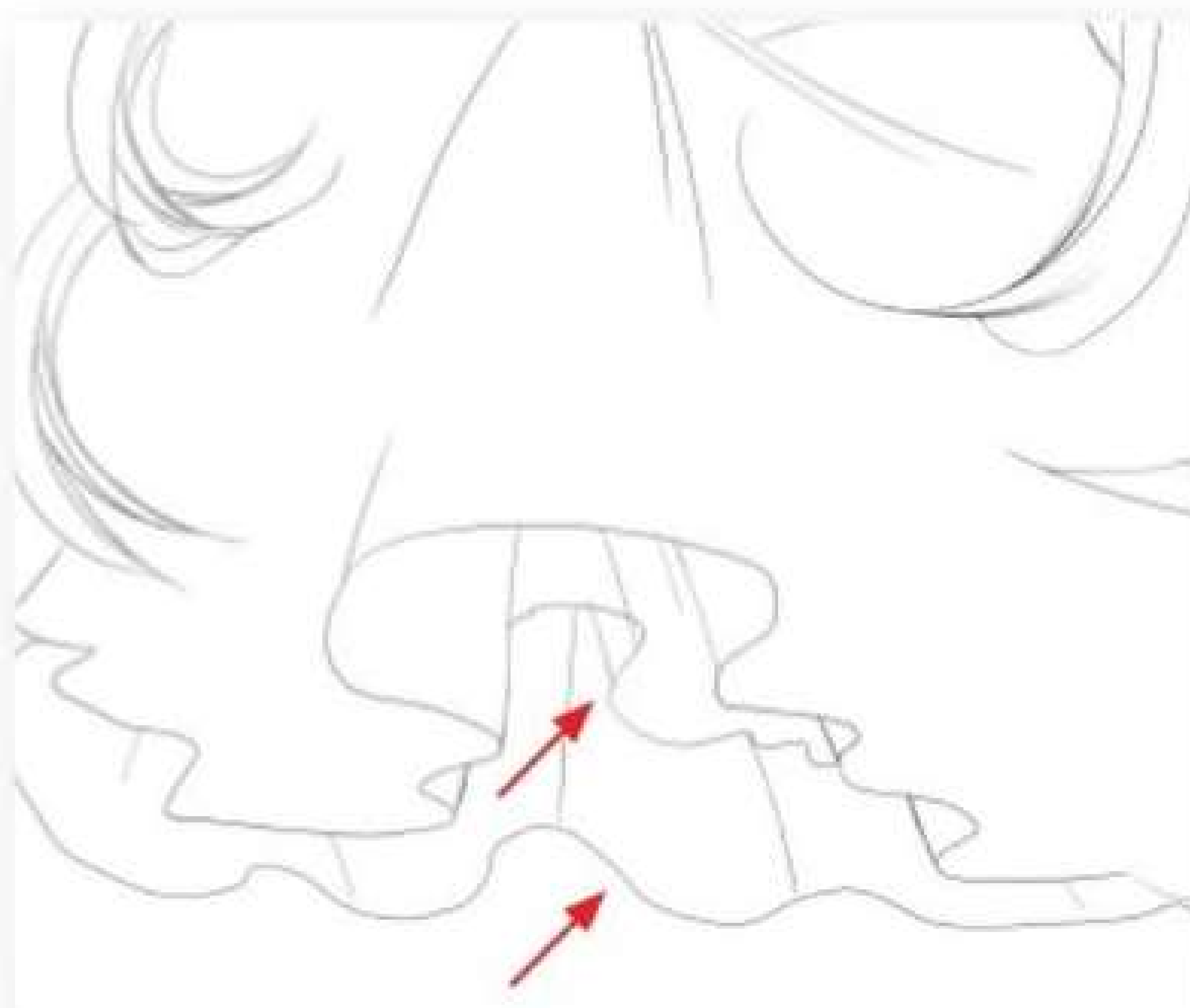
10 左手は少し表情が複雑なので自分の手を鏡に映したり、携帯のカメラで撮影したりなど形を確認しながら描くとよいでしょう。



11 スカートの裾やひだを描写します。スカートも服のシワと同じく、塗りで形や表情を作る予定なので、アタリ程度に簡単に描きます。



→



12 スカートの裾やひだが描き終わりました。



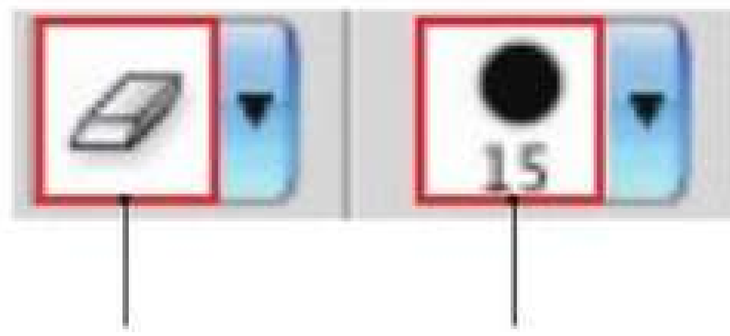
13

あごのラインが気になるので、修正します。ペンを動かしやすい角度にしたいので、カンバスを反転させます。メインメニューの「イメージ」→「画像回転」→「カンバスを左右に反転」を選択して、バランスを確認しながら、線を足したり削除を繰り返します。



14

輪郭が気になったので、修正します。「ブラシ」ツールで加筆し、「消しゴム」ツールで整えます。



①「消しゴム」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「15」を選択





③アウトラインを細くしました

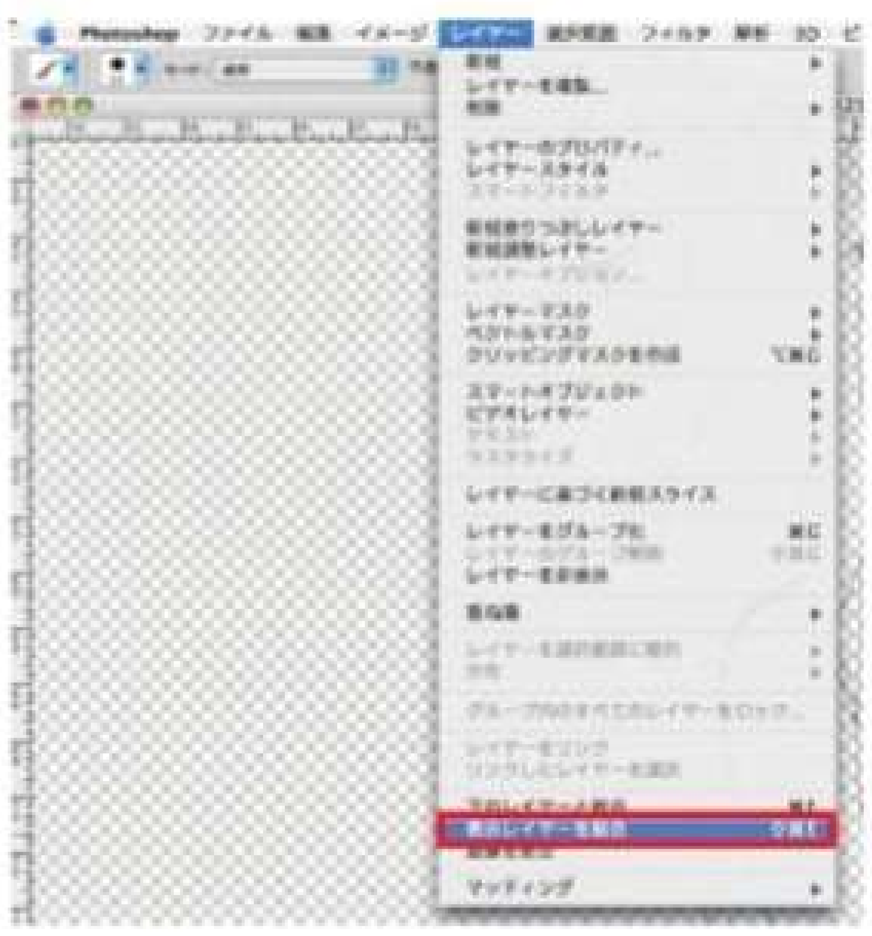
15 上半身全体を修正します。肩やバストラインに加筆をして、納得のいく線の場所を探ります。



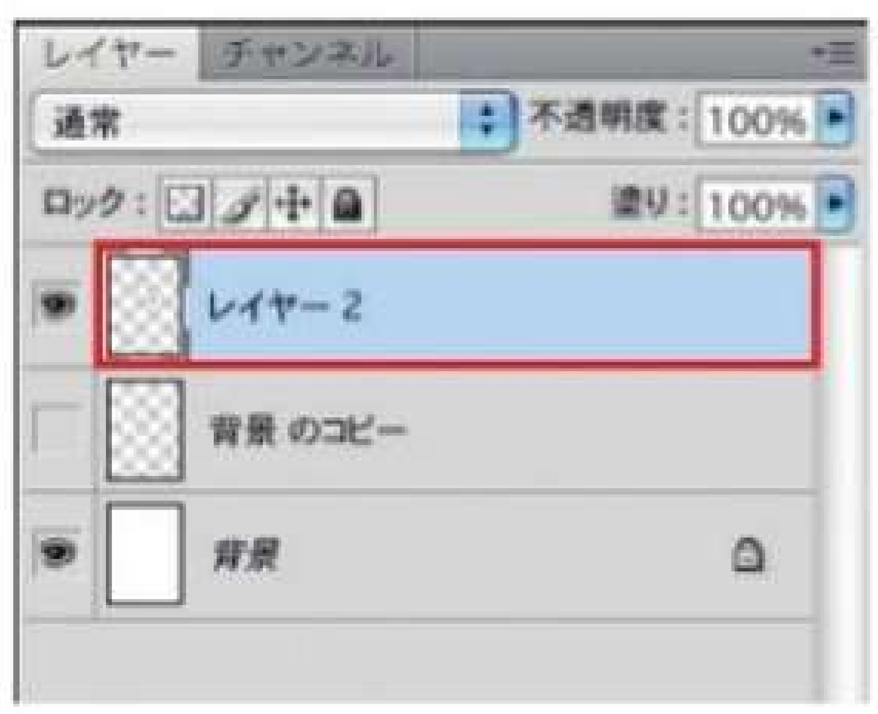
16 レイヤーの枚数を少なくして、作業をしやすくします。現段階では「線画」レイヤーが「レイヤー1」「レイヤー2」「レイヤー3」の３枚に分かれているので、１枚に統合します。



①統合したいレイヤーのみ「レイヤー表示の切り替え」チェックボックスをオンにしました



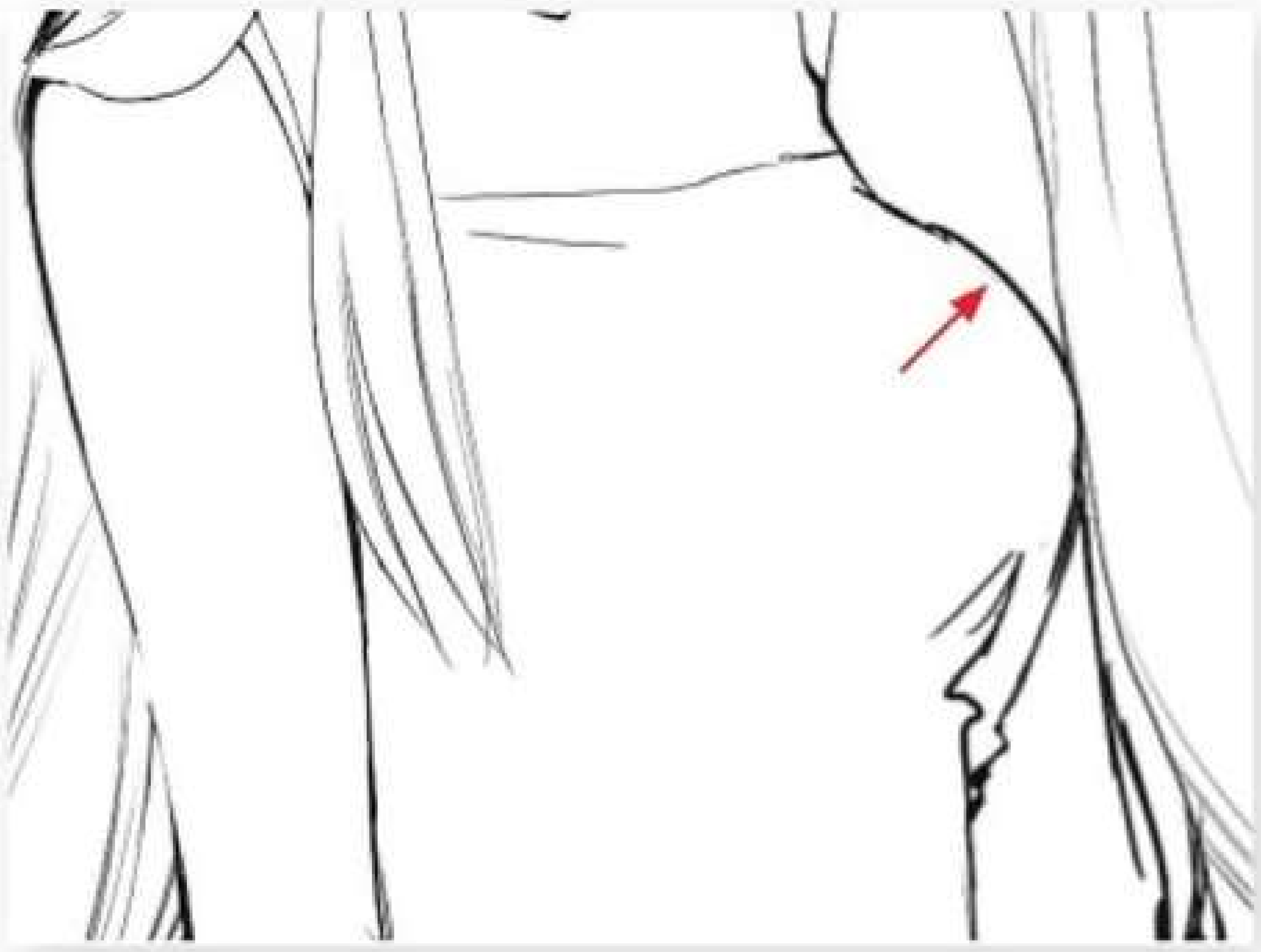
②メインメニューの「レイヤー」メニュー→「表示レイヤーを統合」を選択しました



③「レイヤー表示の切り替え」チェックボックスをオンにしたレイヤーが1つにまとめられました

17 「消しゴム」ツールで不必要な線を消します。



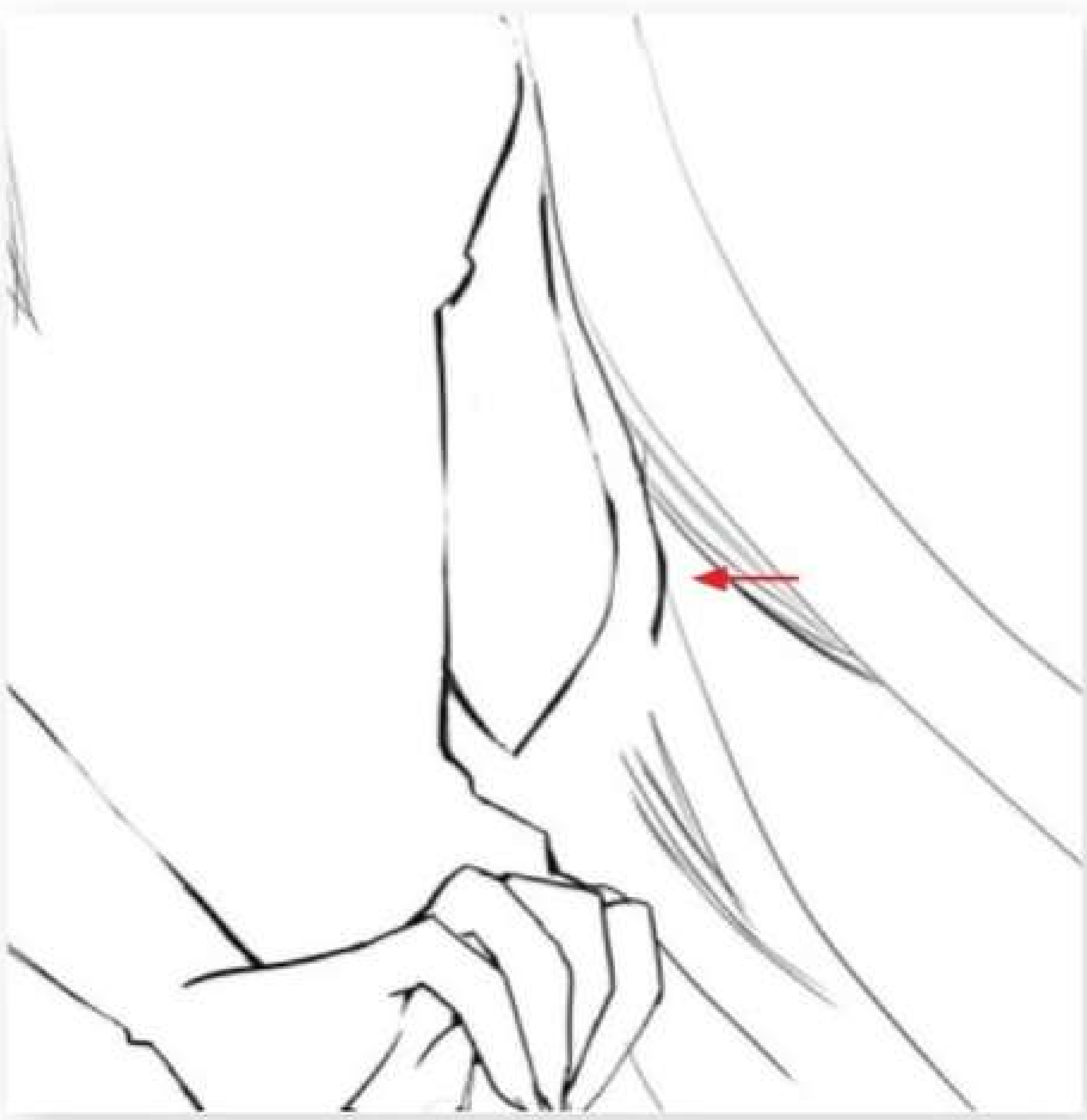


→

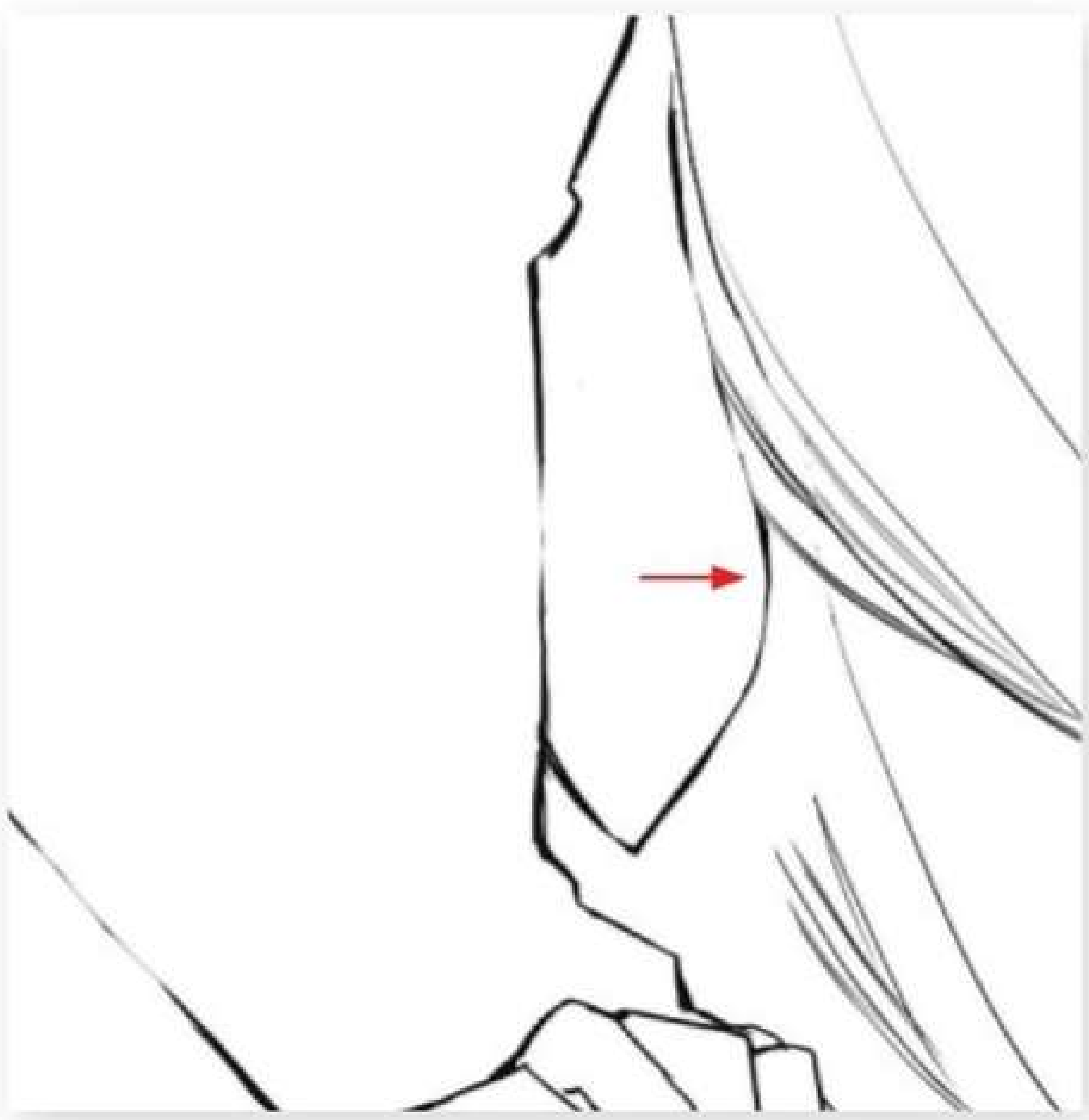


18 「ブラシ」ツールで線を足して、「消しゴム」ツールで消すのを繰り返します。

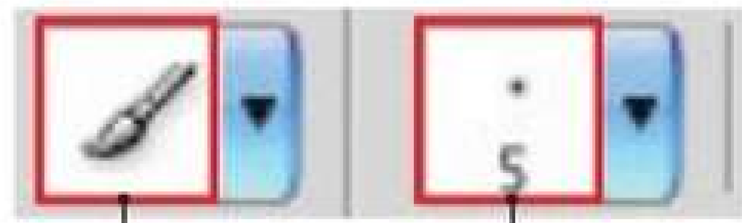




→



19 線を整理して全体はほぼこの状態で完成です。



①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「5」を選択



飾りの増殖

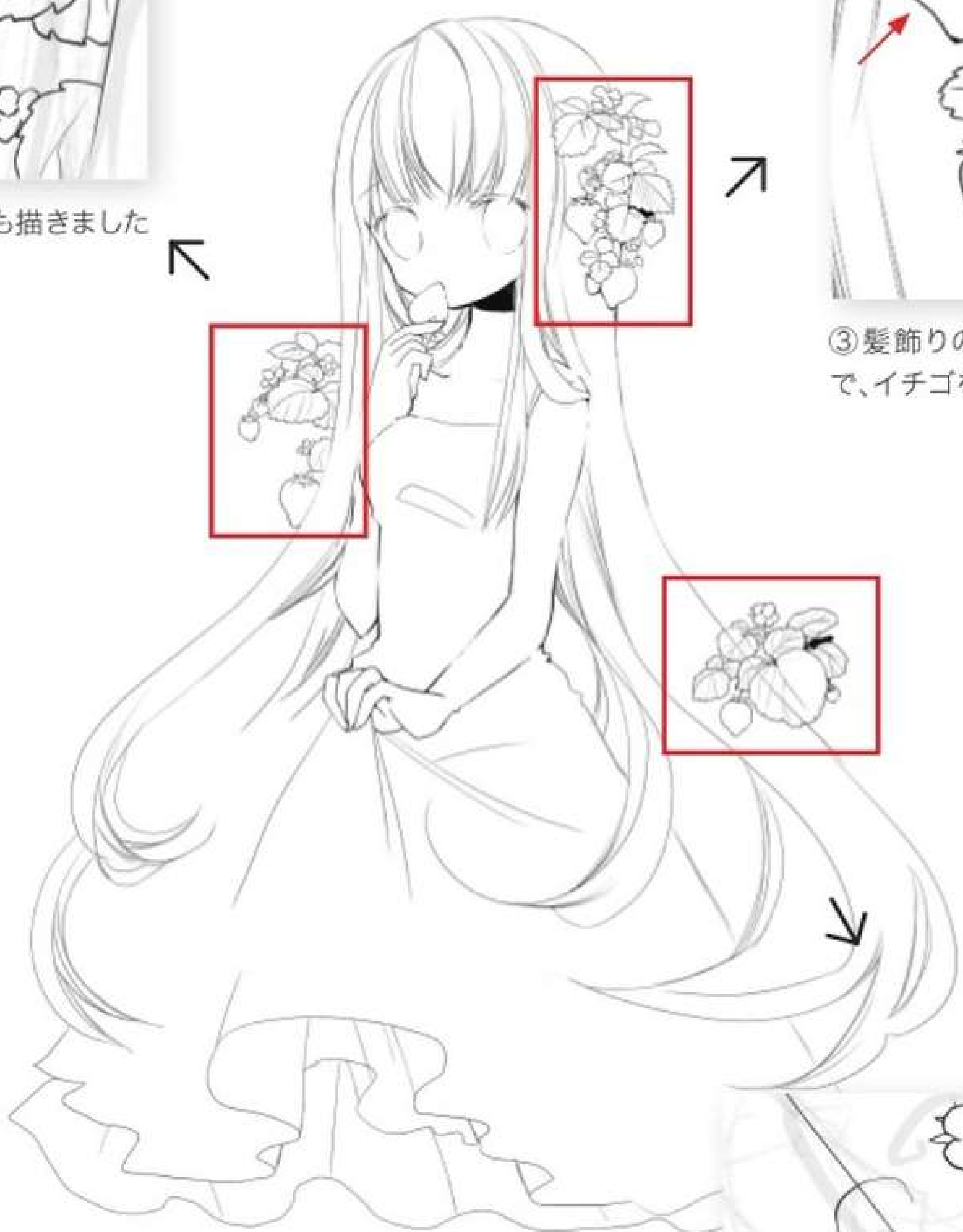
01 カンバスを左右反転させて、飾りを増やしていきます。



②花びらの下の萼なども描きました



③髪飾りのバランスが悪かったので、イチゴを足しました

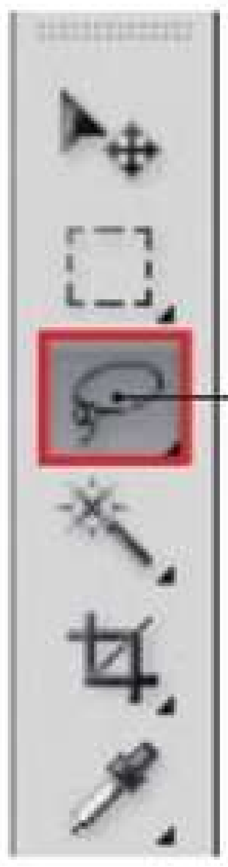


①カンバスを左右反転させました



④全体のバランスを見ながら更に増殖させました

02 画面下部にもイチゴや葉をたくさん配置します。すべて一から描くのは大変なので、先ほど描いた飾りをコピー＆ペーストで複製します。

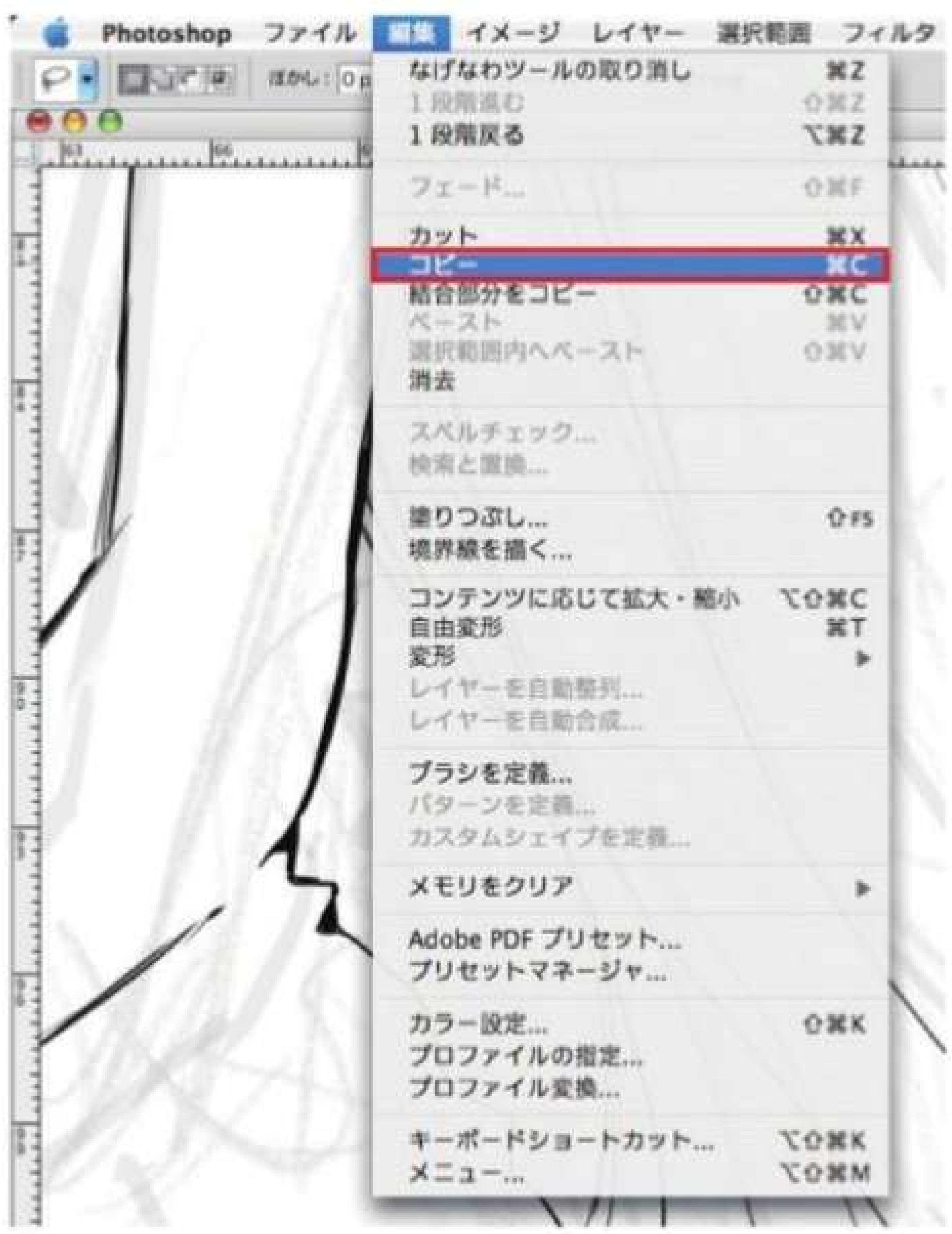


①「投げ縄」ツールを選択しました



②葉を選択しました

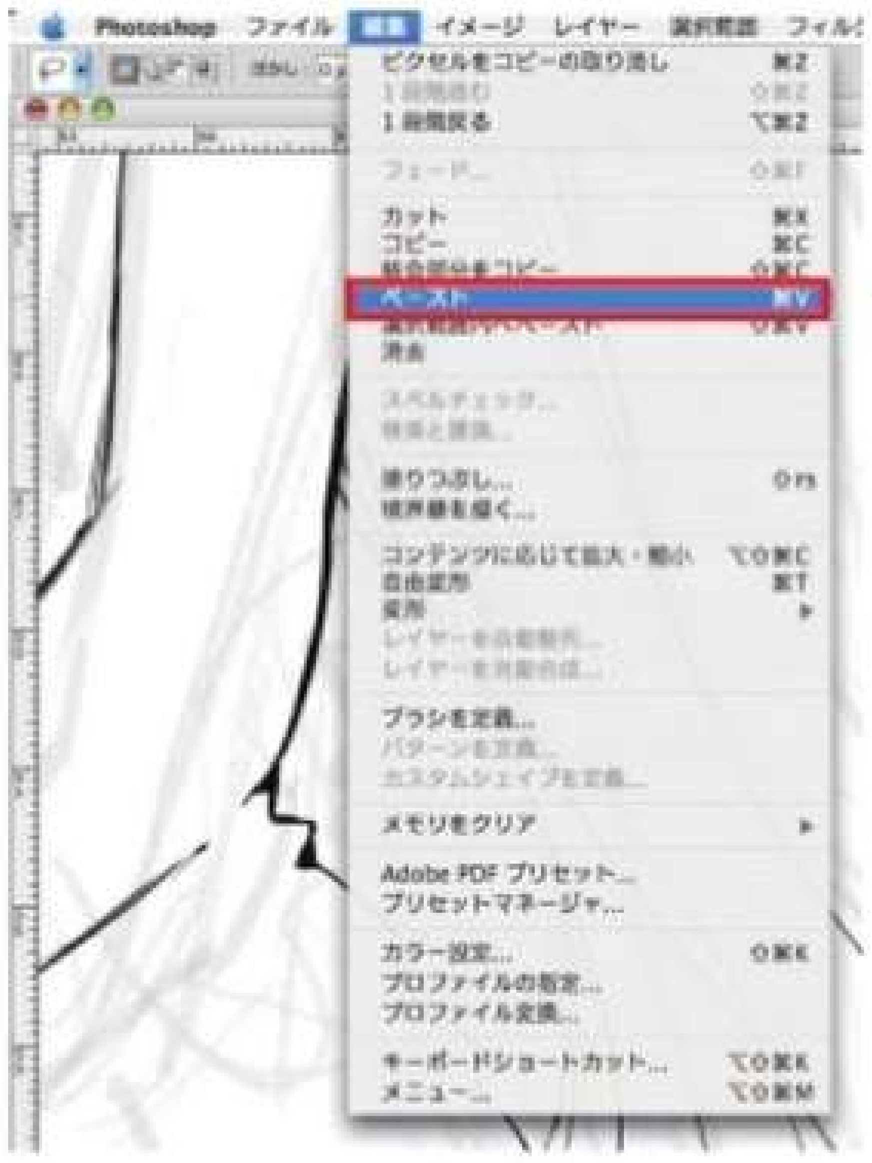
03 メインメニューの「編集」メニュー→「コピー」を選択し、コピーします。



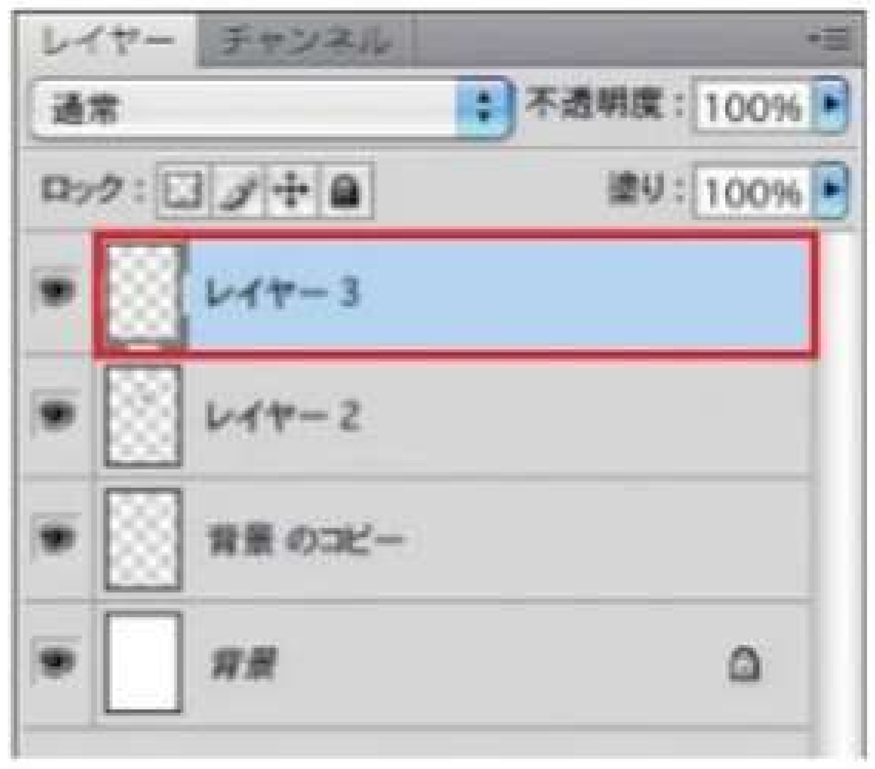
「コピー」を選択しました

04

メインメニューの「編集」メニュー→「ペースト」で選択範囲の葉を複製します。



①「ペースト」を選択しました



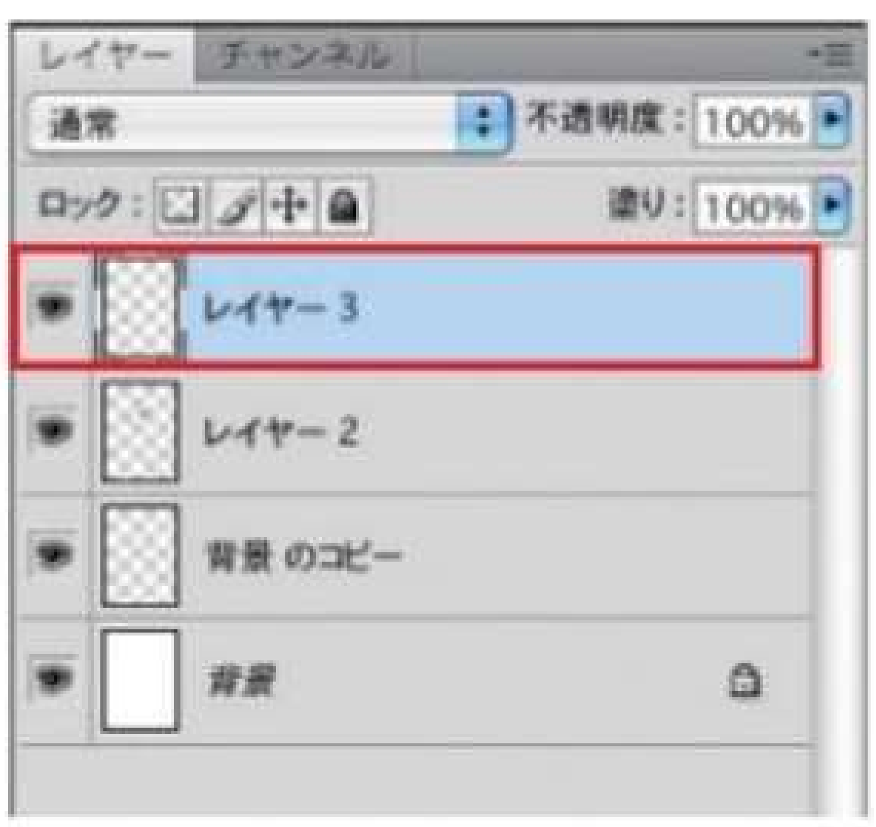
②葉が複製された「レイヤー3」が作成されました



③葉が複製されました

05

このままでは複製元と全く同じ向きで画面全体から変化が感じられないので、「自由変形」で葉の向きに変化をつけます。



①複製した葉のレイヤー「レイヤー3」を選択していることを確認します



②メインメニューの「編集」メニュー→「自由変形」を選択しました

06 グリッドを時計回りに回し、角度を変えます。



「レイヤー3」を回転させます

07 更に葉などを描き足します。



08 画面左に更にイチゴを描き足します。このように、画面に同じモチーフが複数ある場合は画像を複製して使用すれば、容易に絵の密度を上げることができます。ただ複製画像を貼るだけでは画面が単調になってしまうので先ほどのように一手間かけて少し変化をつけていきます。



09 画面右下にも葉を配置します。



10

線画がほぼ完成しました。ペン入れのガイドは必要ないので、「レイヤー」パネル右下の「現在のレイヤーを削除」を選択し、「背景のコピー」レイヤーを削除します。



①「背景のコピー」を選択しました

②「現在のレイヤーを削除」を選択しました



③「"背景のコピー"レイヤーを削除しますか？」のダイアログが表示されますので、「はい」を選択しました



④「背景のコピー」が削除されました

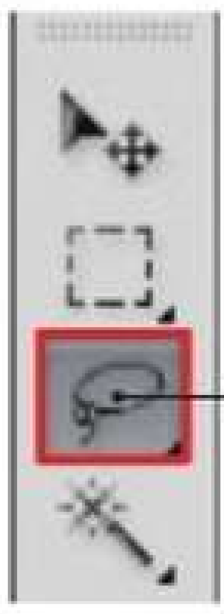
11

ペン入れのガイドが削除されて、線画のみになりました。



微調節と完成

01 頭部が大きいので、もう少しだけ小さくします。「投げ縄」ツールで頭部を選択し、メインメニューの「編集」メニュー→「自由変形」で頭の大きさを調整、「選択解除」で位置を確定します。



①ツールパネルから「投げ縄」ツールを選択しました

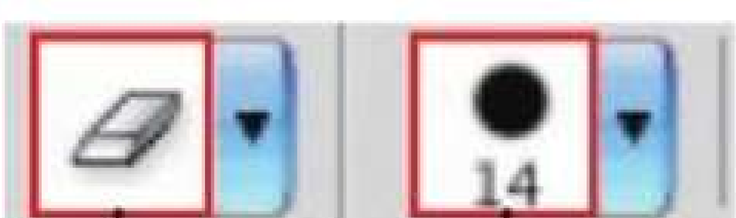


②「投げ縄」ツールで頭部を選択後、「自由変形」ツールで大きさを小さくしました

02 「自由変形」後は必ず線画に歪みがでます。



03 「消しゴム」ツールと「ブラシ」ツールで地道に修正します。不必要な線は消して、繋がっていない線は繋げます。



①「消しゴム」を選択 ②「ハード円ブラシ」とサイズは「14」を選択



04 線画の完成です。



Chapter. 02

Photoshopを使った着色テクニック



CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation By Shimeko

Chapter. 02

Photoshopを使った着色テクニック

Chapter01で作成した線画にPhotoshopで着色をするための工程を紹介します。Photoshopの使い方だけではなく、「書き直し」や「色の置換」など作業途中の思考なども参考にしていただければと思います。

線画の色を変更

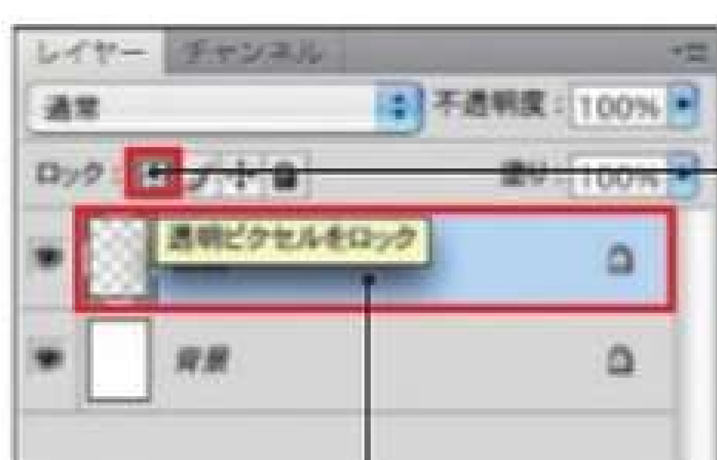
01 Chapter01で完成した線画を開きます。この状態の線画の色は黒ですが、これから紫に変更します。



線画は「線画」レイヤーだけにまとめられている状態です



02 「線画」レイヤーを選択した状態で「レイヤー」パネルの「透明ピクセルをロック」をオンにします。



②「レイヤー」パネルの「透明ピクセルをロック」をオンにしました

①「線画」レイヤーを選択していることを確認します

03

「透明ピクセルをロック」をオンにすると、レイヤーの透明部分には描写されません。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「66」を選択

③「描画色」は紫を選択しました



④透明のピクセルは無視されて線画のみ着色されました

04

「ブラシ」ツールで全ての線画を着色します。主線の色は紫、青、茶色などをよく使いますが、大抵そのときの気分で決めています。



TECHNIQUE

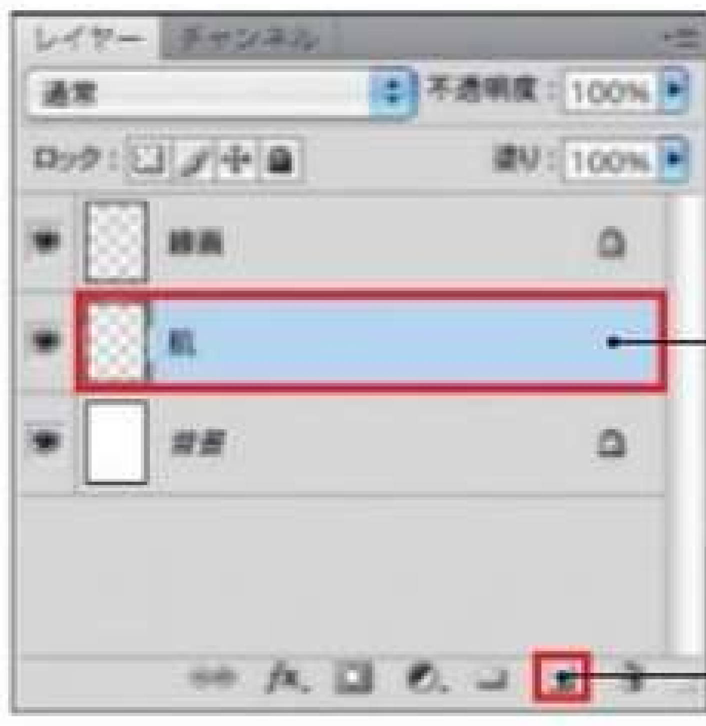
線画の色によって雰囲気が変わる

線画に寒色系の色を主線に使うとシャープでクールな印象の絵に、暖色系の色を主線に使うと暖かくて柔らかい印象の絵に仕上げやすくなります。線画の色の感じ方も千差万別ですので「色を替えればそう見える」というわけではなく、あくまでも作業を行う上での精神論的なものようなものです。しかし、「線画の色を変える」という方法を覚えておけば、絵の幅を広げやすくなるでしょう。

肌色の着色

01

新規レイヤーを作成し、名称を「肌」に変更します。このレイヤーは肌を塗るためのものです。



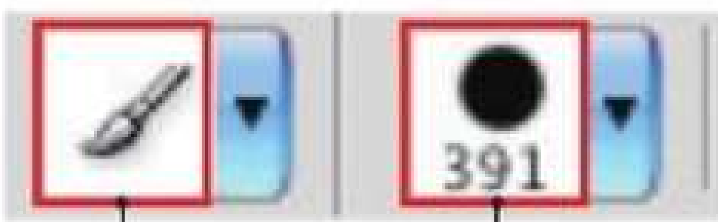
②新規レイヤーを作成し、名称を「肌」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02

黄色で肌を塗ります。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「391」を選択

③「描画色」は黄色を選択しました



03

首や腕も黄色で塗ります。



04

オレンジに近い肌色を濃淡がつくように着色していきます。暗くなるところは筆圧を高めて、それ以外は筆圧を弱めてやさしく塗ります。





①設定はそのままです

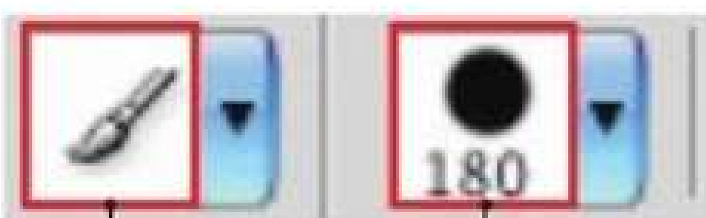
②「描画色」は肌色を選択しました



05

腕と首は筆を細くして塗ります。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「180」を選択

③「描画色」はそのままです

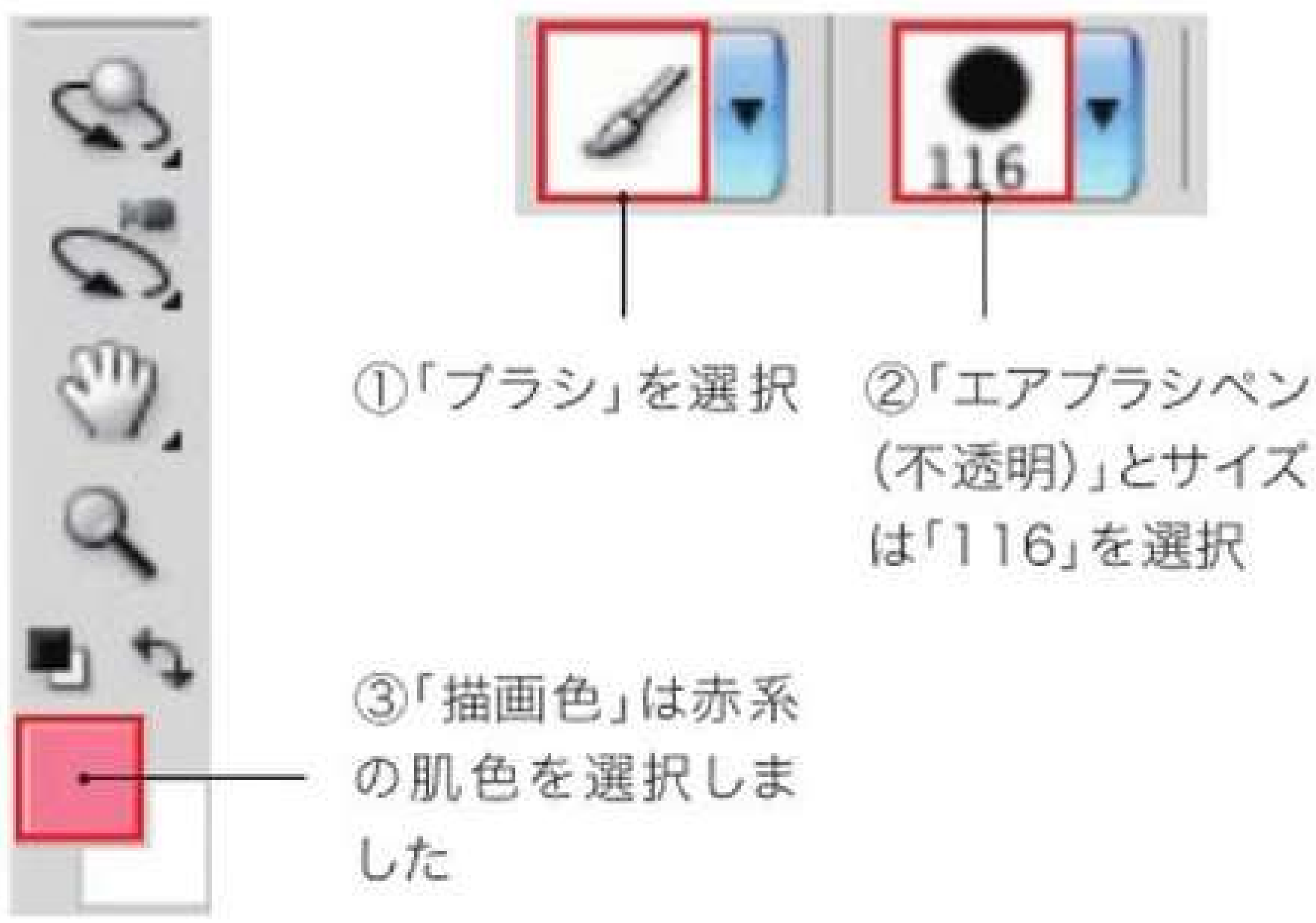


06 ピンク系の肌色で更に重ねて塗ります。一色で肌を塗るのに比べて三色を重ね塗りした肌色は、より深くしっとりとした印象になります。



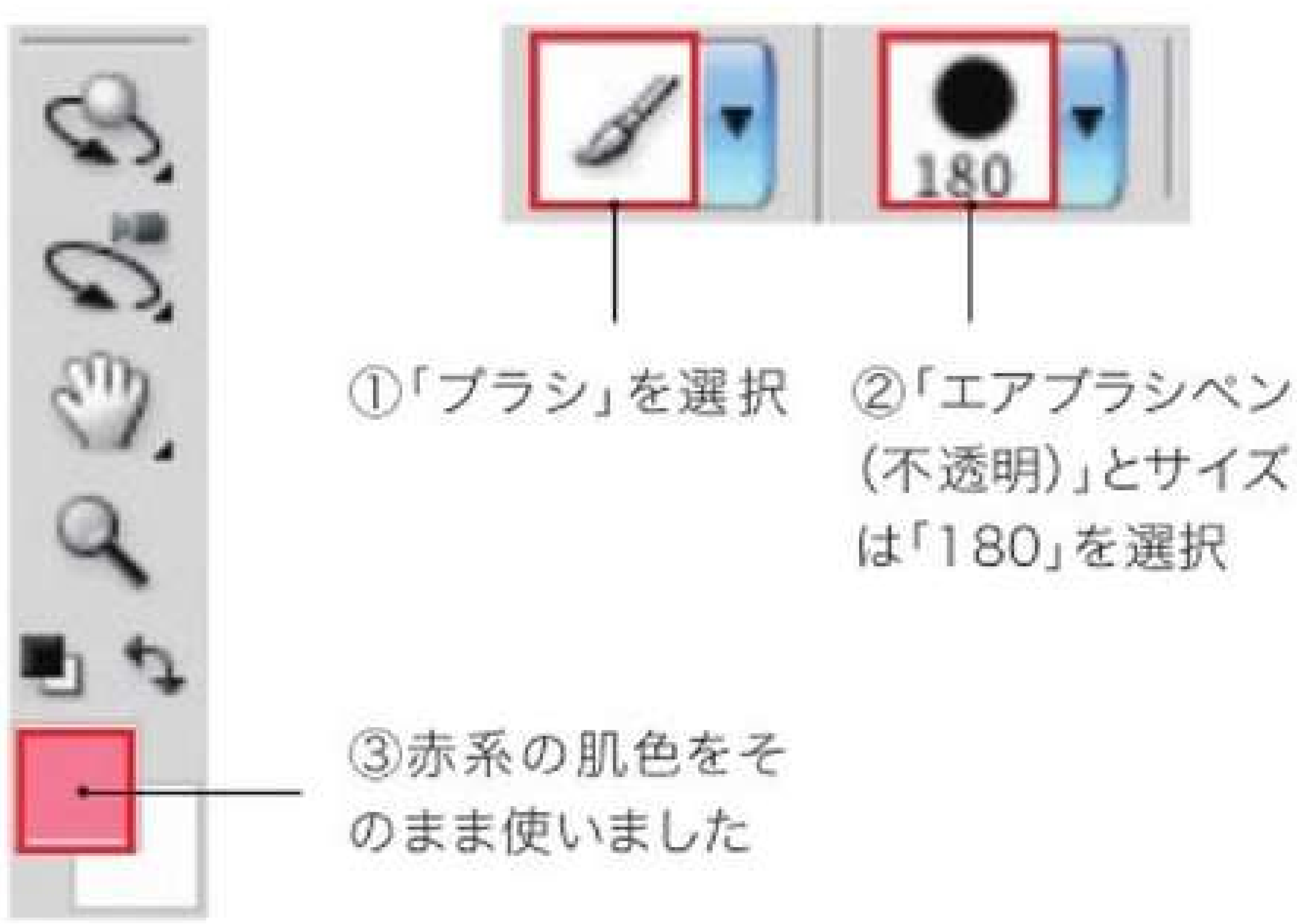



07 ほほなどに赤を乗せます。





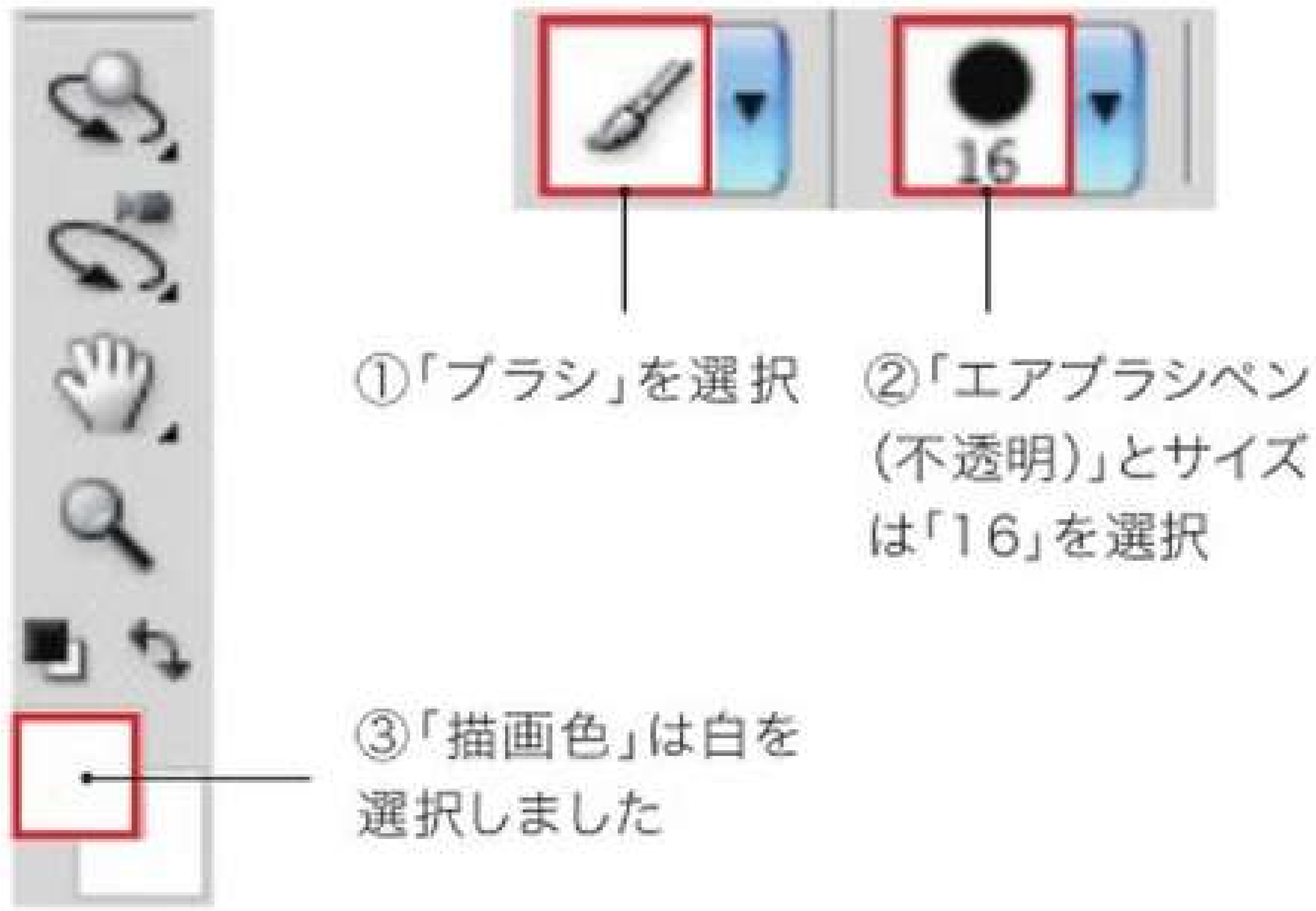
08 指先やひじなども赤を乗せます。





09

白目やほほに白を乗せます。これで「肌」レイヤーでの作業は完了です。





瞳やイチゴをグラデーションで着色

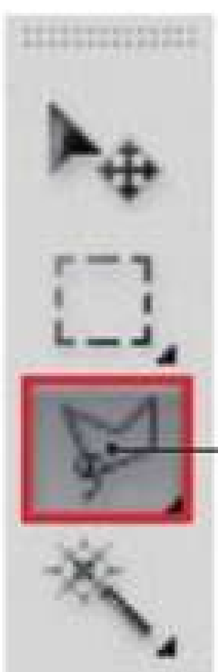
01 ここからパーツごとにレイヤー分けをします。新規レイヤーを作成し、名称を「赤」に変更します。赤系の色をした目やイチゴなどをこのレイヤーに描きます。



②新規レイヤーを作成し、名称を「赤」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 瞳から塗ります。「多角形選択」ツールで瞳を囲みます。



①ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



②瞳の部分を選択しました

03 グラデーションで瞳を塗ります。イチゴをイメージで、ツールパネルの「描画色」にオレンジ、「背景色」に黄緑を設定します。



①「描画色」はオレンジ、「背景色」は黄緑を設定しました

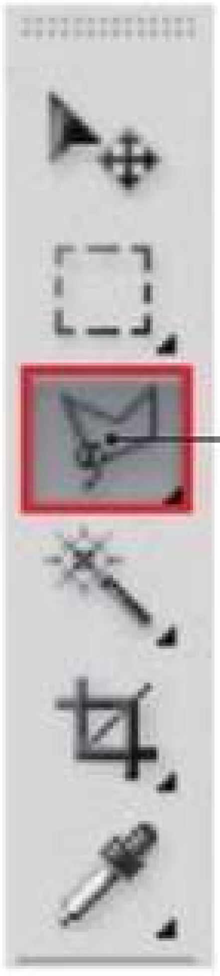


②「グラデーション」ツールを選択しました

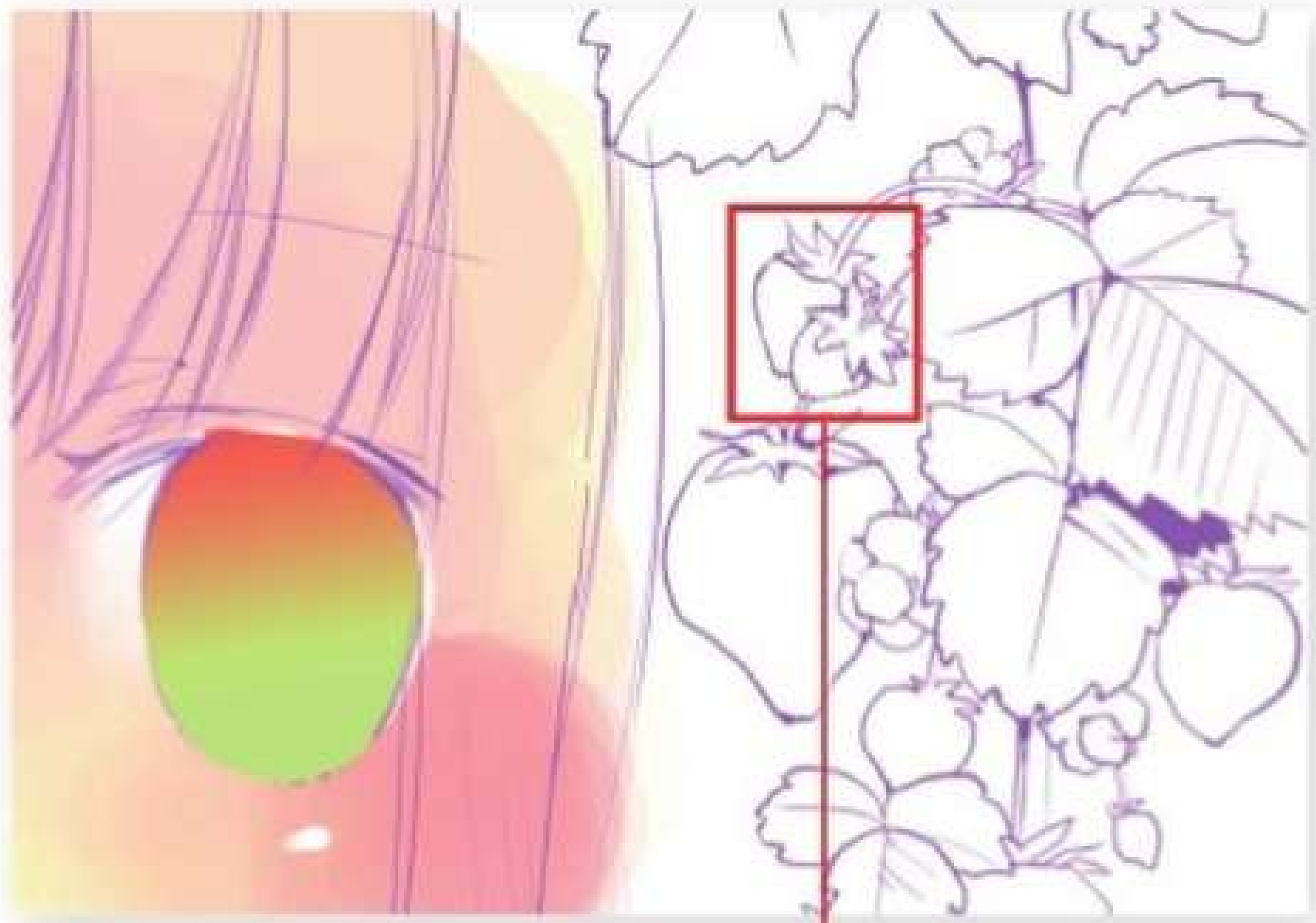


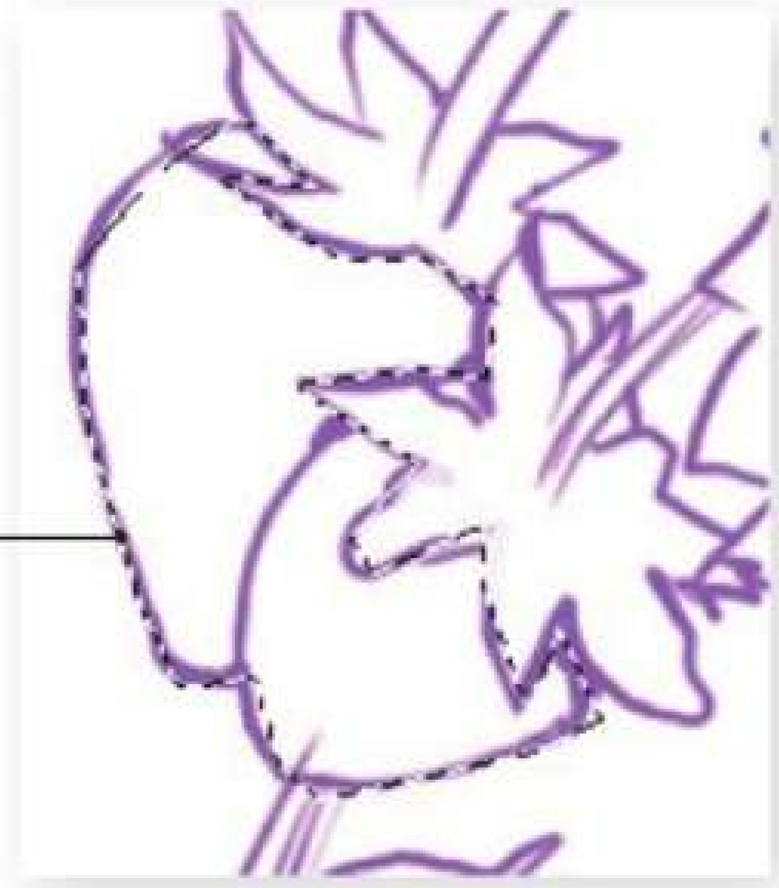
③瞳の部分をオレンジと黄緑のグラデーションで塗りました

04 同じようにイチゴ達もグラデーションで塗ります。まずイチゴを「多角形選択」ツールで囲みます。



①ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました

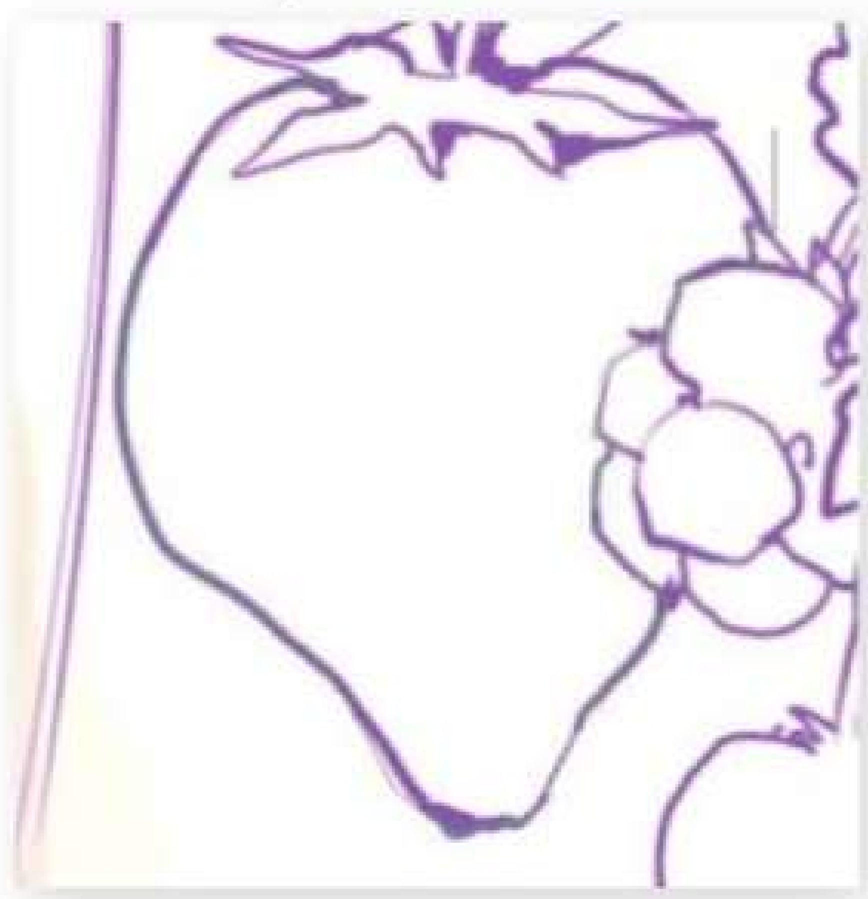




②イチゴを丁寧に「多角形選択」ツールで囲みました

05 続けてShiftキーを押しながら別のイチゴを選択すると、前の選択範囲を維持したまま範囲指定することができます。

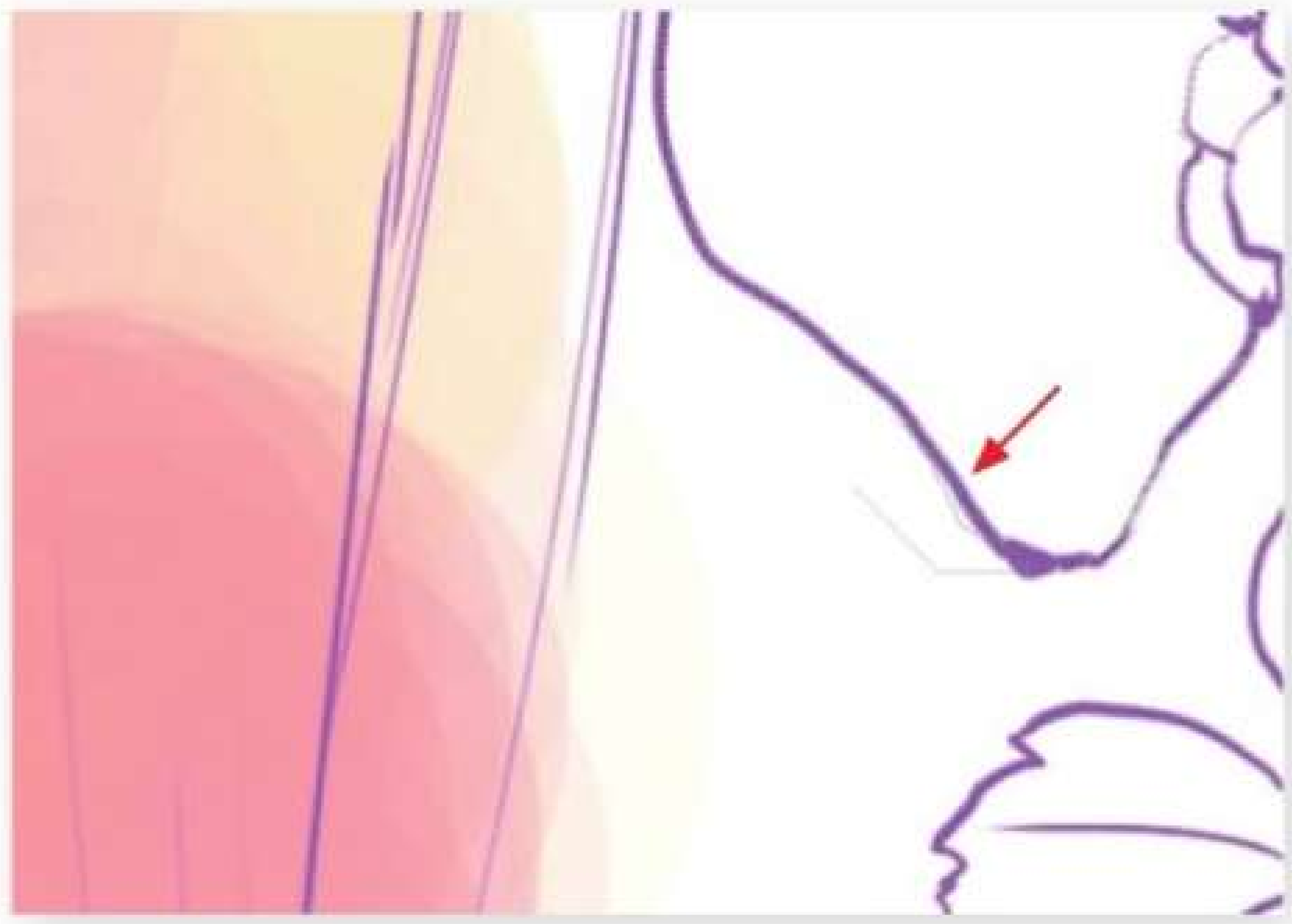




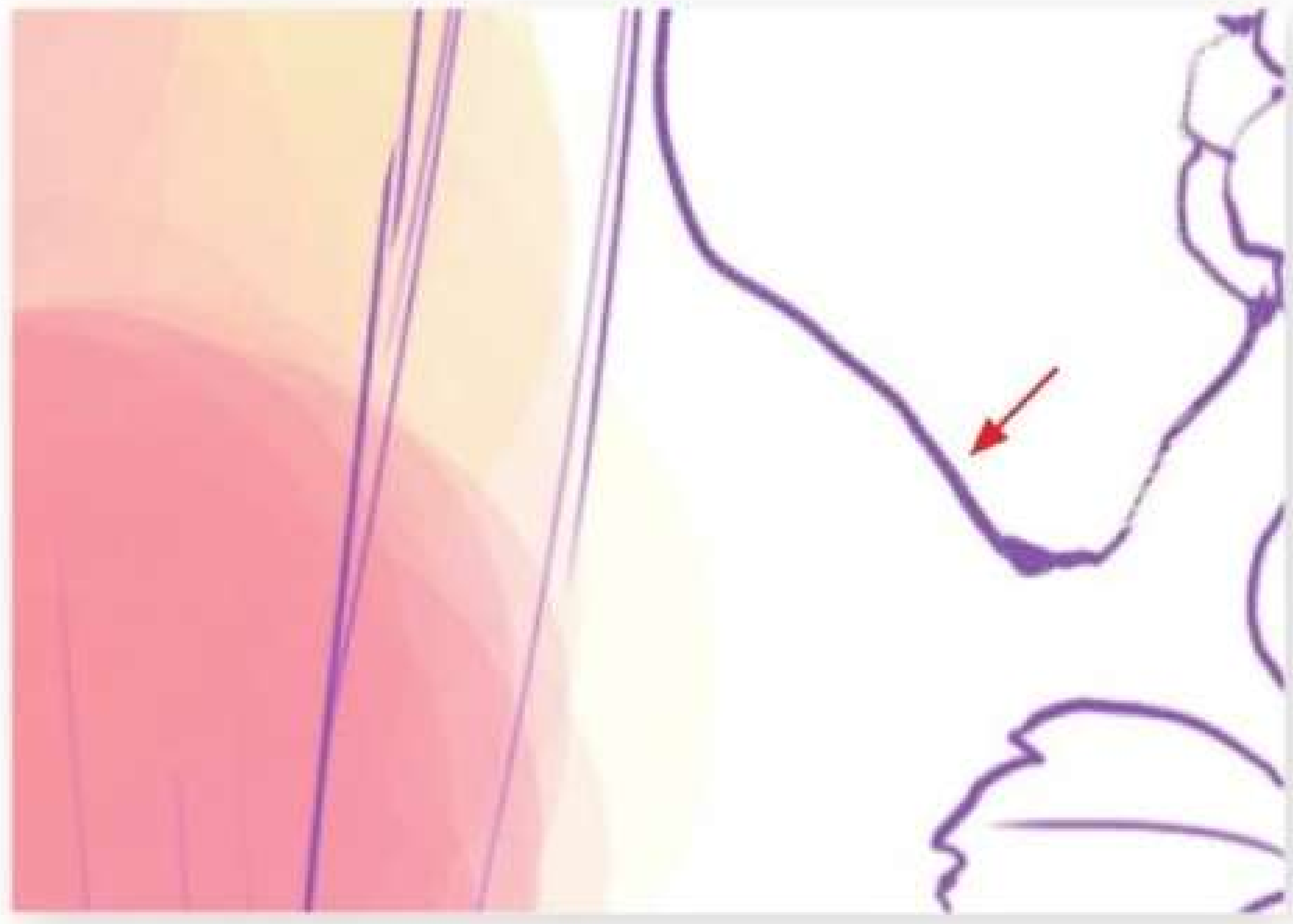
Shiftキーを押しながら別のイチゴを「多角形選択」ツールで囲みました

06

逆に選択範囲の中から部分的に解除したい場合はOptionキー（Mac版）／Altキー（Windows版）を押しながら範囲を囲みます。



①すでに選択した状態からOptionキー（Mac版）／Altキー（Windows版）を押しながら追加で選択しました



②追加して選択した範囲が削除されました

07

イチゴにグラデーションを流しました。グラデーションは何度でもやり直すことができるので、好みの色になるまで何度も繰り返します。



①ツールパネルから「グラデーション」ツールを選択しました



②「描画色」と「背景色」はそのままです



③選択範囲がグラデーションで塗られました

08 別のイチゴも「グラデーション」ツールで選択範囲を塗ります。



①ツールパネルから「線形グラデーション」ツールを選択しました



②「描画色」と「背景色」はそのままです



③選択範囲がグラデーションで塗られました

09 すべてのイチゴを塗りました。



葉をグラデーションで着色

01 新規レイヤーを作成し、名称を「葉」に変更しました。このレイヤーは葉を塗るためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「葉」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 イチゴと同じ要領で葉も塗ります。葉のアウトラインはイチゴよりもデコボコしているので範囲選択を設定するのが困難です。このような場合は、ShiftキーとOptionキー（Mac版）／Altキー（Windows版）を使って範囲の追加、削除を繰り返します。



03 深緑と黄緑のグラデーションを適用します。



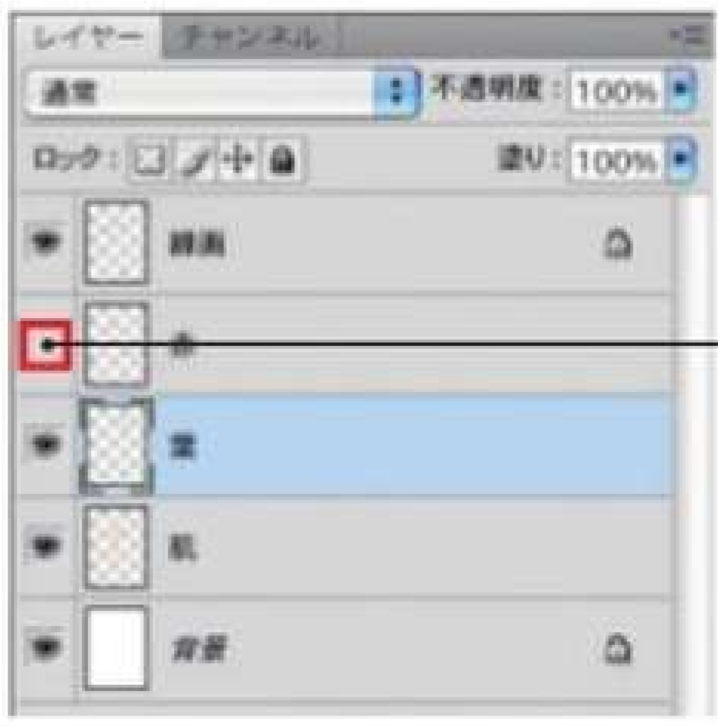
①ツールパネルから「線形グラデーション」ツールを選択しました



②「描画色」は深緑、「背景色」は黄緑を選択しました



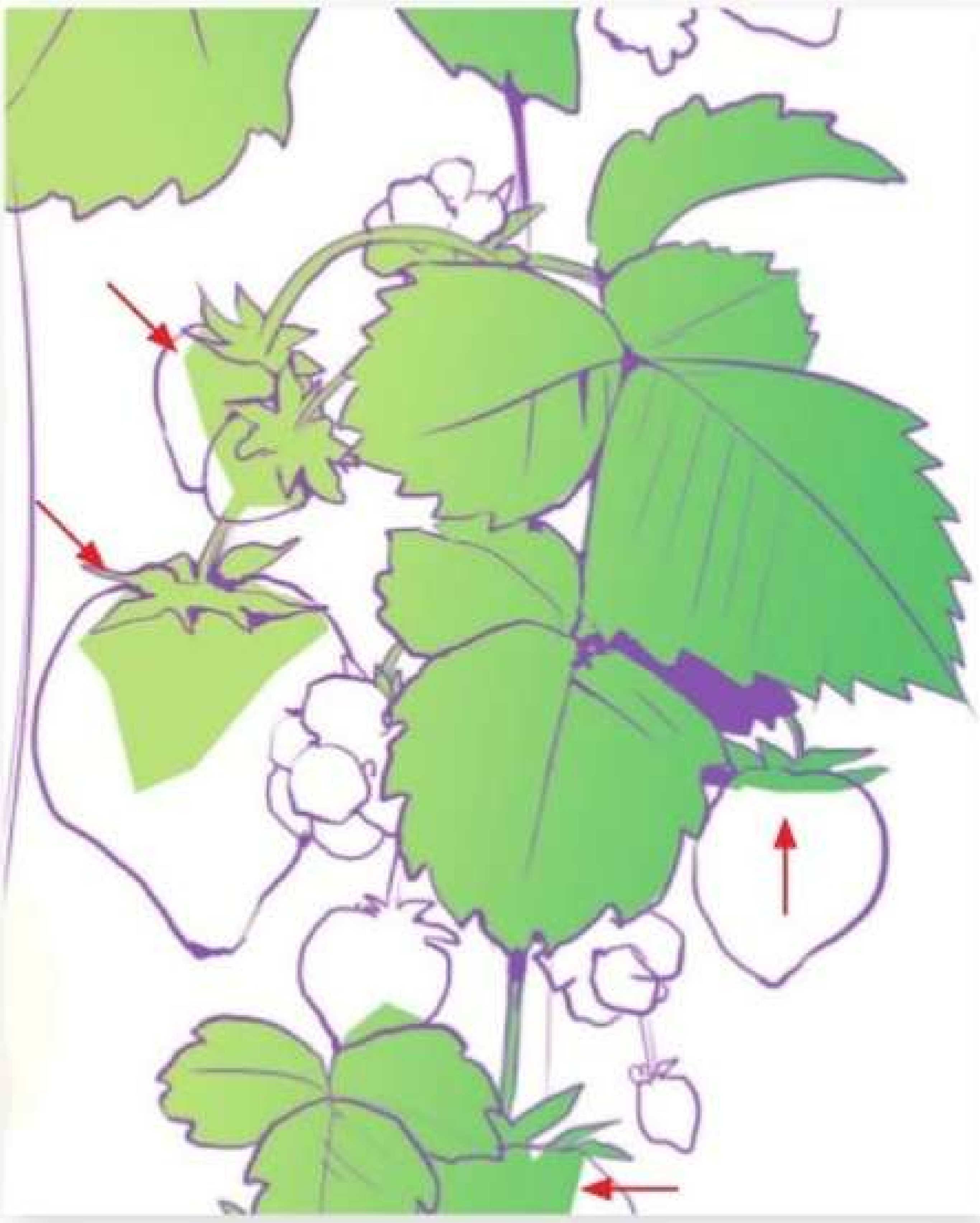
04 「葉」レイヤーははみ出して塗っていますが、「赤」レイヤーが上にあるので問題ありません。



①「赤」レイヤーの「レイヤーの表示を切り替え」を非表示にしました

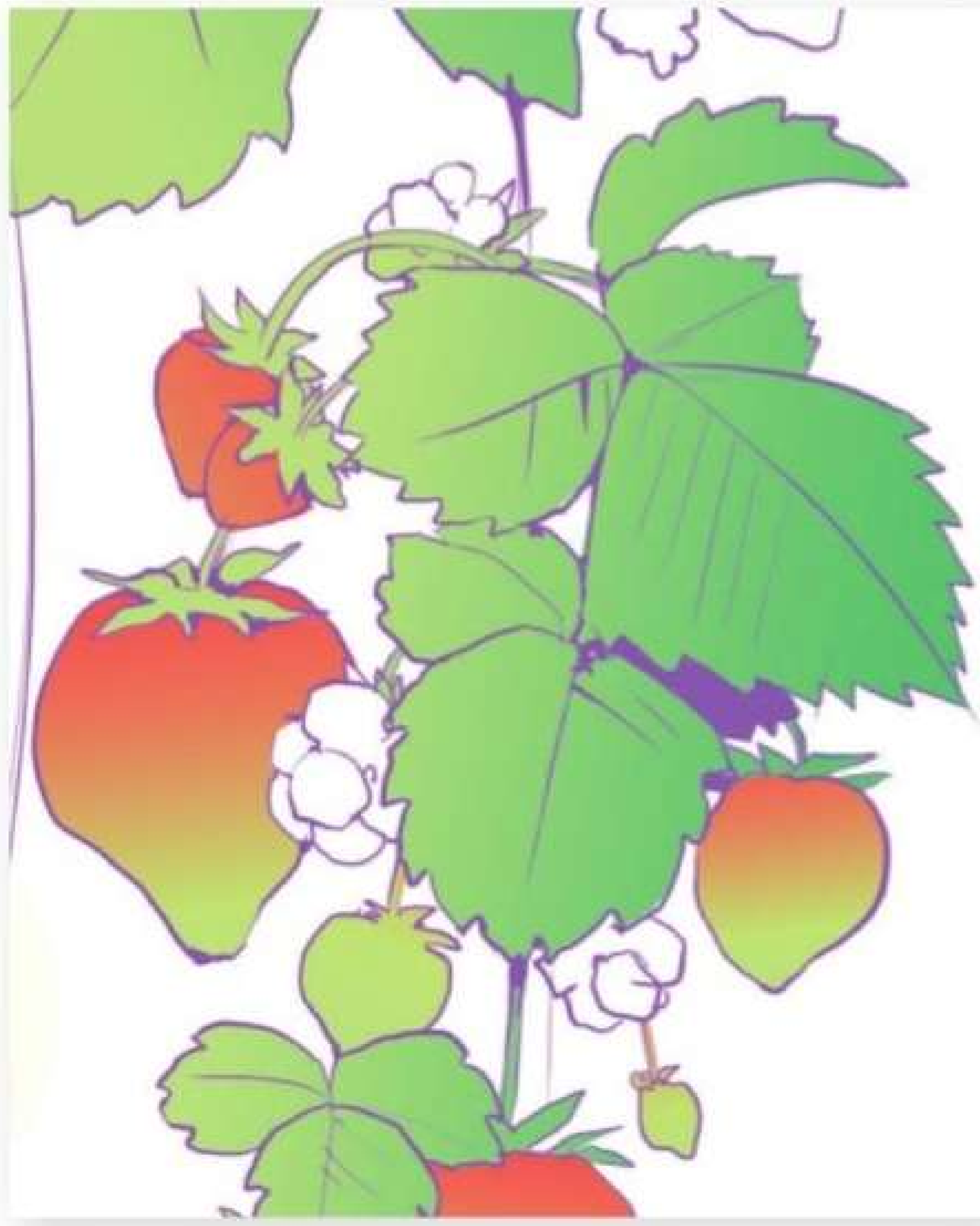


③「赤」レイヤーの「レイヤーの表示を切り替え」を表示にしました



②「赤」レイヤーを「レイヤーの表示を切り替え」で非表示にした状態。「葉」レイヤーは「赤」レイヤーの下にはみ出すように塗りました

→

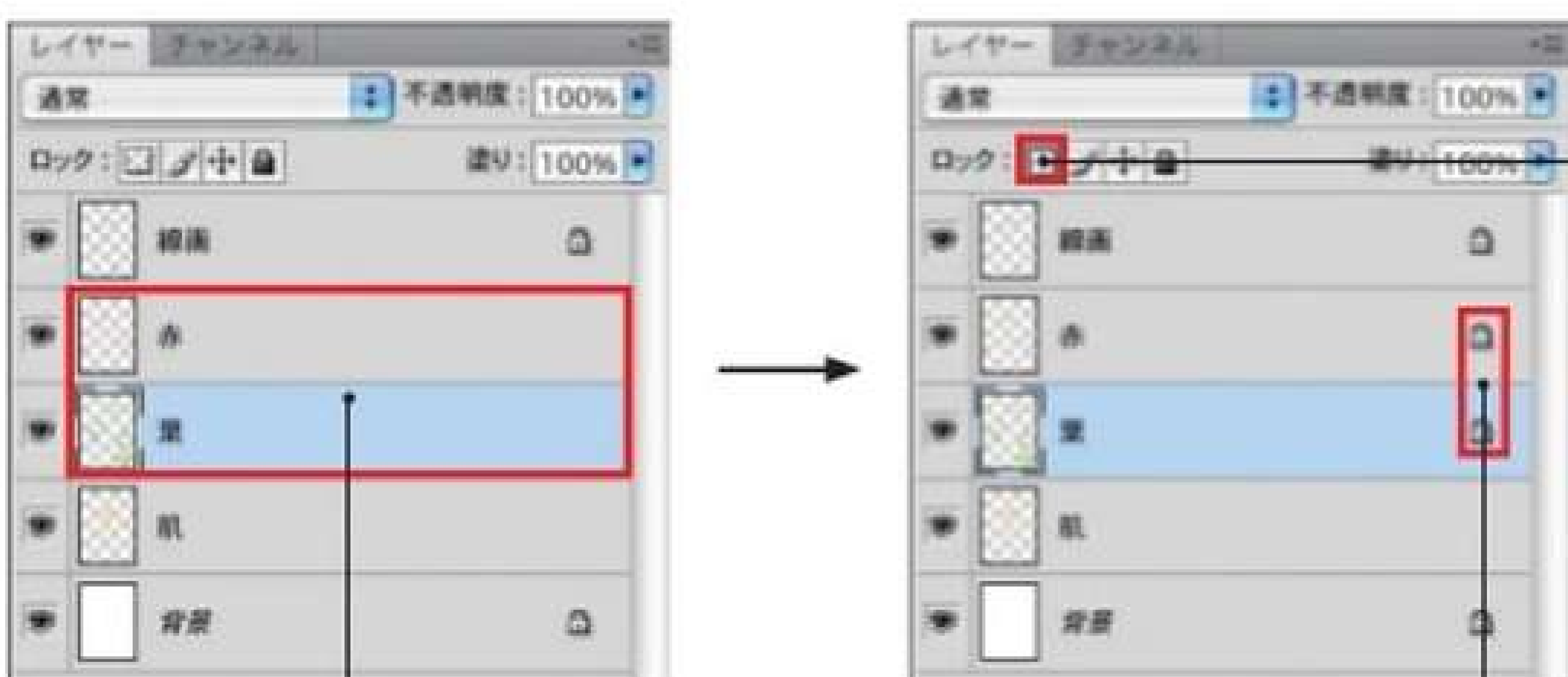


④すべてのレイヤーを表示すると、はみ出して塗っていることは分かりません

05 葉を塗り終わりました。



06 ここで「透明ピクセルをロック」でレイヤーの透明部分をロックします。



②「透明ピクセルをロック」をオンにしました

①「赤」レイヤーと「葉」レイヤーをそれぞれ選択しました

③「赤」レイヤーと「葉」レイヤーの透明ピクセルをロックしました

髪の着色

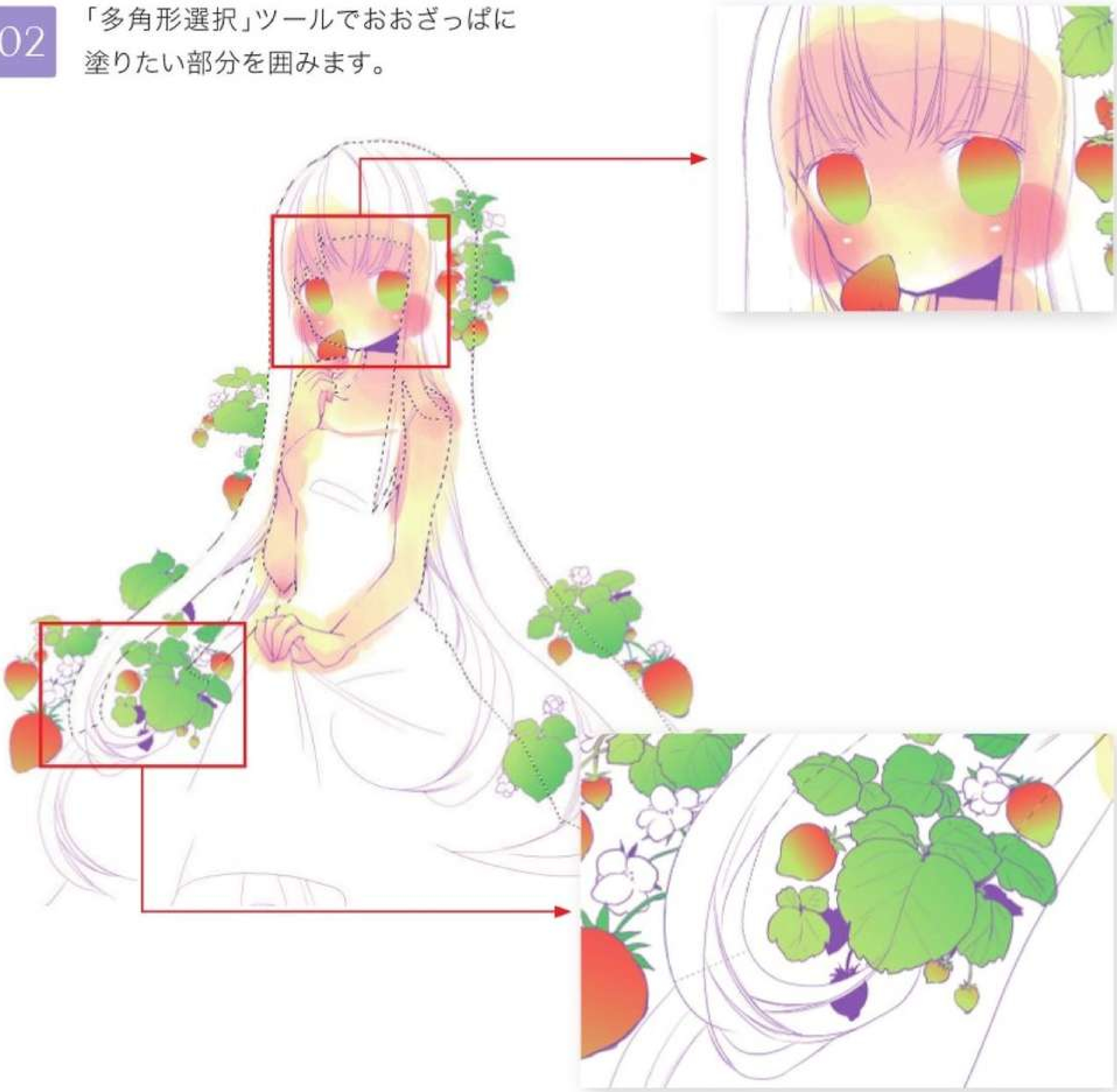
01 新規レイヤーを作成し、名称を「髪」に変更します。このレイヤーは髪を塗るためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「髪」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 「多角形選択」ツールでおおざっぱに塗りたい部分を囲みます。



03 ツールパネルの一番下にある「クイックマスクモードで編集」ボタンをクリックします。選択している選択範囲が赤い半透明のカラーオーバーレイで表示されました。



①ツールパネルの一番下にある「クイックマスクモードで編集」を選択しました



②選択範囲が赤いオーバーレイになりました

TECHNIQUE

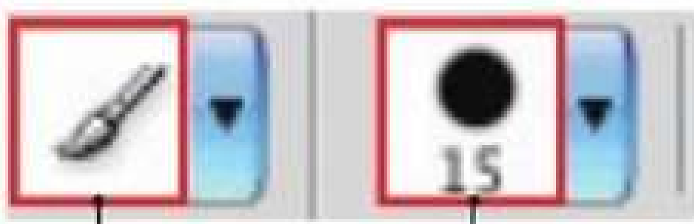
ブラシで選択範囲を指定する「クイックマスク」

通常の選択範囲は「多角形選択」ツールなどを使って設定しますが、「クイックマスクモードで編集」をオンにすると「ブラシ」ツールなどの描画を選択範囲とすることができます。選択範囲を削除するにはカラーオーバーレイを白で塗り、選択範囲を増やすにはカラーオーバーレイを黒で塗ります。



04 「クイックマスクモードで編集」を選択すると、カラーオーバーレイを編集できる状態になります。「ブラシ」ツールで細かい部分を描写して、選択範囲を設定します。





①「ブラシ」を選択

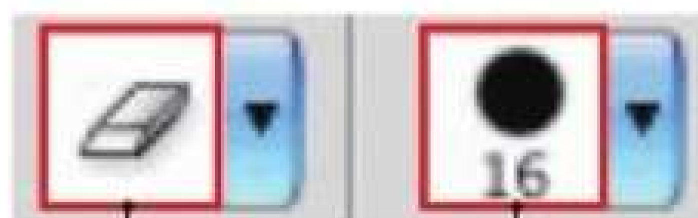
②「ハード円ブラシ」とサイズは「15」を選択

③「描画色」は黒を選択しました



④前髪の細かいカラーオーバーレイをブラシで描きました

05 カラーオーバーレイは「消しゴム」ツールで消すこともできます。

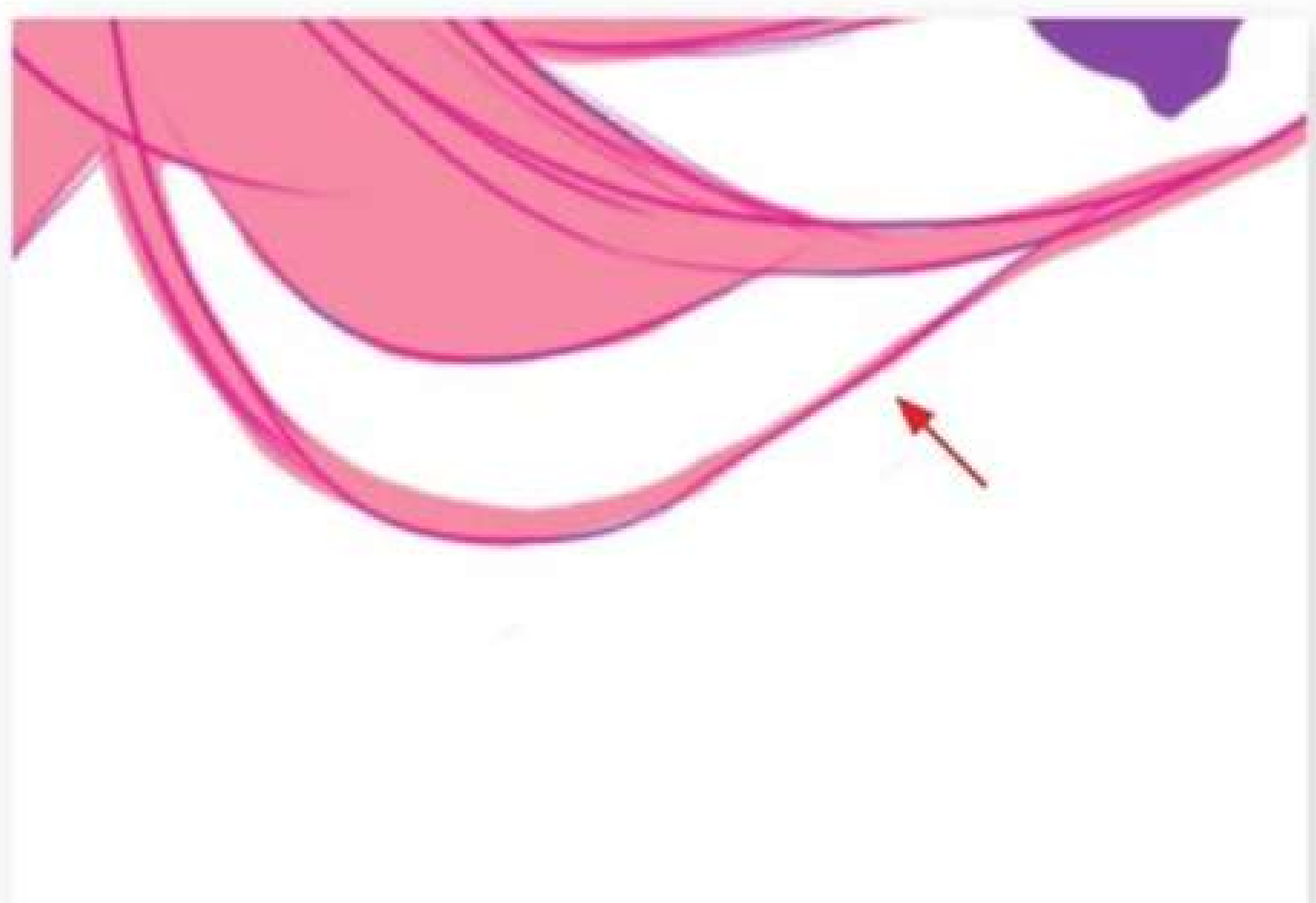


①「消しゴム」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「16」を選択

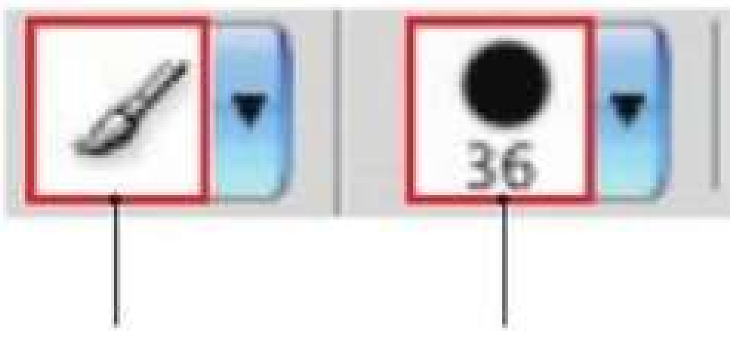


→



③「消しゴム」ツールでカラーオーバーレイを削除しました

06 毛束などブラシで描き込みます。

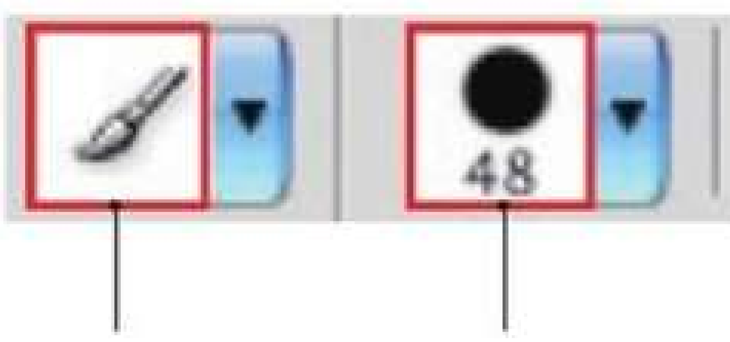


①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「36」を選択



③「ブラシ」ツールで毛束を描き込みました

07 細い毛先を増やします。



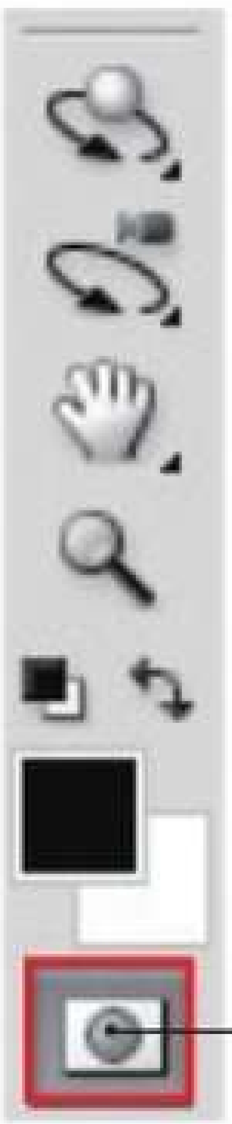
①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「48」を選択



③「ブラシ」ツールで毛先を描き込みました

08

ツールパネルの「クイックマスクモードで編集」ボタンを選択して、クイックマスクモードを解除します。先ほど「ブラシ」ツールで描いた毛先までしっかりと範囲選択に変換されました。



①ツールパネルの一番下にある「クイックマスクモードで編集」を選択しました



②カラーオーバーレイが選択範囲に変更されました

09

ツールパネルから「グラデーション」ツールを選択し、「描画色」と「背景色」を設定します。



①ツールパネルから「グラデーション」ツールを選択しました

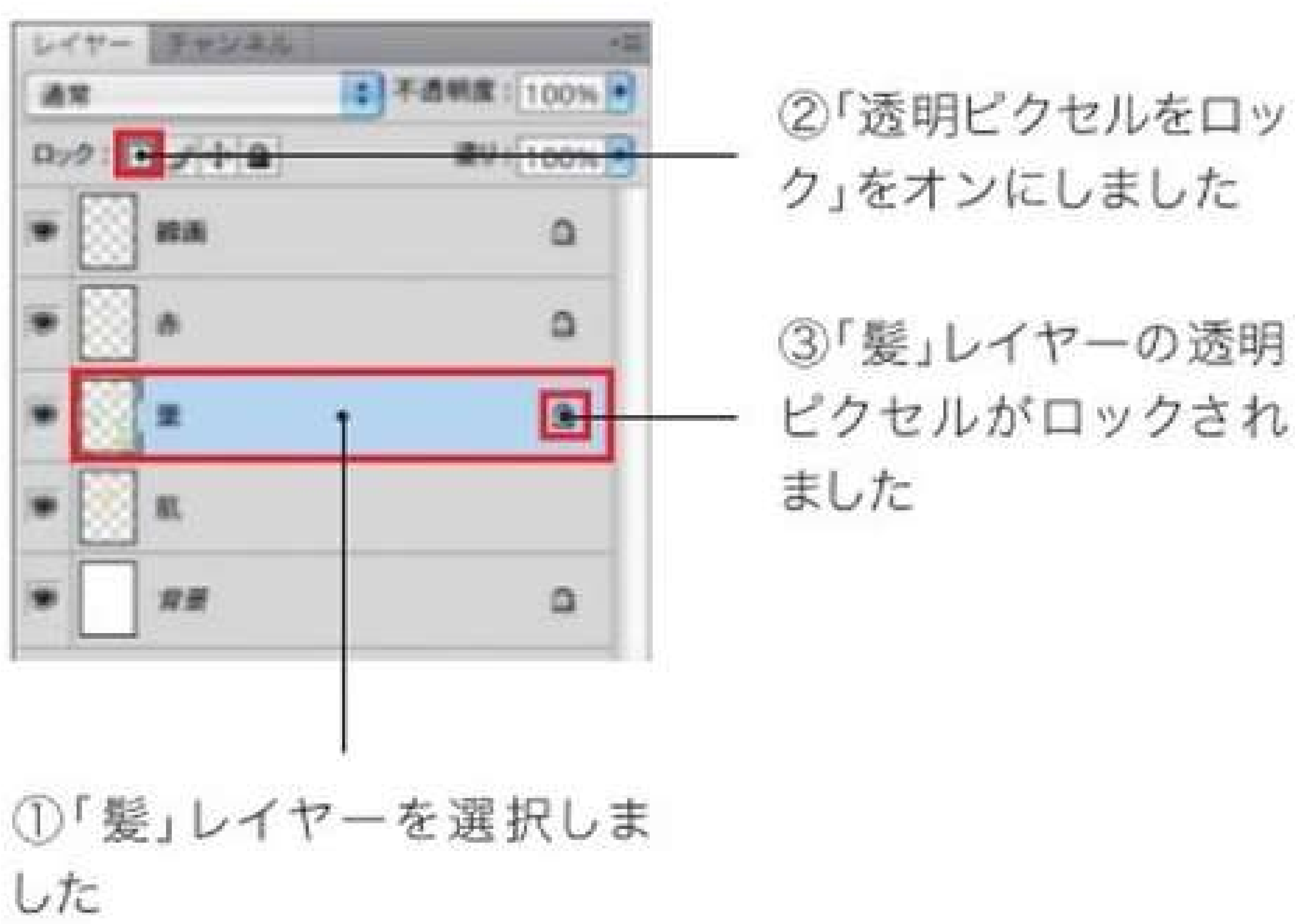


②「描画色」は肌色、「背景色」は明るい紫を選択しました

10 「線形グラデーション」ツールで塗りました。



11 ここで「透明ピクセルをロック」でレイヤーの透明部分をロックします。これで髪の着色は完了です。



服の着色

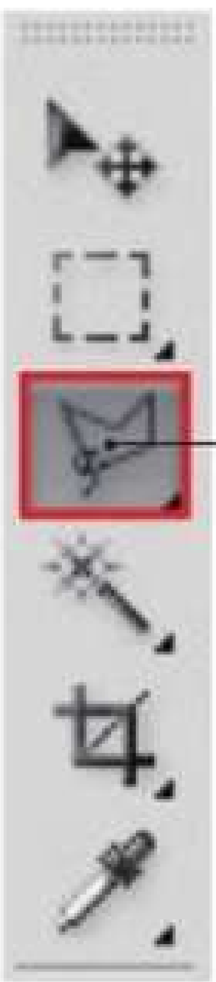
01 「肌」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「服1」にしました。このレイヤーは服全体を塗るためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「服1」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 「多角形選択」ツールでおおざっぱに服を選択します。

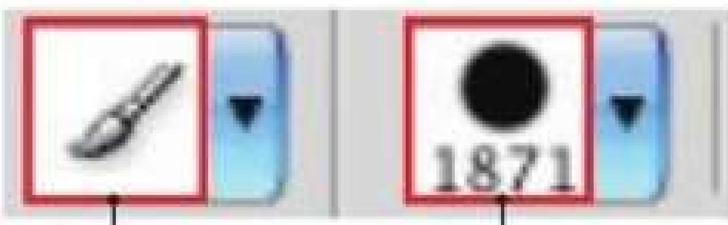


①ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



②服の形に選択範囲を設定しました

03 「ブラシ」ツールで塗りつぶします。



①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「1871」を選択



③「描画色」は明るい紫を選択しました



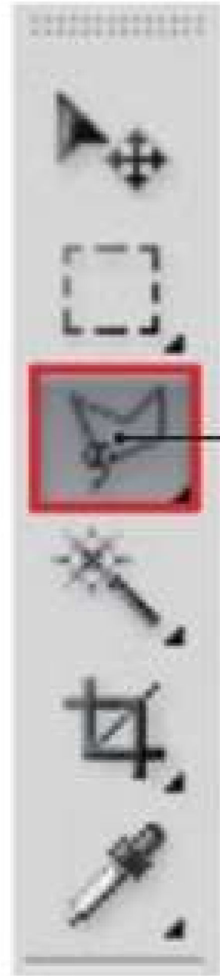
④選択範囲を明るい紫で塗りつぶしました

04 「肌」レイヤーの上に、新規レイヤー「服2」を作成します。このレイヤーはスカートの裾を塗るためのものです。「多角形選択」ツールで下に見えるスカートの裾を選択します。

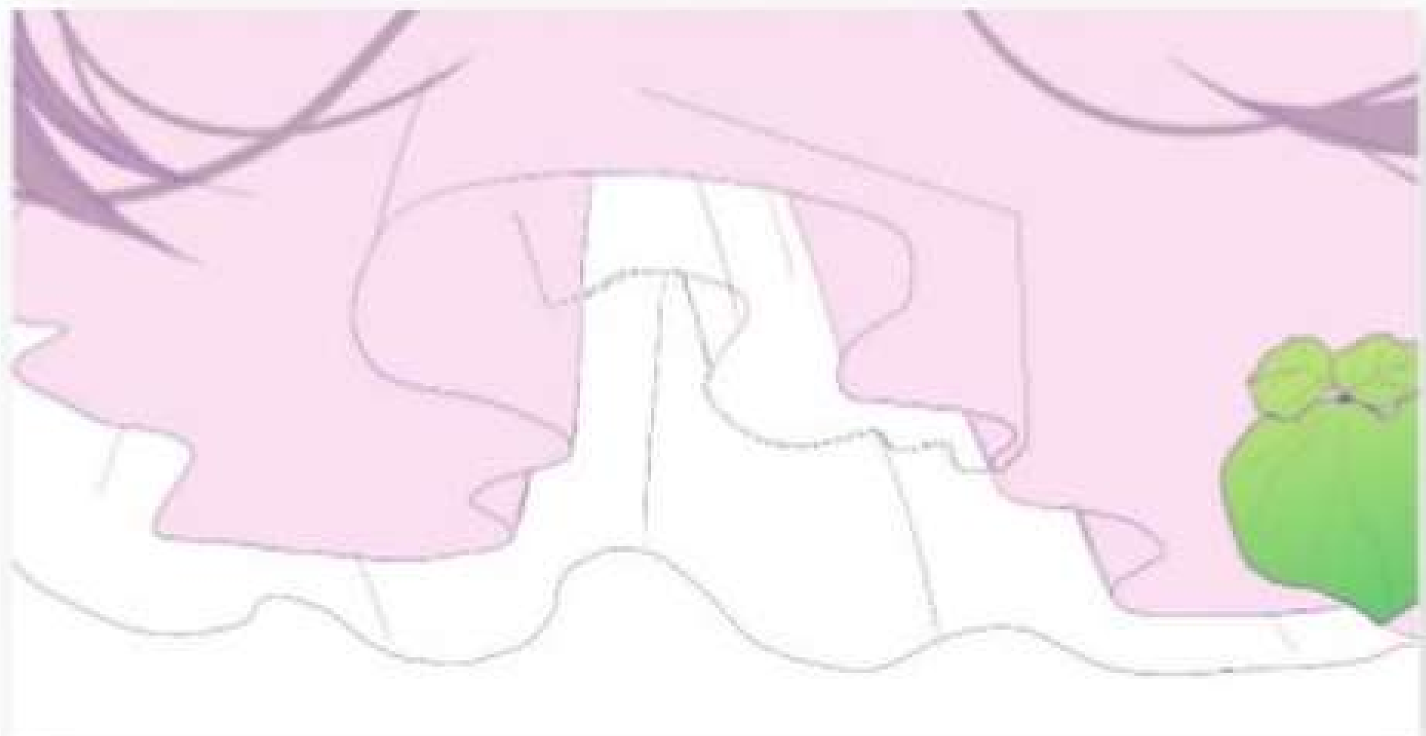


②新規レイヤーを作成し、名称を「服2」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



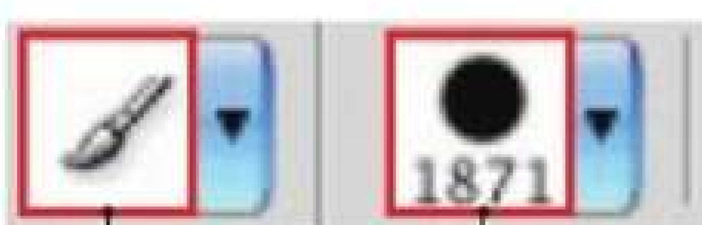
③ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



④スカートの裾を選択しました

05 「ブラシ」ツールで裾を塗りつぶします。

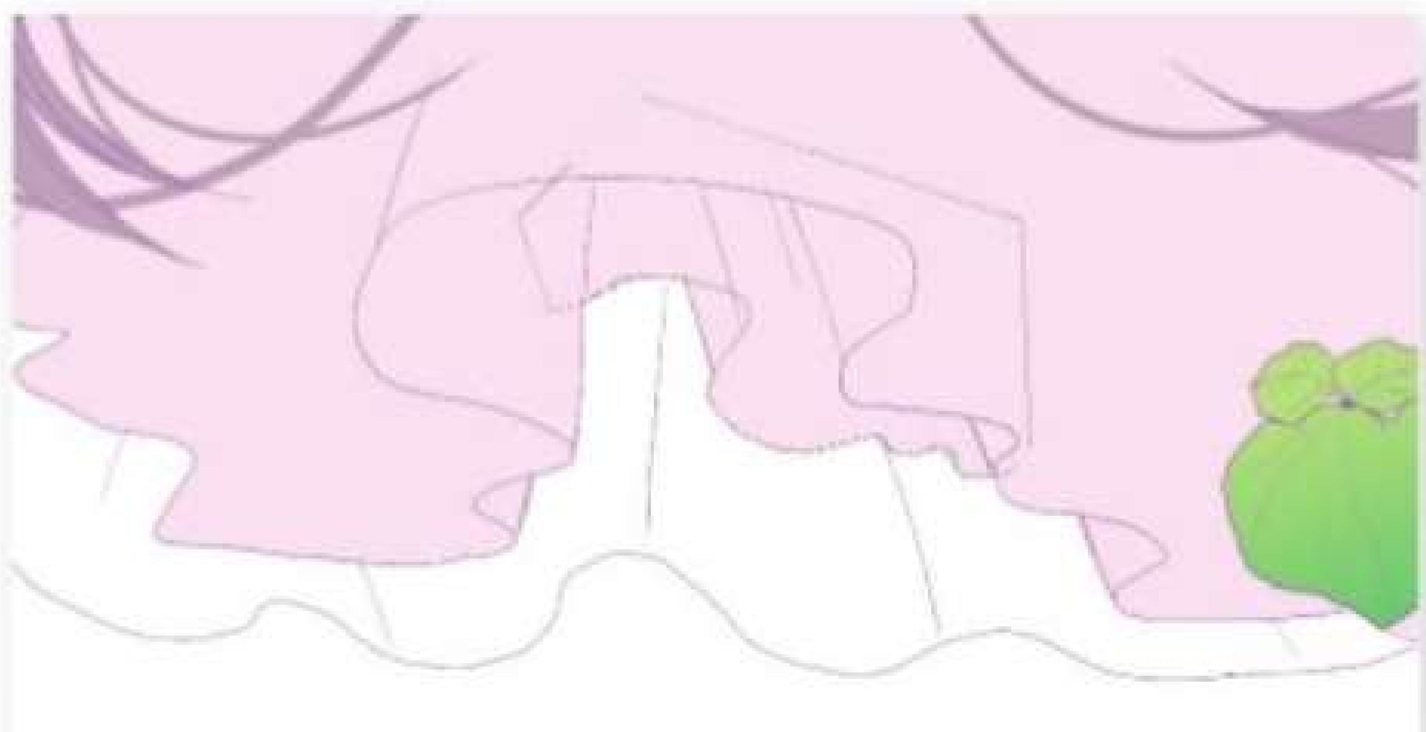




①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「1871」を選択

③「描画色」は明るい紫を選択しました



④「ブラシ」ツールで選択範囲を塗りつぶしました

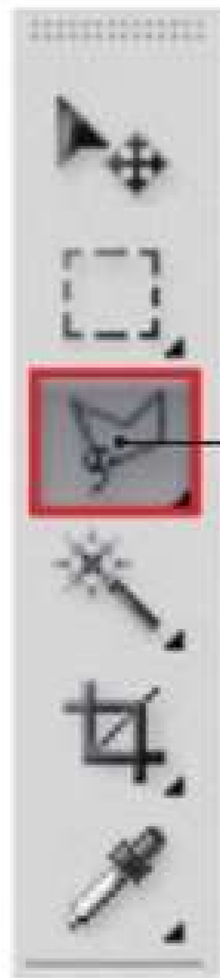
06

新規レイヤーを作成し、名称を「服3」に変更します。このレイヤーはスカートの奥の裾を塗るためのものです。多角形選択ツールで一番奥のスカートの裾を選択します。



②新規レイヤーを作成し、名称を「服3」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



③ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



④スカートの裾を選択しました

07 「ブラシ」ツールで一番下のスカートの裾も塗りつぶします。





①「ブラシ」を選択

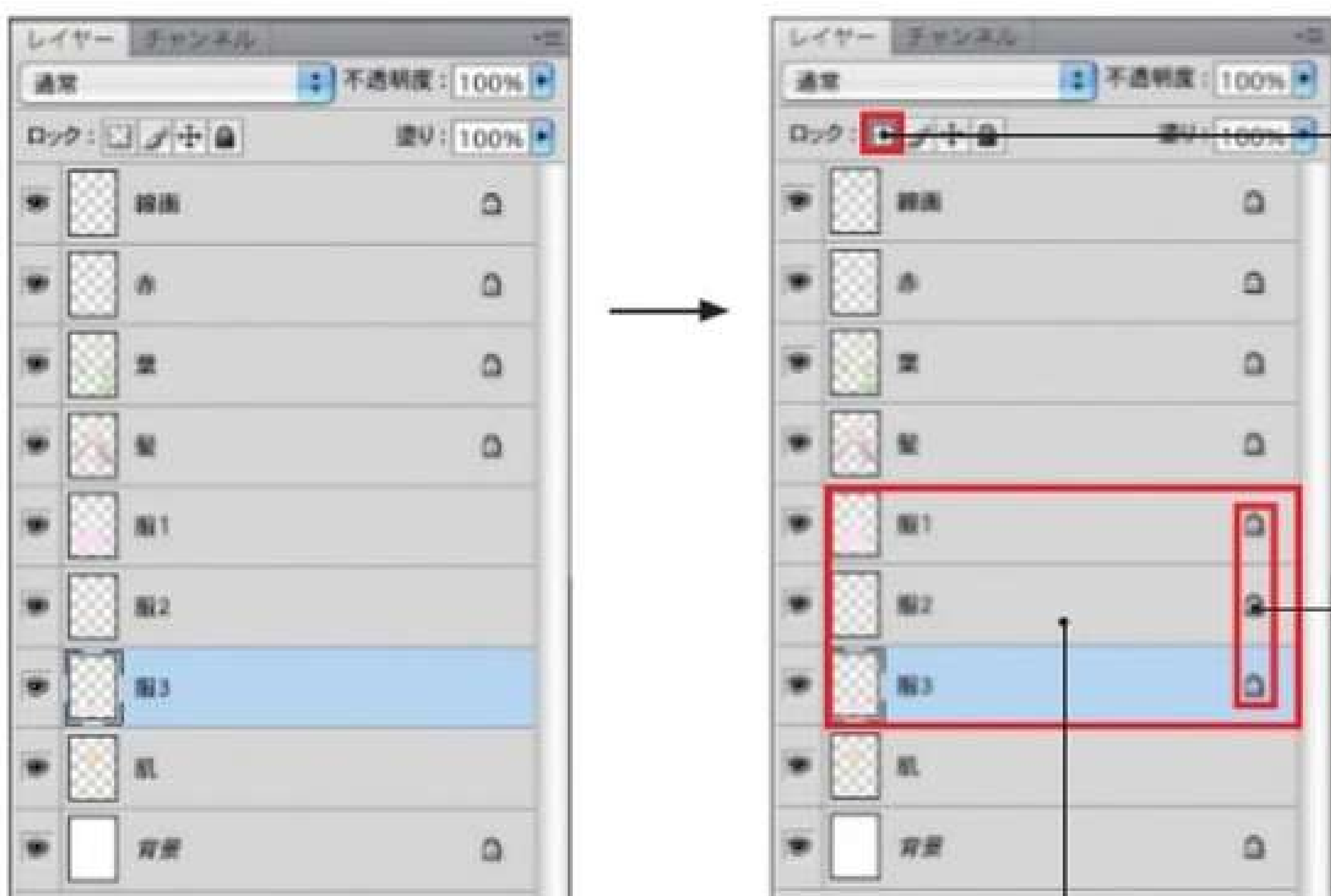
②「ハード円ブラシ」とサイズは「1871」を選択

③「描画色」は明るい紫を選択しました



④選択範囲を「ブラシ」ツールで塗りました

08 「透明ピクセルをロック」でレイヤーの透明部分をロックします。これでパーツ分けの終了です。



②「透明ピクセルをロック」をオンにしました

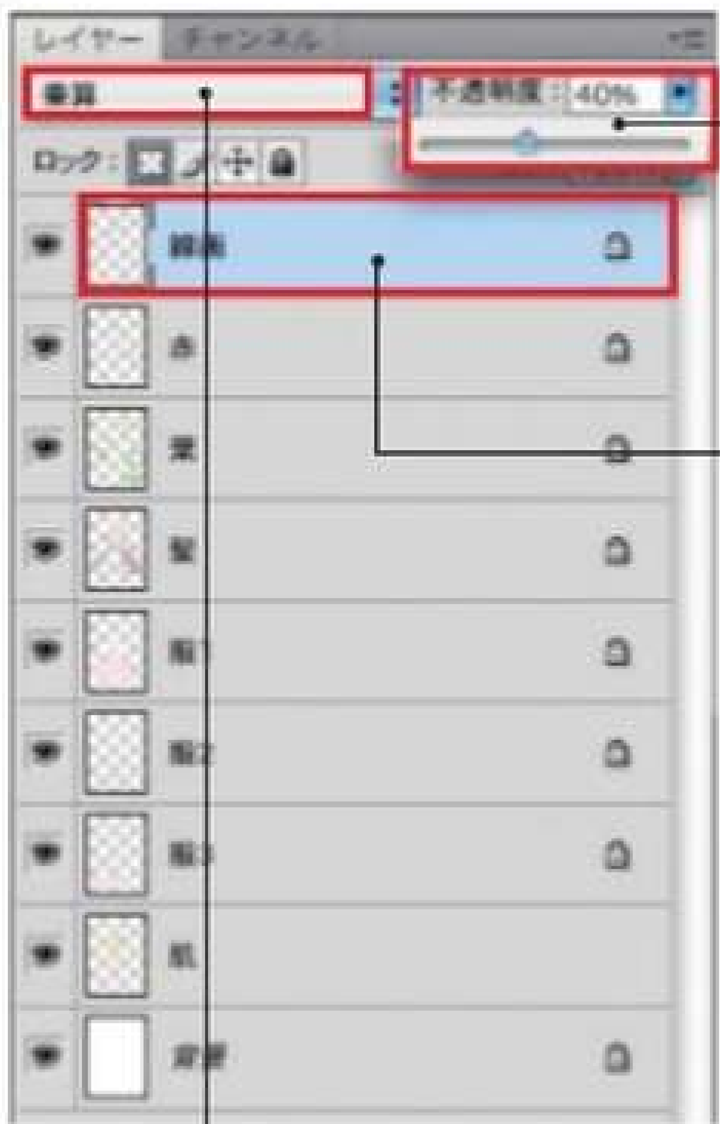
③「服1」レイヤー、「服2」レイヤー、「服3」レイヤーの透明ピクセルがロックされました

①「服1」レイヤー、「服2」レイヤー、「服3」レイヤーを選択しました

顔の色の調節

01

「線画」レイヤーの描画モードを「乗算」にして、「不透明度」を40%まで下げました。



②不透明度を「40%」に設定しました

①「線画」レイヤーを選択しました

③描画モードは「乗算」を選択しました



④「線画」レイヤーが薄くなりました

TECHNIQUE

マーカーペンのような描画の「乗算」

「線画」レイヤーを一番上に配置している限り線画はどんな描画にも邪魔されずくっきりと表示されますが、最終的にこの状態では不自然です。このような場合は、レイヤー間の色を掛け合わせる「描画」モードを使います。「乗算」はマーカーペンで描いたように下が透けて見える効果が得られる機能で、線画と塗りを掛け合わせる場合に最適です。



描画モードが「通常」の場合



描画モードが「乗算」の場合

※効果が分かりやすいように線画の不透明度は100%に設定しました

02

肌の色が少し濃いと思ったので、調節します。「肌」レイヤーの上に新規にレイヤーを作成し、描画モードを「スクリーン」に設定します。



③描画モードは「スクリーン」に設定しました

②新規レイヤーを作成し、名称を「スクリーン」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

TECHNIQUE

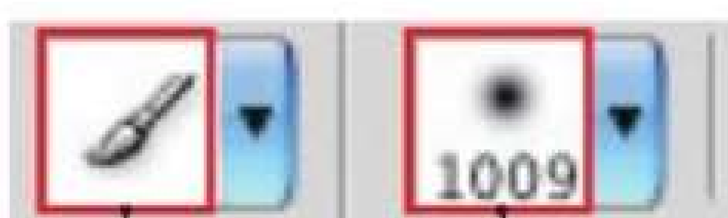
合成結果を明るくする「スクリーン」

乗算モードの「スクリーン」は、掛け合わせた色の結果が必ず明るくなる機能です。塗りを若干明るくしたい場合に使用するとよいでしょう。

03

明るい紫色を「ソフト円ブラシ」で塗り、肌の赤みの部分を白っぽくします。





①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「1009」を選択

③「描画色」は明るい紫を選択しました

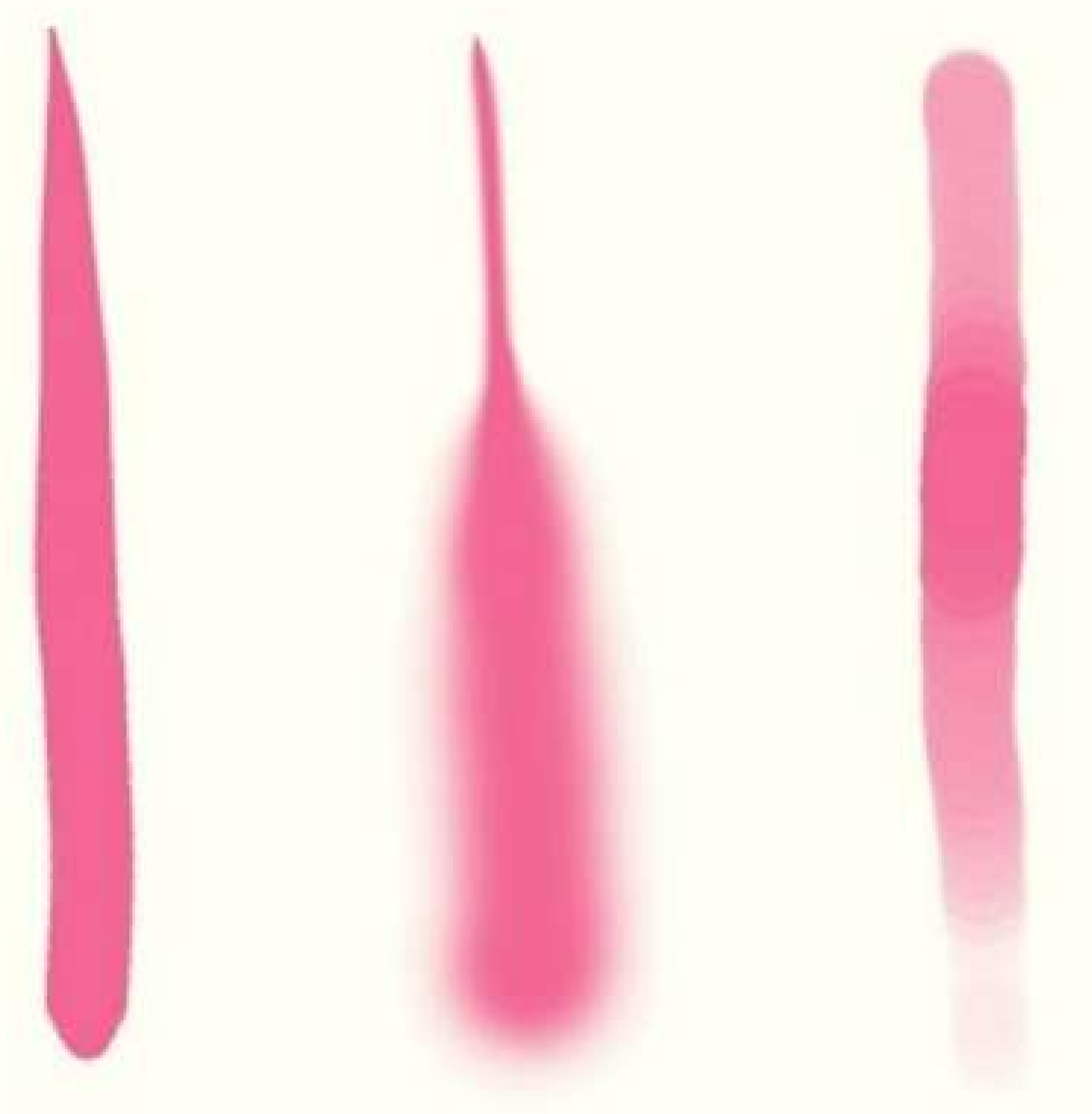


④「ソフト円ブラシ」で着色しました

TECHNIQUE

使うブラシは3種類

本誌の工程で使用するブラシプリセットは「エアブラシペン（不透明）」と「ハード円ブラシ」、「ソフト円ブラシ」の3種類のみです。「エアブラシペン（不透明）」は筆圧によって描画色の濃さが変化するブラシです。「ハード円ブラシ」はふちのはっきりとしたブラシです。「ソフト円ブラシ」はふちのふんわりとしたブラシです。



ハード円ブラシ　ソフト円ブラシ　エアブラシペン（不透明）

04 「スクリーン」レイヤーの不透明度を下げて、白味を少し押さえます。



②不透明度を「35％」に設定しました

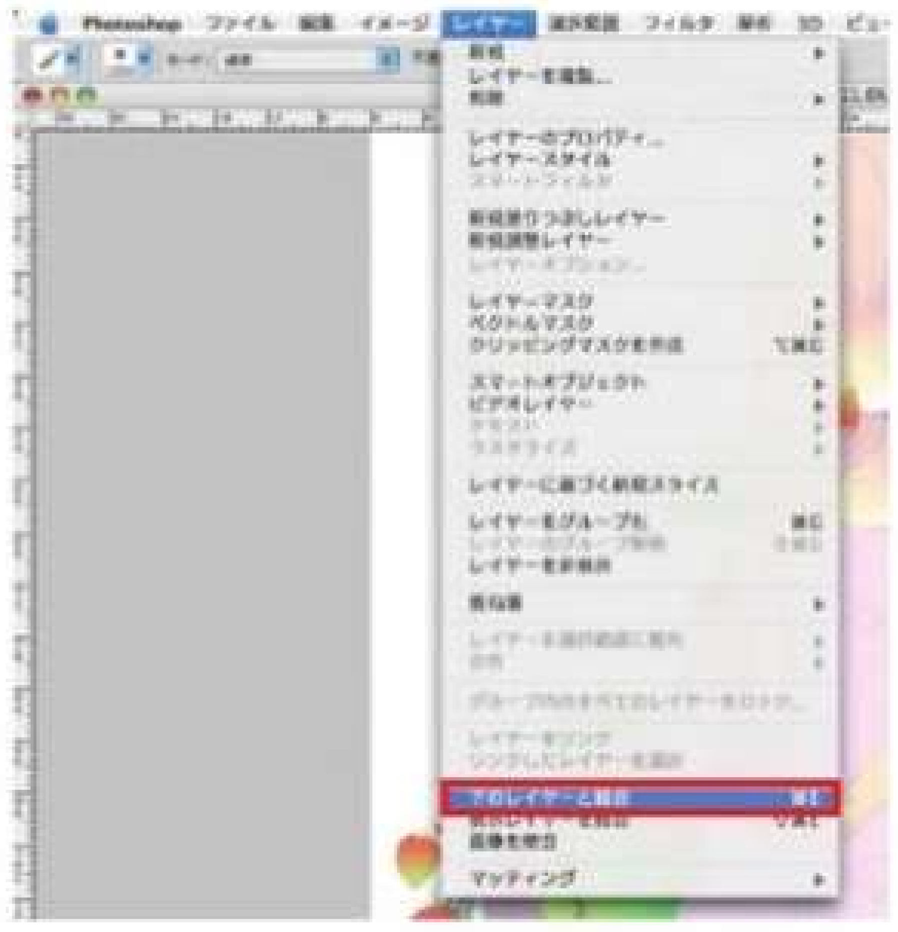
①「スクリーン」レイヤーを選択していることを確認します



05 「スクリーン」レイヤーと「肌」レイヤーを統合します。



①「スクリーン」レイヤーを選択していることを確認します



②メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーと結合」を選択しました



③「スクリーン」レイヤーが「肌」レイヤーに統合されました

06 全体的に色が薄くなったので、「ブラシ」ツールの描画モードを「乗算」にしてほほに「ソフト円ブラシ」でピンクを乗せました。



①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「300」を選択

③モードは「乗算」を選択



④「描画色」はピンクを選択しました



髪の色の調節

01 「髪」レイヤーの色を調節します。レイヤーを選択した状態でクリック→「レイヤーを複製」で「髪」レイヤーを複製します。複製した「髪」レイヤーを掛け合わせて、色に深みを出します。

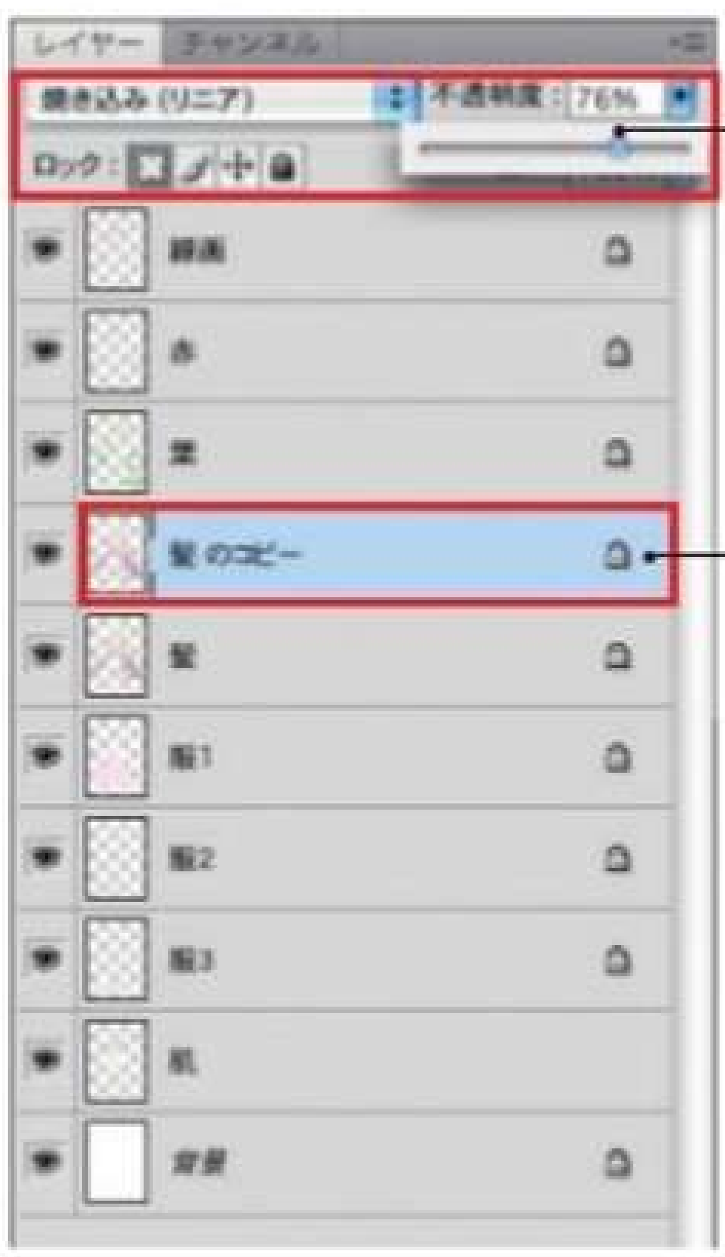


①「髪」レイヤーをクリックしました



②「レイヤーを複製」を選択して「髪のコピー」レイヤーが複製されました

02 描画モードは「焼きこみ（リニア）」を選択します。



②描画モードは「焼き込み（リニア）」を選択し、不透明度を「76%」に設定しました

①「髪のコピー」を選択していることを確認します

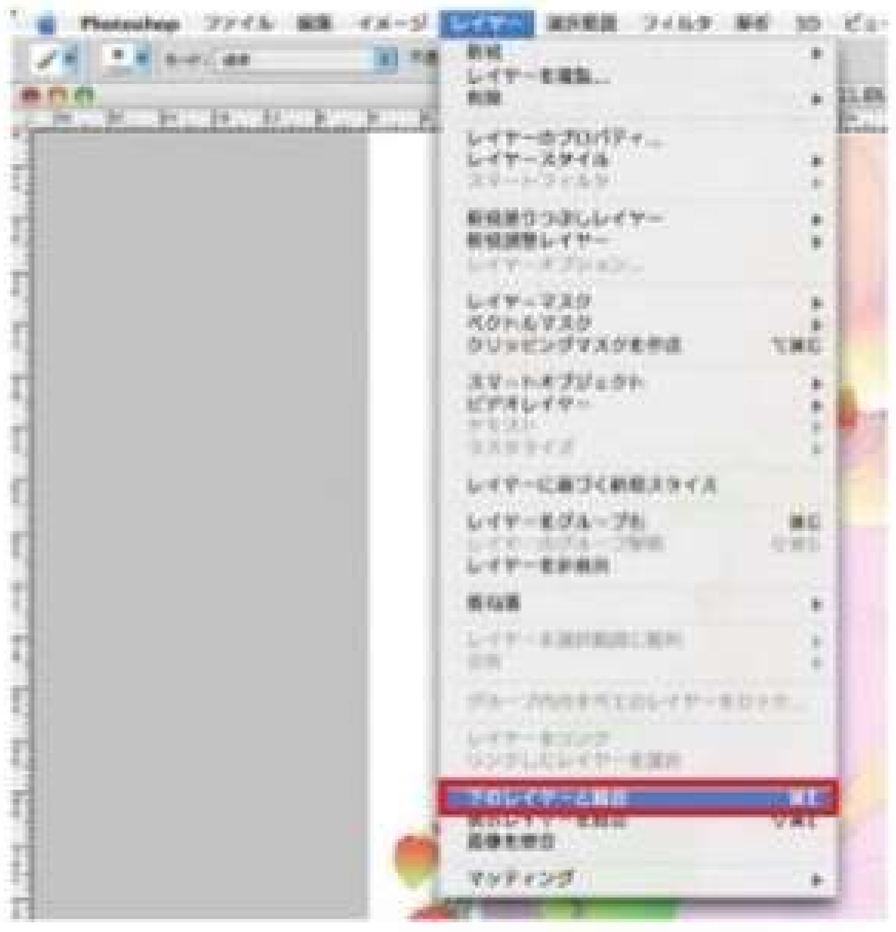


③髪が濃い色に変更されました

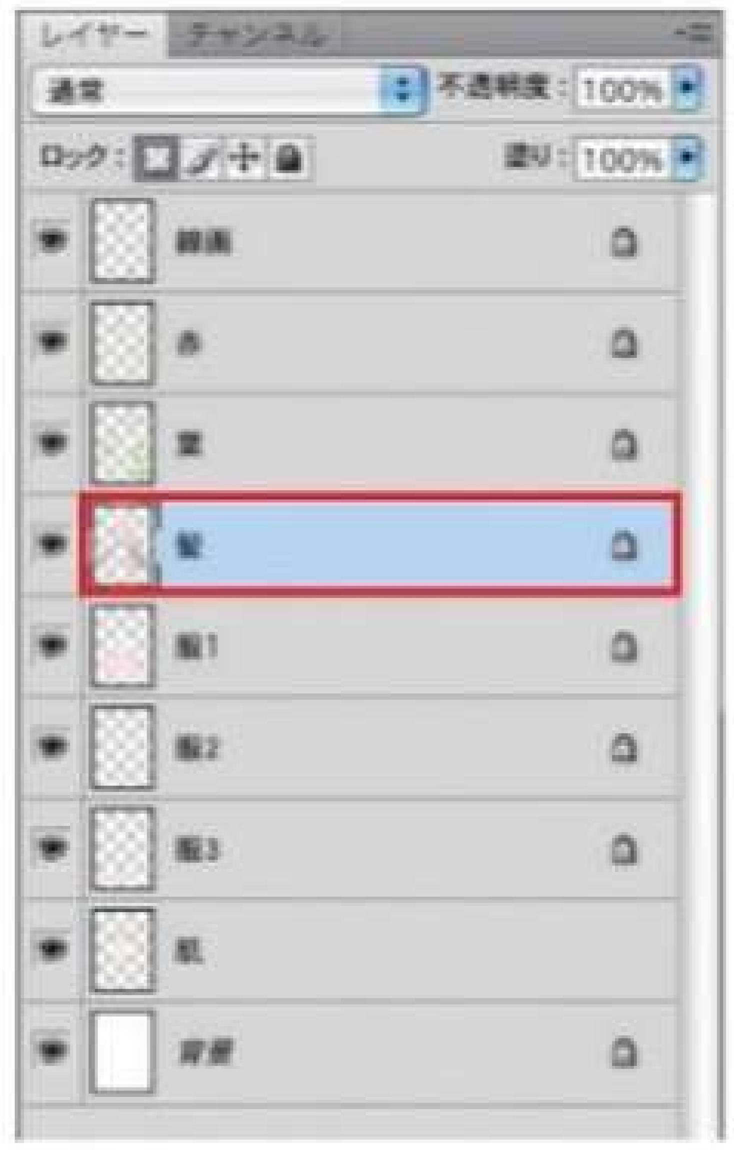
03 「髪のコピー」レイヤーと「髪」レイヤーを統合します。



①「髪のコピー」レイヤーを選択していることを確認します



②メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーと統合」を選択しました



③「髪のコピー」レイヤーが「髪」レイヤーと結合されました

04 メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で服の色を変えます。



①変更前の状態です



②「色相・彩度」の「色相」を「-180」、「彩度」を「0」、「明度」を「+46」に設定しました



③服の色が明るい青系に変更されました

05 「服2」レイヤーを選択して、メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で服の色を変更します。



①「色相・彩度」の「色相」を「-116」、「彩度」を「0」、「明度」を「0」に設定しました



②裾が若干暗い青系に変更されました

06 「服3」レイヤーを選択して、メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で服の色を変更します。



①「色相・彩度」の「色相」を「-78」、「彩度」を「0」、「明度」を「0」に設定しました



②一番奥の裾が更に暗い青系に変更されました

07 再び髪の色を調整します。新規レイヤーを作成し、名称を「オーバーレイ」としました。「オーバーレイ」レイヤーを選択した状態で、クリック→「クリッピングマスク」でマスクを作成します。クリッピングマスクを作成すると下のレイヤーの描画してある部分にのみ色が乗ります。



①「髪」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「オーバーレイ」に変更しました



②「クリッピング」を設定します。レイヤーのアイコンが右にずれました

08 服に薄いクリーム色をランダムに入れます。「描画」モードを「オーバーレイ」に設定し、不透明度も下げます。



①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「2186」を選択

③モードは「乗算」を選択



⑤不透明度を「51%」に設定しました

④描画モードは「オーバーレイ」を選択しました



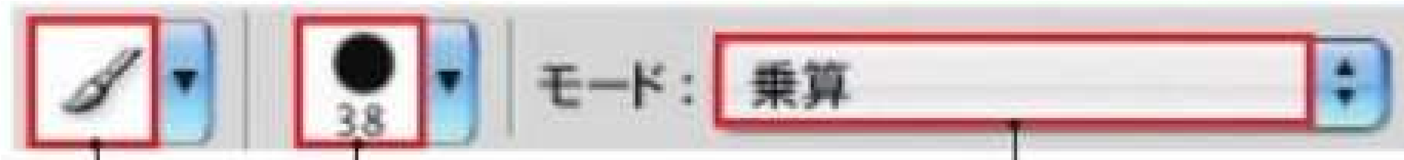
⑥「描画色」は黄色を選択しました



服や髪にランダムの陰影がつきました

瞳の着色

01 「ブラシ」ツールの描画モードを「乗算」に設置して、瞳に色を乗せます。透明部分を保護してあるので、はみ出すことはありません。



①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「38」を選択　③モードは「乗算」を選択



④「赤」レイヤーを選択しました

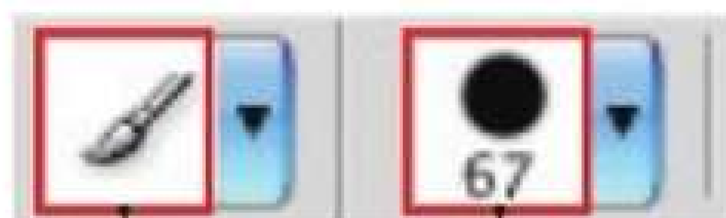


⑤「描画色」は赤を選択しました

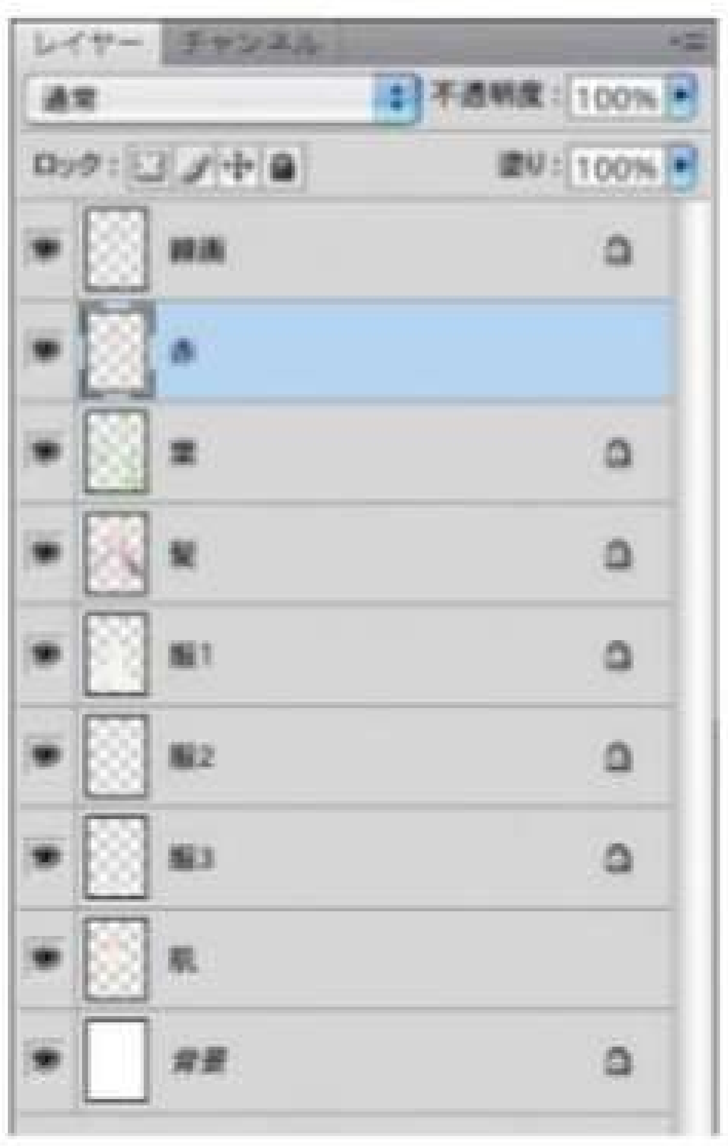


⑥「透明ピクセルをロック」を設定しているので、おおざっぱに塗ってもはみ出しません

02 透明保護を解除して、まぶた部分に彩色します。



①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「67」を選択



③「赤」レイヤーの「透明ピクセルをロック」をオフにしました



④「描画色」はそのままです



⑤赤でまぶたのラインを塗りました

03 新規レイヤーを作成して、描画モードで若干明るくします。「ソフト円ブラシ」でグリーンを乗せ、描画モードは「スクリーン」、クリッピングマスクを設定します。





①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「300」を選択

⑥「描画色」は黄緑を選択しました



⑤描画モードは「スクリーン」を選択しました

④新規レイヤーを作成し、名称を「スクリーン」に変更しました

③「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



⑦緑を薄く塗りました

04 「スクリーン」レイヤーの不透明度を下げます。



②不透明度を「36%」に設定しました

①「スクリーン」レイヤーを選択していることを確認します



③瞳が若干明るくなりました

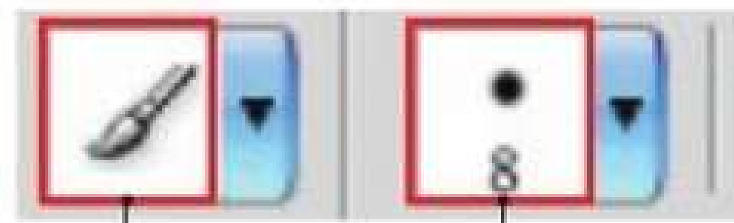
05 「スクリーン」レイヤーと「赤」レイヤーを統合します。



メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーと結合」を選択して、「赤」レイヤーに統合しました

06 瞳にハイライトの光を入れます。

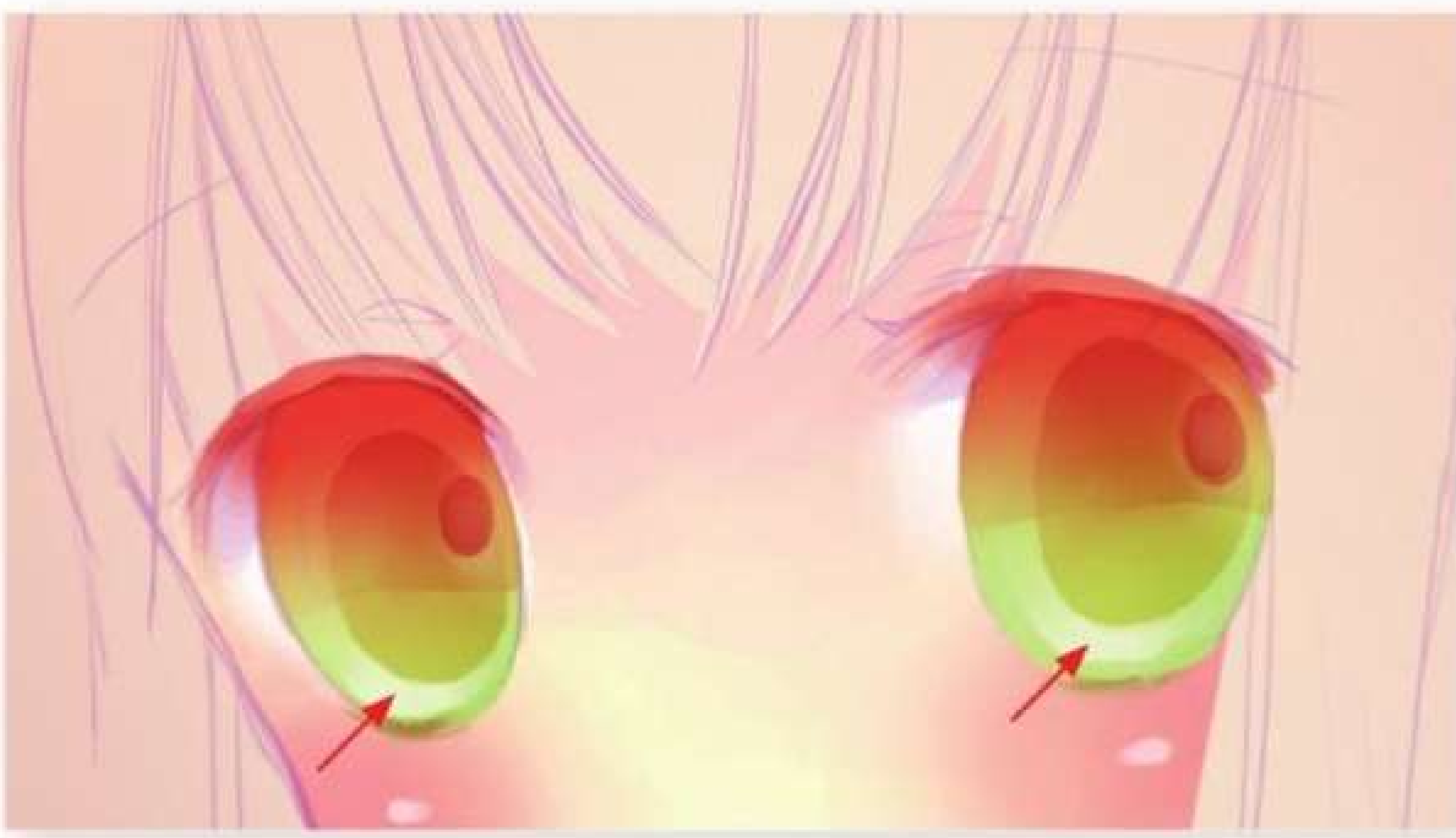




①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「8」を選択

③「描画色」は白を選択しました



④ハイライトが更に明るくなりました

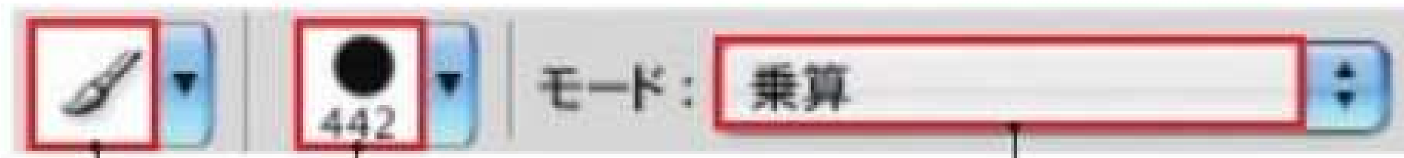
↓



⑤瞳にハイライトを入れました

髪や服の陰影の着色

01 頭部の髪に若干暗い色で影をつけます。



①「ブラシ」を選択
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「442」を選択
③モードは「乗算」を選択



④「髪」レイヤーを選択しました



⑤「描画色」は現在の髪より若干暗い色を選択しました



⑥陰影を入れる前の状態です

↓



⑦髪に陰影を入れました

02 髪の明部分と暗部分の中間色を選択し、「ブラシ」ツールでぼかします。



①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「463」を選択



③「描画色」は髪の中間色を選択しました



④陰影を入れる前の状態です

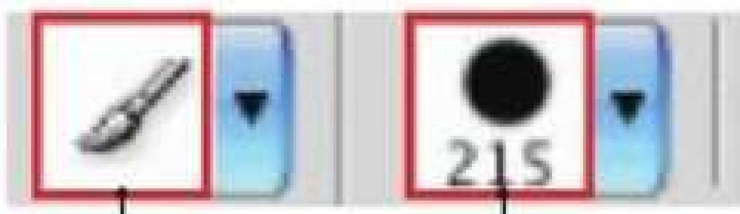
↓



⑤髪に陰影を入れました

03 「服」レイヤーに影をつけます。自分の服のシワなどを観察しつつ描き込みます。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「215」を選択

③「描画色」は明るい紫を選択しました



④影を描き込みます

04 「髪」レイヤーに戻り、陰影を追加します。新規レイヤーで「乗算」のレイヤーを作り、「髪」レイヤーにクリッピングします。ピンク、紫、黄緑などで髪に影をつけます。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「85」を選択



⑤描画モードを「乗算」と「クリッピング」を設定しました

④「髪」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「髪影」に変更しました

③「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



05

「消しゴム」ツールで少しずつ濃い陰影を消していき、境界を馴染ませます。



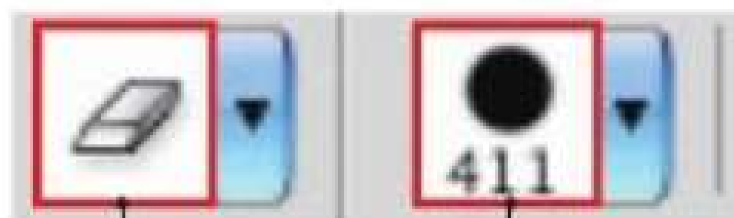
①「消しゴム」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「370」を選択



06

更に新規レイヤーを作成して、描画モードを「焼き込み（リニア）」と「クリッピング」を設定し、先ほどよりも細かく影をつけました。



①「消しゴム」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「370」を選択



③「髪影」レイヤーの上に新規レイヤーを作成し、名称を「髪影」に変更しました。描画モードを「焼き込み（リニア）」と「クリッピング」を設定しました



TECHNIQUE

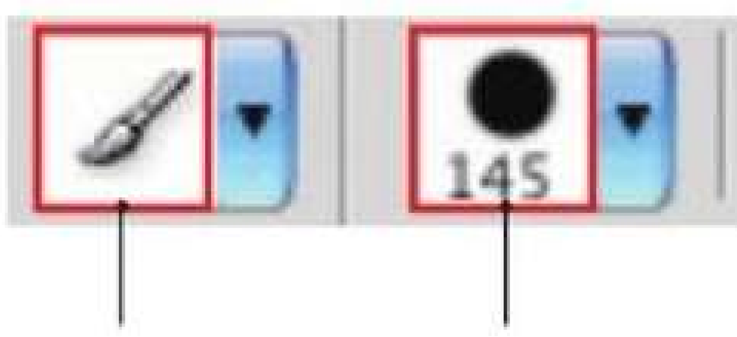
陰影に便利な描画モード「焼き込み（リニア）」

描画モードの「焼き込み（リニア）」は、お互いの色を暗く落として合成する特徴をもっています。例えば、最初から影色を選んで塗るのではなく、「焼き込み（リニア）」で塗るとよりリアリティを出すことができます。髪などの陰影を描く際に便利な機能です。


葉の陰影の部分を「焼き込み（リニア）」で描画した例


葉の陰影の部分を「通常」で描画した例

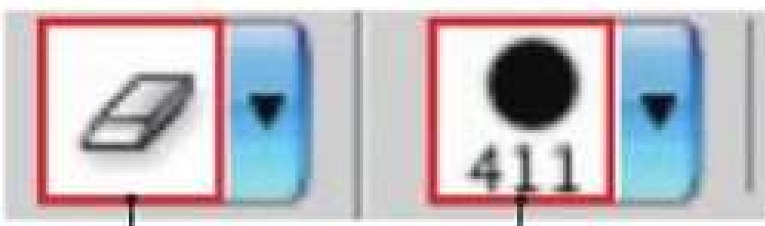
07 陰影は「描く」「馴染ませる」の繰り返しで表情を作ります。まず太めのブラシで緑色の陰影を描きます。



①「ブラシ」を選択
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「145」を選択



08 先ほど描いた緑系の陰影を消しゴムで馴染ませていきます。



①「消しゴム」を選択

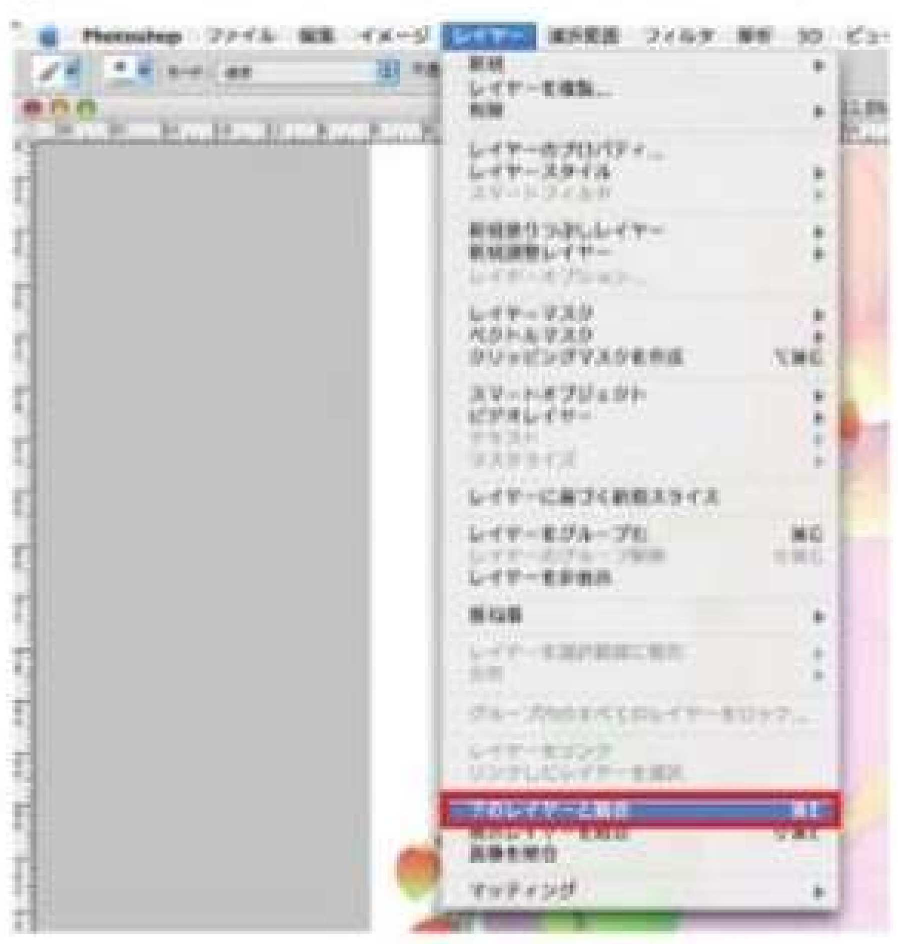
②「ハード円ブラシ」とサイズは「411」を選択



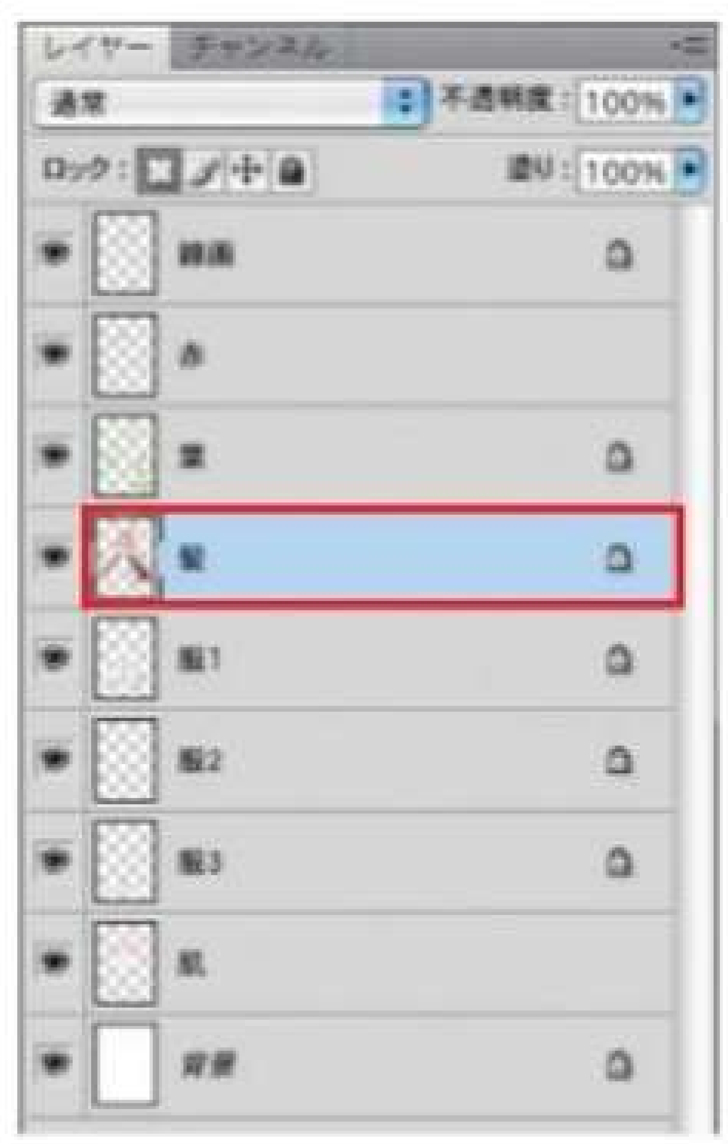
09 ある程度描けたら2つの「髪影」レイヤーを「髪」レイヤーに統合します。



①「髪影」レイヤーを選択しました



②メインメニューの「レイヤー」メニュー→「下のレイヤーと結合」を選択しました



③2つの「髪影」レイヤーが「髪」レイヤーと結合されました

飾りと瞳、服の仕上げ

01 「葉」レイヤーの飾りに濃い緑を描き込みます。



①「葉」レイヤーを選択しました

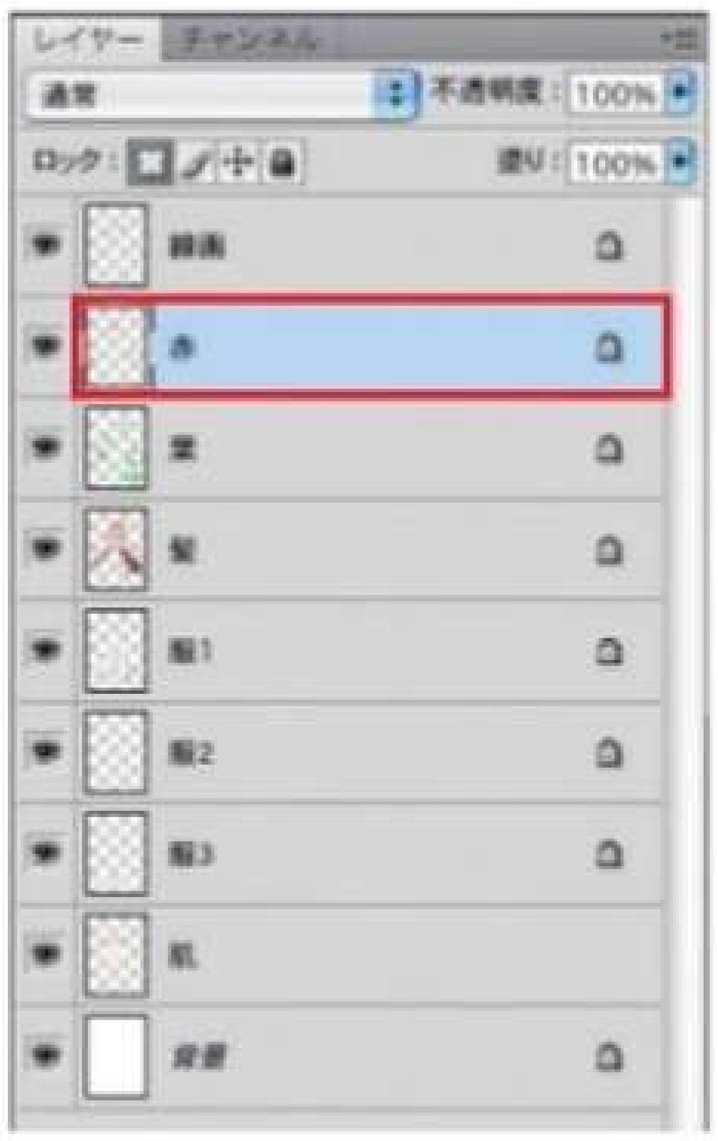


②「描画色」は濃い緑を選択しました

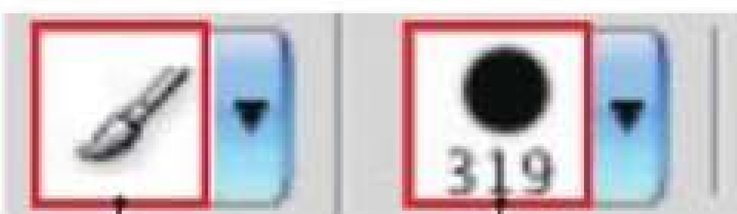




02 「赤」レイヤーに鮮やかな赤を乗せて濃淡を描き込みます。



①「赤」レイヤーを選択しました



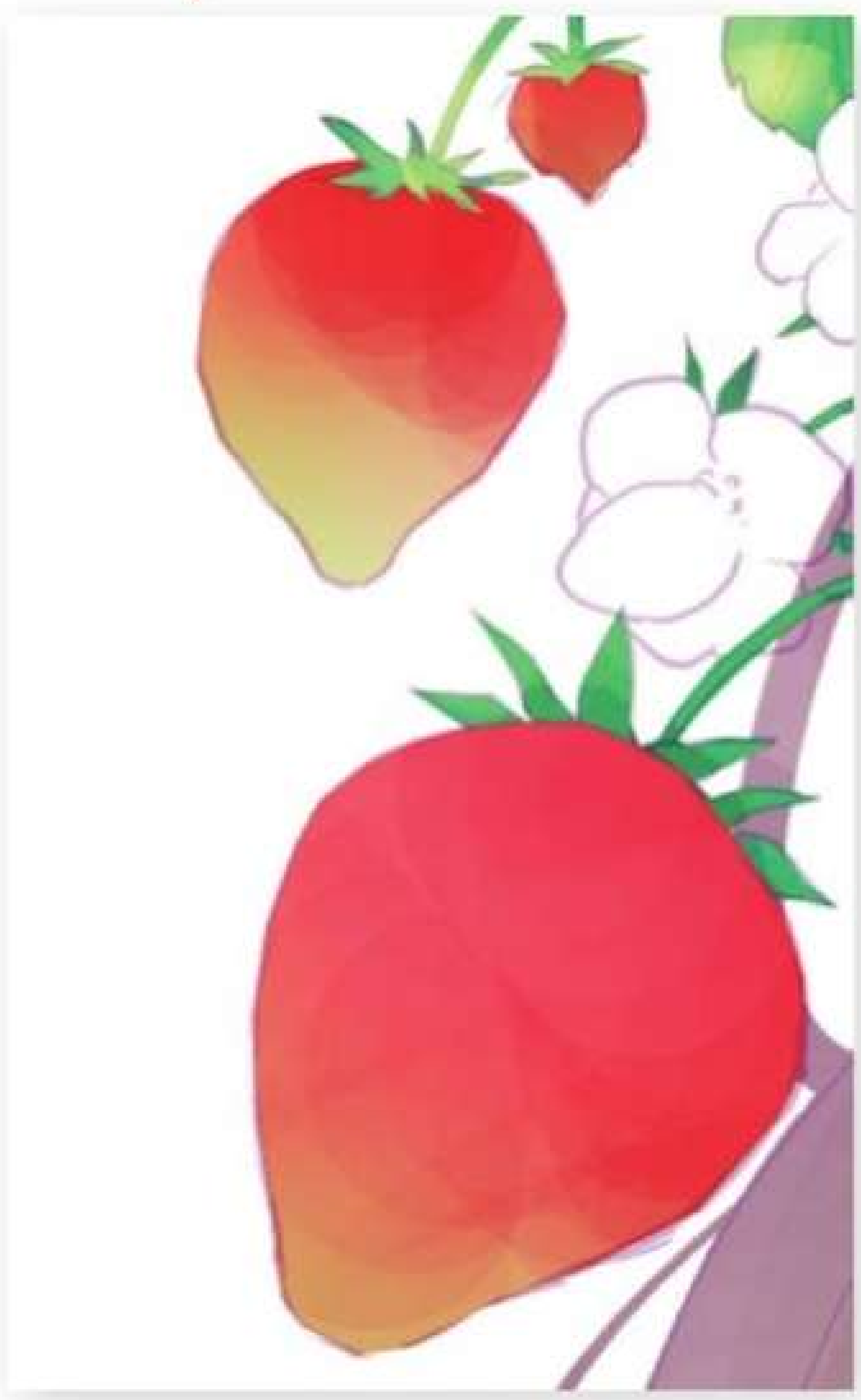
②「ブラシ」を選択

③「「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「319」を選択



④「描画色」は赤を選択しました



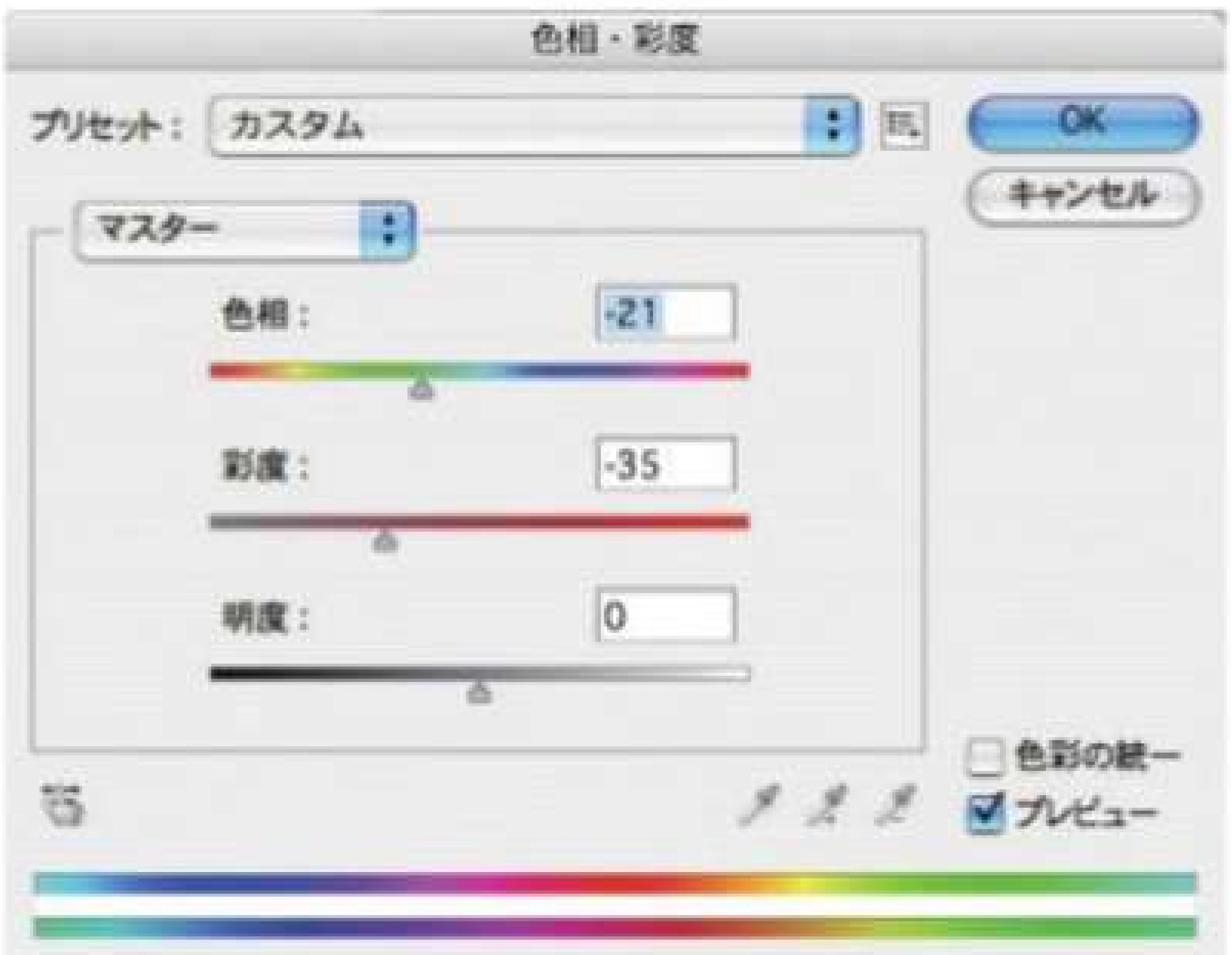


03

瞳の色がイマイチピンとこなかったので、変更します。「投げ輪」ツールで瞳を囲み、メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で、紫系の色にしました。瞳の色はまだまだ試行錯誤します。



①「赤」レイヤーを選択しました



②「色相・彩度」の「色相」を「-21」、「彩度」を「-35」、「明度」を「0」に設定しました



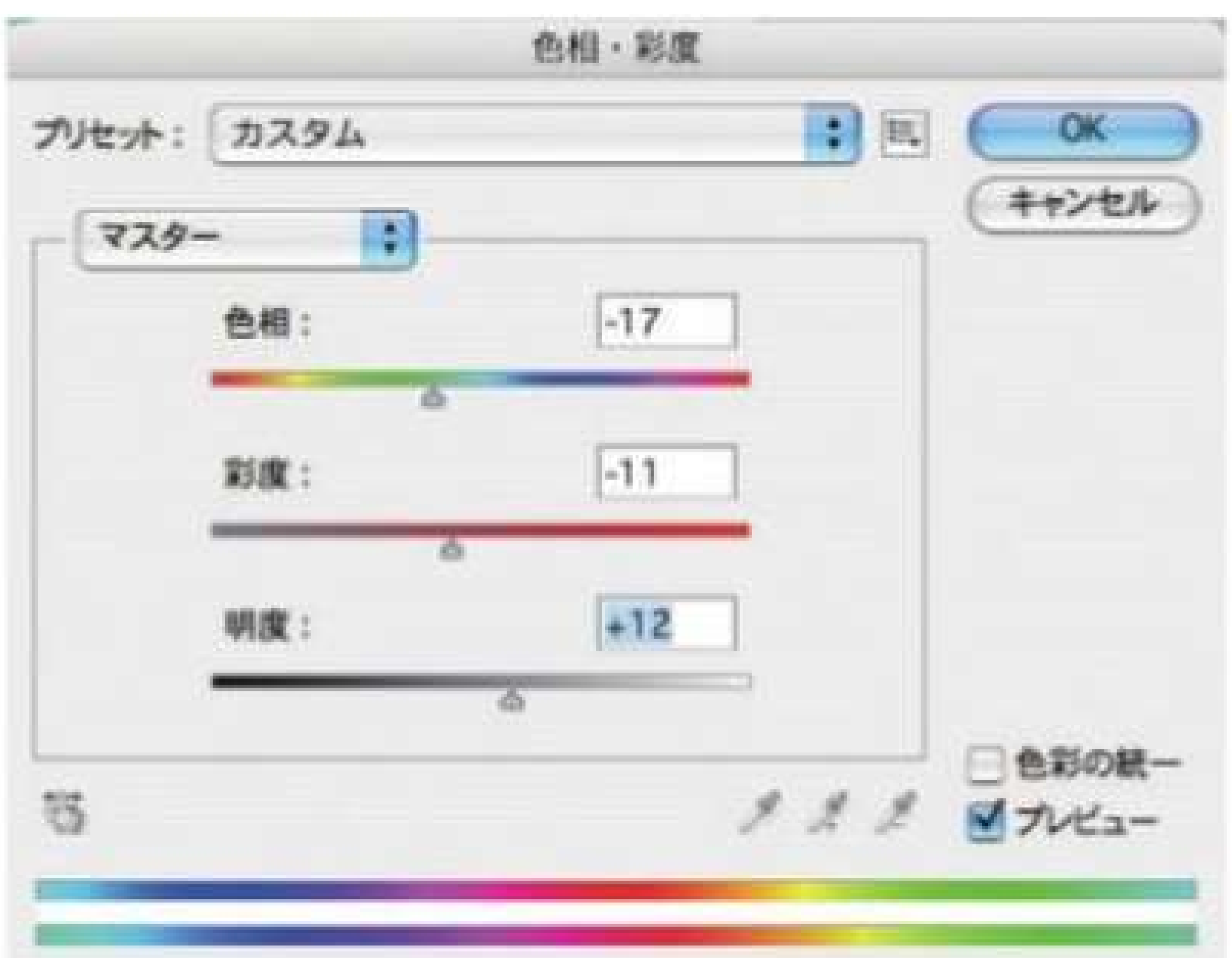
③瞳の色を変更しました

04

髪の色も調節します。「髪」レイヤーを選択し、メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で紫がかった色に変更します。



①「髪」レイヤーを選択しました



②「色相・彩度」の「色相」を「-17」、「彩度」を「-11」、「明度」を「+12」に設定しました



③髪の色を変更しました

05 ワンピースの奥に見えるスカートに影を入れます。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「569」を選択

③「描画色」は水色を選択しました



⑥描画モードを「乗算」と「クリッピング」を設定しました

⑤「服2」レイヤーの上に新規レイヤーを作成しました

④「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



06

ワンピースにも色を乗せます。「スポイト」ツールを使って色を設定し、ぼかしながら塗ります。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「484」を選択



③「服1」レイヤーを選択しました



07

更に濃い色で裾の影をつけます。ペンタブレットの筆圧感知機能を利用して、柔らかく塗ります。



①「服2」レイヤーを選択しました

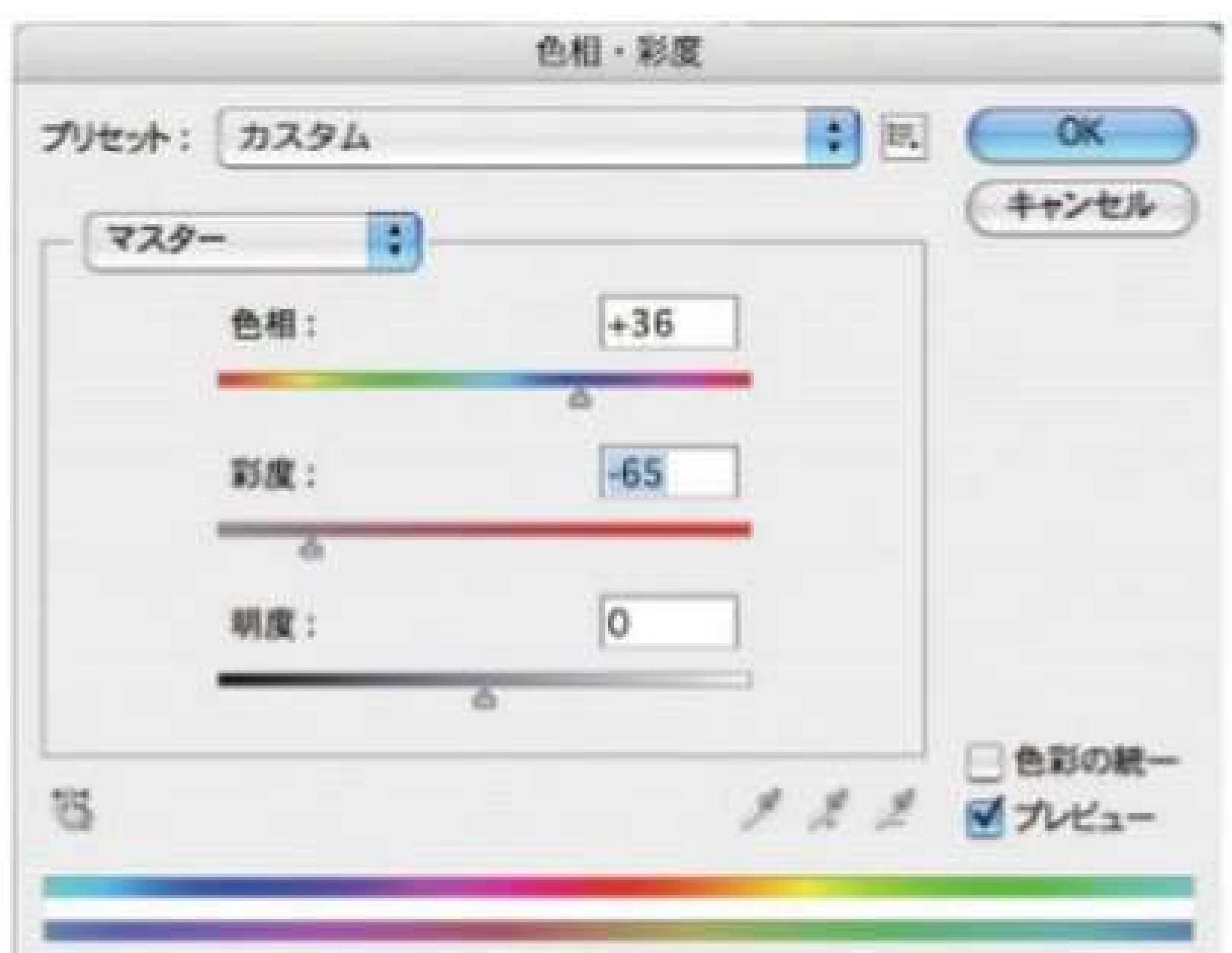


②「描画色」は明るい青を選択しました



08

裾の影の色がイメージと異なるので修正します。メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で色を調節します。



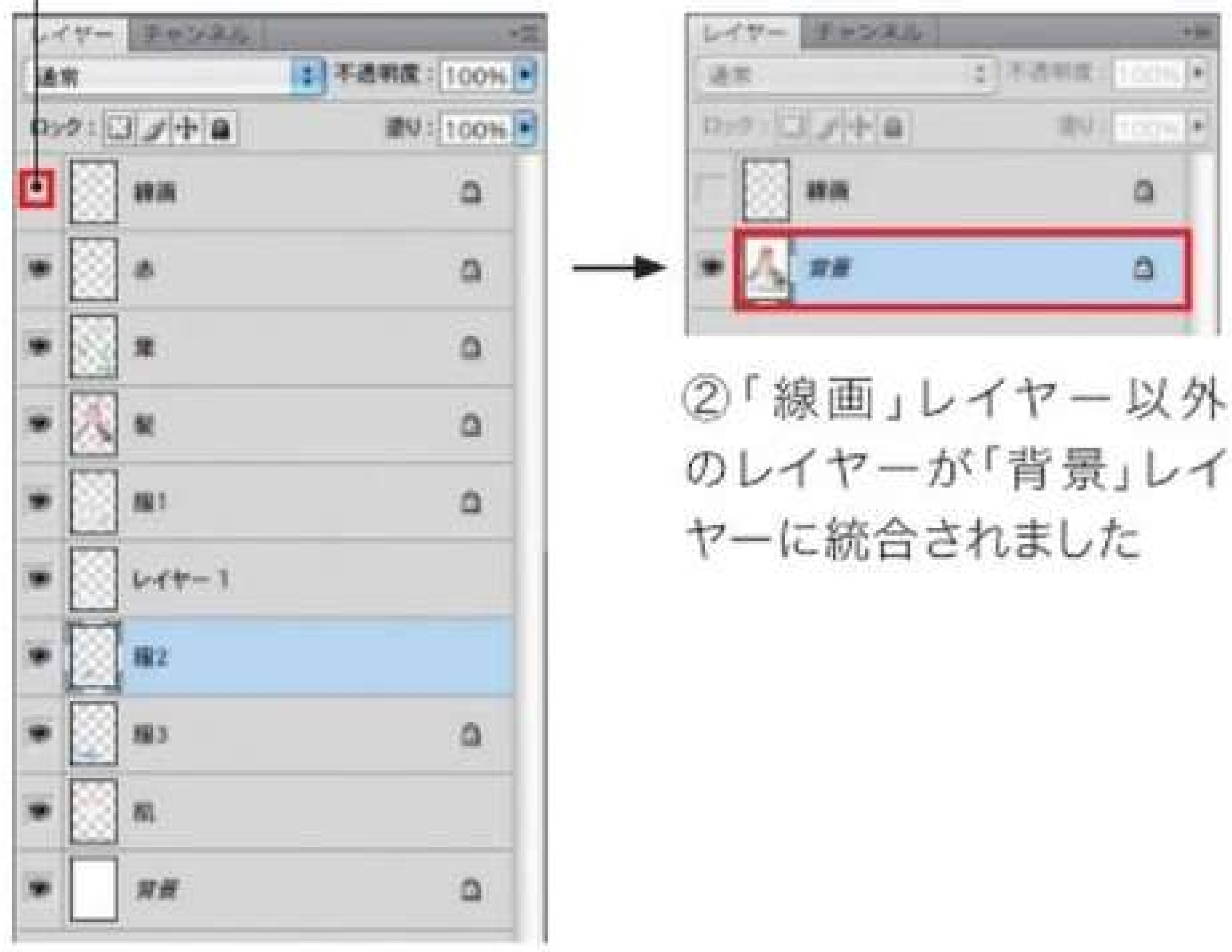
①「色相・彩度」の「色相」を「+36」、「彩度」を「-65」、「明度」を「0」に設定しました

09 裾の色が変更されました。



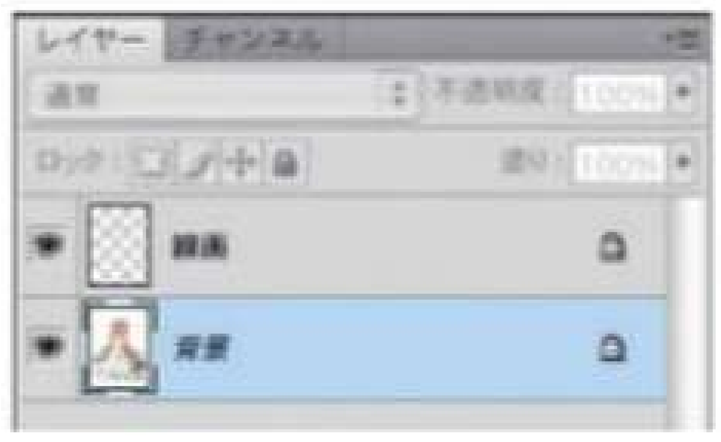
10 「線画」レイヤーを「不可視」にし、メインメニューの「イメージ」メニュー→「表示レイヤーを融合」を選択して線画以外のレイヤーを統合します。

①「線画」レイヤーを不可視にしました



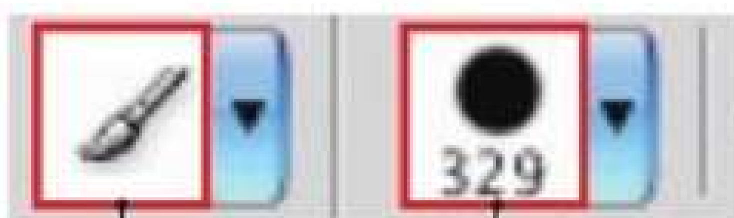
②「線画」レイヤー以外のレイヤーが「背景」レイヤーに統合されました

11 「線画」レイヤーを可視にし、「背景」レイヤーを塗ります。



④「線画」レイヤーを可視にしました





①「ブラシ」を選択

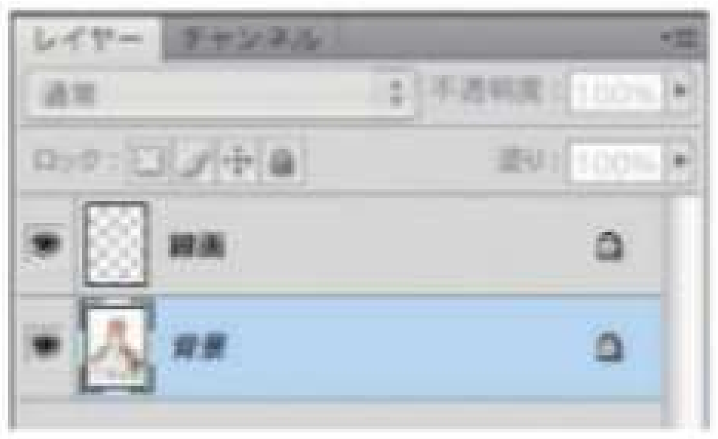
②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「329」を選択

③「描画色」は薄い紫を選択しました

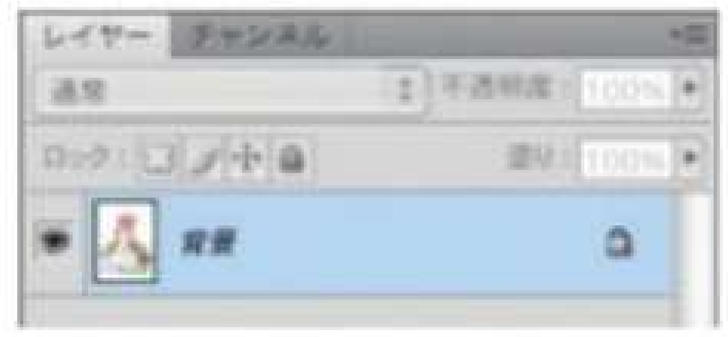


⑤分かりづらいですが、髪や葉部分などに加筆しました

12 メインメニューの「レイヤー」メニュー→「画像を統合」を選択して、すべてのレイヤーを統合します。







「線画」レイヤーが「背景」レイヤーと統合されました

13 ここからはひたすら描いて、消しての繰り返しで地道に絵を作ります。髪や服などを馴染ませます。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「267」を選択

③「描画色」は赤系の色を選択しました



14

描画モードに「オーバーレイ」を選択した「ブラシ」ツールで、オレンジ色の光を入れます。塗りながらあれこれ試行錯誤してイメージを膨らませます。







15 瞳や全体に薄めの色を更に描き込みます。



①「ブラシ」を選択　②「ソフト円ブラシ」とサイズは「1871」を選択



③「描画色」は明るいピンクを選択しました



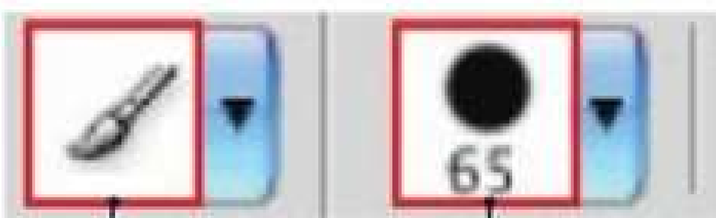
瞳の描き直し

01 左の瞳がどうしても気に入らなかったので、最初から描き直します。



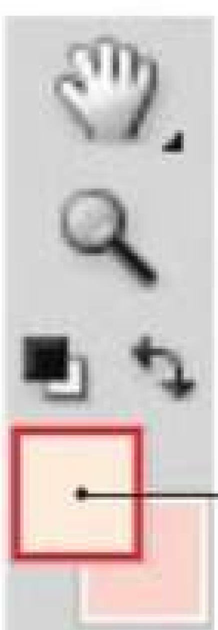
修正前の状態

↓



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「65」を選択



③「描画色」は肌色を選択しました



④瞳を消しました

↓



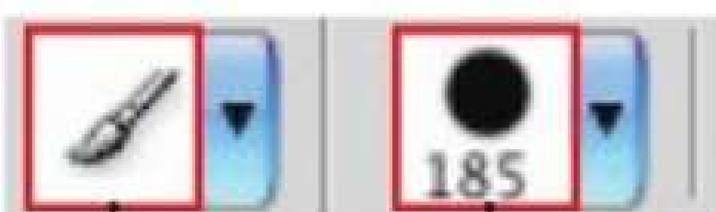


⑤「描画色」は瞳の基となる赤系を選択しました

⑥瞳のベースから書き直していきました

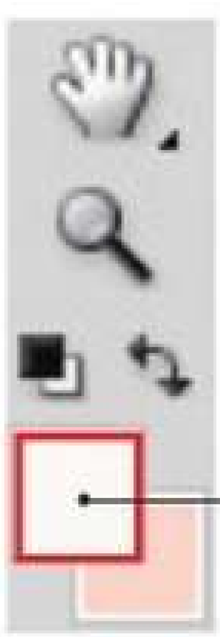
02 瞳の形などを整え、全体を確認しつつ描きます。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「185」を選択



③「描画色」は白や茶色を選択しました



03

赤みを足すために、新規レイヤーを作成し、「ソフト円ブラシ」でピンクを飛ばすように塗ります。



②新規レイヤーを作成しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました





③「ブラシ」を選択

④「ソフト円ブラシ」とサイズは「2028」を選択

⑤「描画色」は濃いピンクを選択しました



04

「レイヤー1」の描画モードを「色相」にします。



①描画モードは「色相」を選択しました



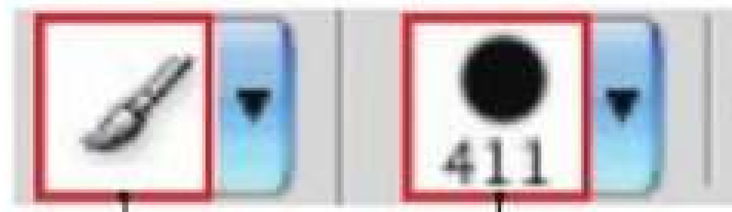
②「レイヤー1」は「背景」レイヤーと合成しました



③ブラシを飛ばしたところに薄く赤が乗りました

05

色やモチーフをどんどん足します。







06

同じ線画から塗った全く別の絵を合成しました。途中まで塗ったものの気に入らなかったので途中で描くのを止めたものですが、利用することにしました。ここでは「+」レイヤーを作成して、読み込みます。「背景」レイヤーと「+」レイヤーは重なった状態です。



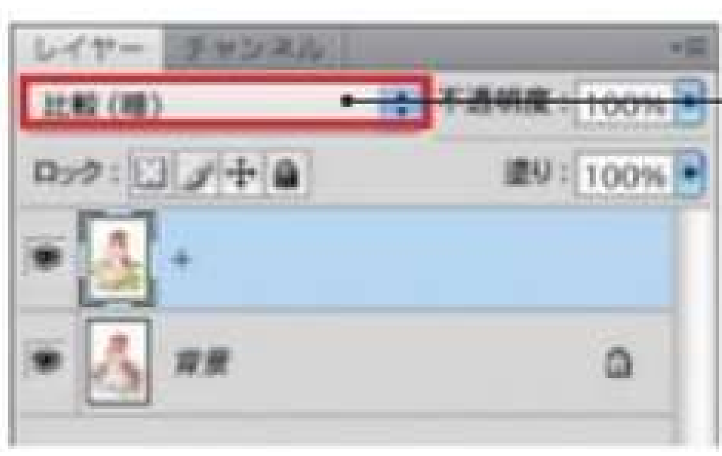
①「+」レイヤーに一度着色を止めた別の絵を読み込みました



②描画モードの「通常」で合成された状態が表示されました

07

「+」レイヤーの描画モードを「比較（暗）」にします。「+」レイヤーの背景より色が暗い部分のみ画面に反映され、複雑な表情になりました。最後にレイヤーを統合します。



描画モードは「比較（暗）」を選択しました



飾りと瞳の仕上げ

01 さらに細部を塗り込みます。葉やイチゴなどは資料をよく見ながらコツコツ描きます。一番楽しくもあり、また一番大変でもある作業です。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「10」を選択

③「描画色」は茶色などを選択しました



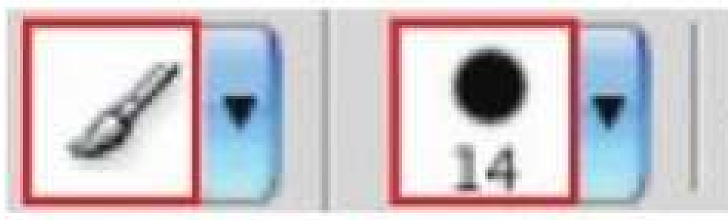
④修正前の状態



⑤イチゴを仕上げました

02 瞳もイチゴのイメージで、赤と黄緑を混ぜながら描きます。しかし、なかなか納得がいく色になりません。





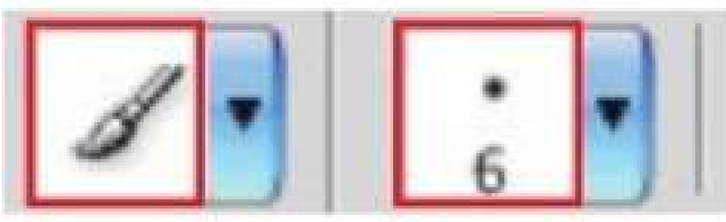
①「ブラシ」を選択し、「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「14」を設定しました

②「描画色」は黄緑を選択しました



③瞳に軽く黄緑を乗せました





④「ブラシ」を選択し、「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「6」を設定しました

⑤「描画色」は赤を選択しました



⑥左の瞳を描きました





⑦「ブラシ」を選択し、「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「20」を設定しました

⑧「描画色」は明るい赤を選択しました



⑨左の瞳に影やハイライトを追加しました

03 「色相」レイヤーを作り、瞳を黄色系の色に変更します。



①新規レイヤーを作成し、名称を「色相」に変更しました。描画モードは「色相」を選択しました





②「ブラシ」を選択

③「ソフト円ブラシ」とサイズは「300」を選択

④「描画色」は灰色を選択しました



⑤描画モードの「色相」で瞳の色を変更しました

04 もう少し試行錯誤をします。メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「色相・彩度」で緑にしました。



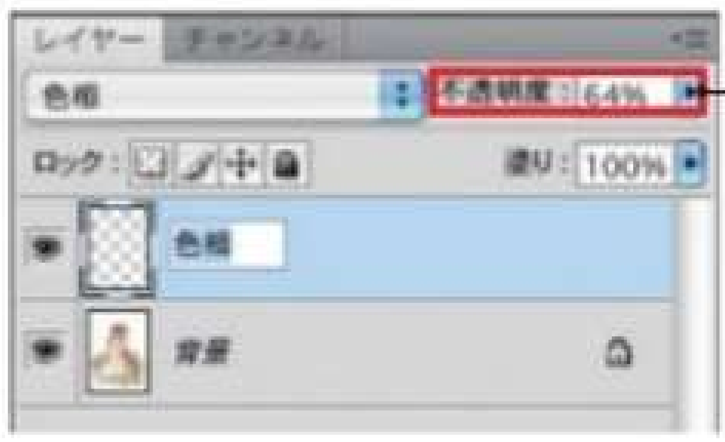
①「色相」レイヤーを選択していることを確認します



②「色相・彩度」の「色相」を「+128」、「彩度」を「0」、「明度」を「0」に設定しました



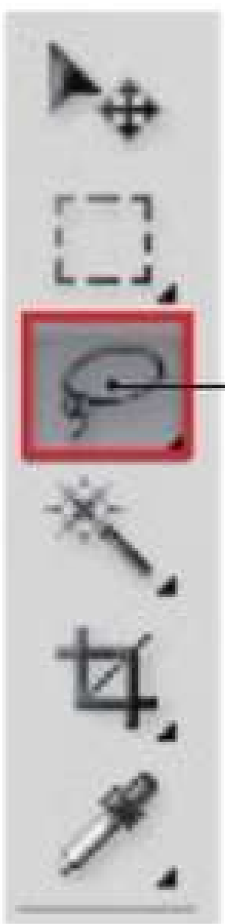
05 「色相」レイヤーの不透明度を下げました。



不透明度を「64%」に設定しました



06 瞳の位置まで気になってきたので「投げ縄」ツールで瞳を囲みます。



①「投げ縄」ツールを選択しました



②左の瞳を囲みます

07 コピーとペーストで瞳を複製し、わずかに瞳を左に移動させます。



08 カンバスを左右反転させます。頭も少し気になったので思い切って修正します。



→



09 葉や髪の毛などもどんどん描き足します。



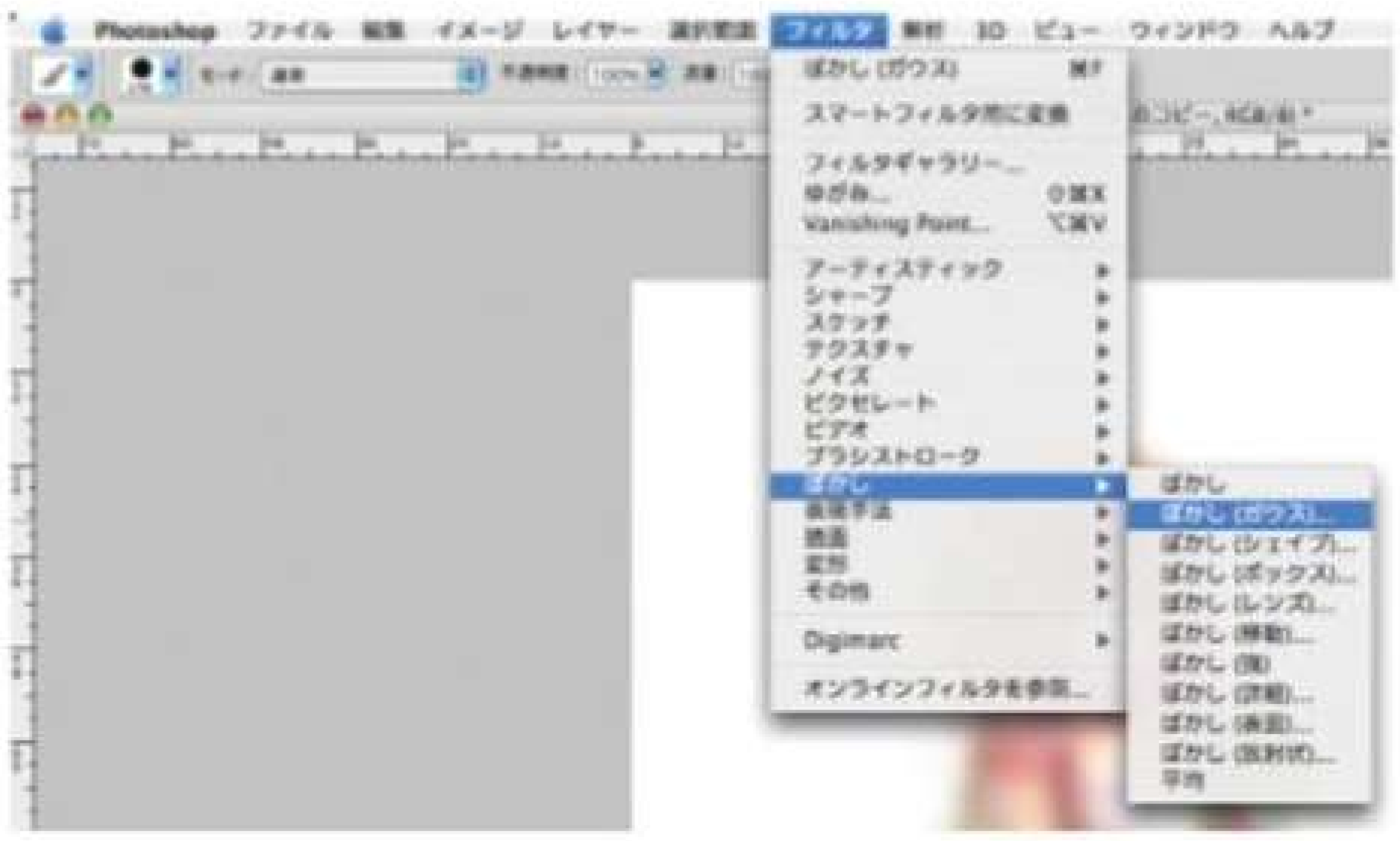
画面全体と細部の修正

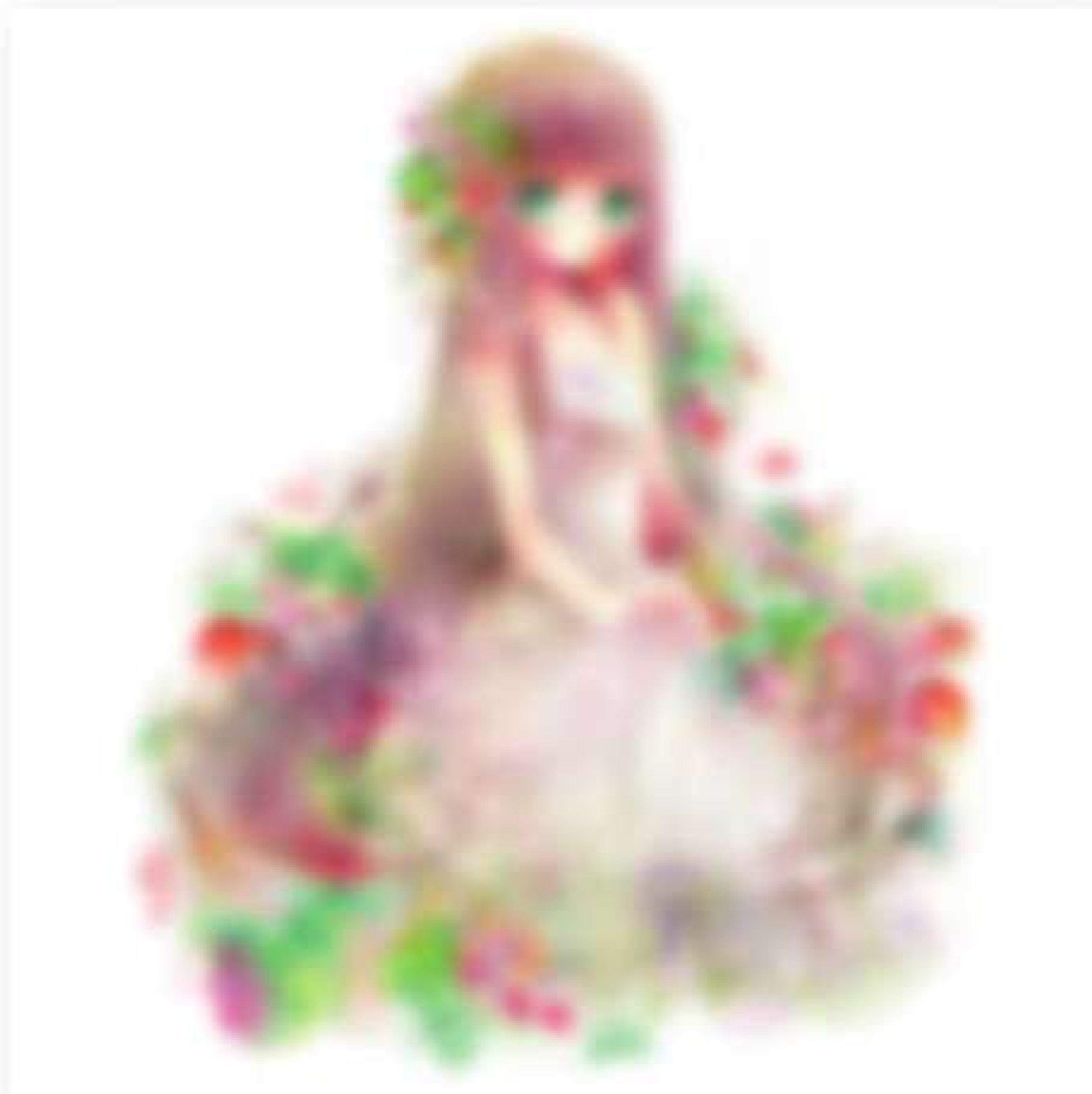
01 「背景」レイヤーを複製します。



「背景」レイヤーにカーソルを移動し、クリック→ポップアップメニューから「レイヤーを複製」を選択しました

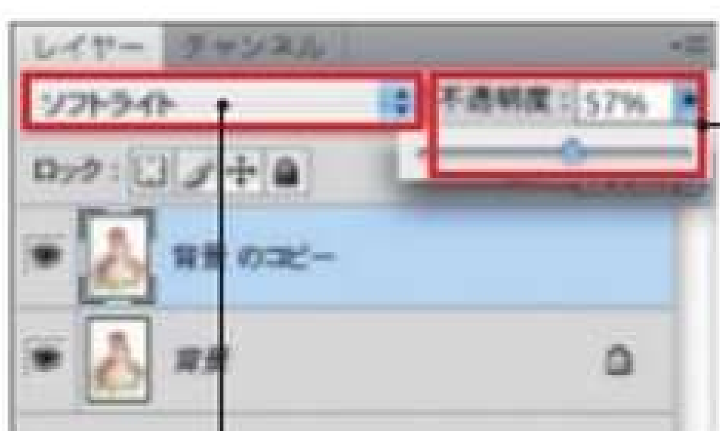
02 メインメニューの「フィルタ」メニュー→「ぼかし（ガウス）」を選択します。





「背景のコピー」レイヤーにかすんだような効果が適用されました

03 描画モードは「ソフトライト」を選択し、「不透明度」を「57%」に下げて最後にレイヤーを統合します。



①不透明度を「57%」に設定しました

②描画モードは「ソフトライト」を選択しました



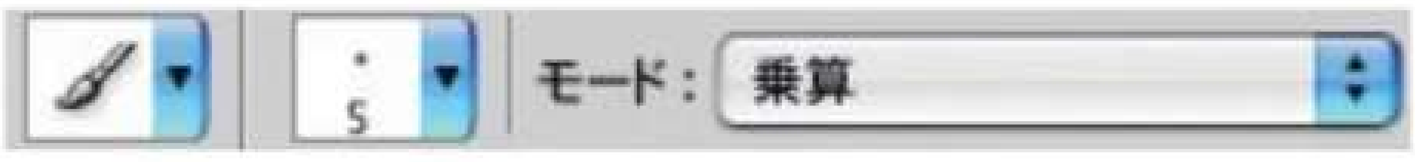
③若干ですがスポットライトを照らしたような効果が得られました

04

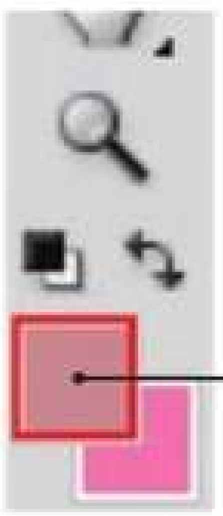
葉やイチゴ、イチゴの花を更に描き足します。植物のモチーフはあればあるほど画面が華やかになるので、満足するまで描きます。少しぼやけた印象だったのでメインメニューの「フィルタ」メニュー→「シャープ」→「スマートシャープ」でシャープさを足します。



05 ワンピースに「乗算」を設定したブラシでレースを描き足します。



①「ブラシ」を選択し、「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「5」、描画モードは「乗算」を設定しました

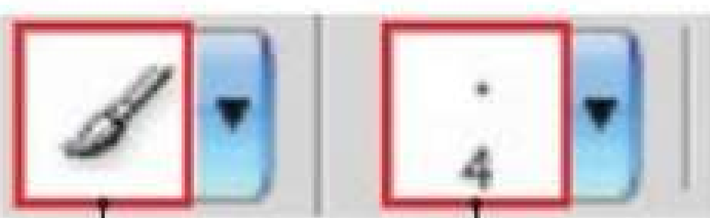


②「描画色」は茶色系を選択しました



06 スカートの裾も背景の色を「スポイト」ツールで設定しながら描写します。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「4」を選択

②「描画色」は明るい茶色系の色を選択しました



07 細かい作業ですが、地道に描いていきます。このようになりました。





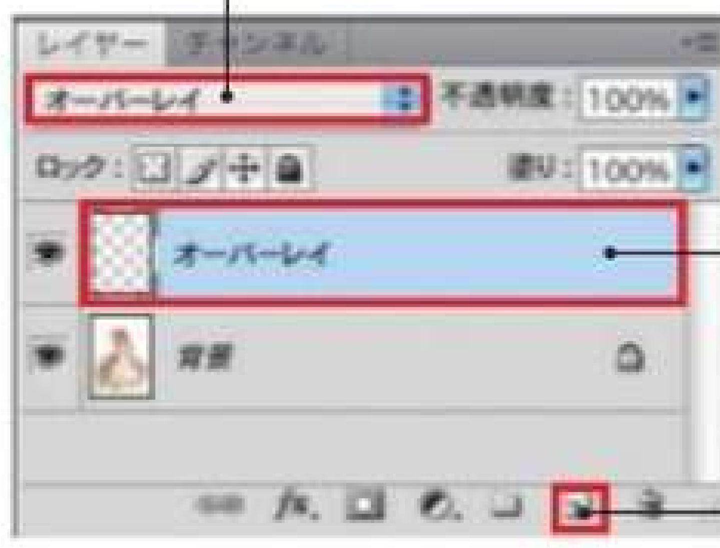
①「ブラシ」ツールの設定は変更ありません

②「描画色」は暗い茶色系の色を選択しました



08

新規レイヤーを作成し、レイヤーの名称を「オーバーレイ」にします。描画モードは「オーバーレイ」を設定し、「ソフト円ブラシ」で光を描写します。納得いくまで描けたらレイヤーを統合します。



⑤描画モードは「オーバーレイ」を選択しました

④新規レイヤーを作成し、名称を「オーバーレイ」に変更しました

③「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「162」を選択

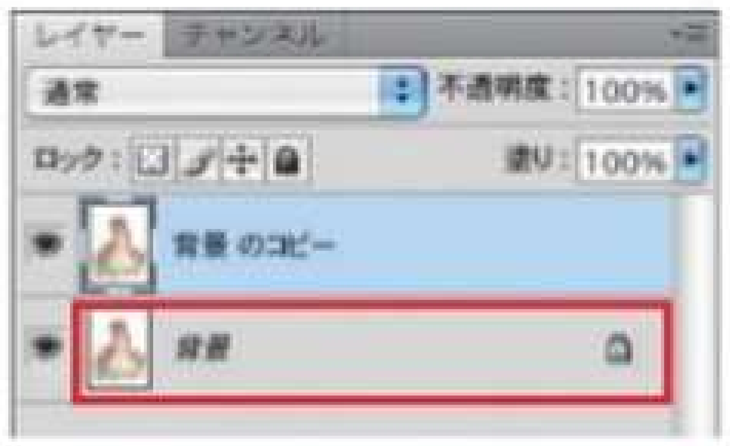


⑥「描画色」はオレンジを選択しました



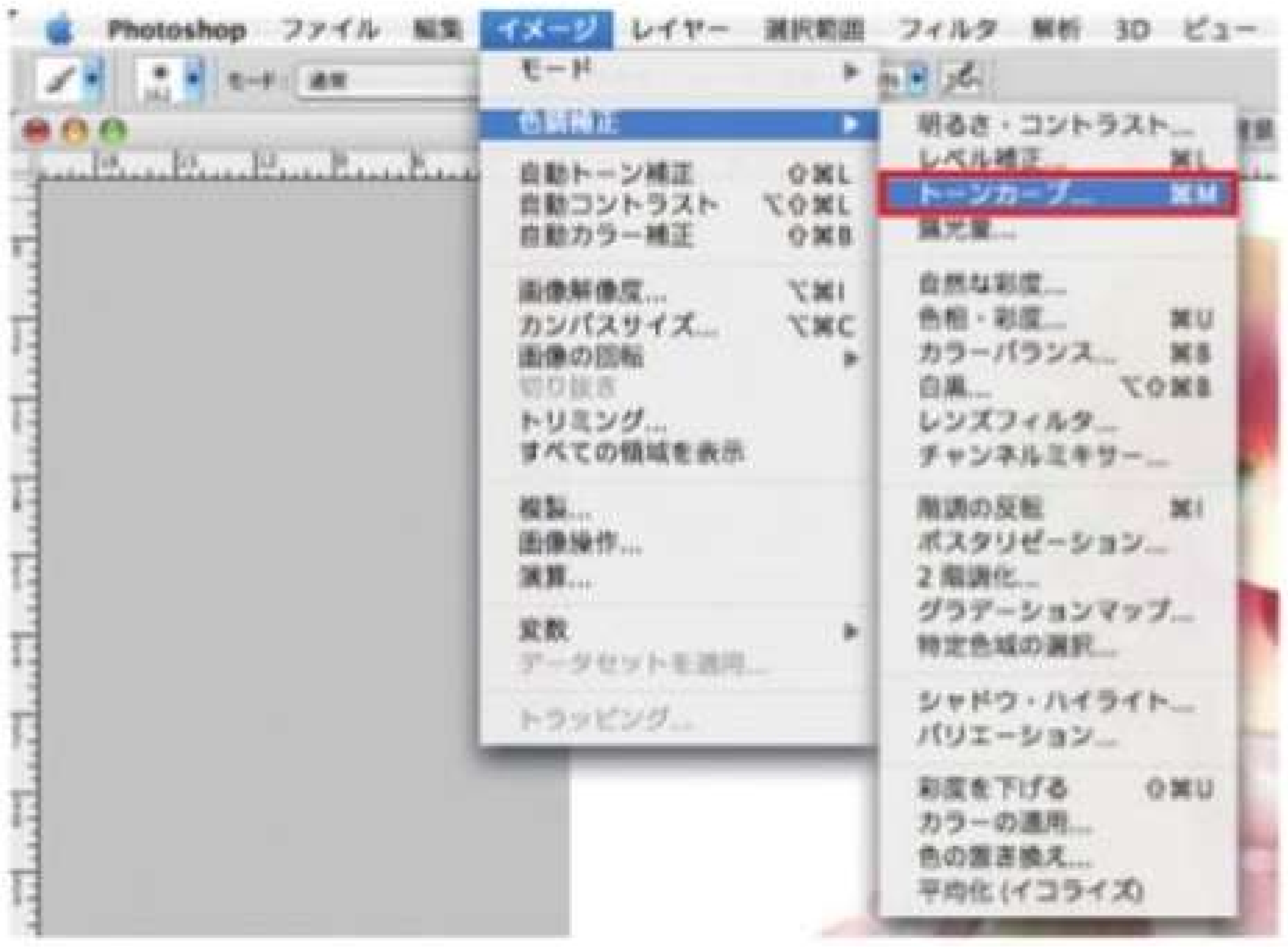
色の微調整

01 色の微調整をします。まず「背景」レイヤーを複製します。



「背景」レイヤーにカーソルを移動し、クリック→ポップアップメニューから「レイヤーを複製」を選択しました

02 メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「トーンカーブ」で全体のイメージを変えます。

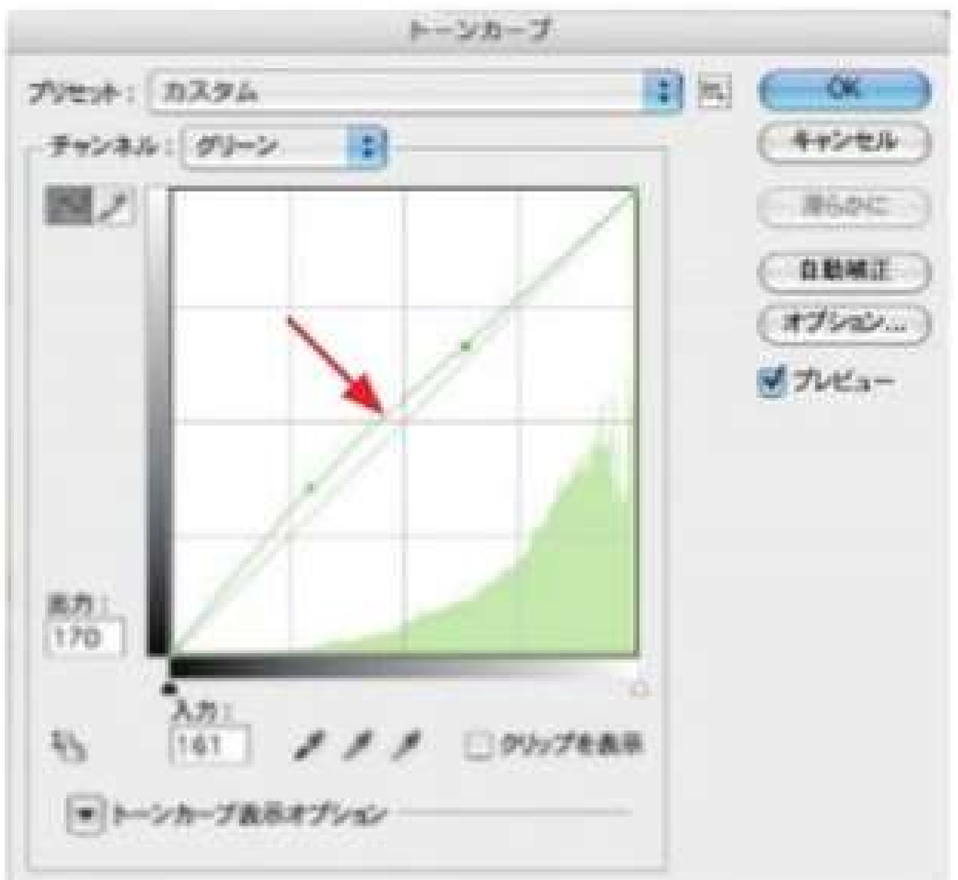


03 「トーンカーブ」ウインドウの「チャンネル」ポップアップを「グリーン」にします。



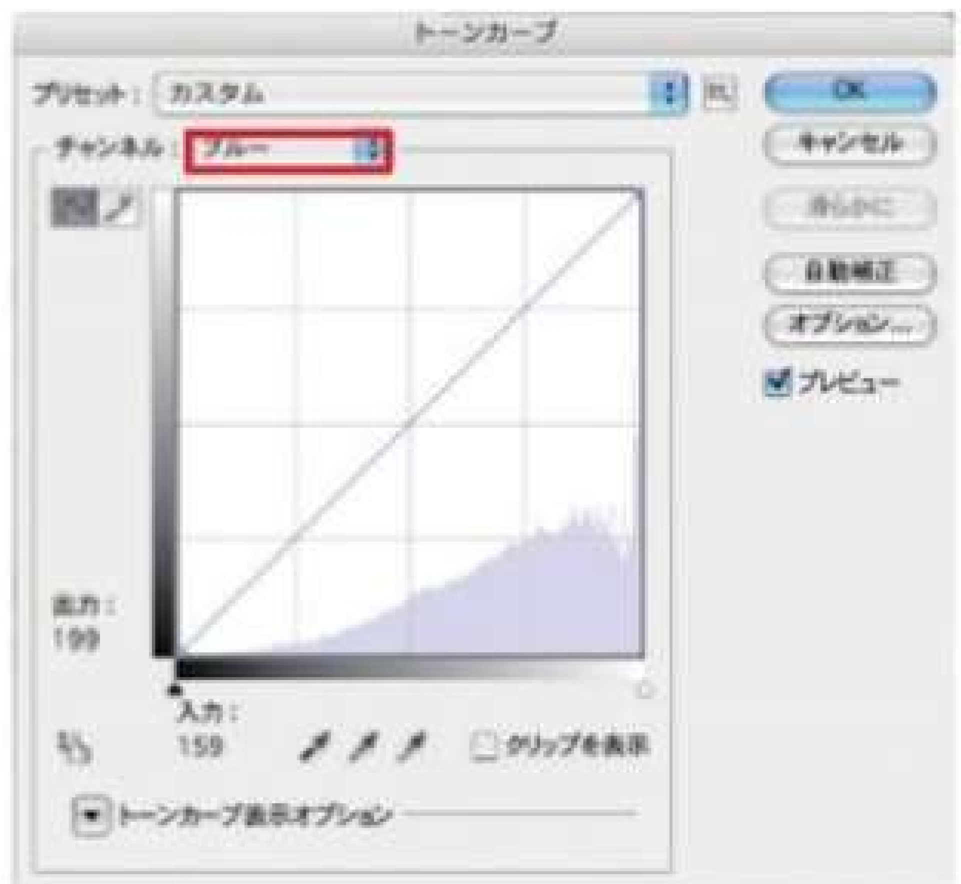


04 出力グラフを少し上げるように調節します。赤味が強いのが少し気になっていたので、赤味を飛ばし、黄色寄りの色に調節します。

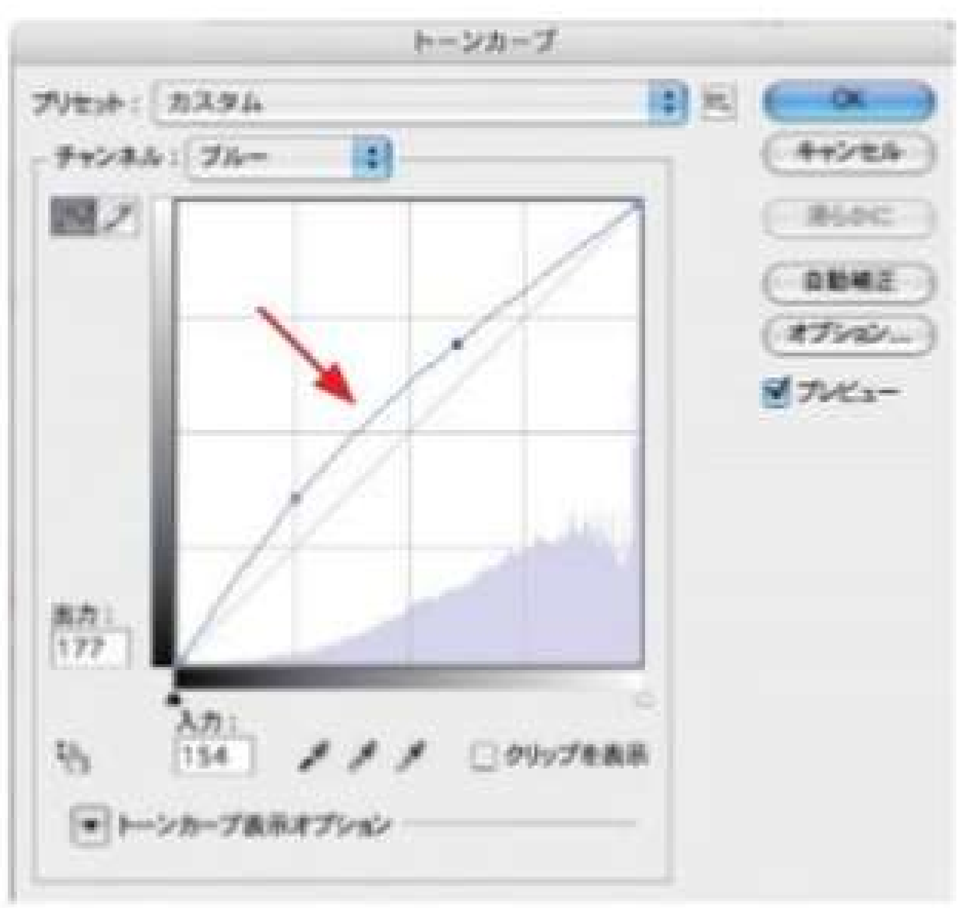




05 これで完成でもいいのですが別の色味も確認したいので、更に「トーンカーブ」ウインドウのチャンネルをブルーにします。



06 出力グラフを調節し、青味を出しました。なかなか良い感じになりましたので、「OK」を選択して確定します。





07 トーンカーブで色を調整した「背景のコピー」レイヤーの不透明度（51%）を下げ、元の色と馴染ませます。新規レイヤーを作成し、描画モード「色相」を選択し、「ソフト円ブラシ」でところどころに緑色を入れて完成です。



Chapter.03

Photoshopで水彩タッチのキャラを描く



CG Illustration Techniques

Illustration and Explanation By Shimeko

Chapter. 03

Photoshopで水彩タッチのキャラを描く

ラフから線画を作成せずに着色をする作品「雪ウサギと動物達の冬眠生活」をPhotoshopで完成させます。Chapter02で完成させた「苺菓子」と同様に、レイヤー1枚にどんどん描き込むようなイメージの作品です。

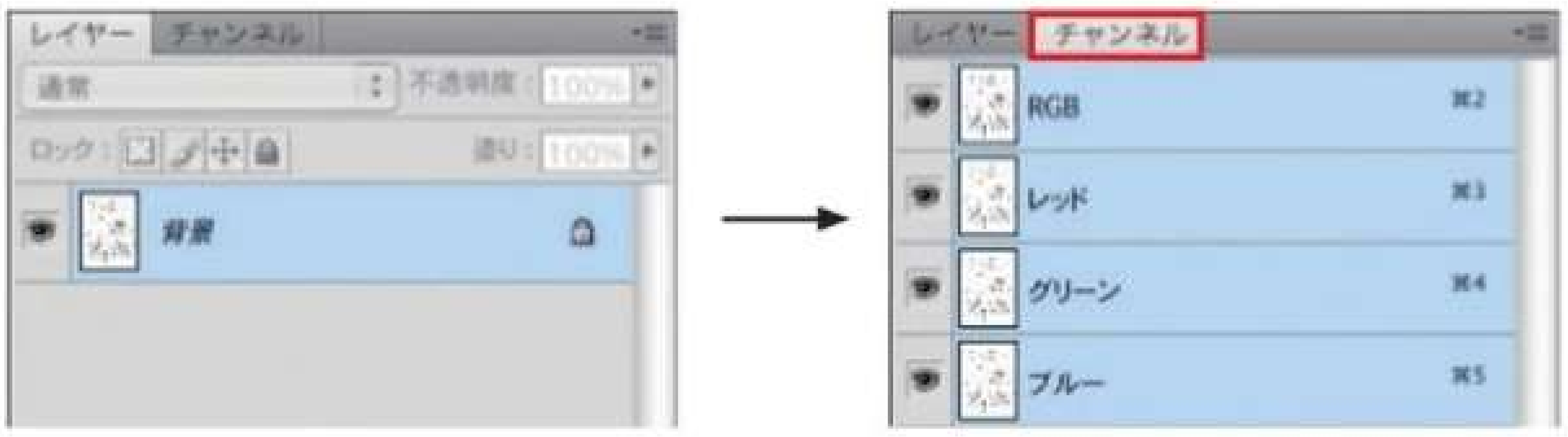
線画の色を変更

01 鉛筆で描いたラフをスキャナで取り込みます。



02

線画の色を変更します。メインメニューの「レイヤー」メニュー→「チャンネル」を選択します。



03

レイヤーパネル下にある「チャンネルを選択範囲として読み込む」ボタンをクリックします。



04

ラフの下地（白い部分）が選択されます。



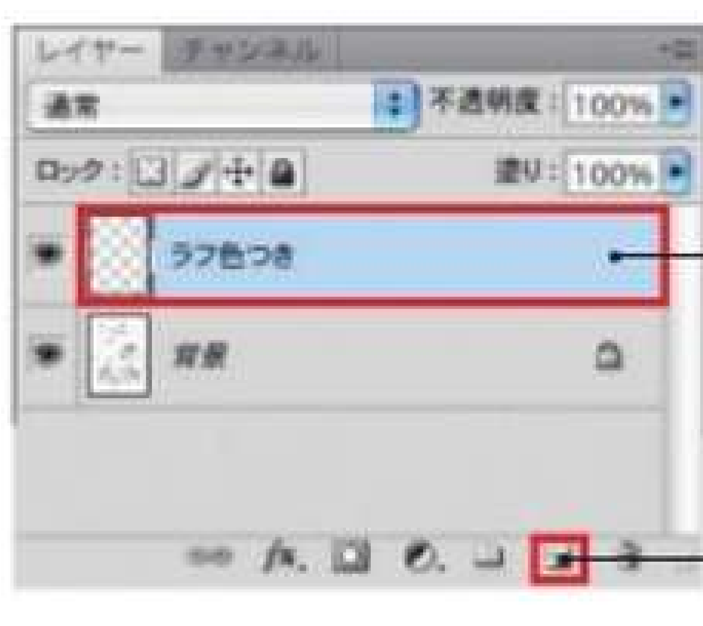
05 描画部分を選択したいので、メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を反転」を選択します。



06 線が選択された状態になりました。



07 新規レイヤーを作成し、名称を「ラフ色つき」に変更します。このレイヤーはラフの選択部分に色を乗せるためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「ラフ色つき」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

08

「ブラシ」ツールで画面全体を着色します。青から緑の寒色系で着色したいので青を選択し、太いペンで画面全体を着色します。線画のみが着色されました。





①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「2028」を選択

③「描画色」は青を選択しました



④線画が黒から青に変わりました

09

メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択を解除」で位置を確定します。



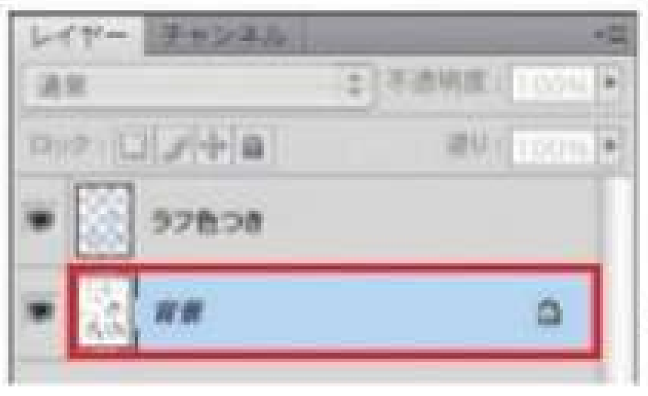
10

線画が青に着色されました。

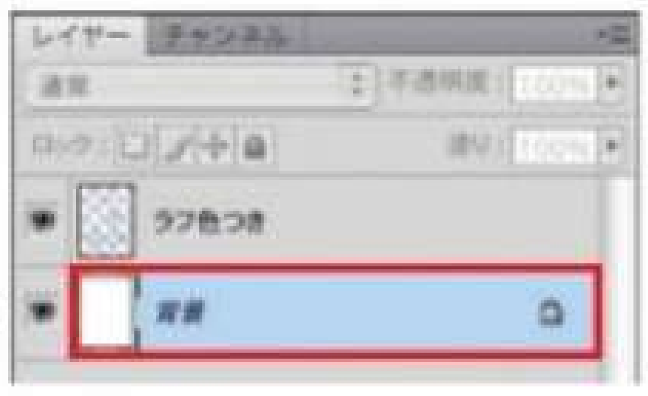


11

「背景」レイヤーを選択し、「ブラシ」ツールで白に塗りつぶします。「背景」ツールに描画してある「ラフ色つき」レイヤーの線を消すためです。「消しゴム」ツールで消しても構いません。



①「背景」レイヤーを選択しました



②「背景」レイヤーを真っ白に塗りつぶしました



③「ラフ色つき」レイヤーの線画のみが表示されました

12

ラフを描きやすくするために薄くします。「ラフ色つき」レイヤーの描画モードを「乗算」、不透明度を「30%」に下げます。



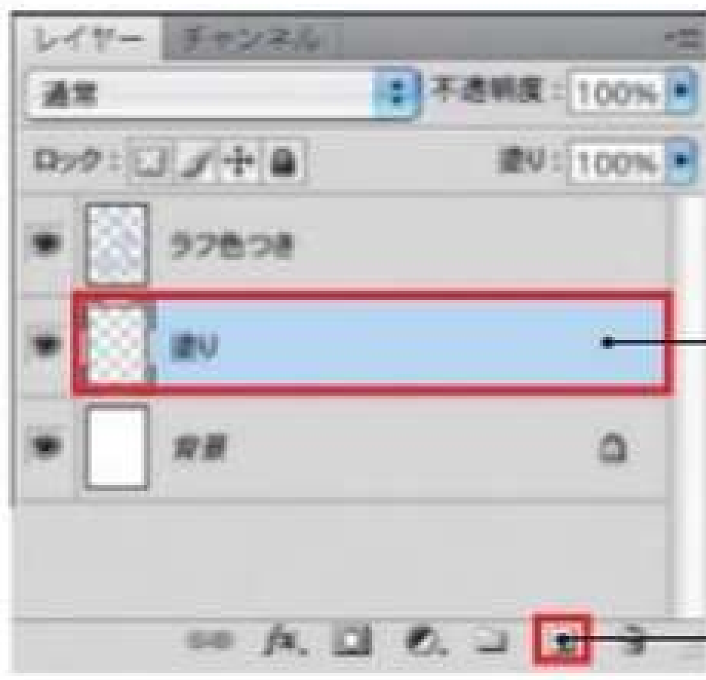
①描画モードを「乗算」、不透明度を「30%」に設定しました



②「ラフ色つき」レイヤーの線画が薄くなりました

ラフな着色

01　「背景」レイヤーと「ラフ色つき」レイヤーの間に新規レイヤーを作成し、名称を「塗り」レイヤーに変更します。以後は「塗り」レイヤーを選択して作業します。

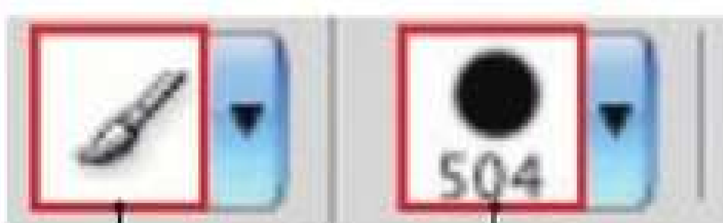


②新規レイヤーを作成し、名称を「塗り」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02　全体に薄い色で軽く乗せます。ペンタブレットの筆圧感知機能を使用して薄く着色し、重ねるように描きます。線画に沿って厳密に描く必要はありません。





①「ブラシ」を選択

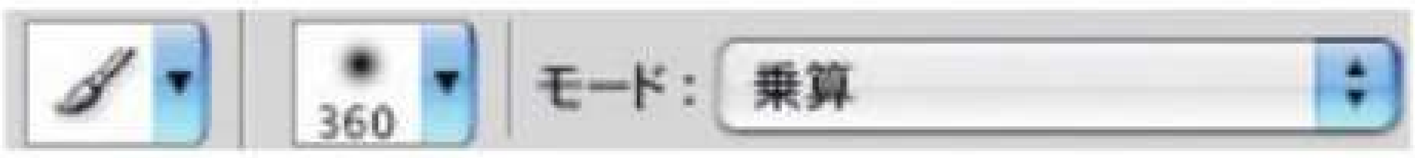
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「504」を選択

③「描画色」は薄い紫などを選択しました



03

描画モードを「乗算」に設定した「ソフト円ブラシ」で、更に濃い色を着色します。



①「ブラシ」ツールを選択し、ブラシプリセットは「ソフト円ブラシ」、マスター直径は「360」、描画モードは「乗算」を選択しました



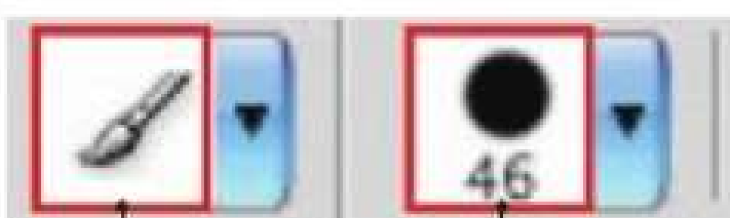
②「描画色」は薄い緑などを選択しました



04

中間色を中心に着色します。「ブラシ」ツールで地道に周囲の色と馴染ませていくと同時に、ものの形やアウトラインを整えます。





①「ブラシ」を選択

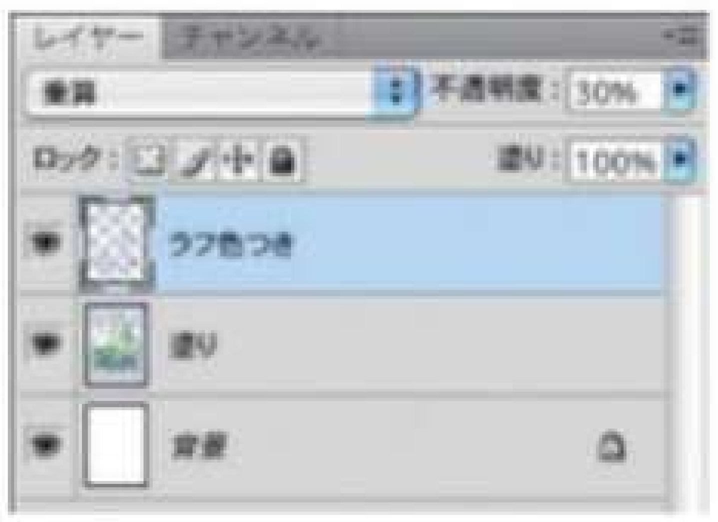
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「46」を選択

③「描画色」は濃い青などを選択しました

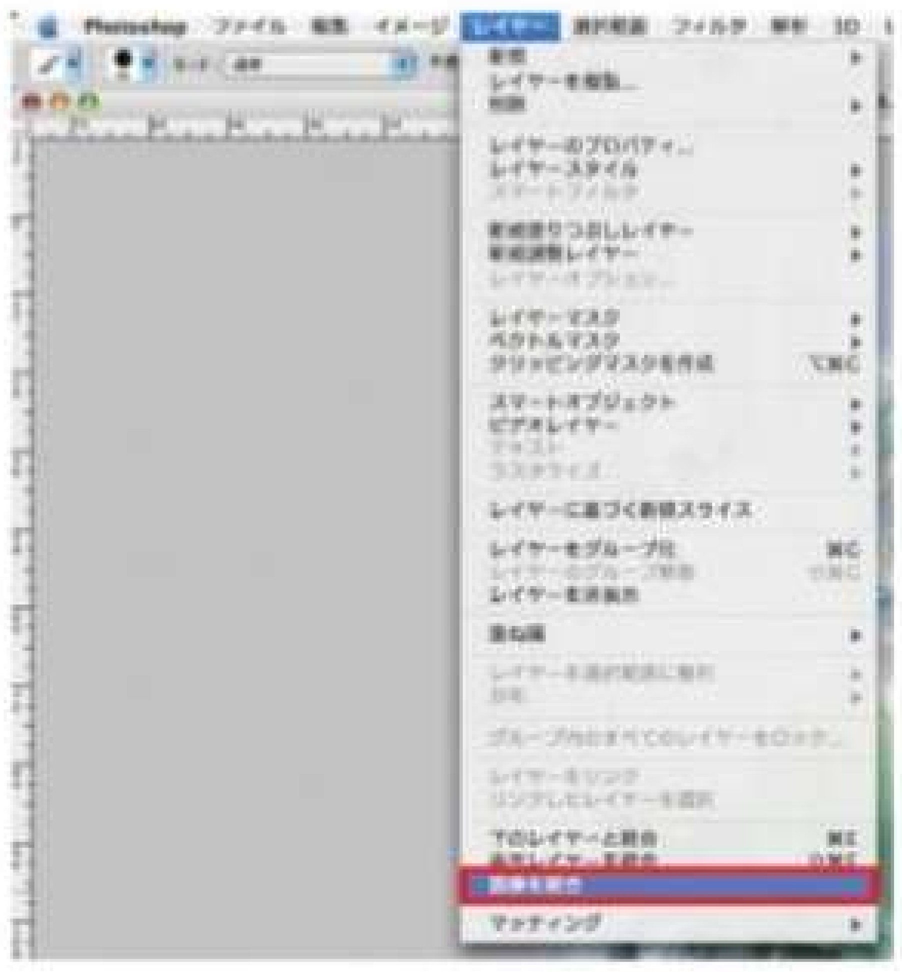


05

だいたいの色を乗せたところでメインメニューの「レイヤー」メニュー→「画像を統合」を選択して、すべてのレイヤーを統合します。



①レイヤーが3つある状態です





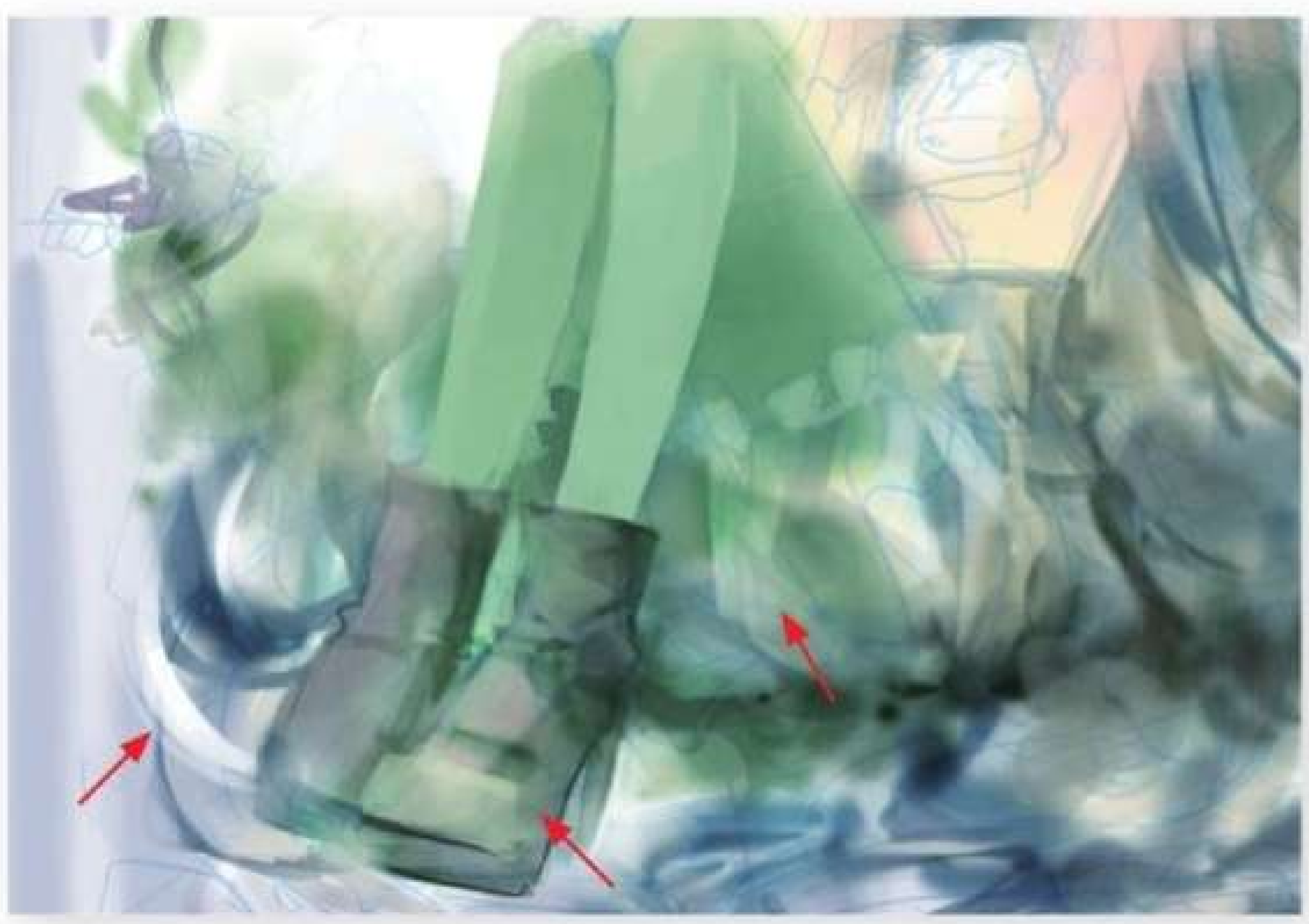
②すべてのレイヤーが「背景」レイヤーと統合されました

06

「靴を描く」とか「ひざを塗る」とか一カ所に色を塗るような感覚でなく、全体を均等に形を探りながら「ブラシ」ツールでゴリゴリ描き込みます。地道ですが楽しい作業です。



①足下を着色した例です



②全体的に明るい色で着色しました

Chapter.01
Chapter.02
Chapter.03
Chapter.04

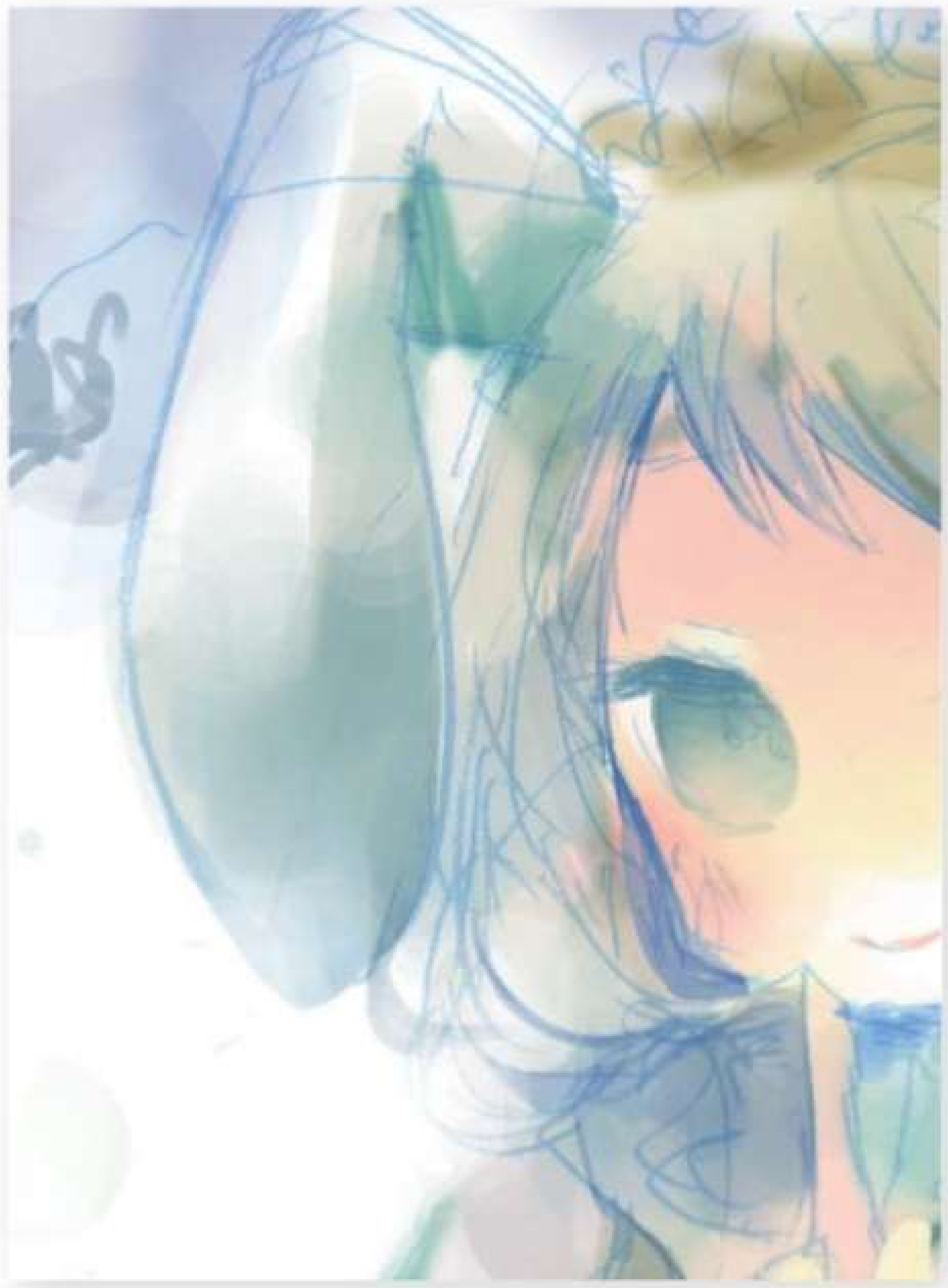
07 描いて、消して、また描いてを繰り返します。



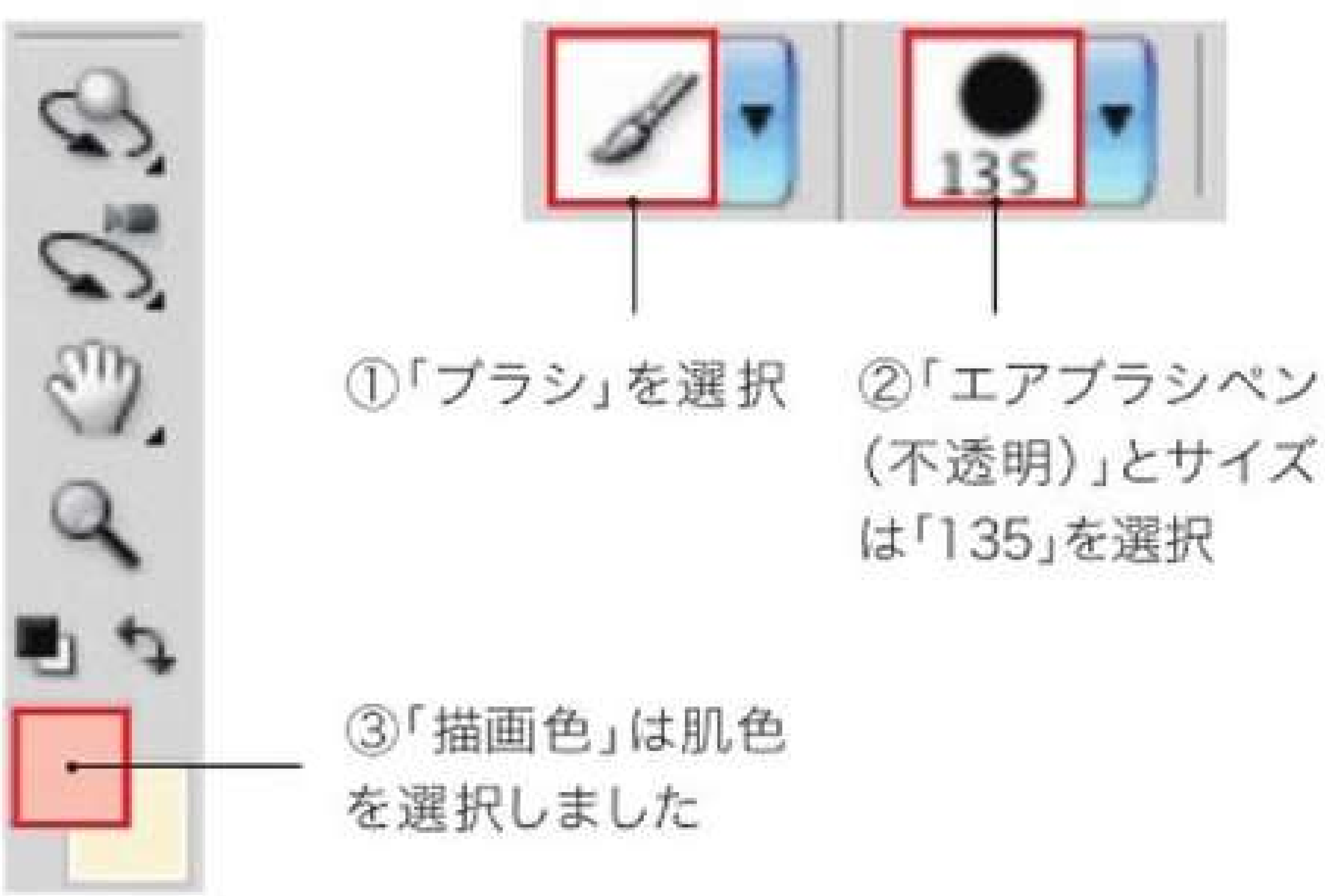
髪の着色

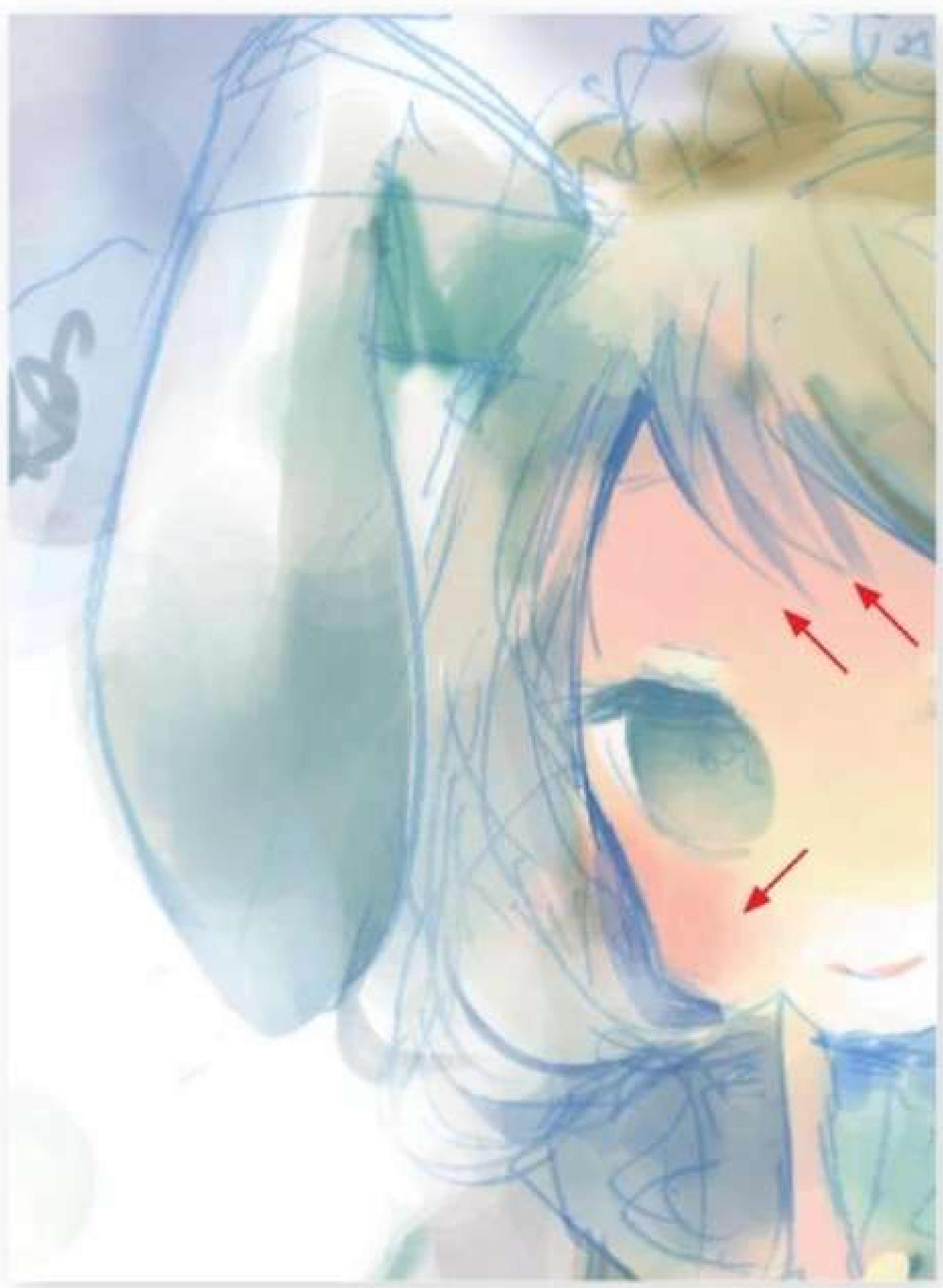
01 髪や肌を太い筆で整えます。





02 ラフを消すように肌色を乗せます。





03

耳を全体的に白でぼかし、髪の流れを描きます。

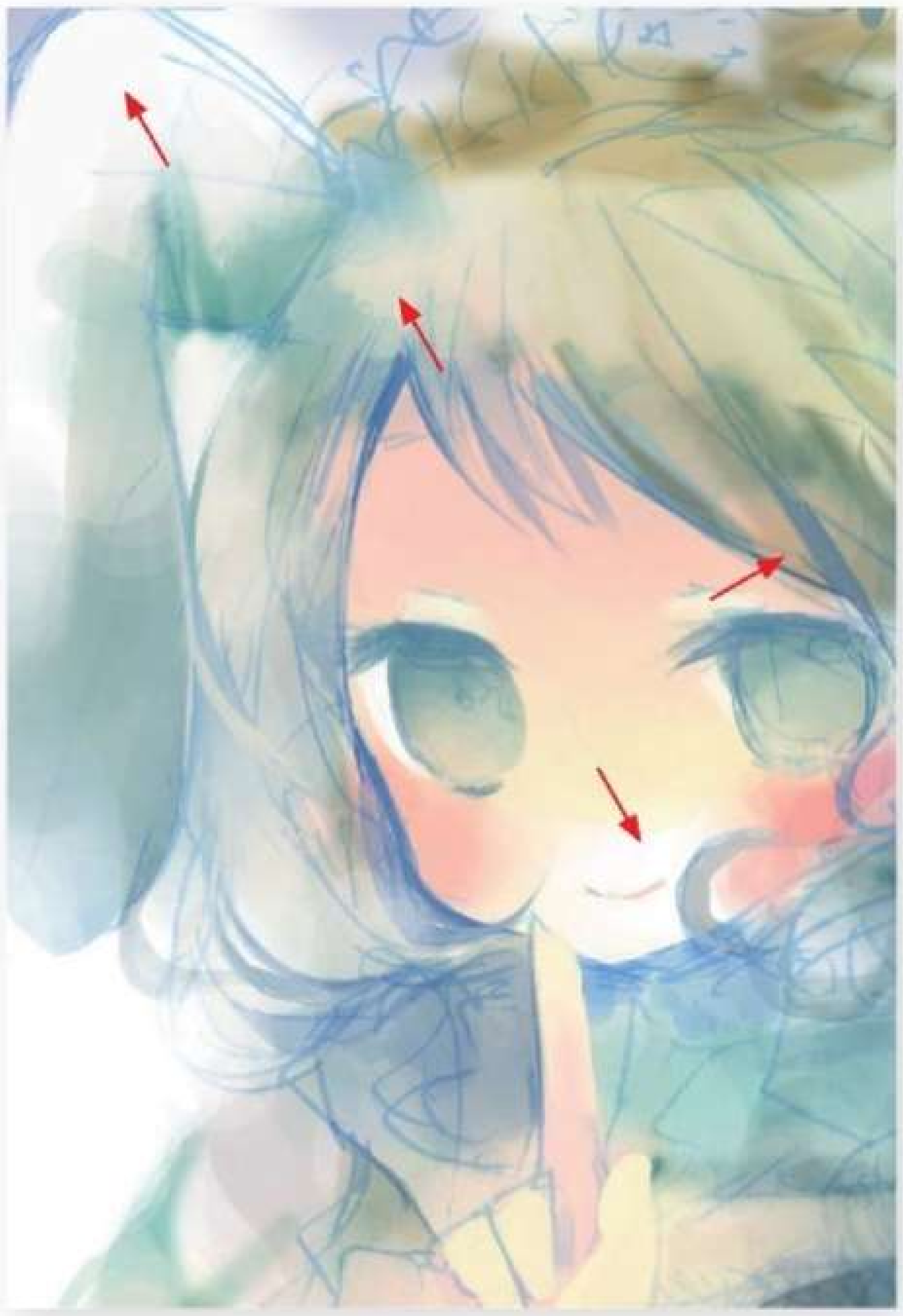




①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「39」を選択

③「描画色」は髪の色を選択しました



↓

04

明るい色を選択して、馴染ませせます。

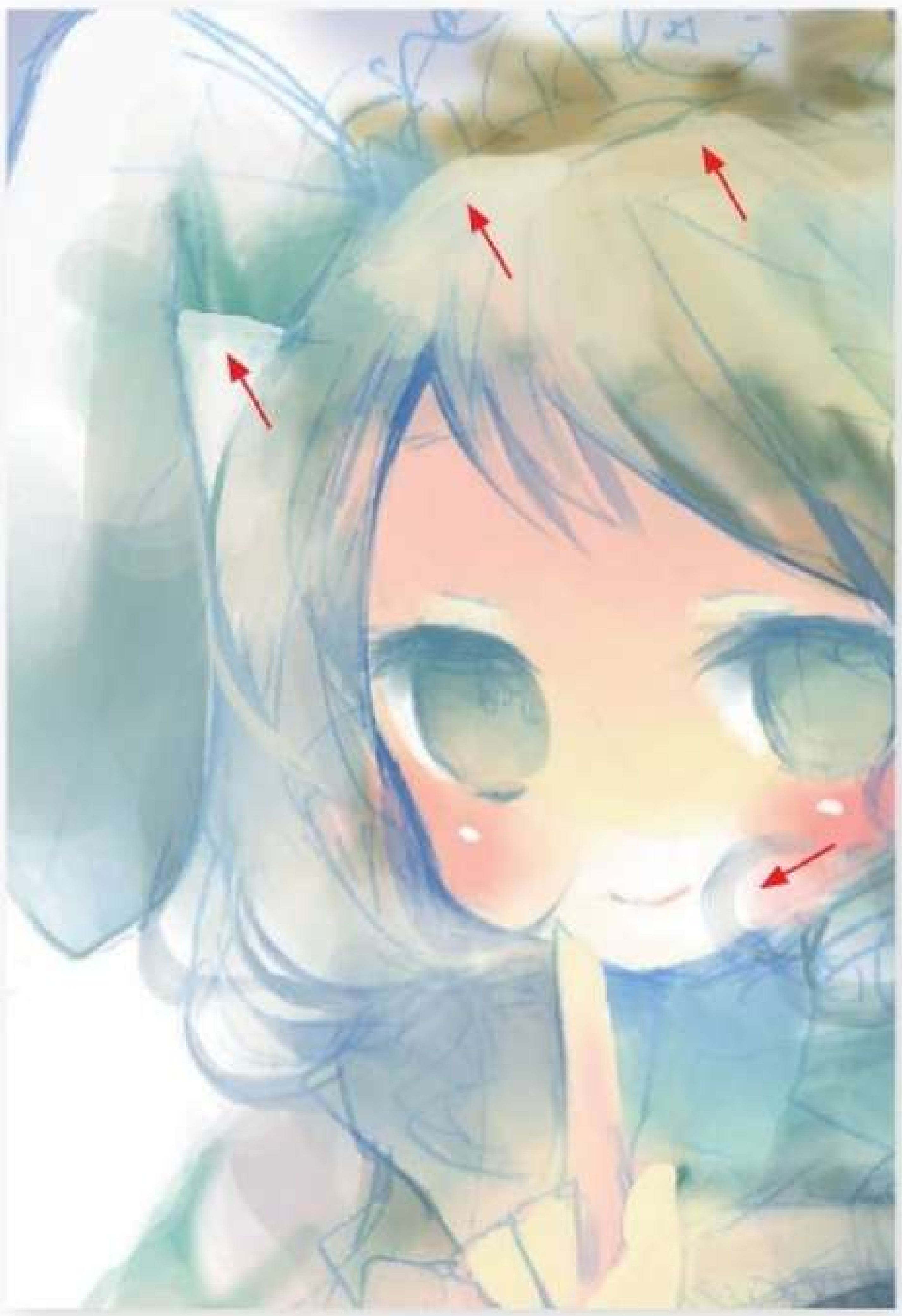




①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「71」を選択

③「描画色」は水色を選択しました

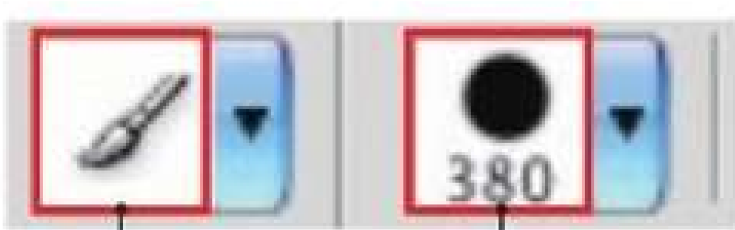


05

背景を「ブラシ」ツールで整えます。フリーハンドで縞を描きます。定規などで引いたキッチリとした線よりフリーハンドで引いた優しい線が好きです。



①修正前の状態





⑤背景を修正後の状態

②「ブラシ」を選択

③「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「380」を選択



④「描画色」は水色を選択しました

細部の着色

01 更に描き込みます。最終的にはラフの線がほぼ消えるくらい、描き込みします。



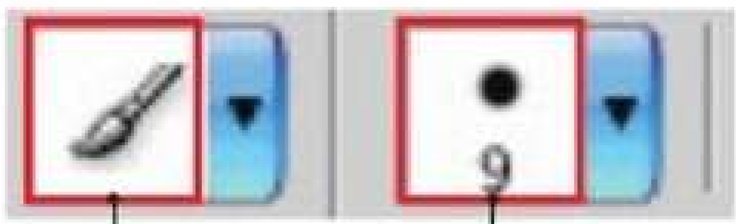
02

形を整えつつ、頭上の鳥やウサギ、服のシワやタイツのシワ、服の裾、瞳やマフラーの影なども少しずつ塗ります。顔の位置も思い切って顔を「投げ縄」ツールで囲み、自由変形で縮小させます。



03 頭部に鳥の巣を描きます。鳥の巣の大体の形をとり、そこから色を伸ばしつつ描き込んでいきます。鳥もなんとなく描いてみました。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「9」を選択

③「描画色」は濃い緑色を選択しました

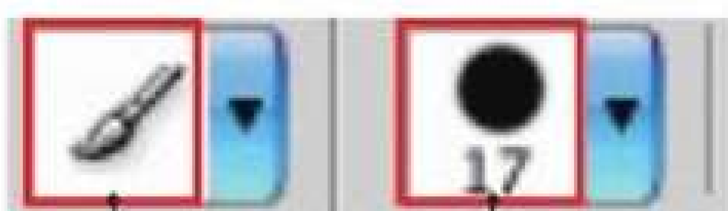


↓



04 頭部に花を描きます。蕚や花の中身もちょんちょんという感じで描きます。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「17」を選択

③「描画色」は濃い水色を選択しました



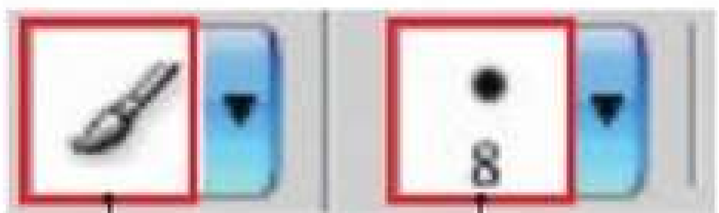
↓



05

手から指にかけても整えていきます。ラウンドの爪だと女性らしく、スクエアの爪だと男性らしく、もしくは"カッコイイ女性"らしくなります。





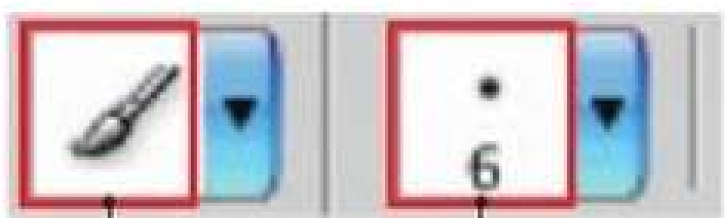
①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「8」を選択

③「描画色」は濃い緑色を選択しました







④「ブラシ」を選択

⑤「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「6」を選択

⑥「描画色」はピンク色を選択しました







⑦「ブラシ」を選択

⑧「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「54」を選択

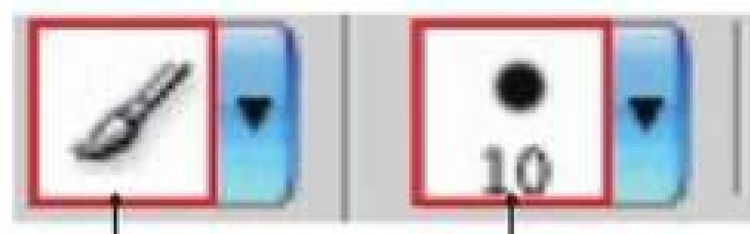
⑨「描画色」は黄色を選択しました



06

ブーツのひもを描きます。ひもの線を引いた後、影を着色します。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「10」を選択

③「描画色」は明るめの緑色を選択しました







④「ブラシ」を選択

⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「10」を選択

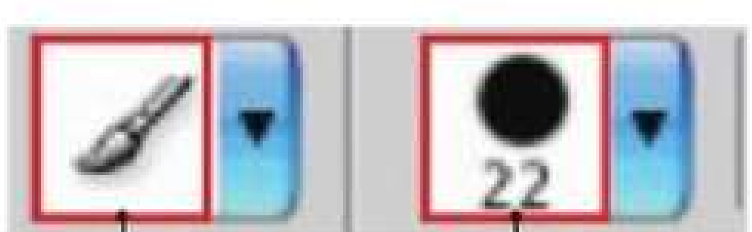
⑥「描画色」は濃い緑色を選択しました



07

女の子に抱かれている動物を描きます。ウサギのつもりですが、犬にしか見えません。生き物は難しいです。





①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「22」を選択

③「描画色」は深緑を選択しました



08

鳥を仕上げます。資料を確認しつつ描き、ほほにピンクを入れてみました。



①作業前の状態



②「ブラシ」を選択

③「エアブラシペン(不透明)」とサイズは「33」を選択



⑤作業後の状態

09

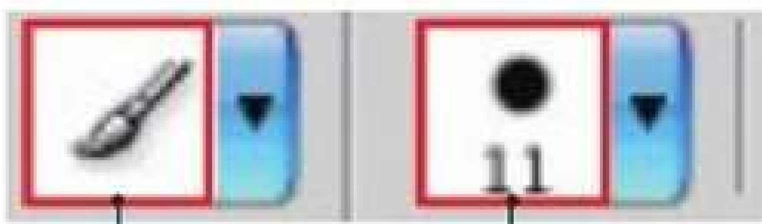
ここまで完成した状態です。



背景の仕上げ

01 背景の線を整理しながら植物のアーチを描きます。ここでも植物モチーフを使いました。やはり植物を描くと画面が華やかになります。

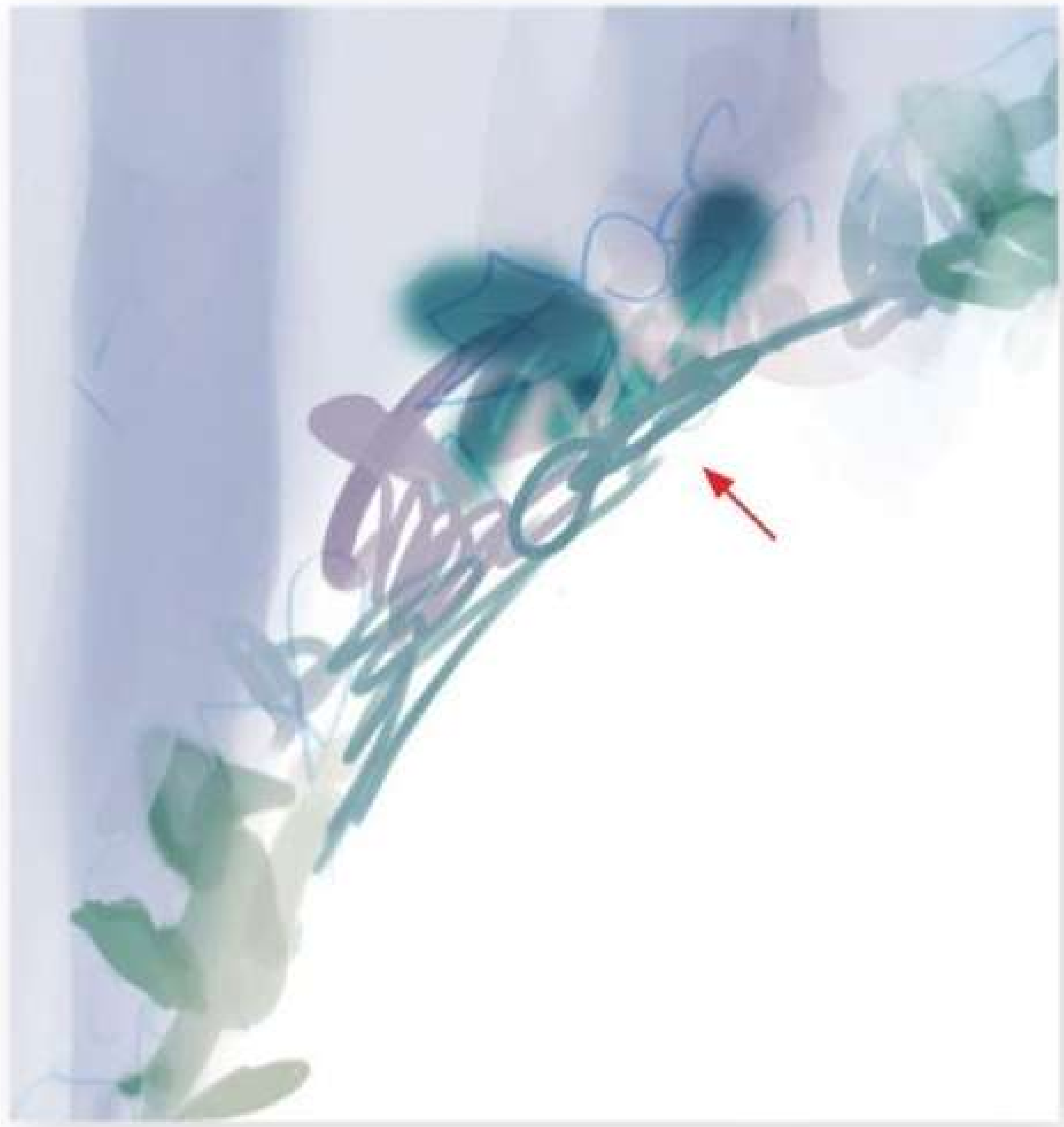




①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「11」を選択

③「描画色」は濃い灰色を選択しました







④「ブラシ」を選択

⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「16」を選択

⑥「描画色」は明るい灰色を選択しました







⑦「ブラシ」を選択

⑧「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「17」を選択

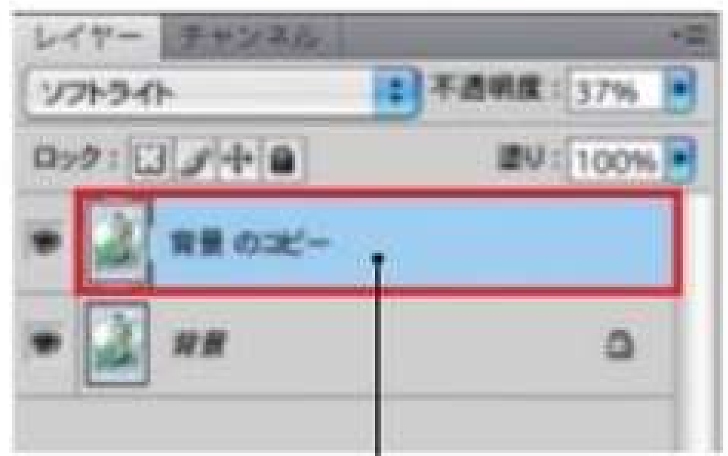
⑨「描画色」は明るい青を選択しました



02 背景のレイヤーを複製します。

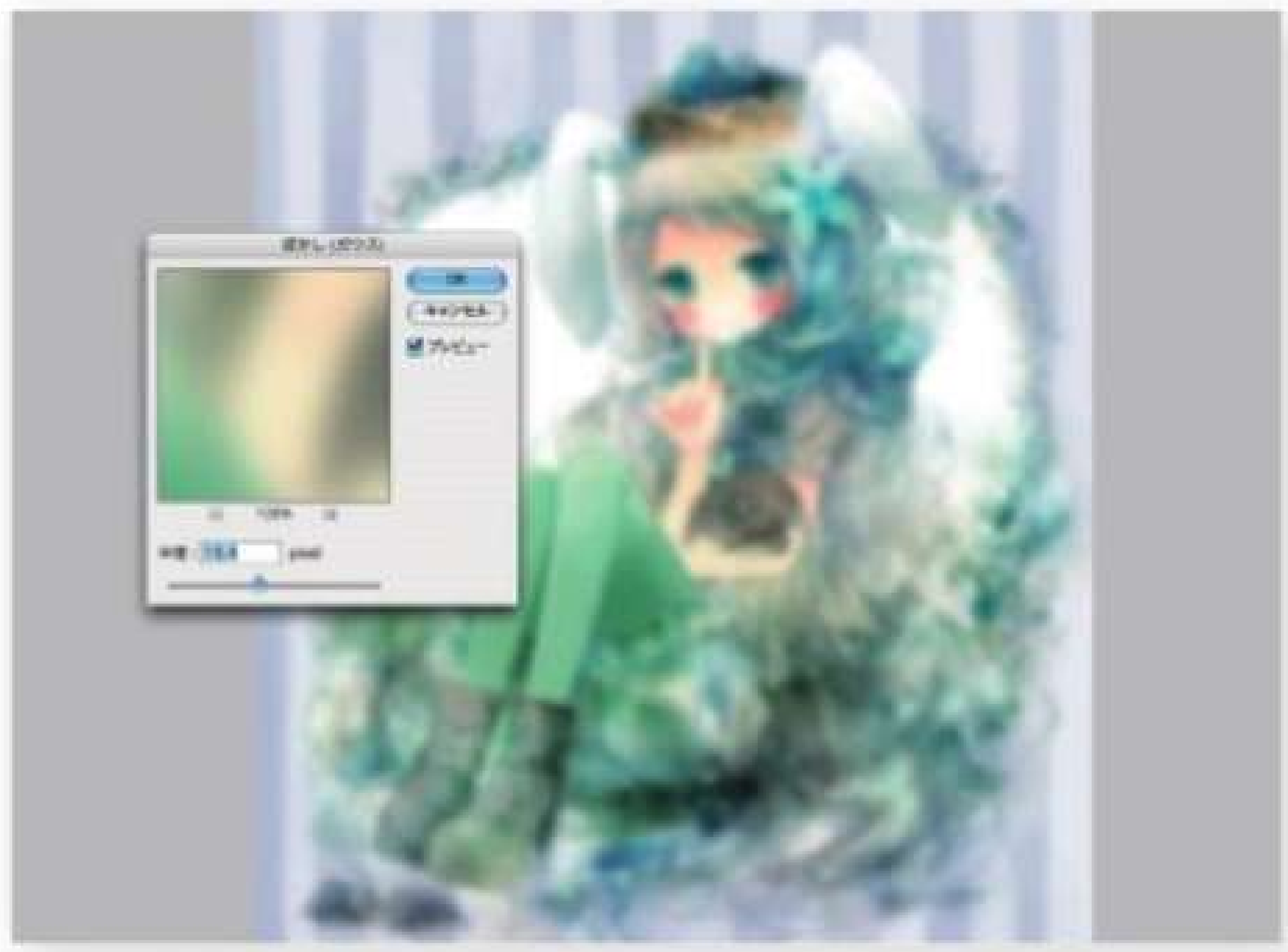


①「背景」レイヤーを選択しました



②「背景のコピー」レイヤーが複製されました

03 複製したレイヤーにメインメニューの「フィルタ」メニュー→「ぼかし（ガウス）」を適用します。



ぼかし（ガウス）」の半径を「15.4」に設定しました

04 描画モードを「ソフトライト」に設定し、不透明度を37%まで下げました。



②描画モードは「ソフトライト」、不透明度は「37%」を選択しました

①「背景のコピー」レイヤーを選択していることを確認します



③「ぼかし（ガウス）」適用前の状態

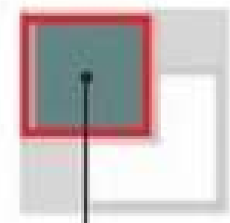


④「ぼかし（ガウス）」適用後の状態

05

マフラーにチェック模様を描き込みます。このような柄を描き込むのも好きです。





①「ブラシ」を選択
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「277」を選択
③「描画色」は濃い青を選択しました



④修正前の状態

→

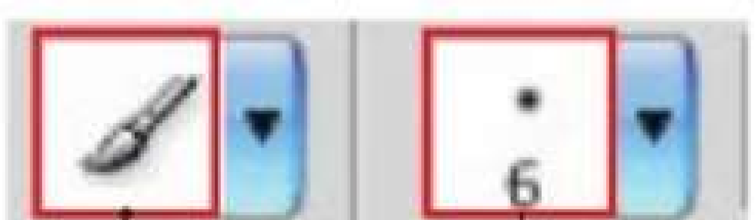


⑤修正後の状態

06

瞳に立体感を描き加えます。



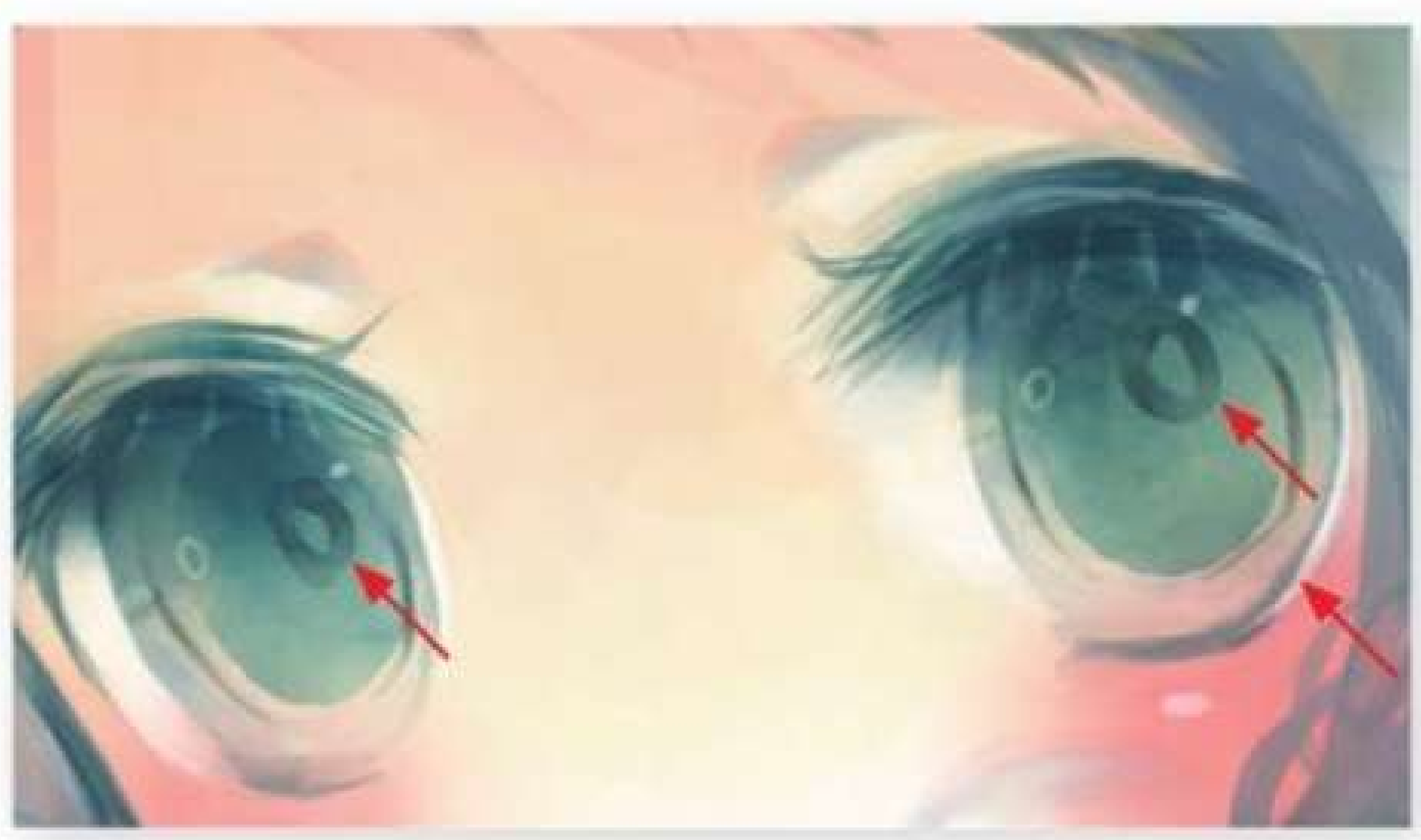


①「ブラシ」を選択
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「6」を選択
③「描画色」は白を選択しました



④修正前の状態

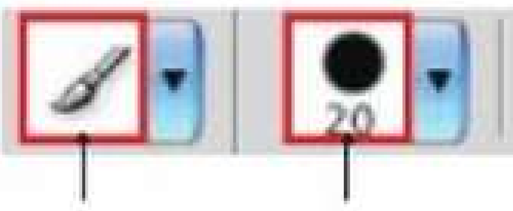
↓



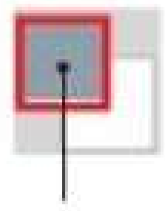
⑤修正後の状態

07

ネズミを塗ります。キャラを描くときと同じように全体に色を乗せ、細いペンで線画を描いていきます。



①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「20」を選択



③「描画色」は灰色を選択しました



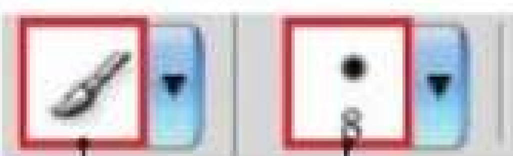
④ネズミ全体を着色しました



⑤「ブラシ」を選択　⑥「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「300」を選択



⑦ネズミ全体に陰影をつけました



⑧「ブラシ」を選択　⑨「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「8」を選択



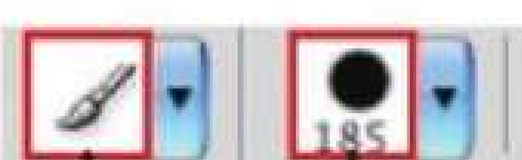
⑩ネズミのアウトラインを描きました

08

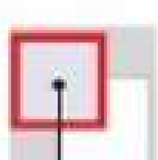
ちょっとネズミの色が濃すぎると思ったので少し薄くします。



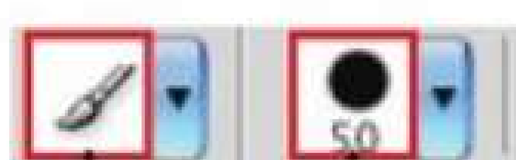




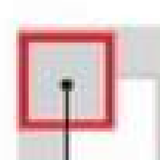
①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「185」を選択



③「描画色」は明るめの灰色を選択しました



④「ブラシ」を選択　⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「50」を選択



⑥「描画色」は灰色を少し暗くしました

09 植物アーチに模様的なものを描き込んで、メルヘン的な感じを出しました。



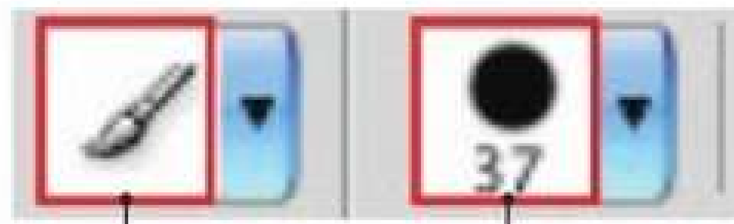
靴の着色と全体の調整

01 再び全体の調整です。髪などを描き足し、タイツに菱形の柄も薄く描きます。



02

靴ひもをもう少し整理します。手前にあるひもは明るく、奥のひもはより暗い色で着色します。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「37」を選択

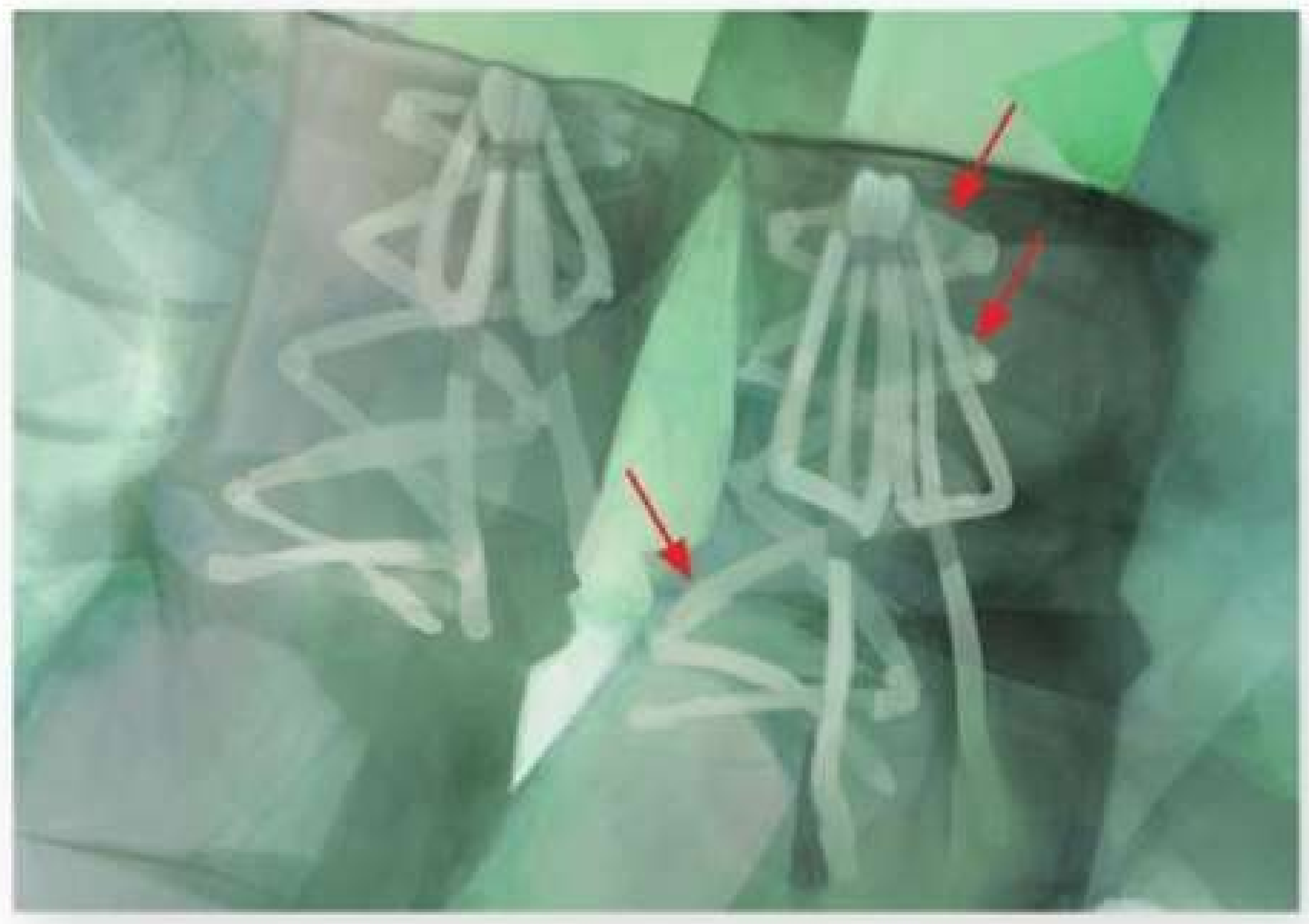


③「描画色」は明るめの黄緑を選択しました



④修正前の状態

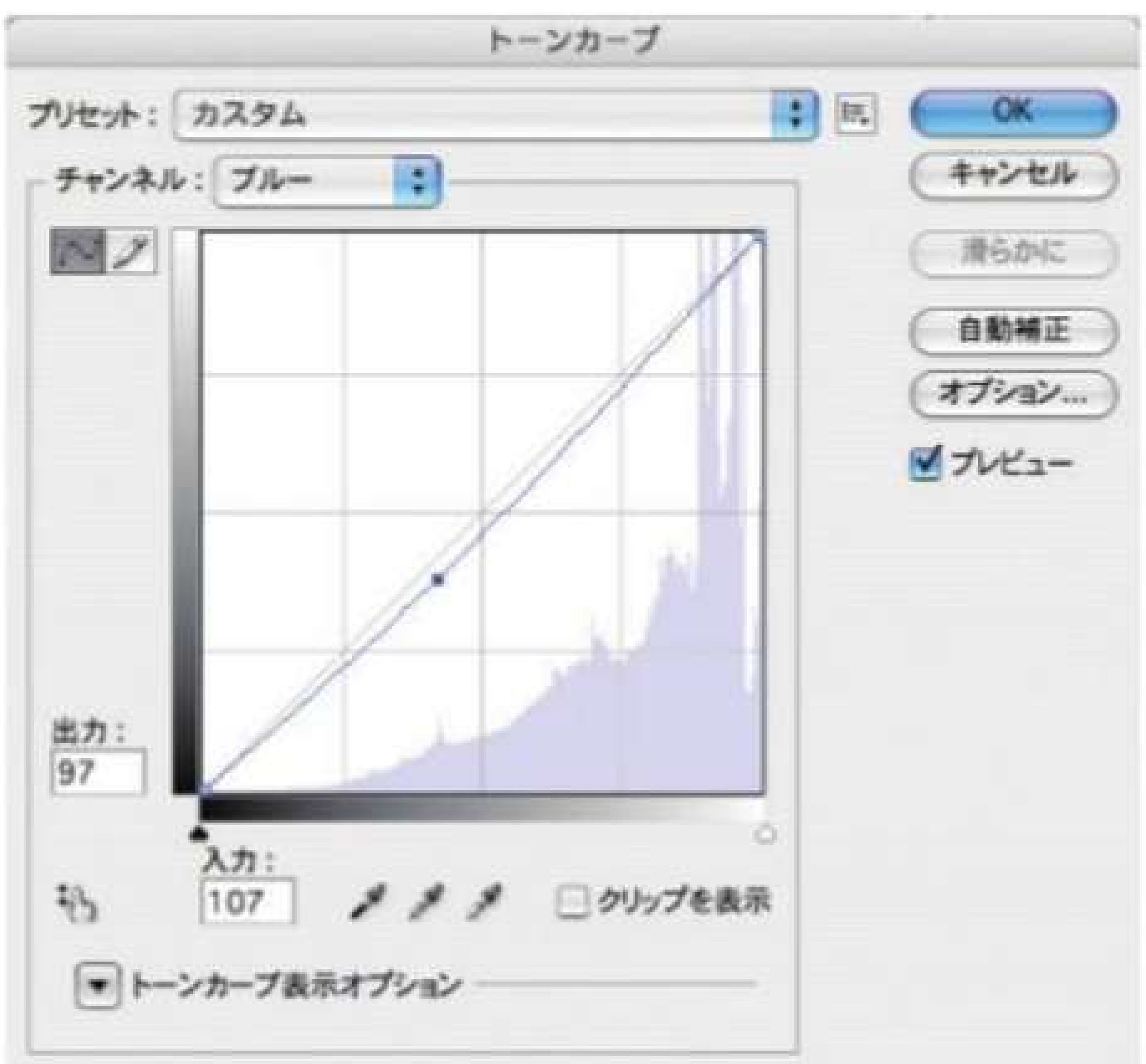
→



⑤修正後の状態

03

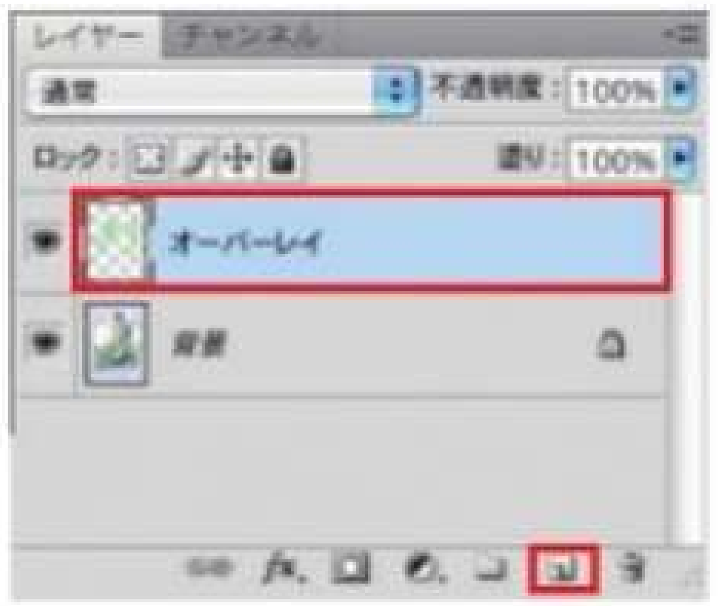
メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「トーンカーブ」で「ブルー」のチャンネルを調整して青みを下げます。





最終仕上げ

01 奥行きから光が差し込む感じを出すために新規レイヤーを作り、「エアブラシ」ツールで緑をかけます。



①新規レイヤーを作成し、名称を「オーバーレイ」に変更しました



②「オーバーレイ」レイヤーを選択して、サイズは「329」、「ソフト円ブラシ」で着色しました

02 描き込んだレイヤーの描画モードを「オーバーレイ」に設定します。

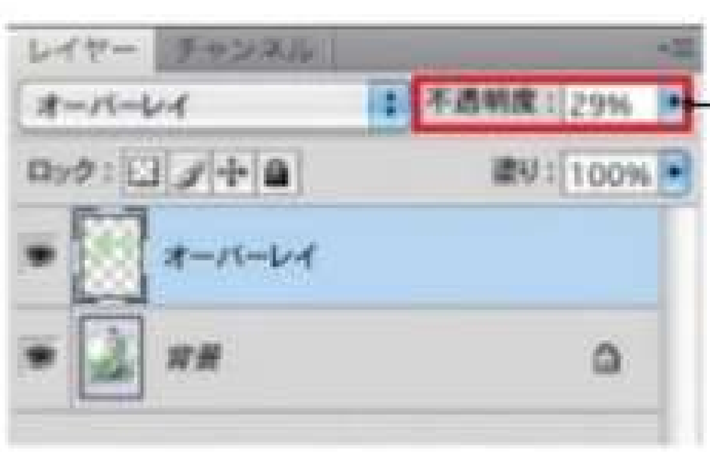


①描画モードを「オーバーレイ」に設定しました



②緑のブラシを置いたところに光沢感が表れました

03 「オーバーレイ」レイヤーの不透明度を下げて馴染ませます。作業が終わったらレイヤーを統合します。



①不透明度を「29%」に設定しました



②光沢感が弱まりました

04 うさぎも加筆します。垂れ耳のウサギは描きにくいので、耳の位置を調整します。これで完成です。



CHAPTER. 04

Photoshopでアニメ塗り風のイラストを描く



CG ILLUSTRATION TECHNIQUES

ILLUSTRATION AND EXPLANATION BY SHIMEKO

Chapter.
04

Photoshopでアニメ塗り風のイラストを描く

アニメ塗りのような仕上げの作品「絵具筆」を紹介します。アニメ塗りはくっきりと色ごとに分かれるので、レイヤー分けをしっかり行いながら作業します。線画の太さや影のつけ方なども参考にしてみてください。

鉛筆ラフの準備

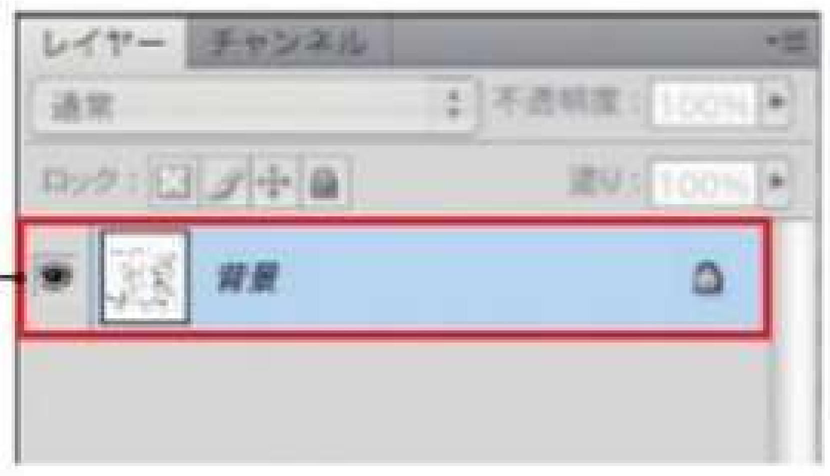
01 鉛筆画のラフをスキャナで取り込みます。

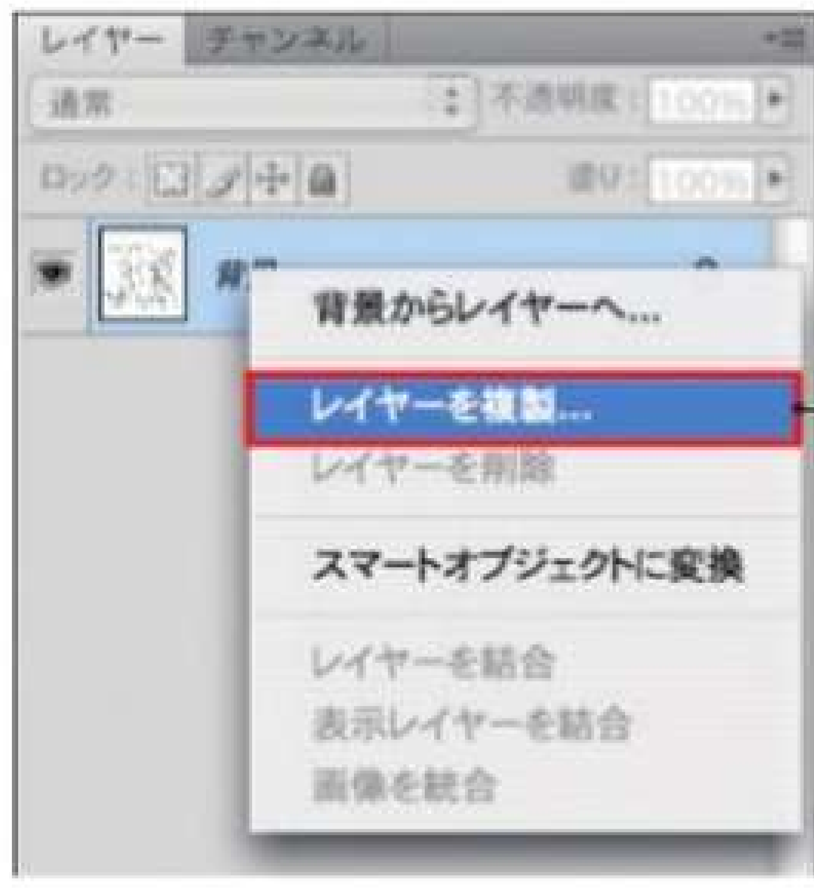


02

「背景」レイヤーは移動や透明化できないので、複製して編集できる状態にします。

①鉛筆ラフが「背景」レイヤーに読み込まれました

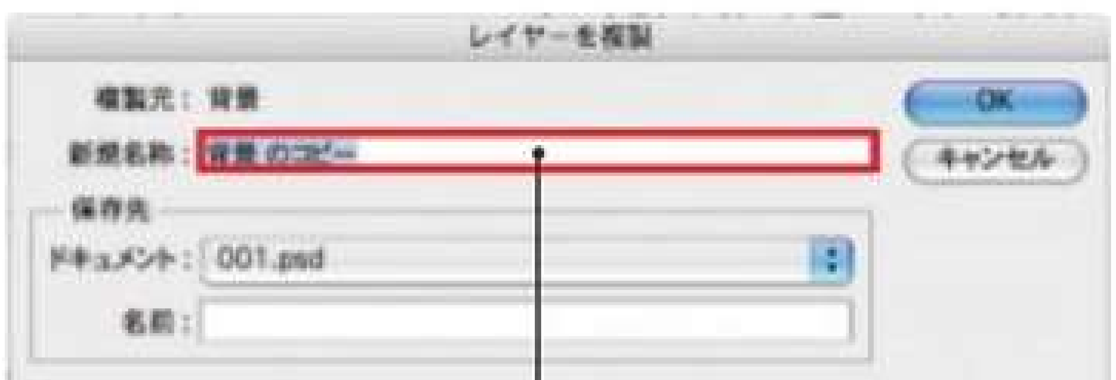




②「背景」レイヤーをクリックし、メニューから「レイヤーを複製」を選択しました

03

「レイヤーを複製」のダイアログが現れます。「新規名称」の設定を「背景のコピー」と入力します。



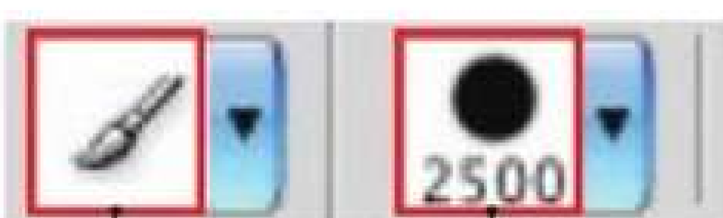
①「レイヤーを複製」のダイアログが表示されました



②「背景」レイヤーが複製されました

04

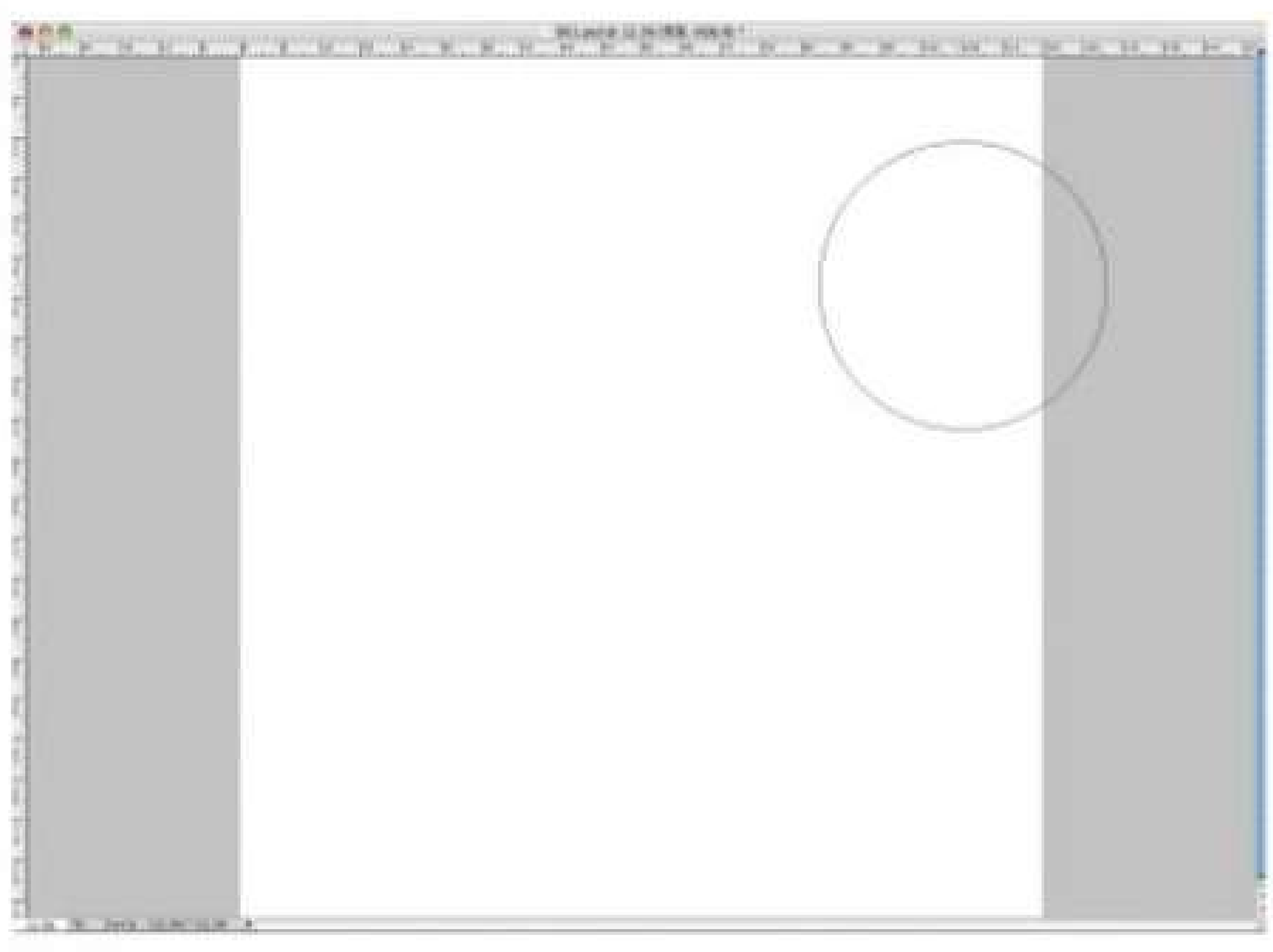
「背景」レイヤーを選択し、カンバスを白で塗りつぶしまします。



①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「2500」を選択



③「背景」レイヤーを選択しました



④「背景」レイヤーを白全体で塗りつぶしました

05

線画が描きやすいように、「背景のコピー」レイヤーの不透明度を12%まで下げます。



①不透明度を「12%」に設定しました

②鉛筆画のラフの表示が薄くなりました

06

鉛筆画のラフの設定はこれで完了です。これからはキャラのアウトラインを中心に描いた「ラフ」、完成した状態の表情にもなる「線画」の作画と続きます。「ラフ」は太めの筆（「エアブラシペン（不透明）」のサイズは29〜39）を使い、「線画」は細めの筆（「エアブラシペン（不透明）」のサイズは4〜22）を使います。

1 鉛筆画ラフ



2 ラフ



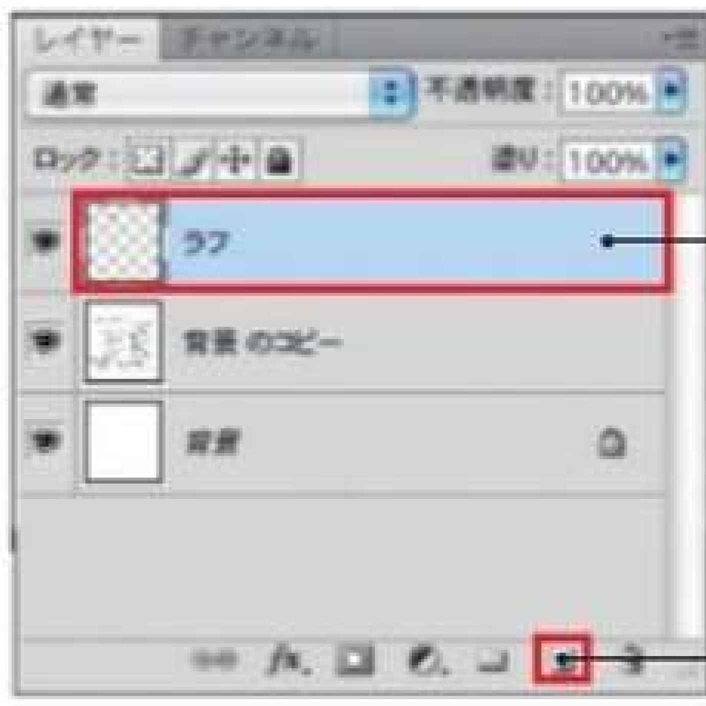
3 線画



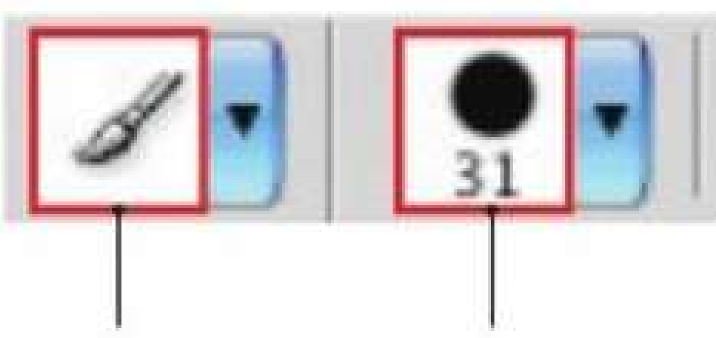
4 着色

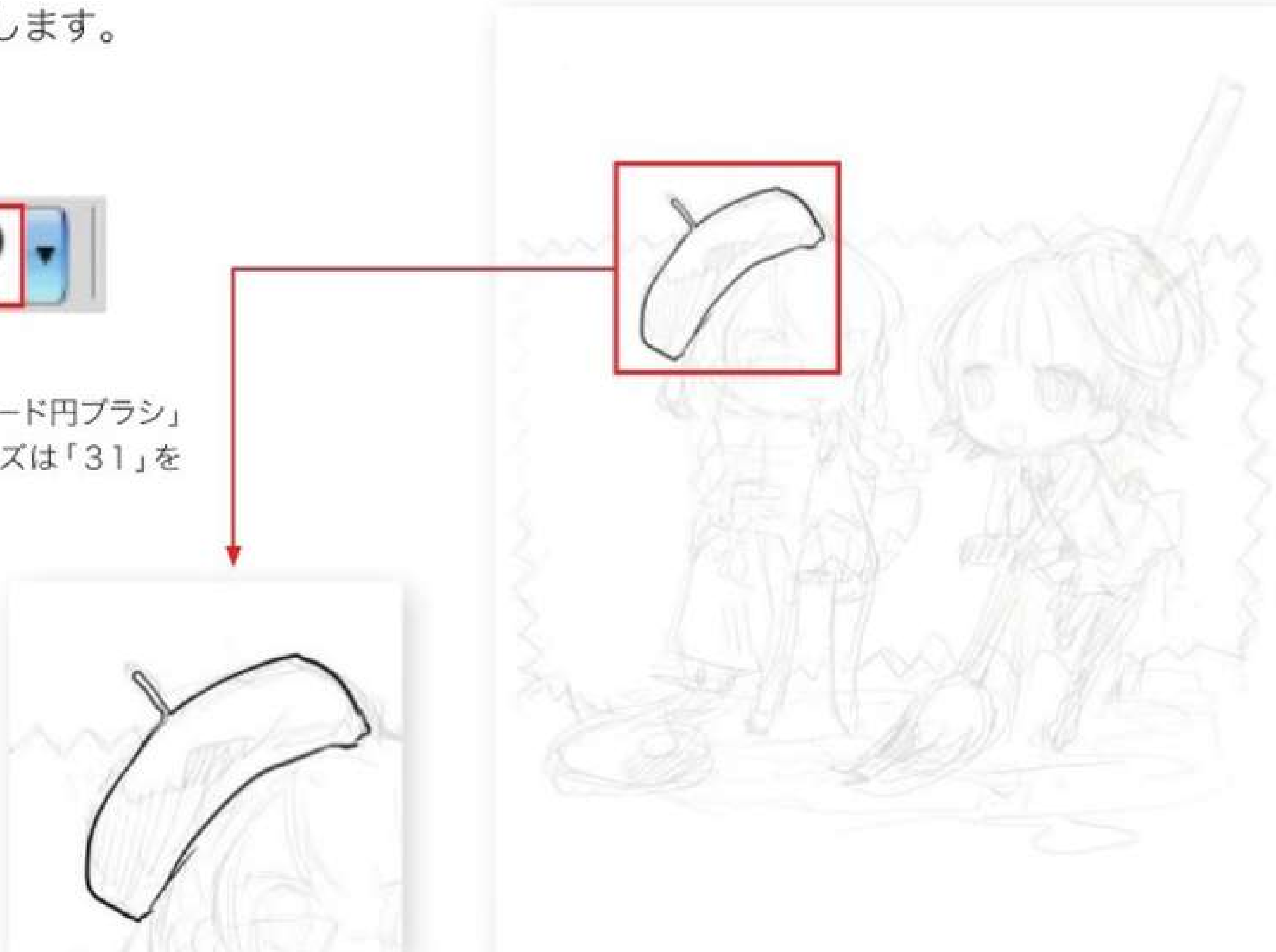
ラフの作成

01 新規レイヤーを作成します。このレイヤーにラフを描き込みます。

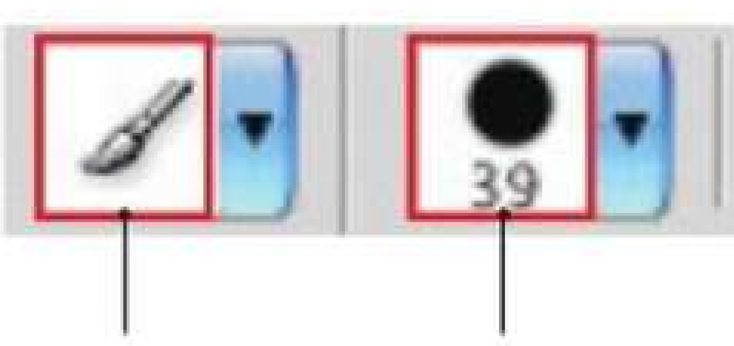


02 アタリを作成します。



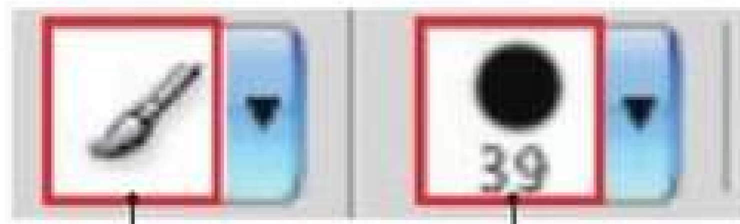


03 アウトラインを整理するくらいの気持ちで、どんどんと描きます。





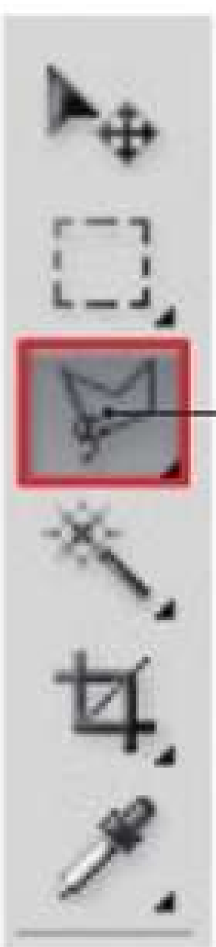
04 表情を描きます。



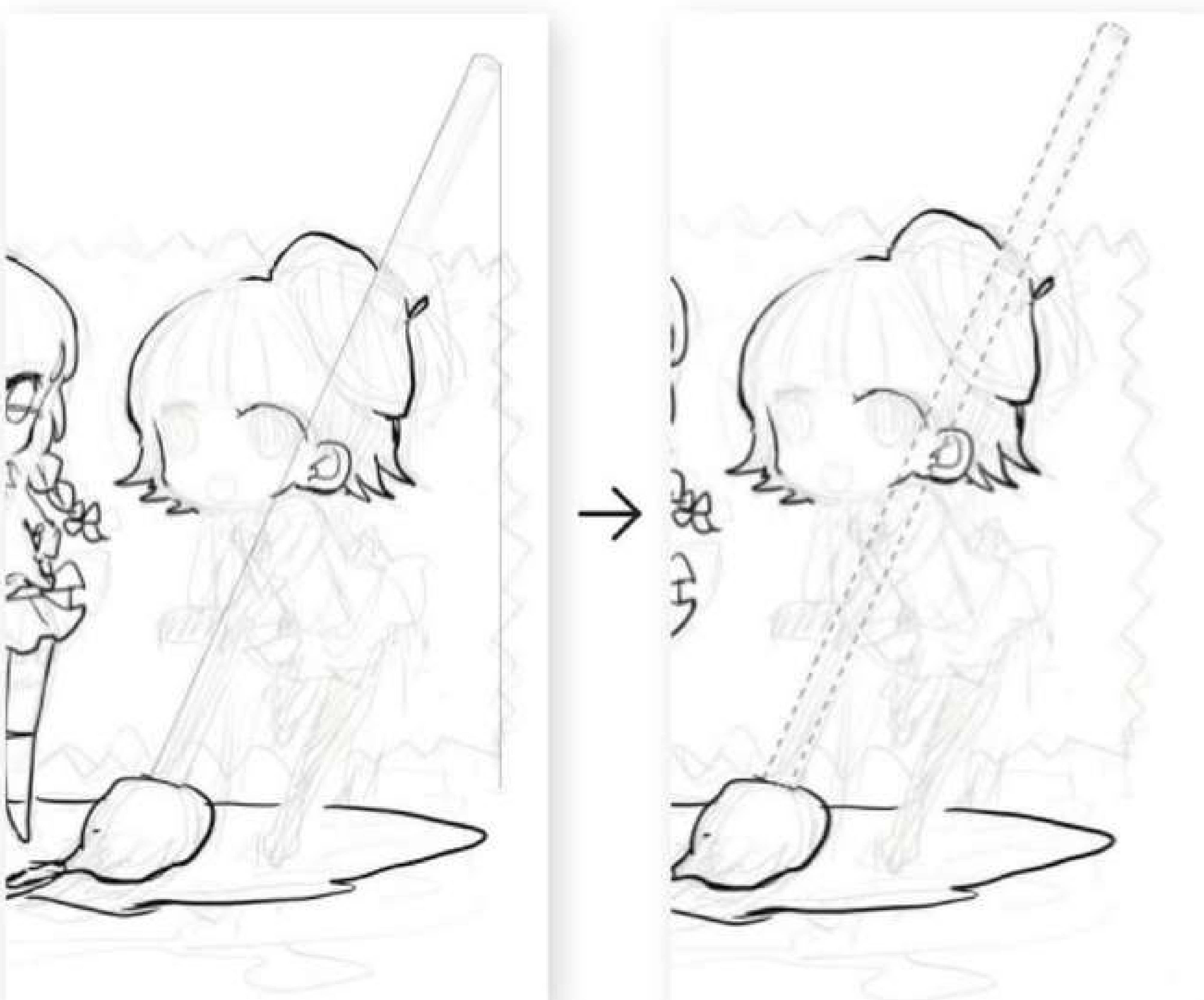
①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「39」を選択



05 筆の軸のような直線的なものは「多角形選択」ツールの直線を使ってアウトラインを描きます。



①「多角形選択」ツールを選択しました



②境界線を設定中

③選択範囲の境界線を閉じて確定させました

06 「境界線を描く」を選択します。線の太さは適当です。



①選択範囲後にクリックで表示されるメニューから「境界線を描く」を選択しました



②幅に「20」を設定しました

07 選択範囲を解除して、描画します。

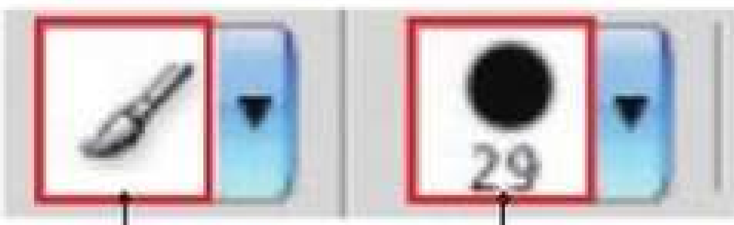


①メインメニューの「選択範囲」→「選択範囲の解除」で選択範囲を解除しました



②境界線が20ピクセルで描画されました

08 右の子も一気に描きます。これでラフの完成です。



①「ブラシ」を選択
②「ハード円ブラシ」とサイズは「29」を選択



09 線画を描きやすくするために「ラフ」レイヤーの不透明度を下げます。



②不透明度を「15%」に設定しました
①「ラフ」レイヤーを選択していることを確認します

③ラフの表示が薄くなりました

線画の作成

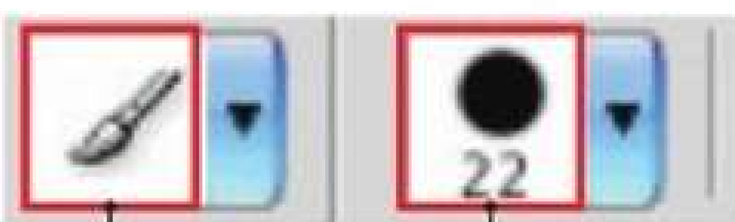
01 ここからは線画を描きます。まず、新規レイヤーを作成します。このレイヤーは線画を描き込むためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「線画」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 不透明度を下げた「ブラシ」ツールでアウトラインを描きます。





①「ブラシ」を選択

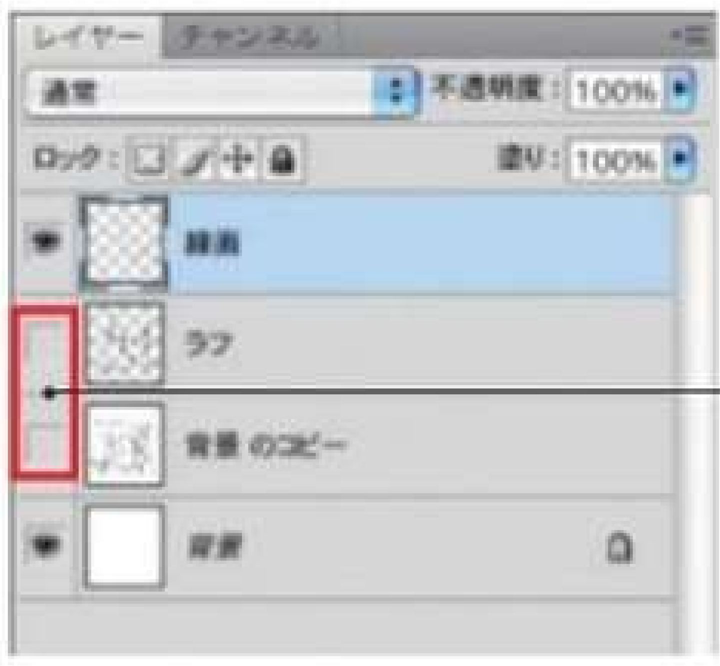
②「ハード円ブラシ」とサイズは「22」を選択

③不透明度は「77%」を選択



④ブラシの不透明度を低く設定しているので、線が薄く描画されました

03 アウトラインがだいたい描けました。現在の「線画」レイヤーはこのような感じです。

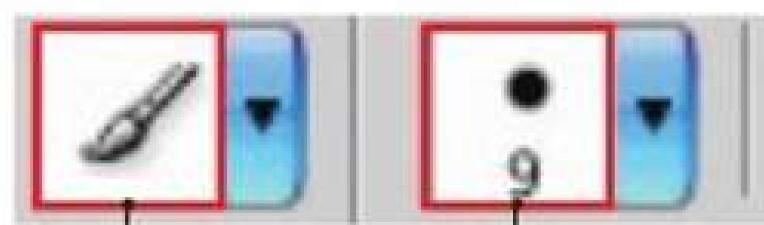


①「ラフ」レイヤーと「背景のコピー」レイヤーの「レイヤー表示の切り替え」チェックボックスをオフにしました



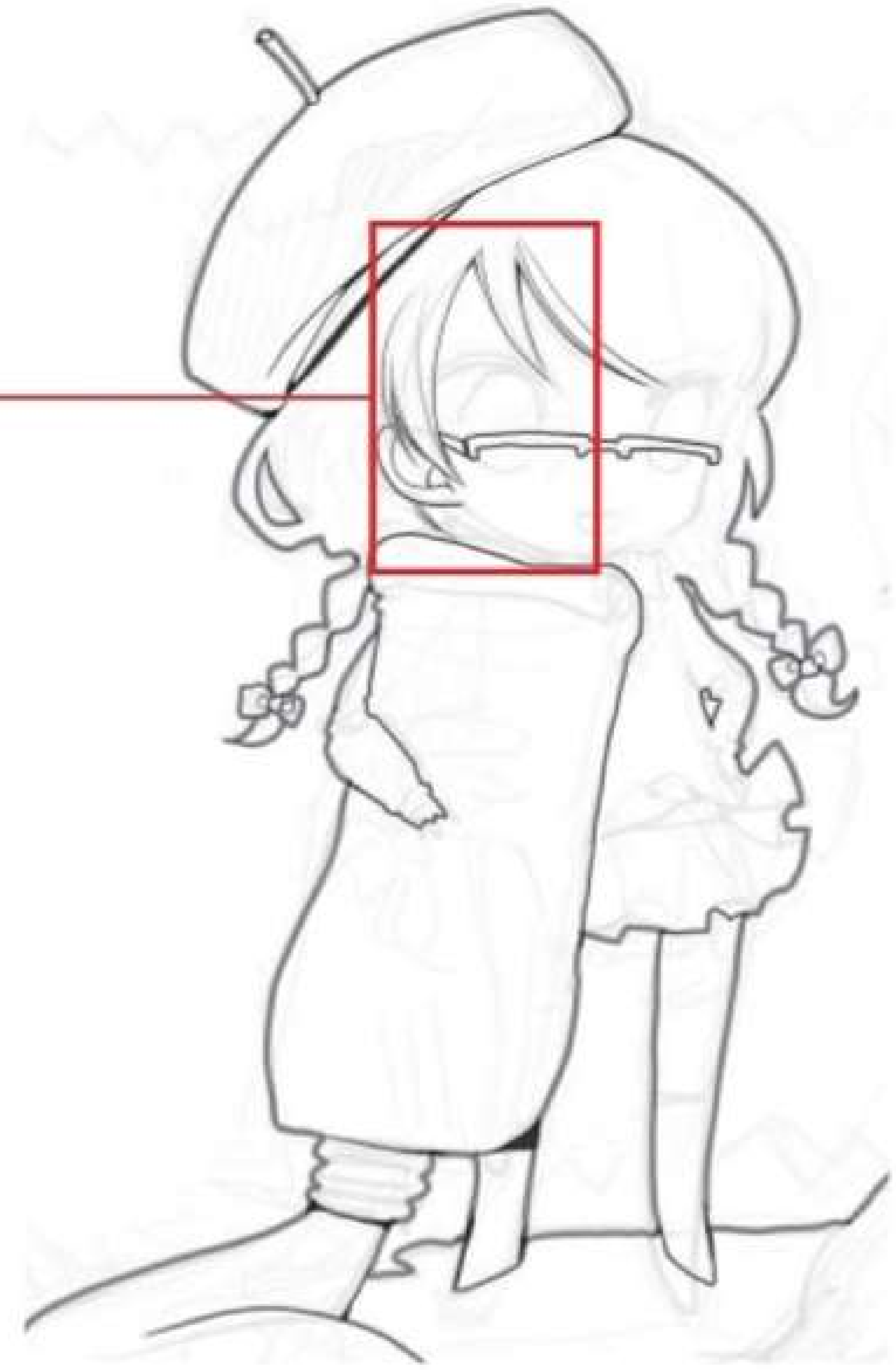
②線画のみが表示された状態です

04 髪や眼鏡から描きます。アウトラインの線より細い「ブラシ」ツールで描きます。



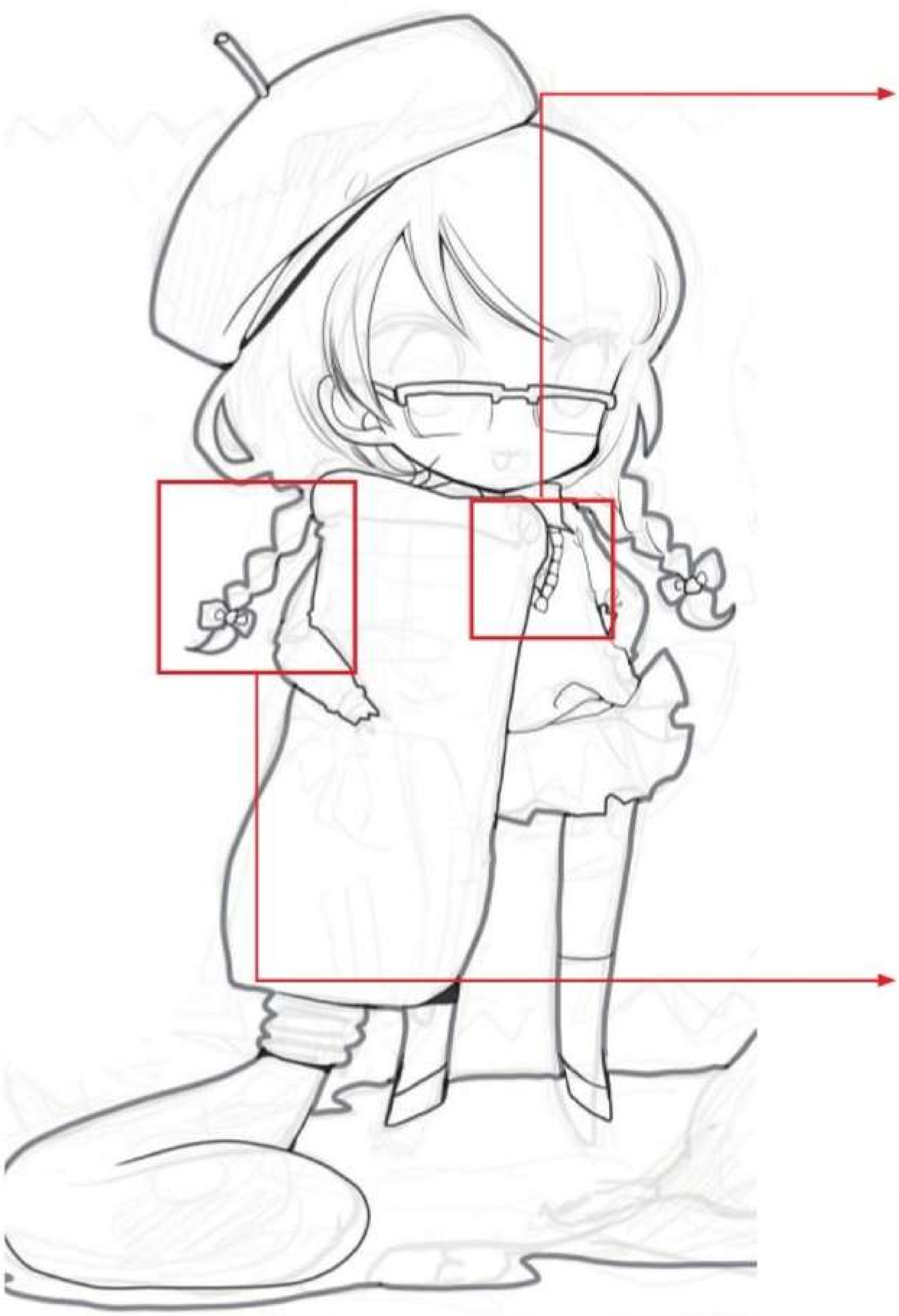
①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「9」を選択

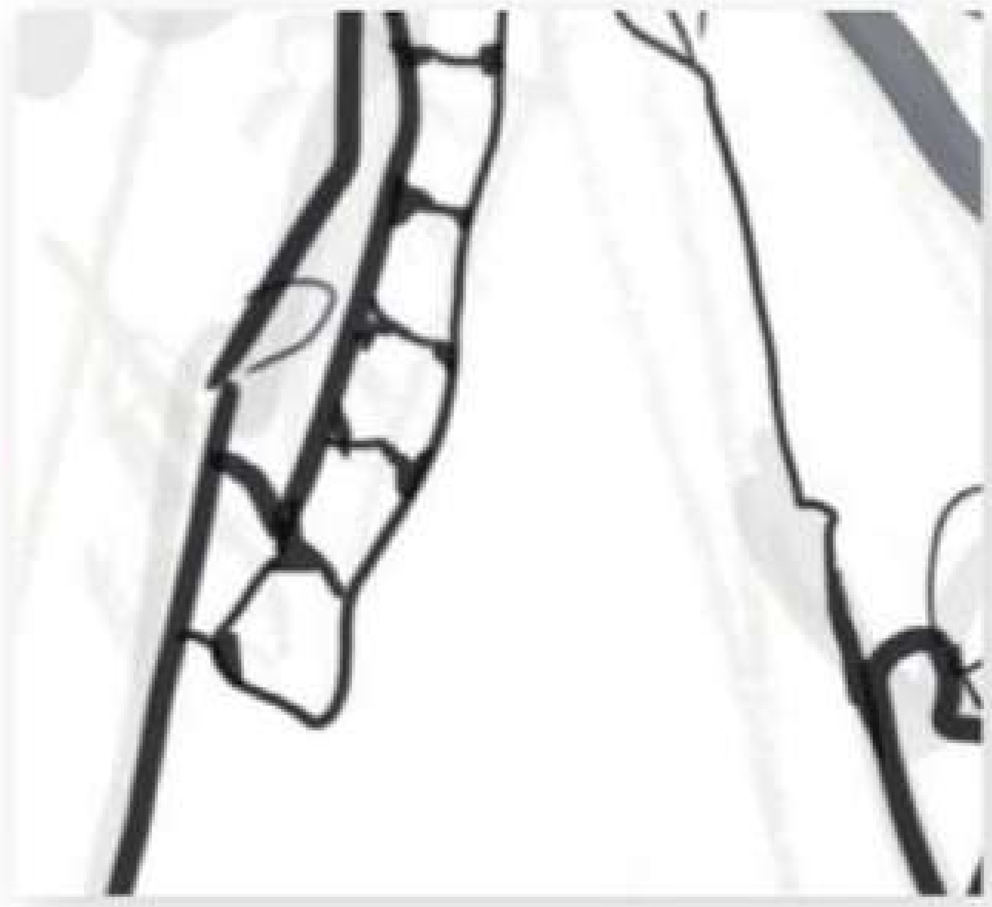




05

「ブラシ」ツールの不透明度を下げているので、線を重ねた部分は不透明度が高くなり、線に強弱がつけやすくなります。



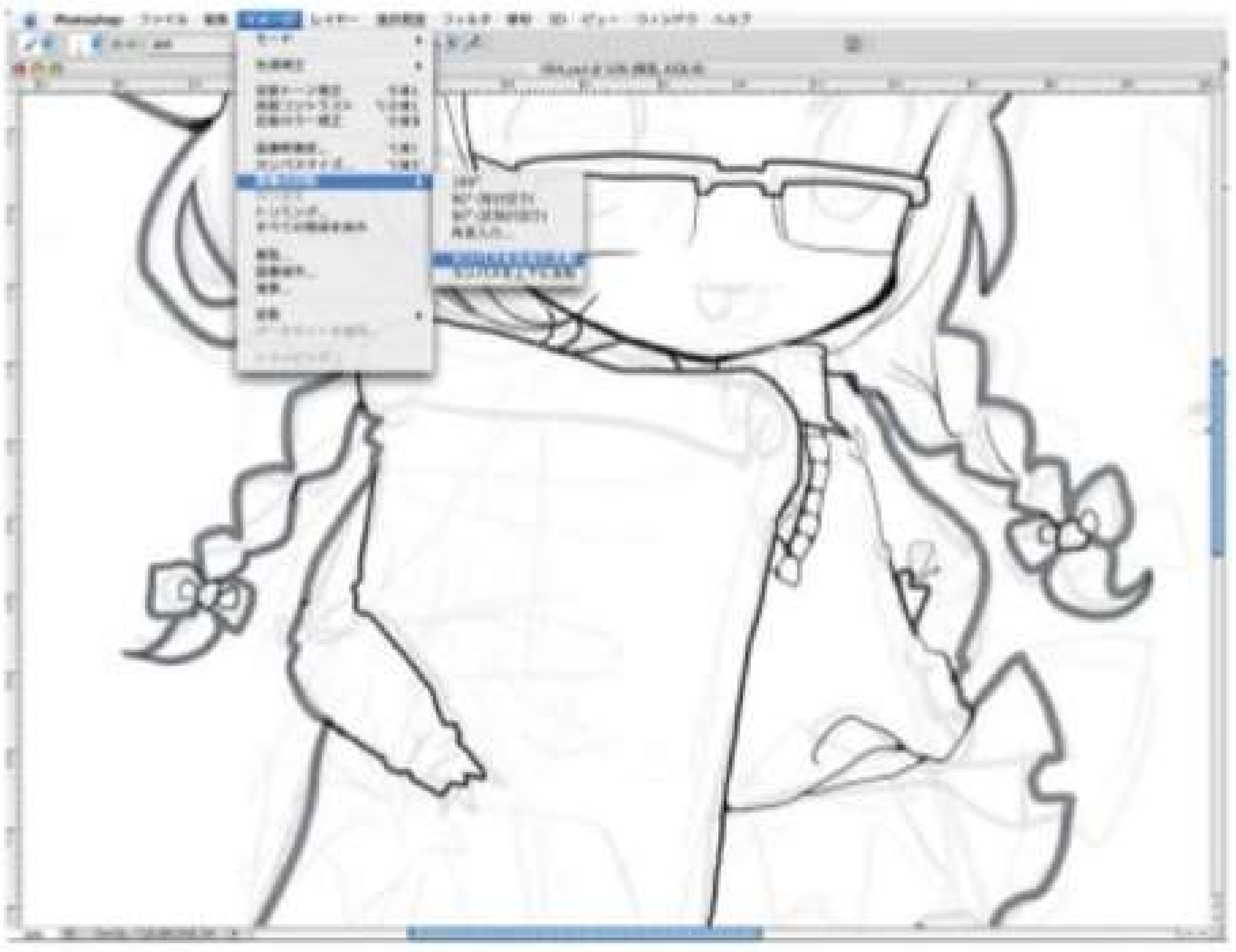


①服のシワなど細かい部分は更に細い「ブラシ」ツールで描きました



②重なった線が濃くなりました

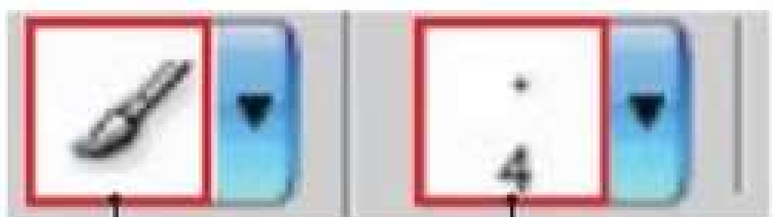
06 バランスの確認や顔の中を描き込むために、左右を反転させます。「カンバスを左右に反転」を選択します。





メインメニューの「イメージ」メニュー→「画像の回転」→「カンバスを左右に反転」を選択しました

07 まつ毛、まぶたを描画します。線を重ねるように描きます。目のアウトライン、左目、口なども描き足しつつ同時進行で輪郭の形なども整えます。



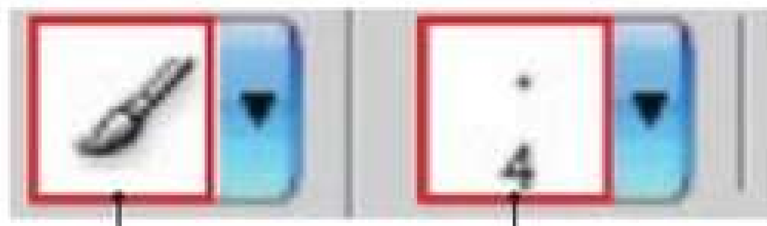
①「ブラシ」を選択 ②「ハード円ブラシ」とサイズは「4」を選択







08 髪を描き、顔周りの影も入れます。眼鏡近くの輪郭を消して眼鏡レンズの厚みが分かるようにします。



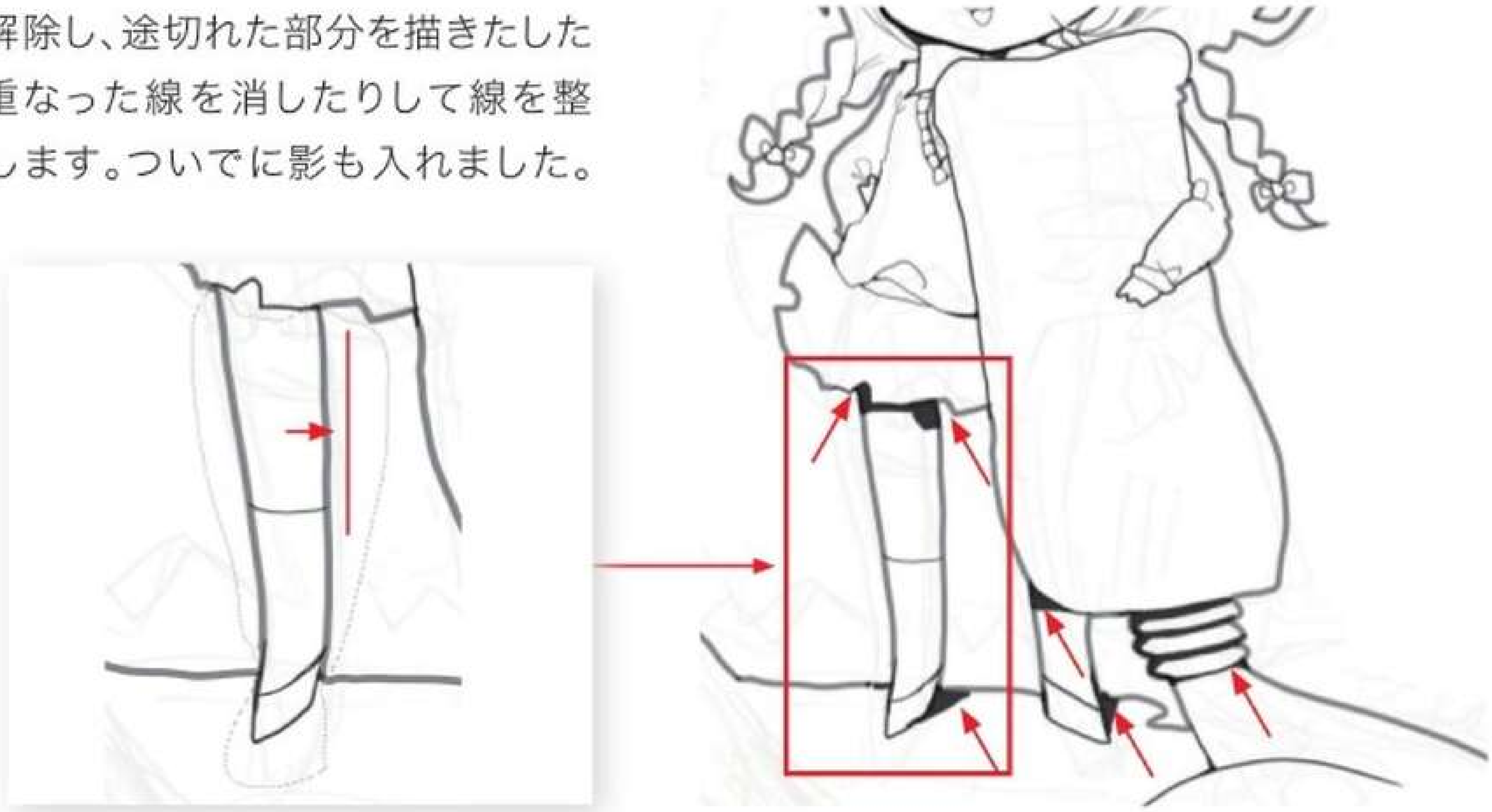
①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「4」を選択







09 右足のバランスが気になったので修正します。「投げ輪」ツールで足を囲み、右側に若干移動させました。選択を解除し、途切れた部分を描きたしたり重なった線を消したりして線を整理します。ついでに影も入れました。

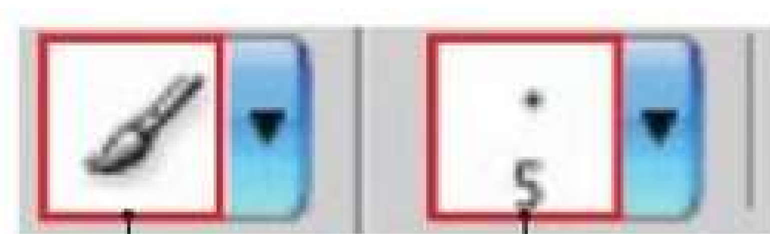


①右足はラフよりも中心側に移動しました　②影を描きました

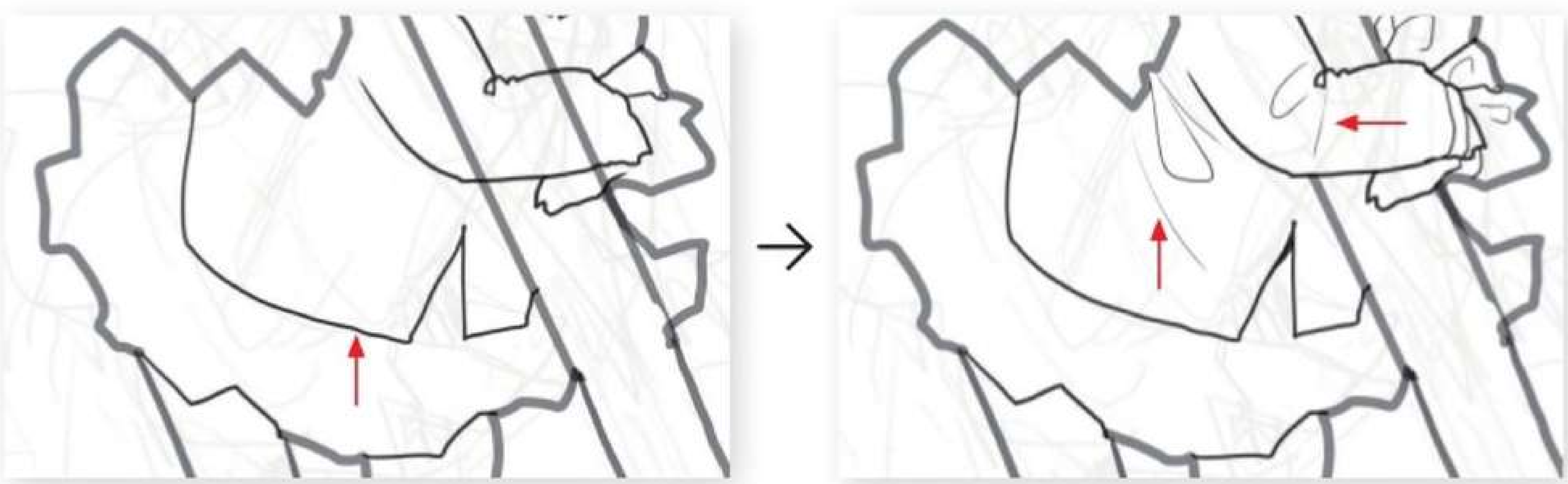
10 左の女の子を描画します。おさげの子を描いた時と同じようにアウトラインの線より細めの線で、線が重なっても気にせずに描きます。重なった部分は「消しゴム」ツールで消しつつシワなども描画します。



①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「9」を選択



③「ブラシ」を選択　④「ハード円ブラシ」とサイズは「5」を選択



11 ここで再び「カンバスを左右に反転」を選択します。



12 ラフレイヤーを可視にしたり不可視にしながら、バランスを確認して描きます。描くのを忘れがちなまゆげも忘れないようにします。まゆを忘れがちなのは私だけでしょうか。



①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「4」を選択







13 細めの「ブラシ」ツールで前髪も描き、際に影も入れます。「ラフ」レイヤーを消して線画の完成です。



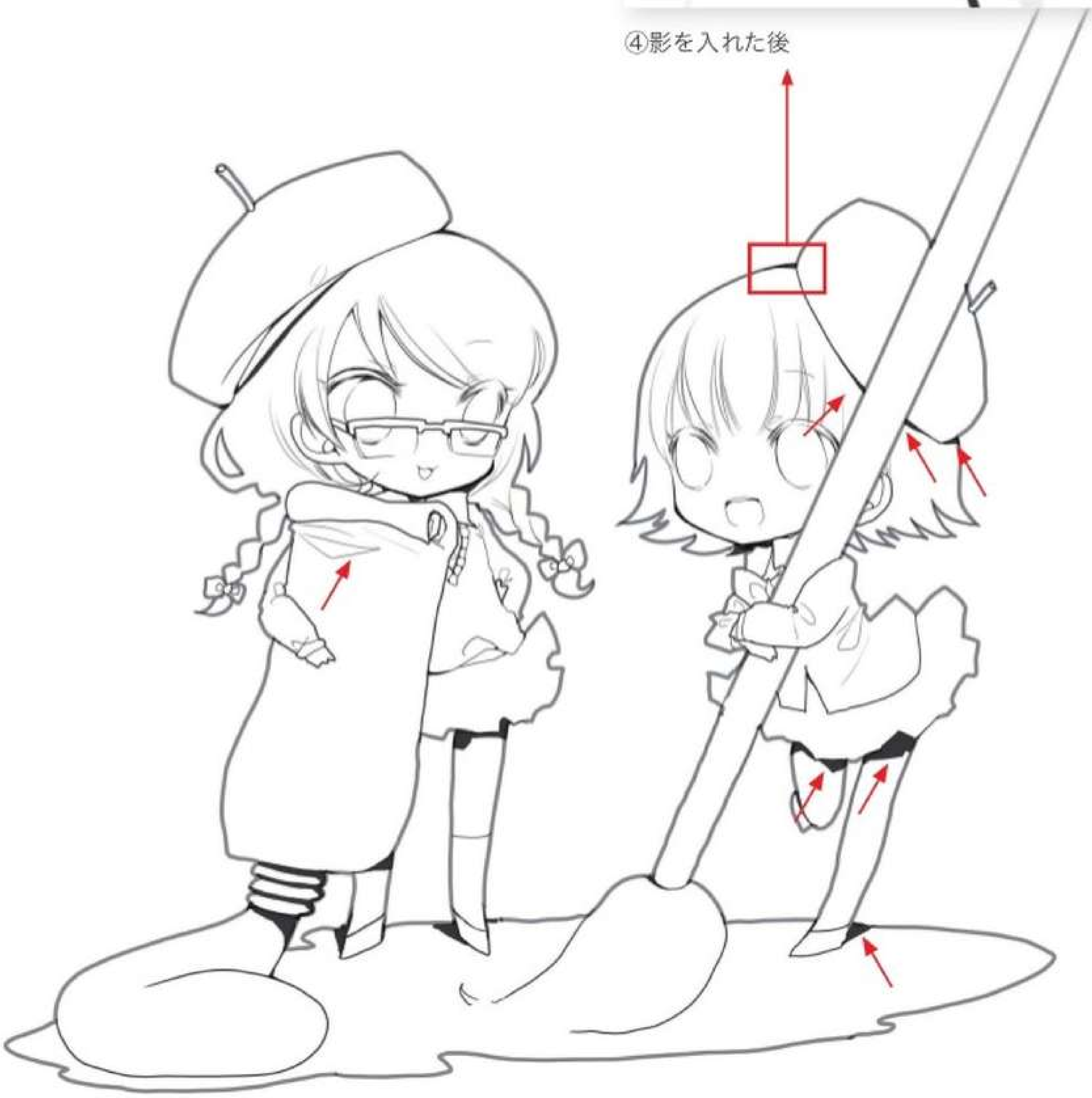
①「ブラシ」を選択　②「ハード円ブラシ」とサイズは「4」を選択



③影を入れる前

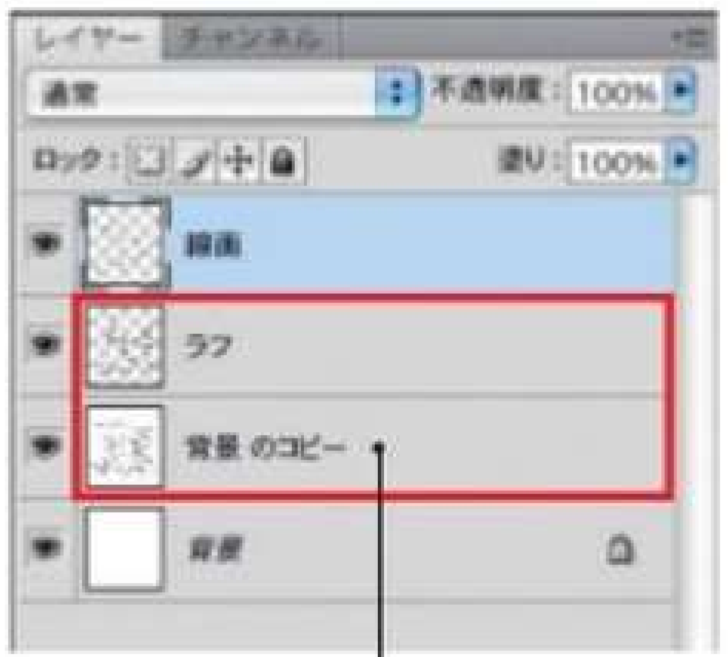


④影を入れた後



線画の色変更と着色の準備

01 塗りに入ります。線画に色を塗るために、「線画」レイヤーを選択した状態で「レイヤー」パネルの「透明ピクセルをロック」をオンにします。





①「ラフ」レイヤーと「背景のコピー」レイヤーを削除しました

②「線画」レイヤーを選択していることを確認します

③「レイヤー」パネルの「透明ピクセルをロック」をオンにしました

02 線画をワインレッドで塗ります。





①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「960」を選択

③「描画色」はワインレッドを選択しました



03

塗り分けをしやすくするために、キャラクターの部分を塗りつぶします。「自動選択」ツールで背景を選択します。



①「自動選択」ツールを選択しました



②背景を選択しました

③背景をクリックしただけではキャラに囲まれた背景は選択されないので、Shiftキーを押しながらクリックして追加選択しました

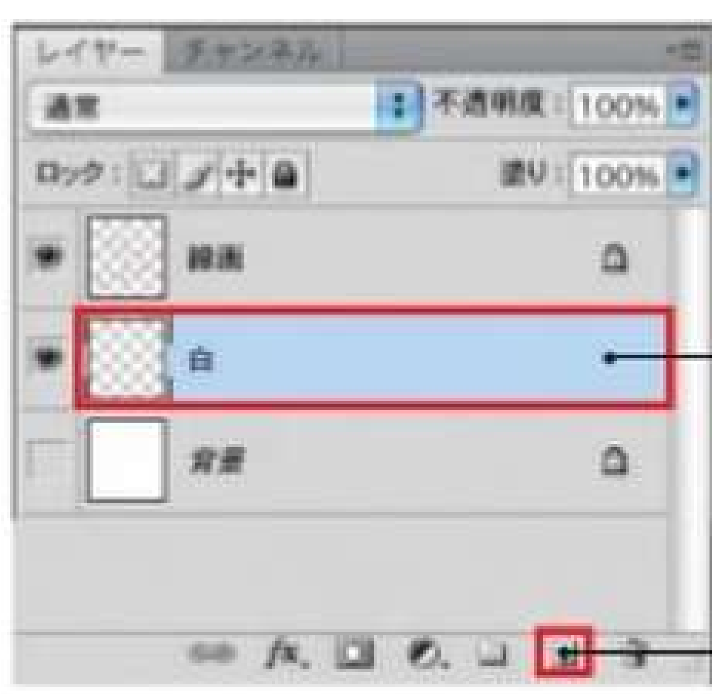
04

メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を反転」を選択します。これでキャラクターの部分のみ選択されます。



05

「線画」レイヤーの下に新規レイヤーを作成します。このレイヤーは選択範囲を白で塗りつぶすためのものです。



②新規レイヤーを作成し、名称を「白」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

06 「白」レイヤーの選択範囲を白で着色します。





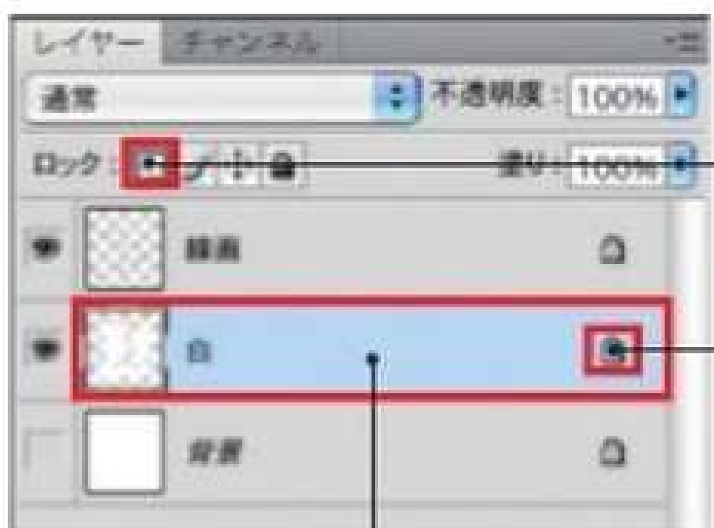
①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「960」を選択

③「描画色」は白を選択しました



07 全体に色が乗ったら選択を解除し、レイヤーの透明部分をロックします。



②「透明ピクセルをロック」をオンにしました

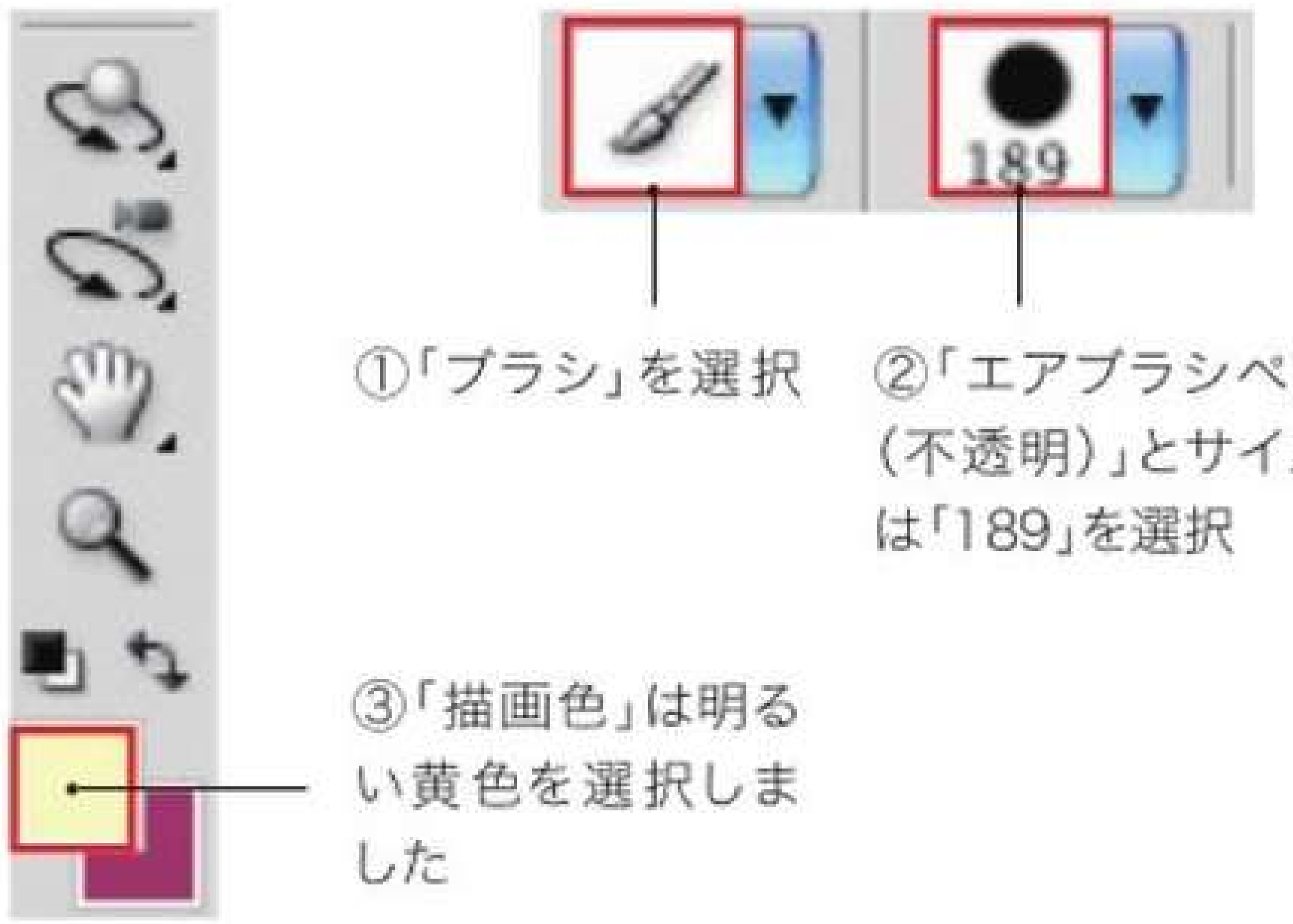
③「透明ピクセルをロック」がオンになりました

①「線画」レイヤーを選択していることを確認します



肌色の着色

01 「白」レイヤーに肌色を塗ります。透明部分をロックしているので背景に色ははみ出しません。





↓



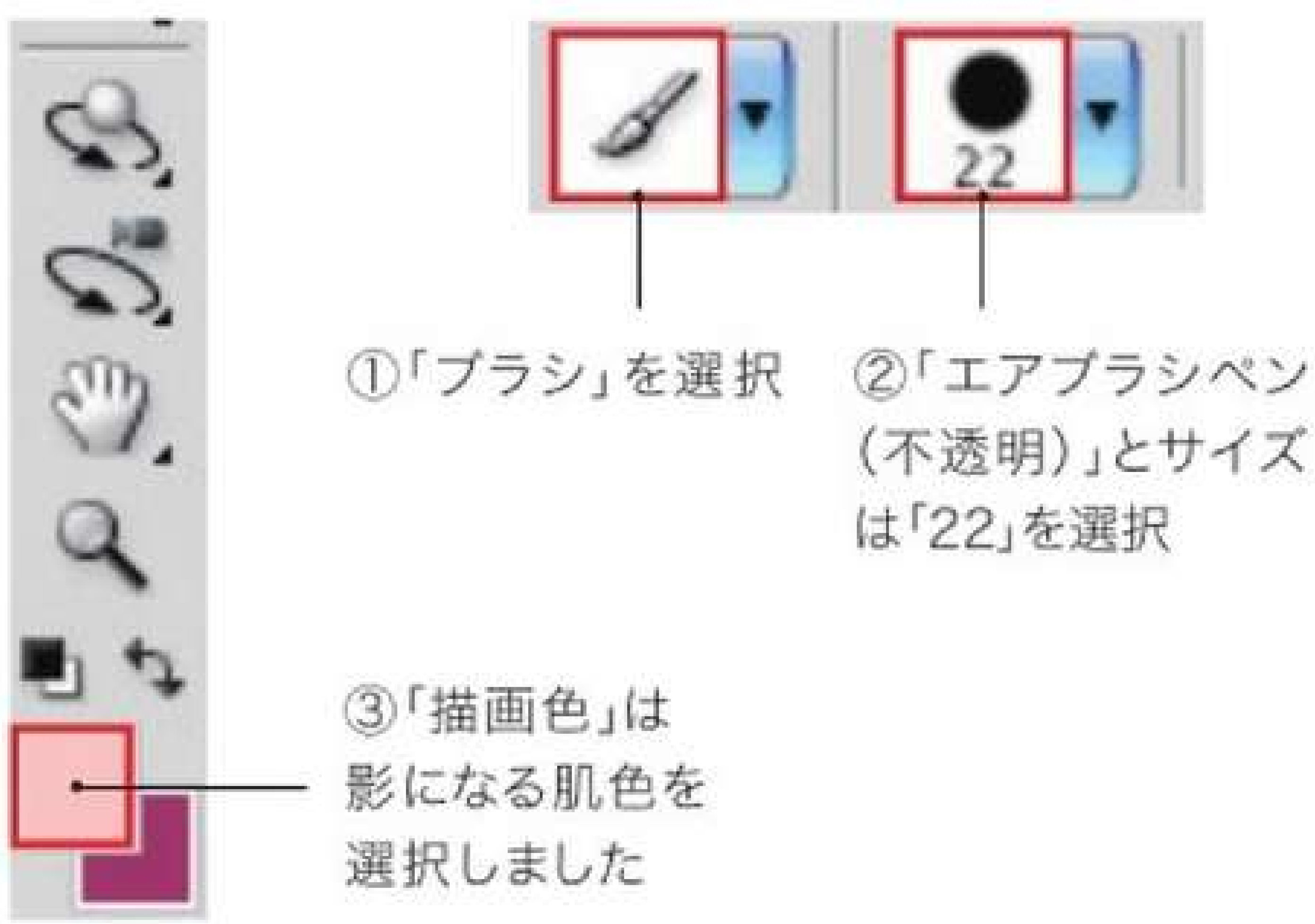


↓



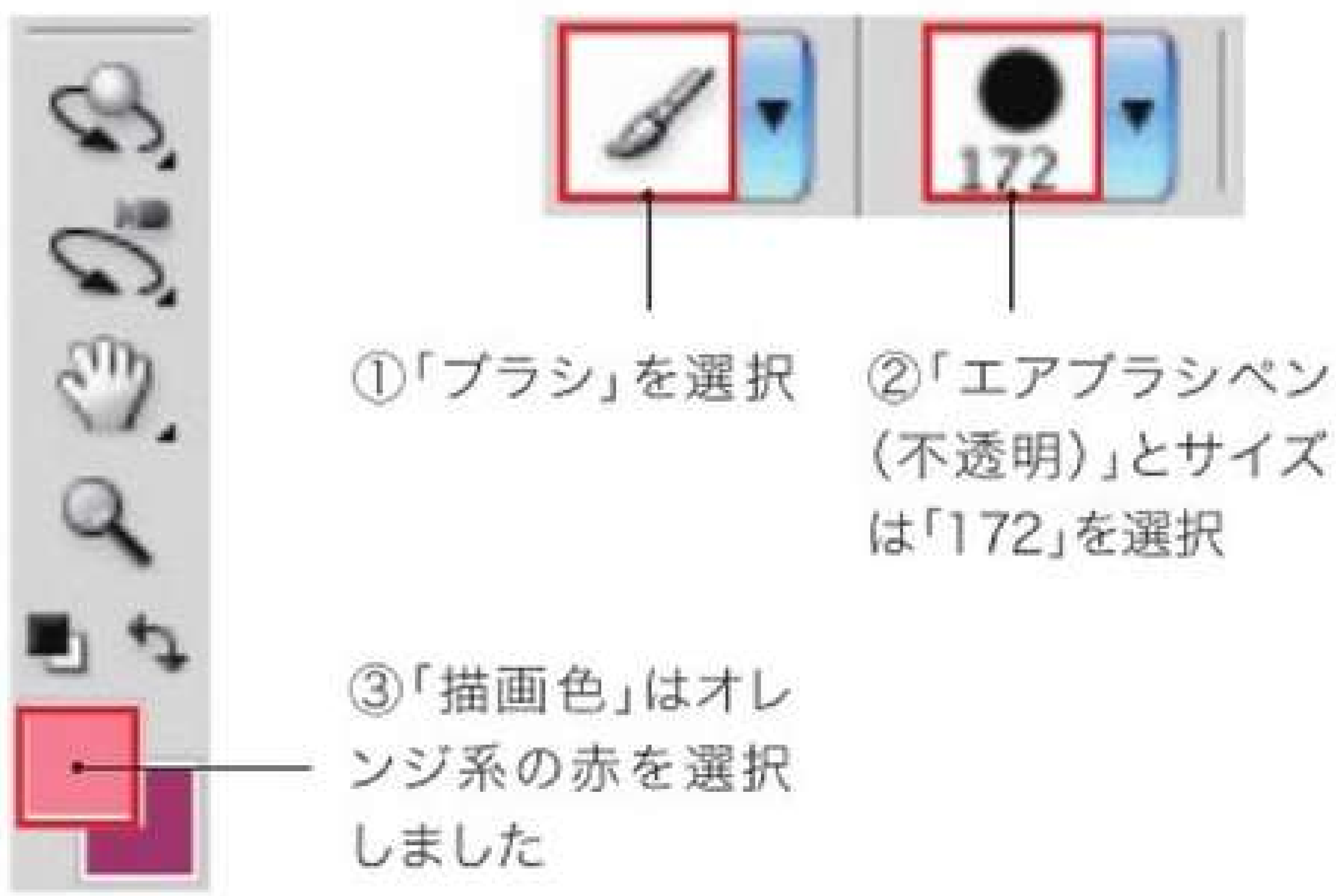


02 髪や眼鏡のふちの影も着色します。



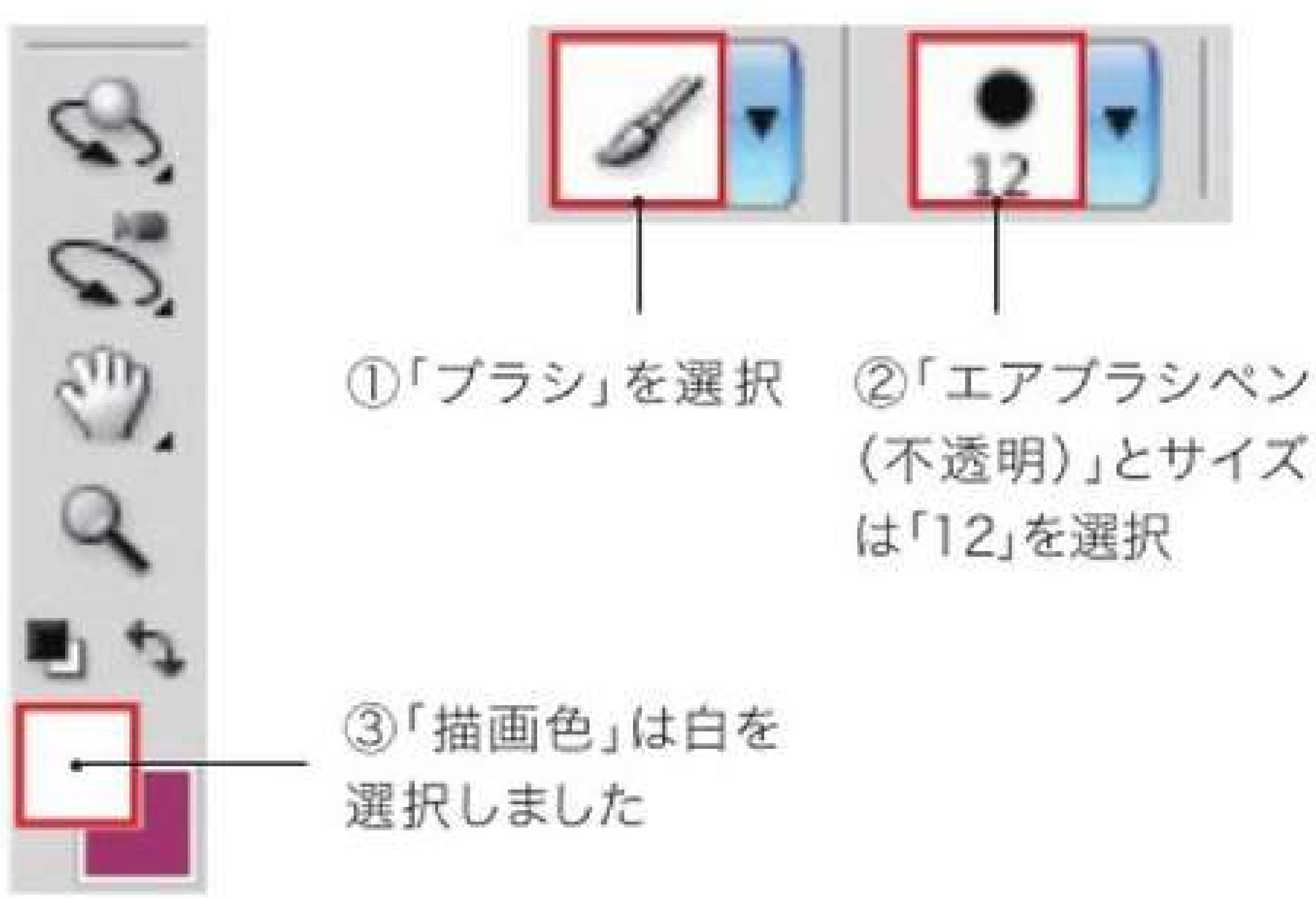


03 ほほにオレンジ系の赤を乗せます。





04 白目や口なども塗ります。



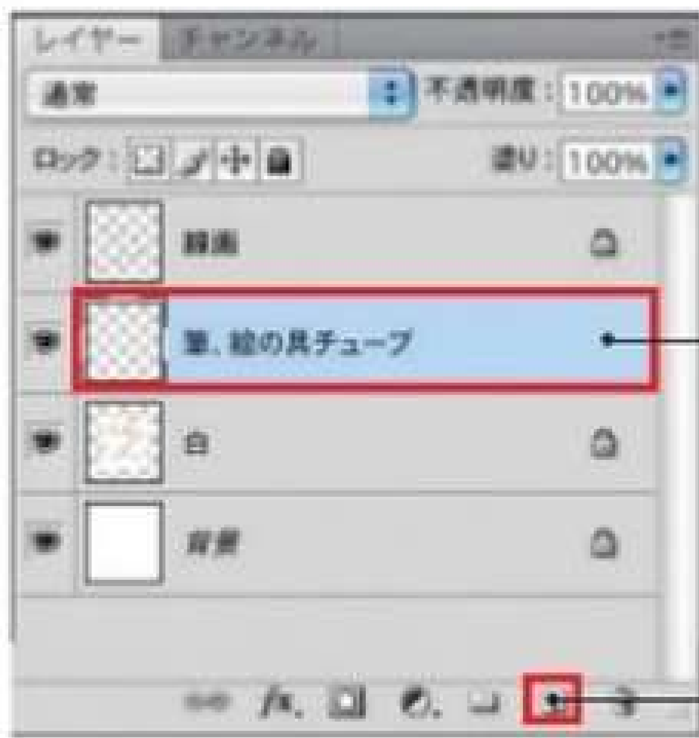


05 全体はこのような感じになりました。



チューブと筆の着色

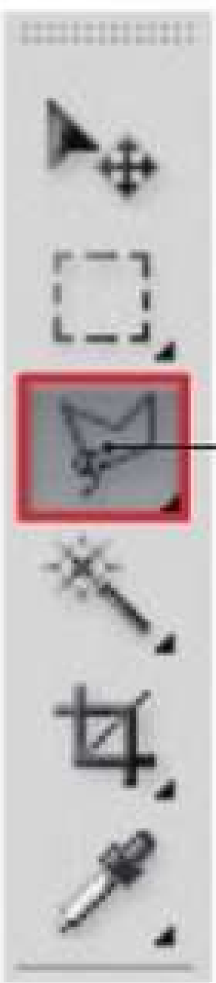
01 新規レイヤーを作ります。このレイヤーには筆と絵の具のチューブを着色します。



②新規レイヤーを作成し、名称を「筆、絵の具チューブ」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

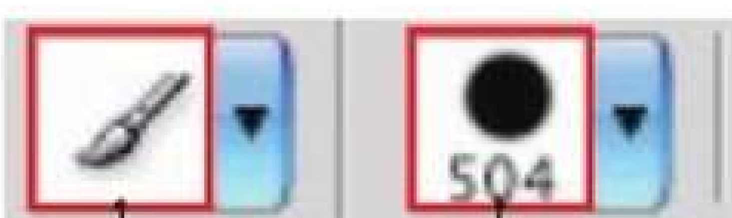
02 「多角形選択」ツールで絵の具を囲みます。



ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



03 絵の具を着色します。後でクリッピングマスクを設定するので、はみ出すように塗ってかまいません。



①「ブラシ」を選択

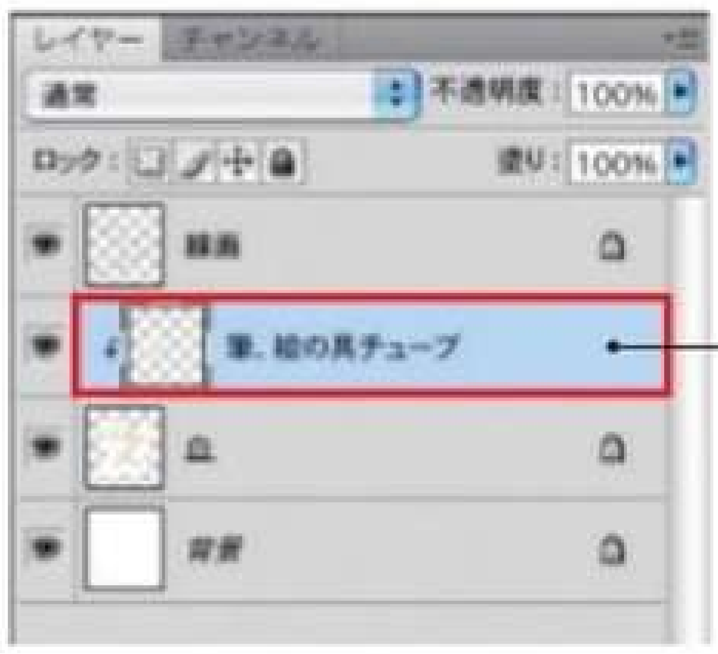
②「ハード円ブラシ」とサイズは「504」を選択



③「描画色」は灰色を選択しました



04
「筆、絵の具チューブ」レイヤーにクリッピングマスクを設定します。

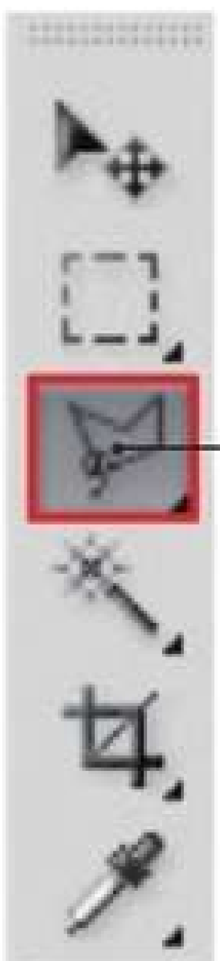


①「筆、絵の具チューブ」レイヤーにクリッピングを設定しました



②絵の具の塗りのはみ出しがなくなりました

05
筆の軸を「多角形選択」ツールで選択します。

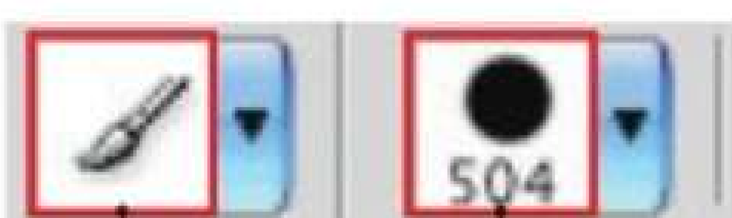


ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



06
筆の軸を着色します。





①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「504」を選択

③「描画色」は明るい茶色を選択しました



ベレー帽と眼鏡、リボン、絵の具の着色

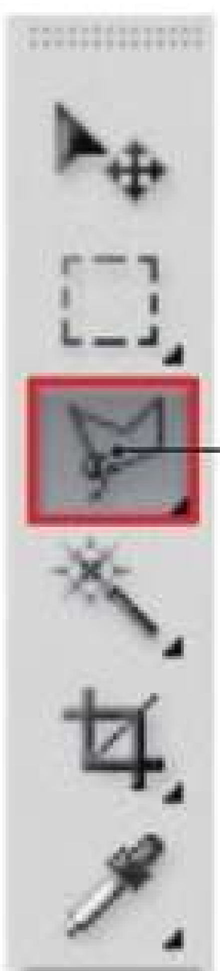
01 「筆、絵の具チューブ」レイヤーの下に新規レイヤーを作ります。このレイヤーにはベレー帽、眼鏡、リボン、絵の具を着色します。



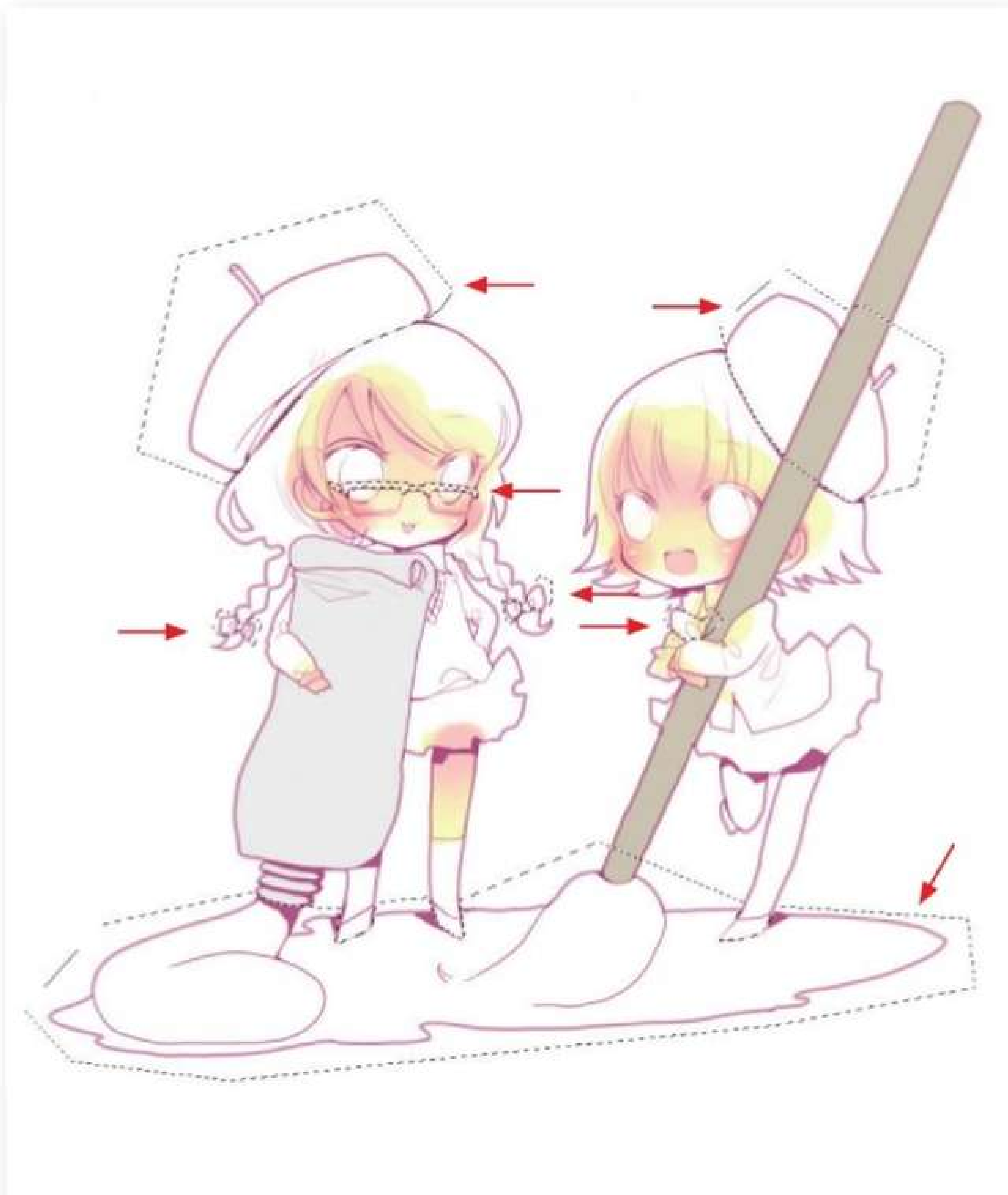
②名称を「ベレー帽、眼鏡、リボン、えのぐ」に変更し、クリッピングマスクを設定しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 「多角形選択」ツールでベレー帽を選択します。更にShiftキーを押しながら眼鏡、リボン、絵の具を追加で選択します。



ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



03

「ブラシ」ツールで各パーツの上に色を着色し、選択を解除します。パーツ分割は割と適当な感じで、接する部分のない、離れたパーツを1つのレイヤーにしました。パーツごとにレイヤーを作ってもよいのですが私はレイヤーの数が増えるのが好きではないので、1つのレイヤーにいくつかのパーツをまとめて描いています。





①「ブラシ」を選択

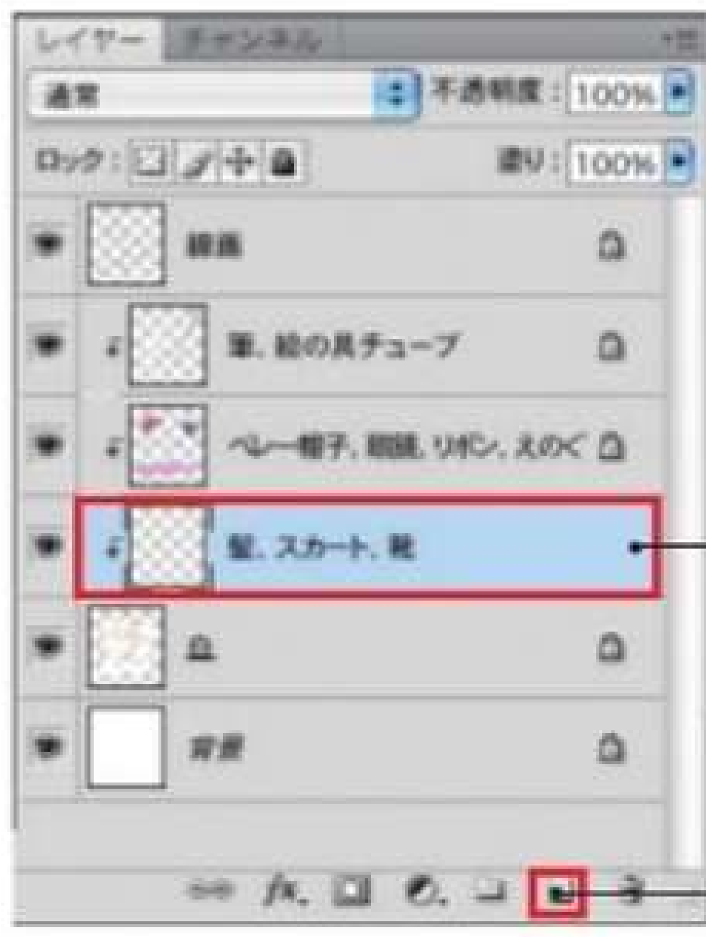
②「ハード円ブラシ」とサイズは「504」を選択

③「描画色」は紫を選択しました



髪、スカート、靴の着色

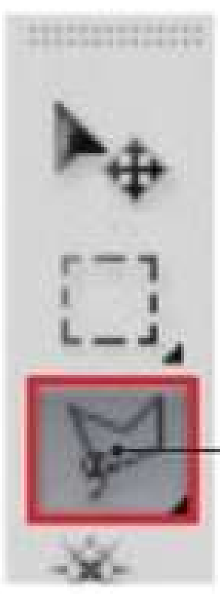
01 新規レイヤーを作成します。今度は髪とスカートと靴を着色します。



②名称を「髪、スカート、靴」に変更し、クリッピングマスクを設定しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

02 髪とスカートと靴に選択範囲を設定して着色します。



①ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



②「ブラシ」を選択

③「ハード円ブラシ」とサイズは「504」を選択



→



03

「目、服、靴下」レイヤーを新規作成し、残りの目と服、靴下パーツも同じように進めます。



①ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



②「ブラシ」を選択

③「ハード円ブラシ」とサイズは「504」を選択



→



04

線画の描画モードは「乗算」を選択して、不透明度を下げます。パーツレイヤーはすべて「透明部分をロック」を設定します。



②不透明度を「70%」に設定しました

①「線画」レイヤーを選択しました

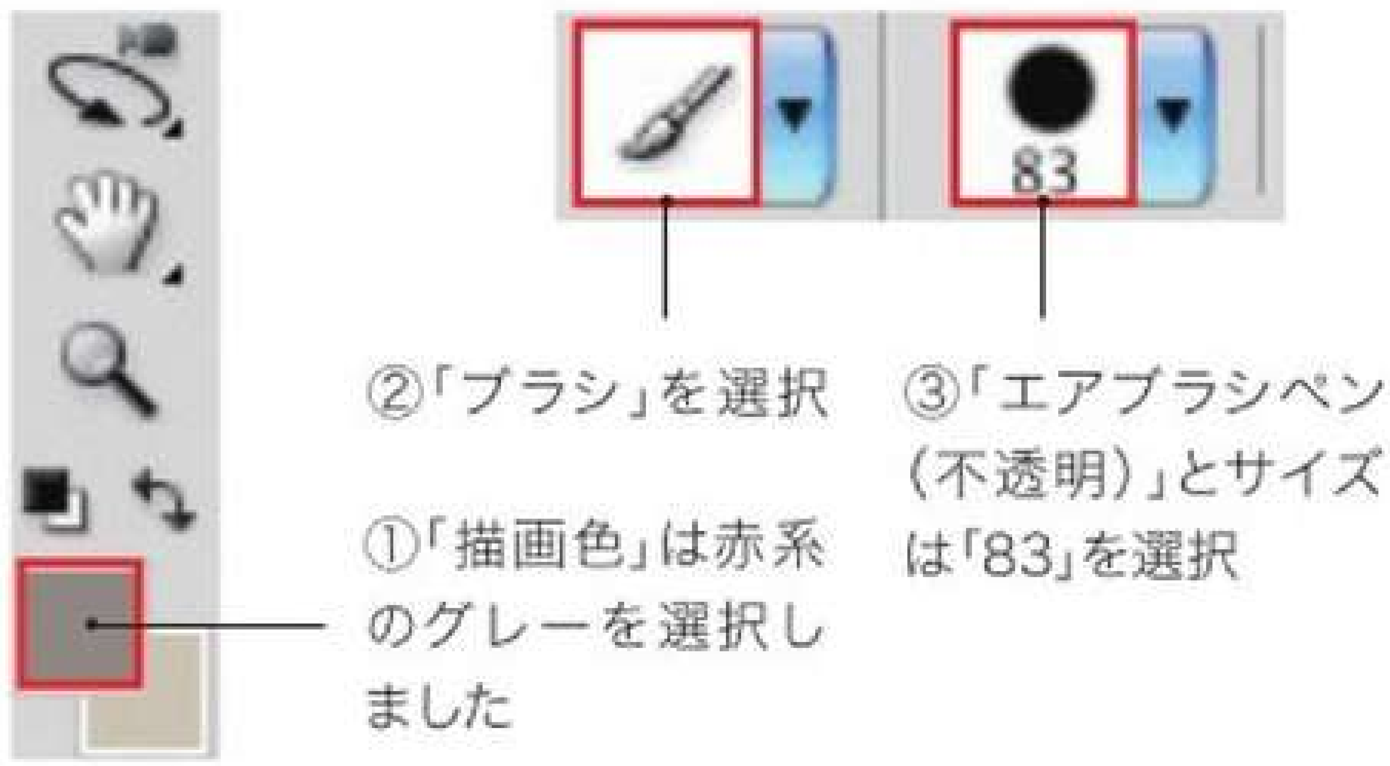
③すべてのレイヤーがロックされました

④描画モードは「乗算」を選択しました



スカート、靴、服に陰影を着色

01 再び「目、服、靴下」レイヤーに戻って、タイツに薄く影を着色します。





④着色前



⑤着色後

02 靴下を選択範囲に設定して着色します。



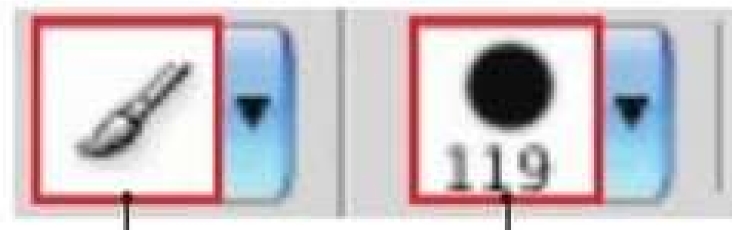


③着色前



④着色後

03 ブラウスに薄い影を着色します。



①「ブラシ」を選択 ②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「119」を選択



③着色前



④着色後

04 ここまで着色した状態です。



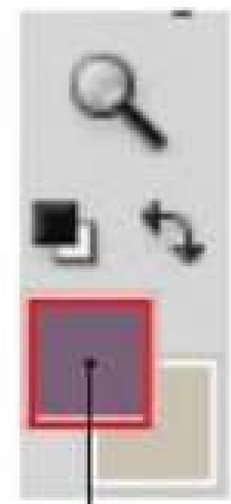
ベレー帽とスカートに陰影を着色

01 髪とベレー帽に影を着色します。ベレー帽の影など、暗くなる部分に濃い色を乗せます。ここでも赤っぽい影色を使います。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「215」を選択



③「描画色」は赤系のグレーを選択しました



④「ベレー帽、眼鏡、リボン、えのぐ」レイヤーを選択しました



⑤着色前の状態



⑥着色途中の状態



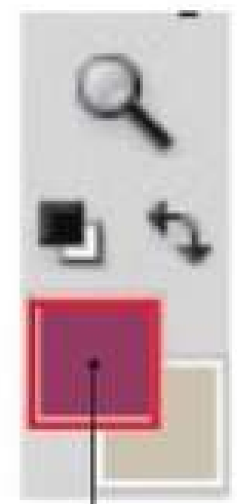
⑦着色後の状態

02 左の子の髪も同じように着色します。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「215」を選択



③「描画色」は赤系のグレーを選択しました



④着色前の状態



⑤着色途中の状態



⑥着色途中の状態

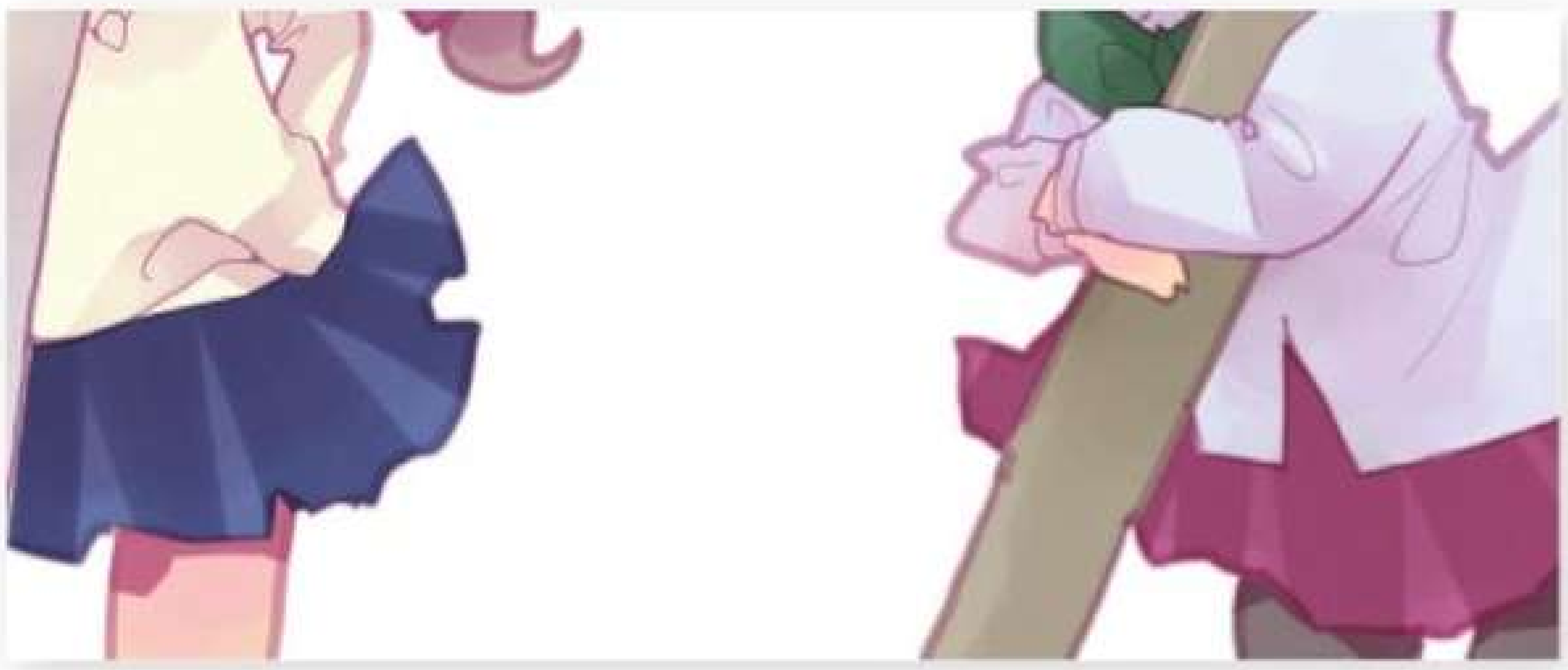


⑦着色後の状態

03 プリーツスカートに影を入れます。

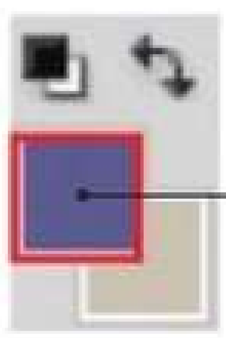


↓





①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「119」を選択

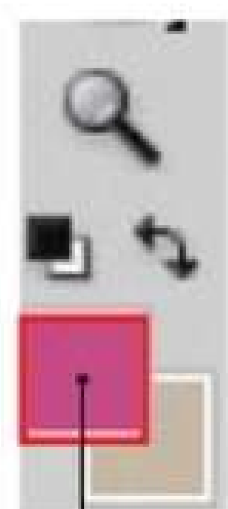


③「描画色」は暗い青を選択しました

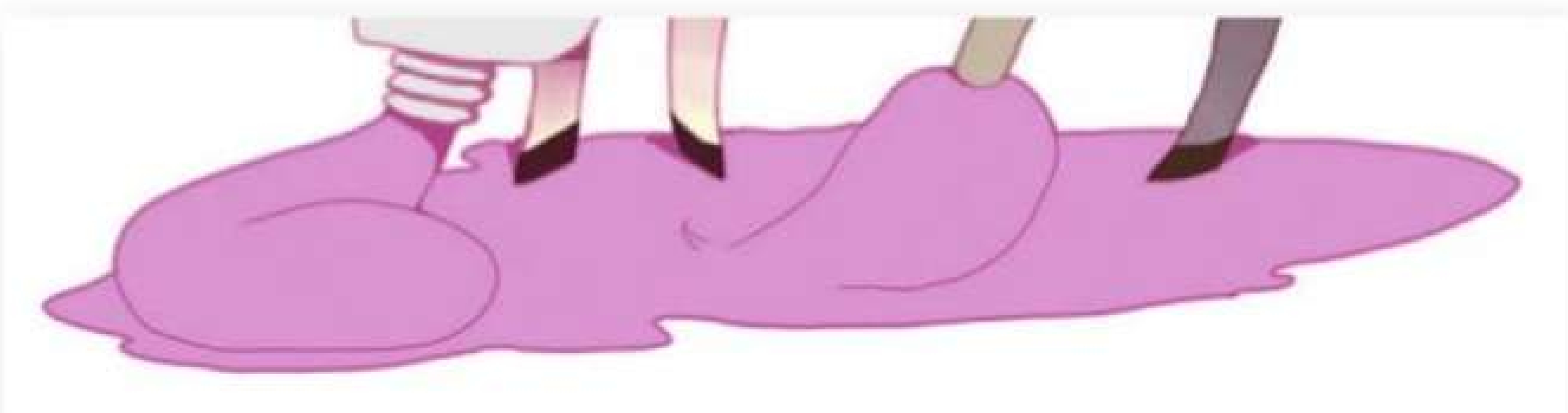
04 絵の具を着色します。この段階では微妙な色になりましたが、後で調節します。



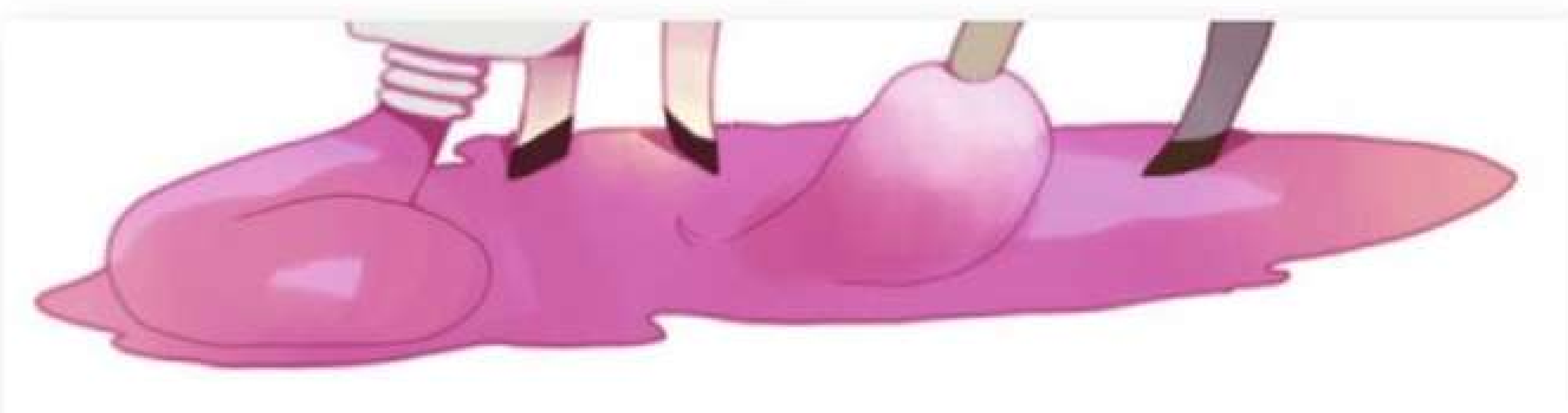
①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「191」を選択



③「描画色」は暗めのオレンジを選択しました



↓



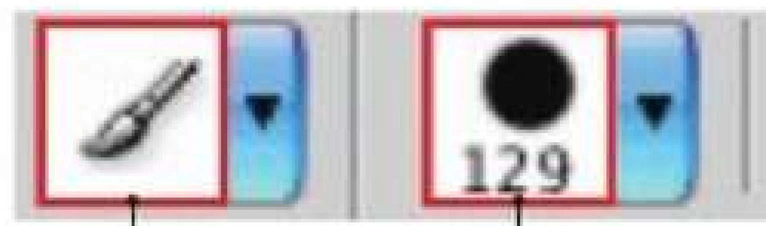
チューブと筆の軸に陰影を着色

01 筆とチューブにも影を描きます。



①再び「筆、絵の具チューブ」レイヤーを選択しました





②「ブラシ」を選択

③「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「129」を選択

④「描画色」は茶色を選択しました



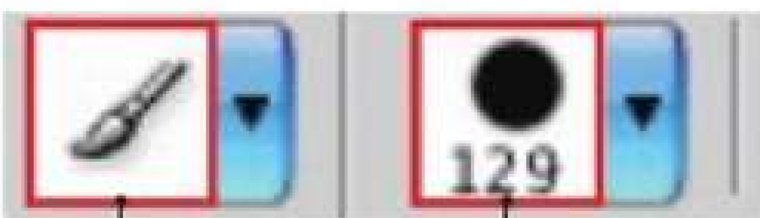


目とスカート、髪に陰影を着色

01 瞳にも濃い色や薄い色を重ねて着色します。



①再び「目、服、靴下」レイヤーを選択しました



②「ブラシ」を選択　③「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「129」を選択



↓



02 絵の具の色が気になったので、変更します。「投げ縄」ツールで絵の具部分を選択し、「色相・彩度」で黄色っぽい色に変更します。



②「色相・彩度」の「色相」を「+75」、「彩度」を「+25」、「明度」を「0」に設定しました

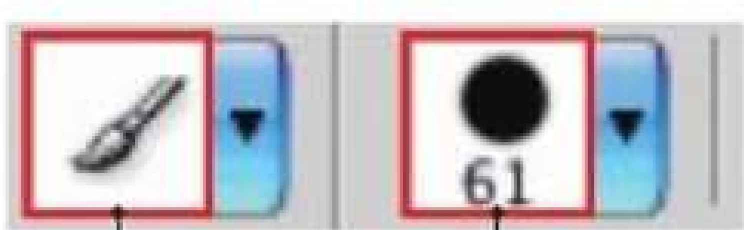


03 スカートにチェック模様を描画しつつセーターにも影を入れます。白っぽい色で光を入れます。



04 瞳と髪に同時進行で影をつけます。徐々にブラシサイズも小さくしながら描き込みます。

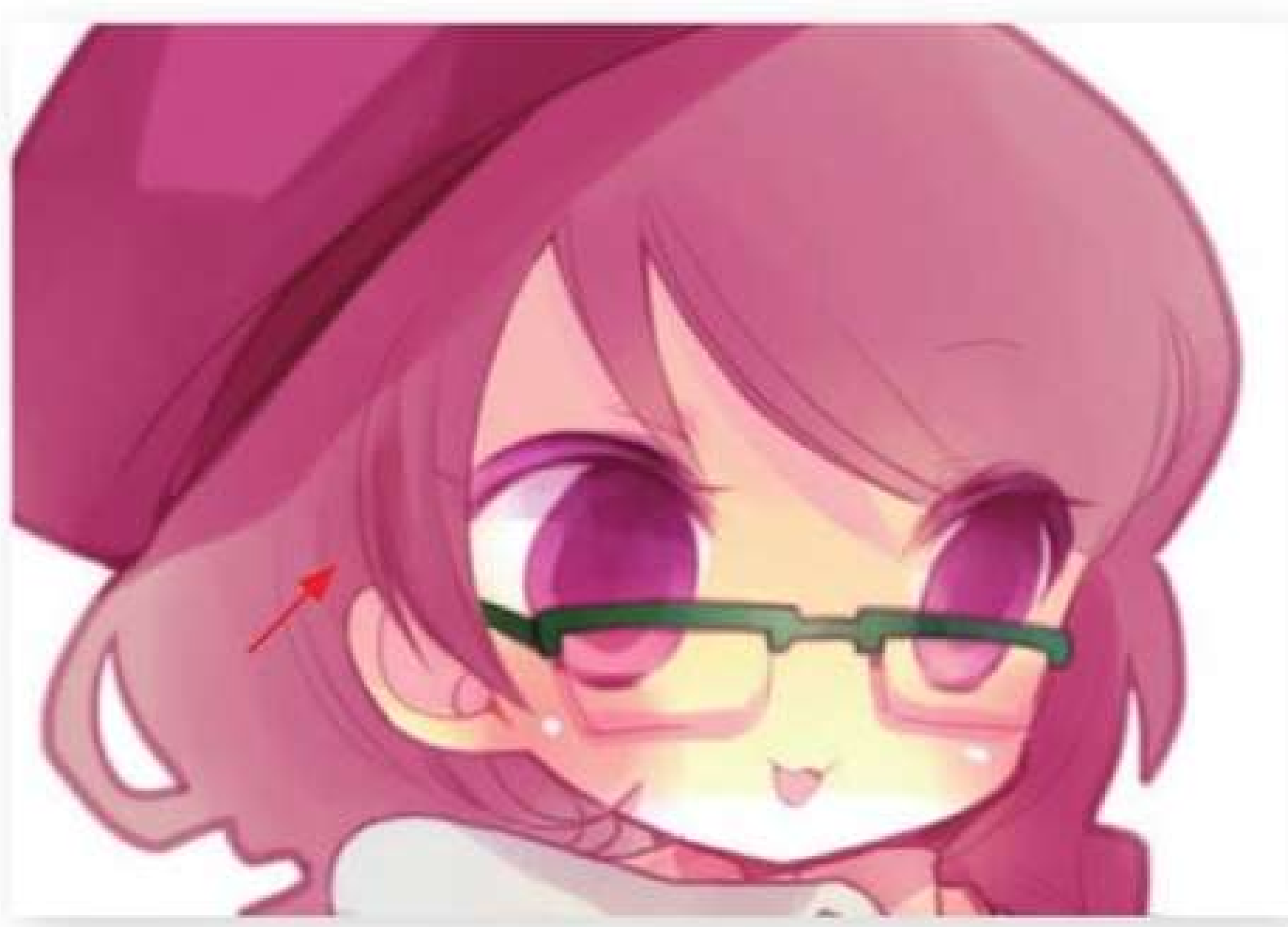


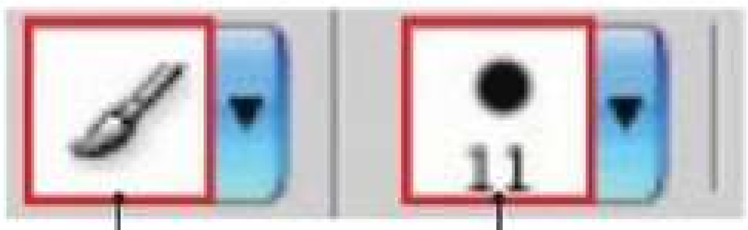


①「ブラシ」を選択

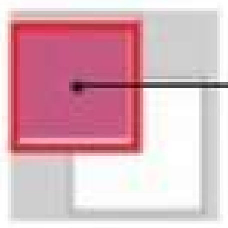
②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「61」を選択

③「描画色」は暗いピンクを選択しました





④「ブラシ」を選択　⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「11」を選択

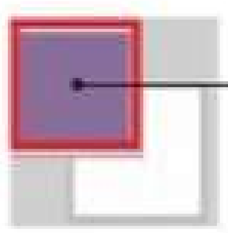


⑥「描画色」は明るい紫を選択しました





⑦「ブラシ」を選択　⑧「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「180」を選択

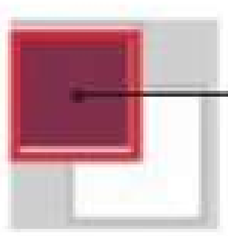


⑨「描画色」は暗い紫を選択しました





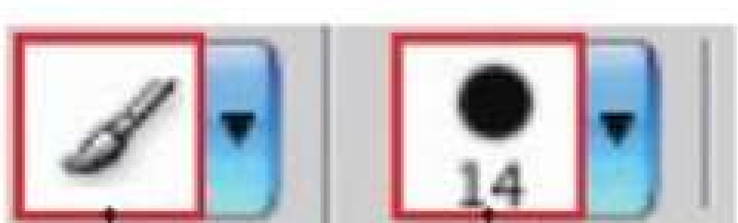
⑩「ブラシ」を選択　⑪「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「5」を選択



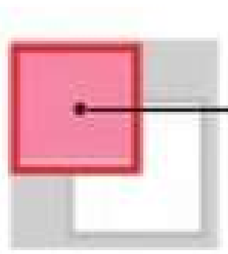
⑫「描画色」は紫を選択しました



05 瞳に光を入れます。白だとコントラストが強くなりすぎてしまうので、ピンクを入れてみました。



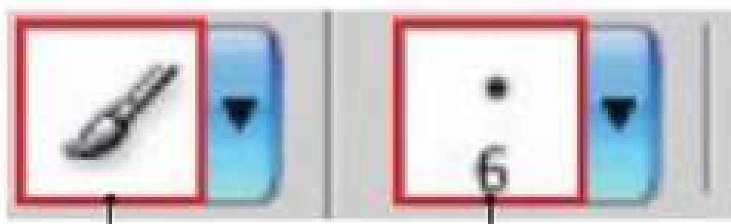
①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「14」を選択



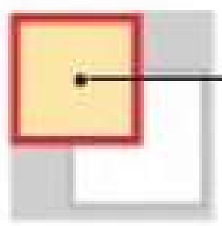
③「描画色」はピンクを選択しました



06 右の女の子も同様に、瞳を塗ります。

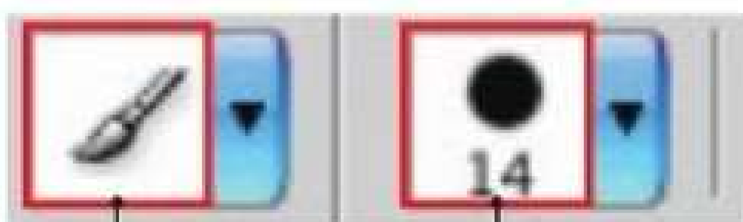


①「ブラシ」を選択　②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「3」を選択

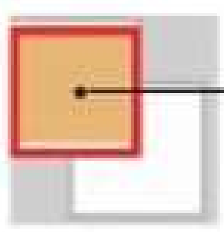


③「描画色」は黄色を選択しました





④「ブラシ」を選択　⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「14」を選択



⑥「描画色」は明るいオレンジを選択しました



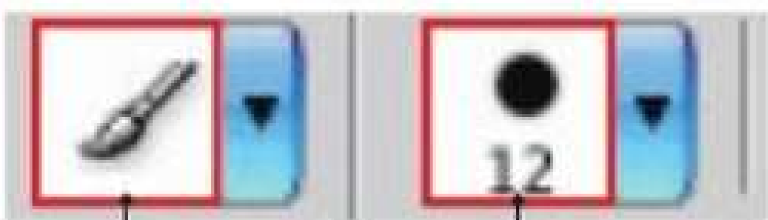


⑦「ブラシ」を選択　⑧「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「3」を選択



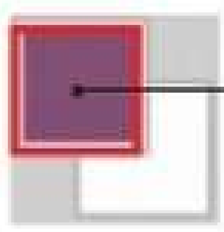
07 髪も何段階かに分けて影をつけます。





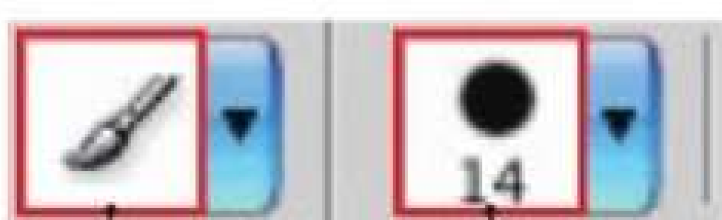
①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「12」を選択



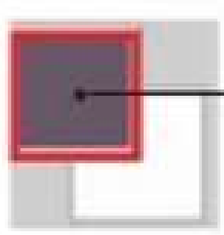
③「描画色」は赤系のグレーを選択しました





④「ブラシ」を選択

⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「14」を選択



⑥「描画色」は暗いグレーを選択しました



筆に陰影を着色

01 筆の軸に影を入れます。「多角形選択」ツールで影を入れたい部分を選択し、暗めの茶色で影を入れます。



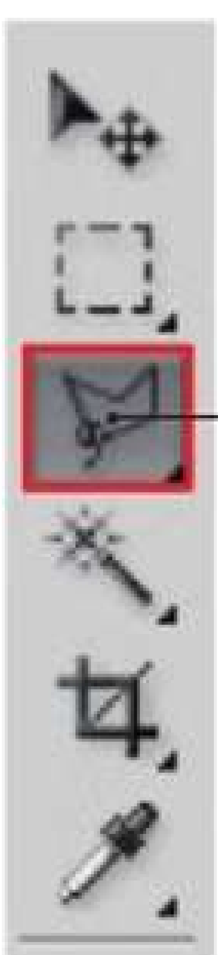
①「筆、絵の具チューブ」レイヤーを選択しました



③軸の影を塗る部分を選択しました



⑦「ブラシ」ツールで着色しました



②ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました





⑤「ブラシ」を選択

⑥「ソフト円ブラシ」とサイズは「911」を選択

④「描画色」は暗めの茶色を選択しました

絵の具の仕上げ

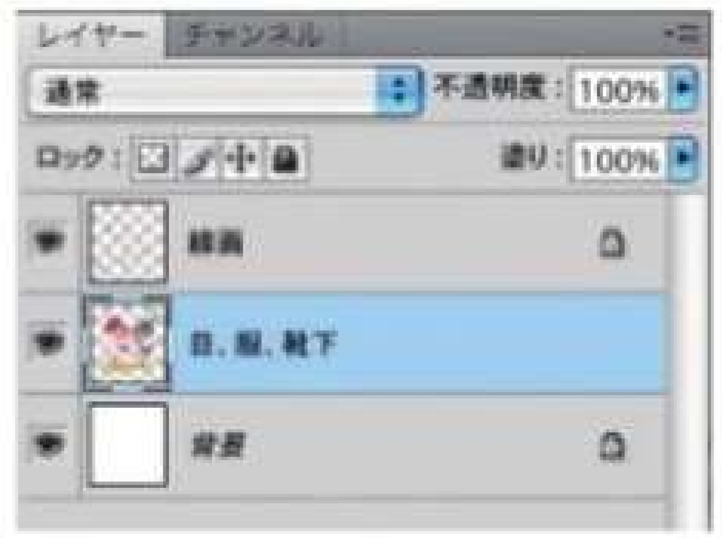
01 「線画」レイヤーと「背景」レイヤーを不可視にし、「表示レイヤーを統合」を選択して塗りレイヤーをすべて統合します。



①「背景」と「背景」レイヤーの不可視のチェックボックスを外しました



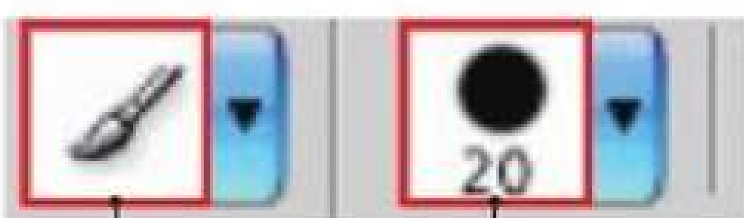
②メインメニューの「レイヤー」メニュー→「表示レイヤーを統合」を選択しました



02 チューブから出ている絵の具を鮮やかな黄色で着色します。



③「描画色」はオレンジを選択しました



①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「20」を選択



03 周りの色と馴染ませながら着色します。同時に床に広がる絵の具のわずかな厚みを出すための影もつけます。



①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「58」を選択

③「描画色」は暗めのオレンジを選択しました



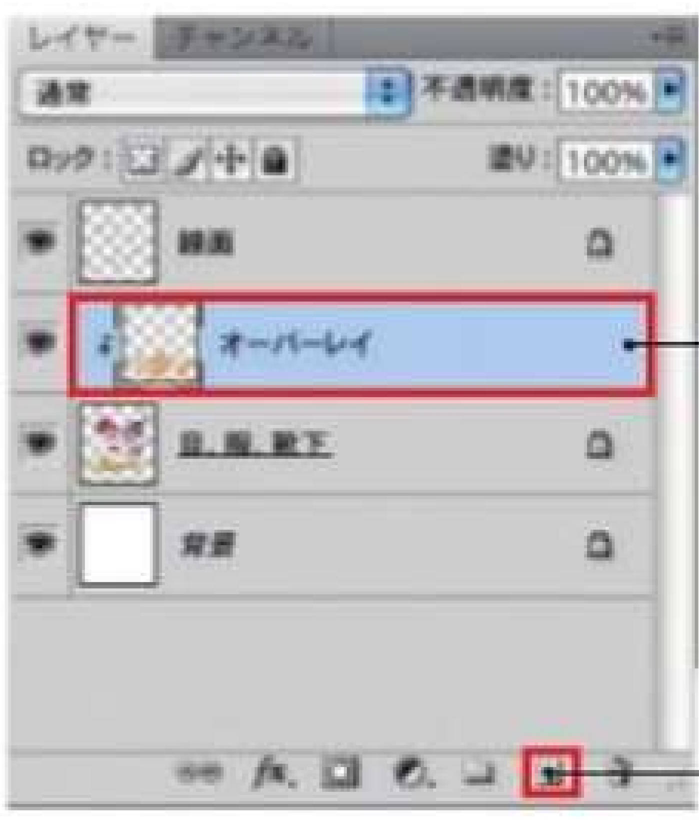
04 新規レイヤーを作成し、塗りレイヤーにクリッピングマスクを設定します。茶色よりの黄色で光の当たる部分を着色します。



①「ブラシ」を選択

②「ソフト円ブラシ」とサイズは「764」を選択

③「描画色」は明るめのオレンジを選択しました



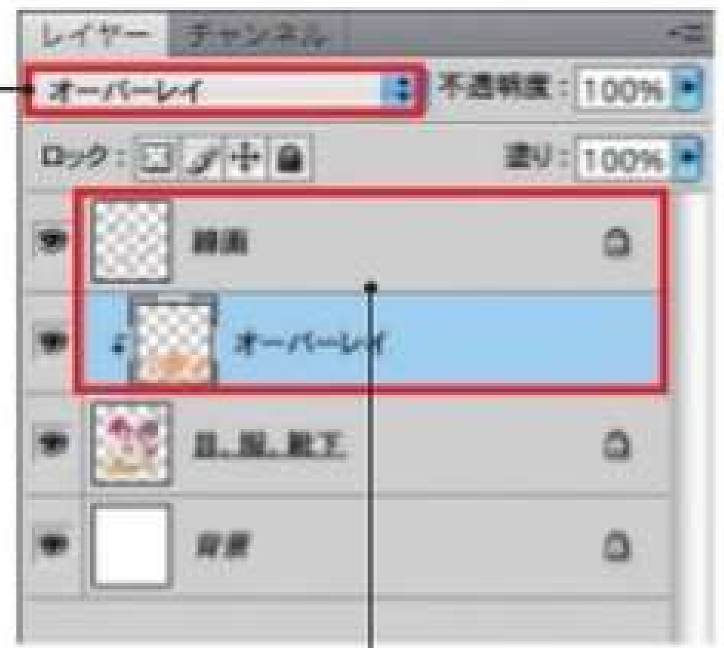
⑤名称を「オーバーレイ」に変更し、クリッピングマスクを設定しました

④「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



05 描画モードは「オーバーレイ」を選択し、背景以外のレイヤーを結合しました。

①描画モードは「オーバーレイ」を選択しました



②「線画」と「オーバーレイ」レイヤーを「目、服、靴下」レイヤーに統合しました

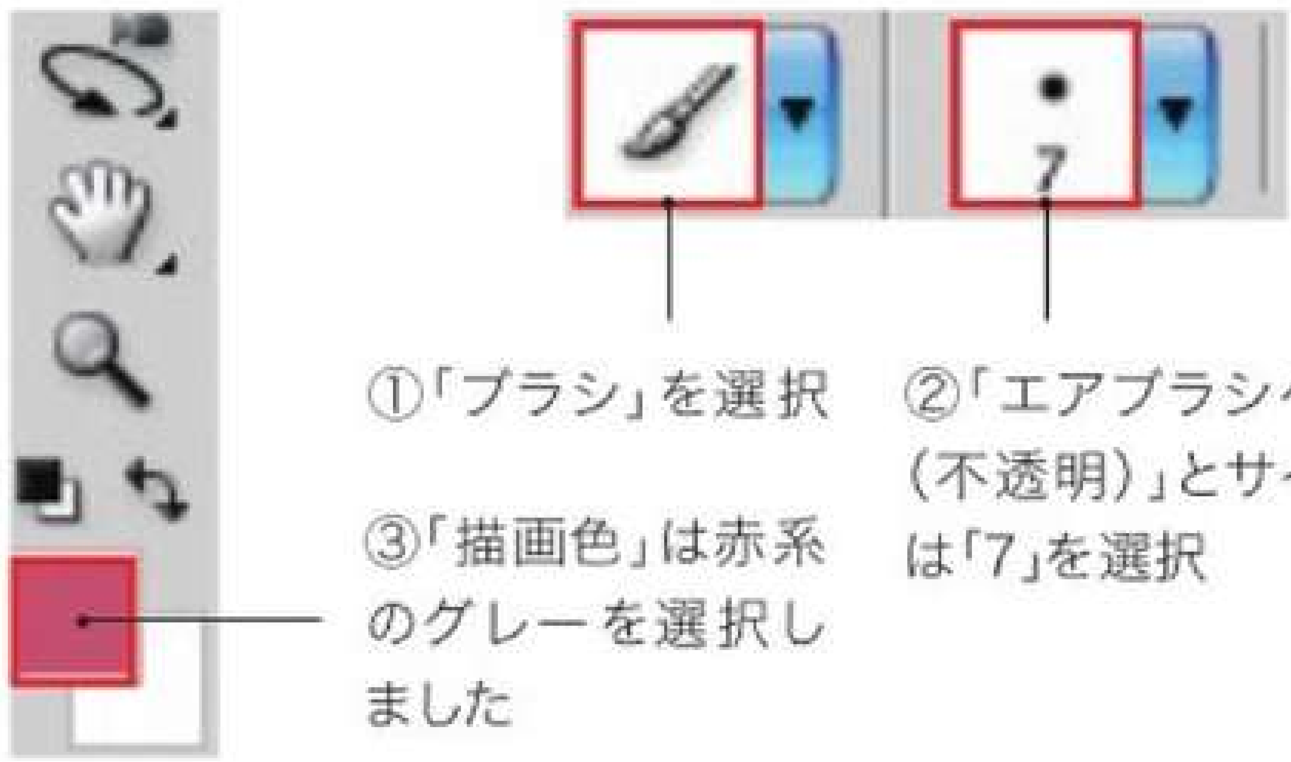


③「目、服、靴下」と「背景」レイヤーの２つになりました



瞳の仕上げ

01 眼鏡のレンズやフレームの影をつけます。



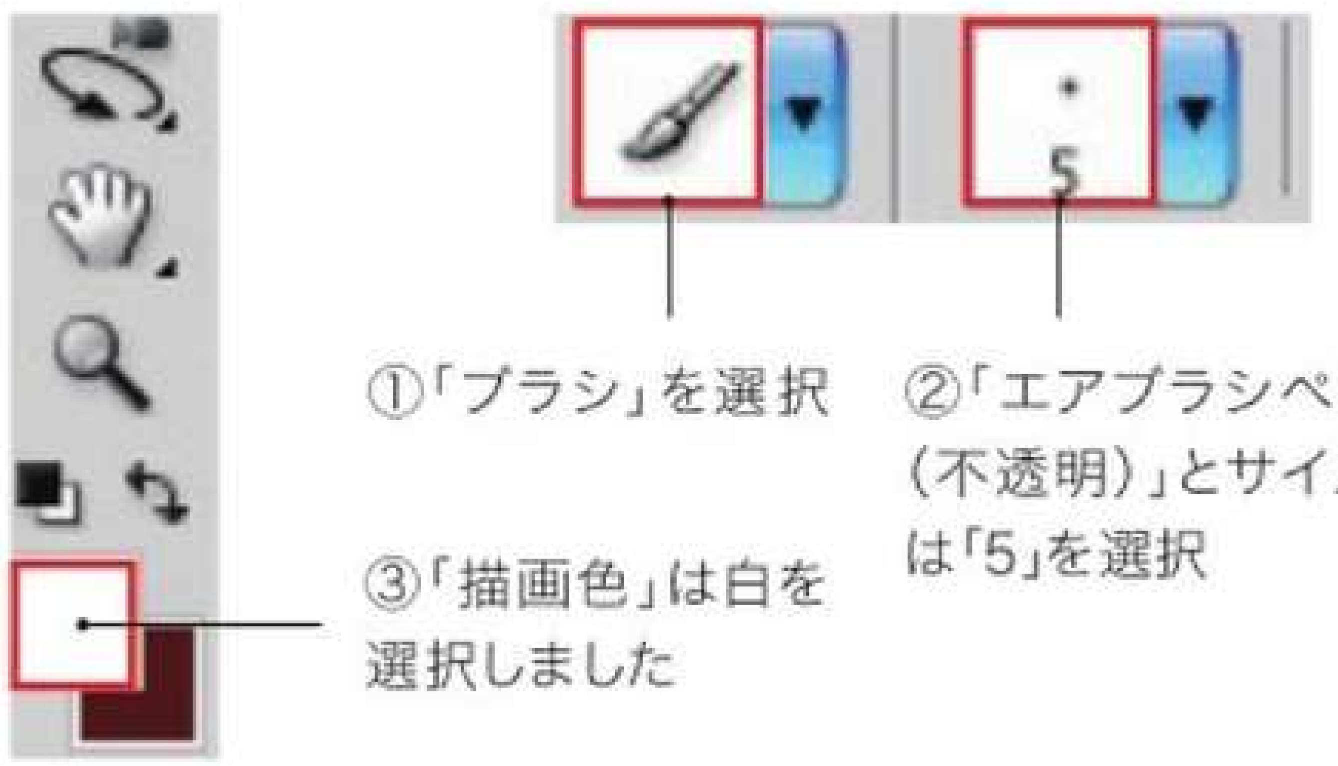
①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「7」を選択

③「描画色」は赤系のグレーを選択しました



02 瞳にもう少しアクセントがほしかったので、まぶたに白い線を入れました。



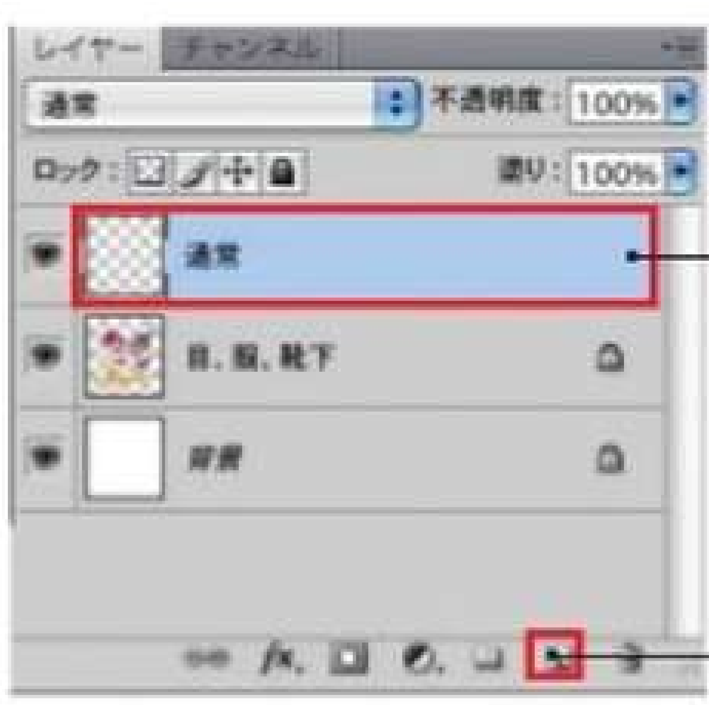
①「ブラシ」を選択

②「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「5」を選択

③「描画色」は白を選択しました

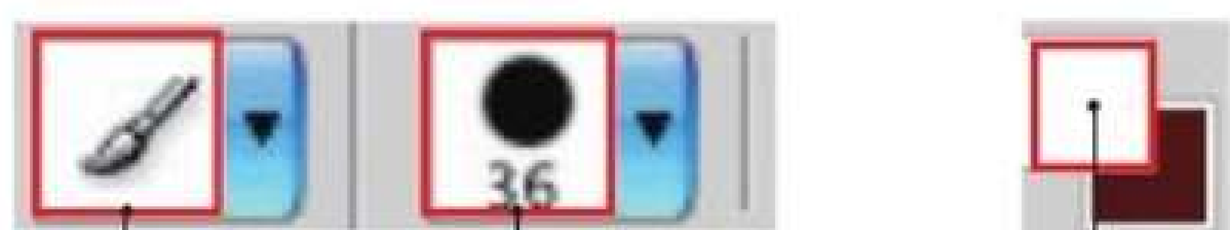


03 新規レイヤーを作成し、眼鏡のレンズ部分を白く着色します。



②新規レイヤーを作成し、名称を「通常」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



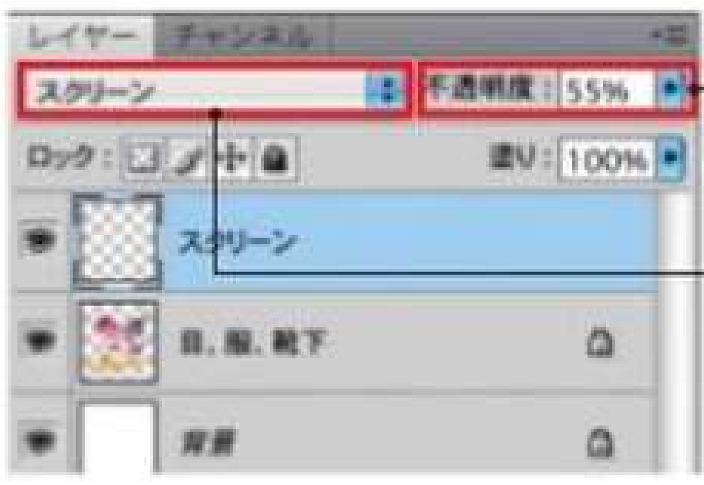
③「ブラシ」を選択

④「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「36」を選択

⑤「描画色」は白を選択しました



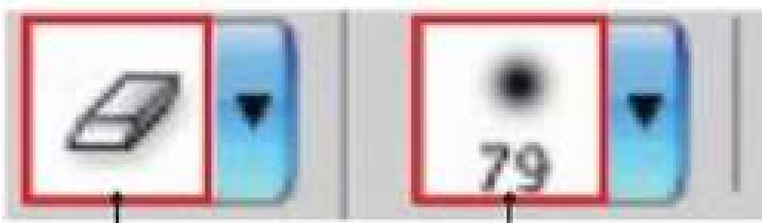
04 レイヤーの不透明度を下げます。



②不透明度は「55%」に設定しました

①描画モードは「スクリーン」を選択しました





①「消しゴム」を選択

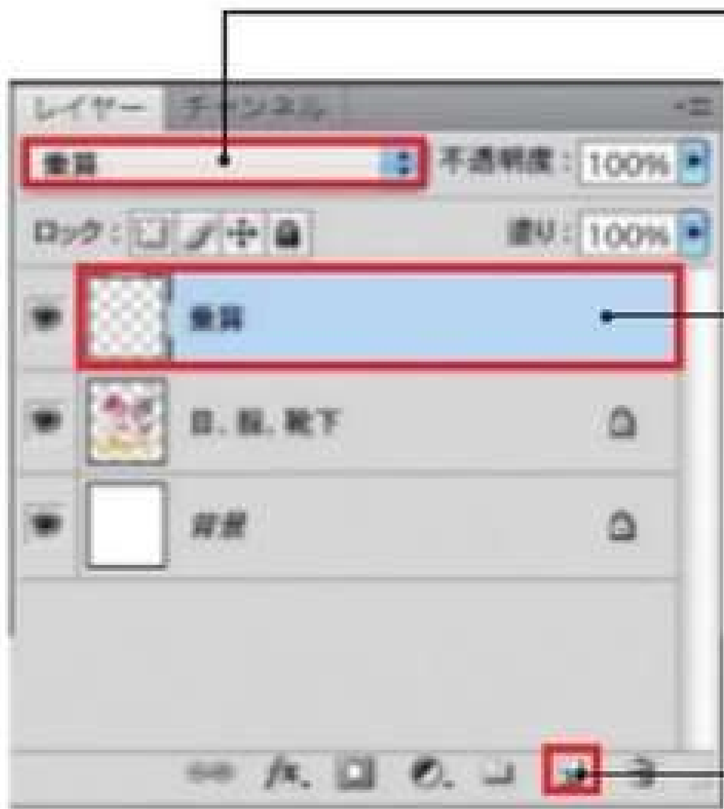
②「ソフト円ブラシ」とサイズは「79」を選択





③「スクリーン」を「目、服、靴下」レイヤーに統合しました

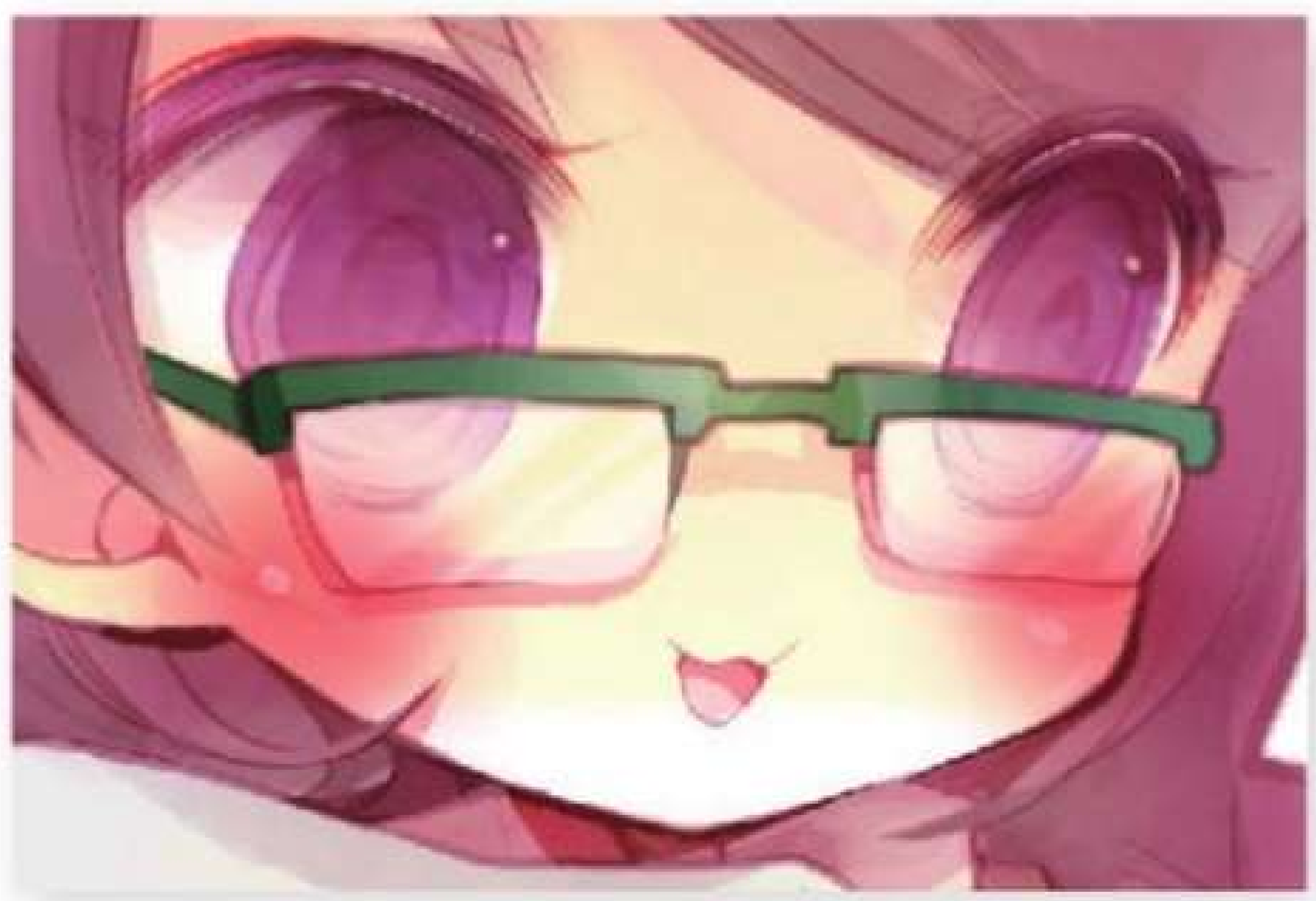
05 描画モードは「乗算」を選択し、ほほにピンクで着色します。

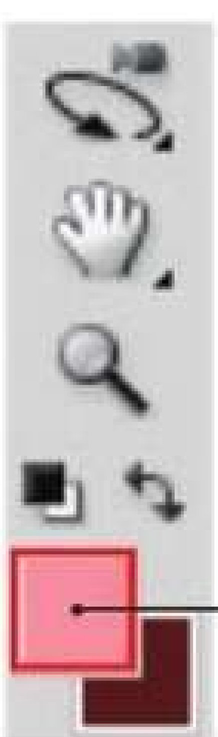


③描画モードは「乗算」を選択しました

②新規レイヤーを作成し、名称を「乗算」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました



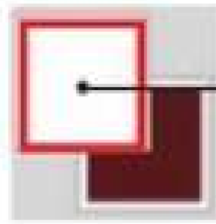


④「描画色」はピンクを選択しました

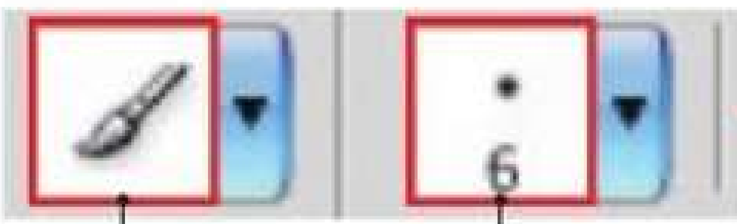


06

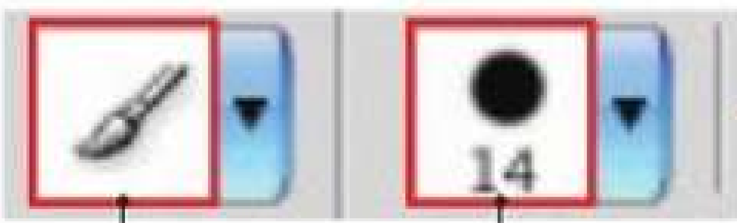
レイヤーを統合し、ほほの光も入れ直します。レンズのふちに細めの「ブラシ」ツールで白を入れます。この一手間でレンズの素材感が増します。



①「描画色」は白を選択しました



②「ブラシ」を選択　③「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「6」を選択

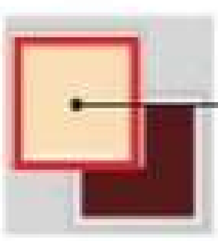


④「ブラシ」を選択　⑤「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「14」を選択



07

瞳にかかった赤みを減らします。



①「描画色」は肌色を選択しました



②「ブラシ」を選択　③「エアブラシペン（不透明）」とサイズは「29」を選択

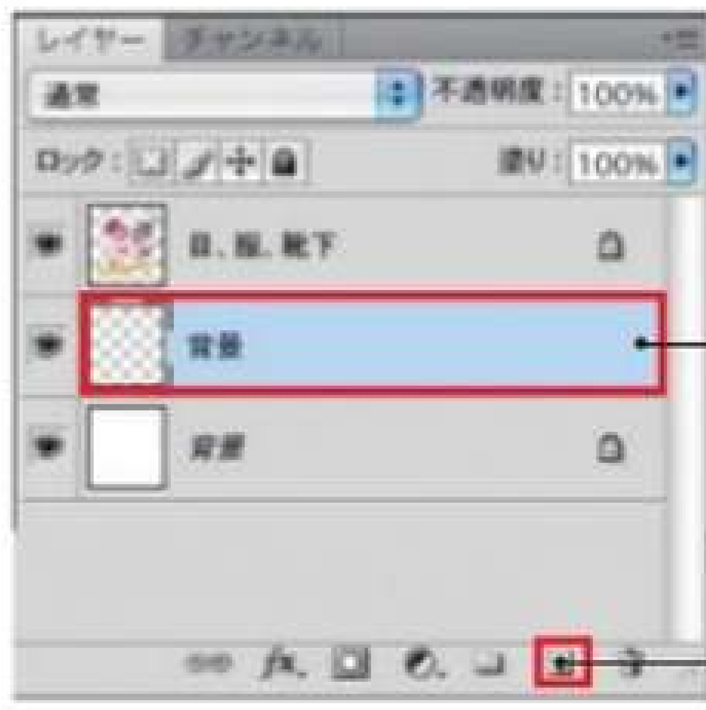


↓



背景の作成

01 背景の作成に入ります。キャラクターを描画しているレイヤーと「背景」レイヤーの間に新規レイヤーを作成します。



②新規レイヤーを作成し、名称を「背景」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

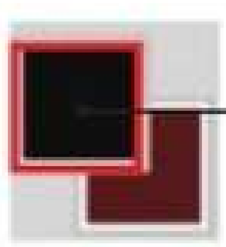
02 「長方形選択」ツールで長方形に範囲選択します。大きさは適当でかまいません。



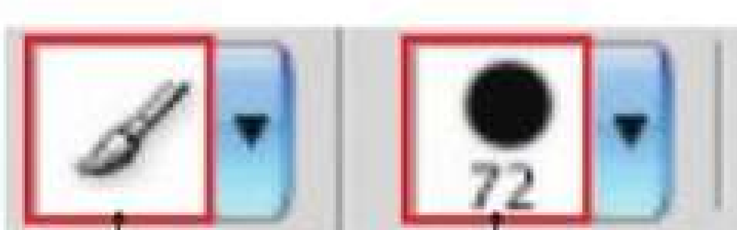
ツールパネルから「多角形選択」ツールを選択しました



03 選択した長方形をガイドに、フリーハンドで背景の形を描きます。キャラクターを不可視にして作業すると描きやすくなります。だいたい描けたところで選択を解除します。



①「描画色」は黒を選択しました



②「ブラシ」を選択　③「ハード円ブラシ」とサイズは「72」を選択



↓

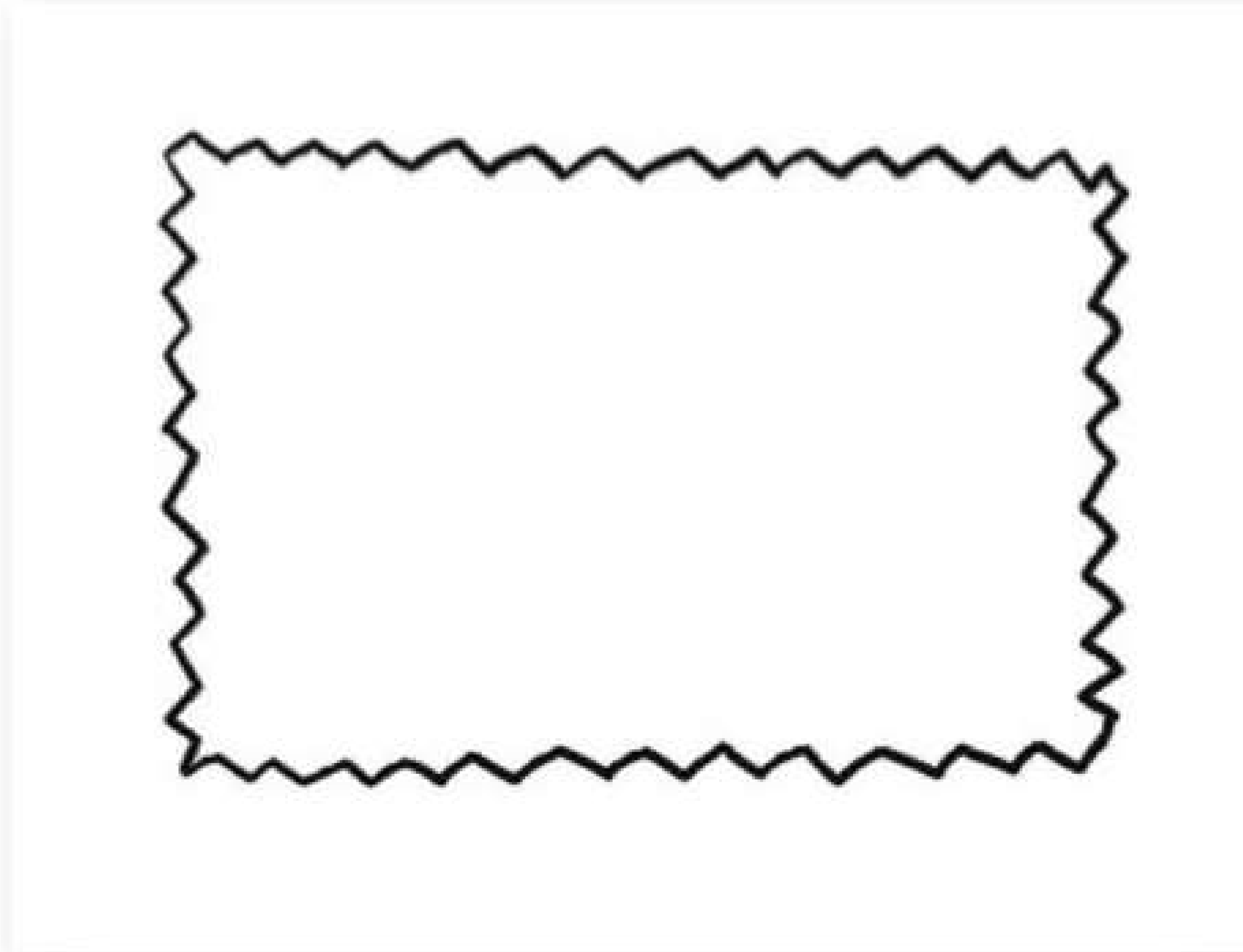


04

「自動選択」ツールで先ほど描いた線画の中を選択します。



「自動選択」ツールを選択しました



05

メインメニューの「選択範囲」メニュー→「選択範囲を変更」→「拡張」で選択範囲を広げます。

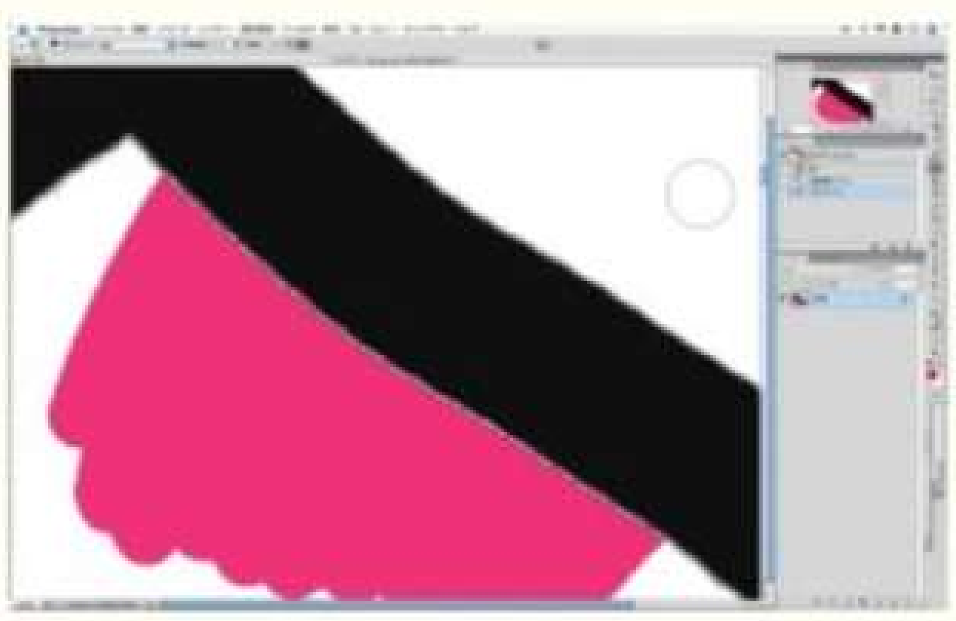




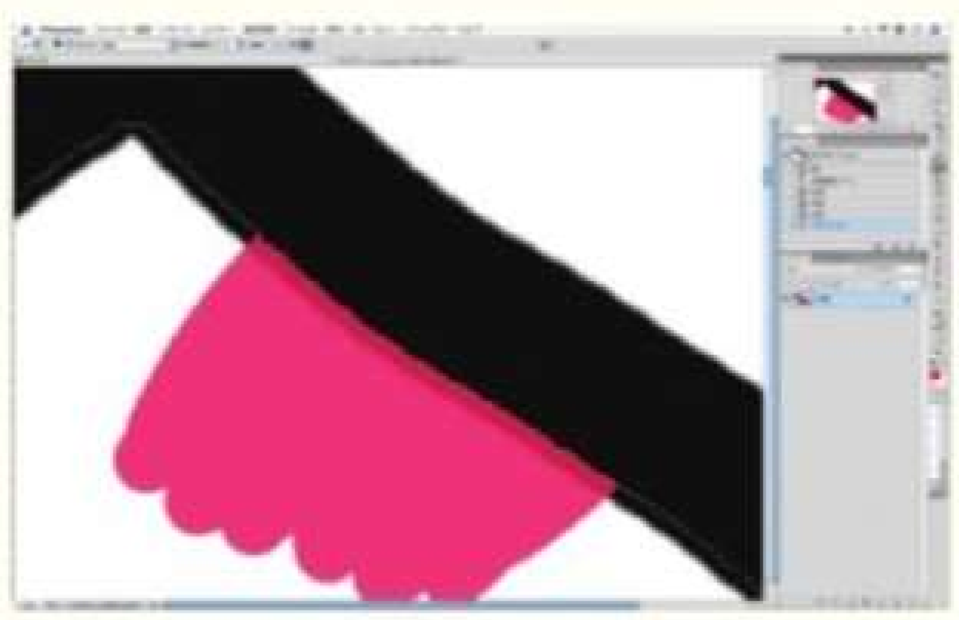
TECHNIQUE

選択範囲の拡張で白地をなくす

左の拡張前の図は選択範囲内の白い部分のみ選択している状態で、線のアンチエイリアスがかかった部分は選択されていません。「選択範囲の拡張」を設定することで、描画範囲内を確実に選択することができます。

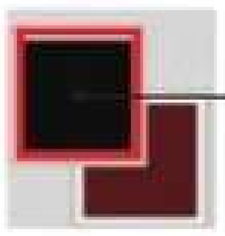


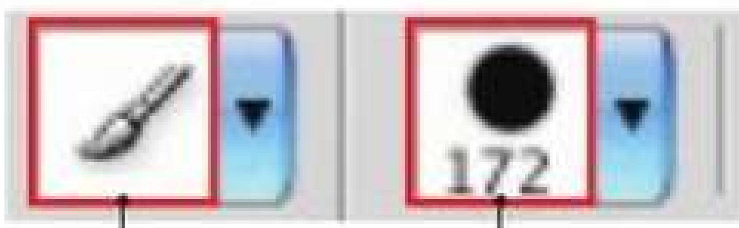
拡張前の状態。線と描画面の間にスキマができてしまいます

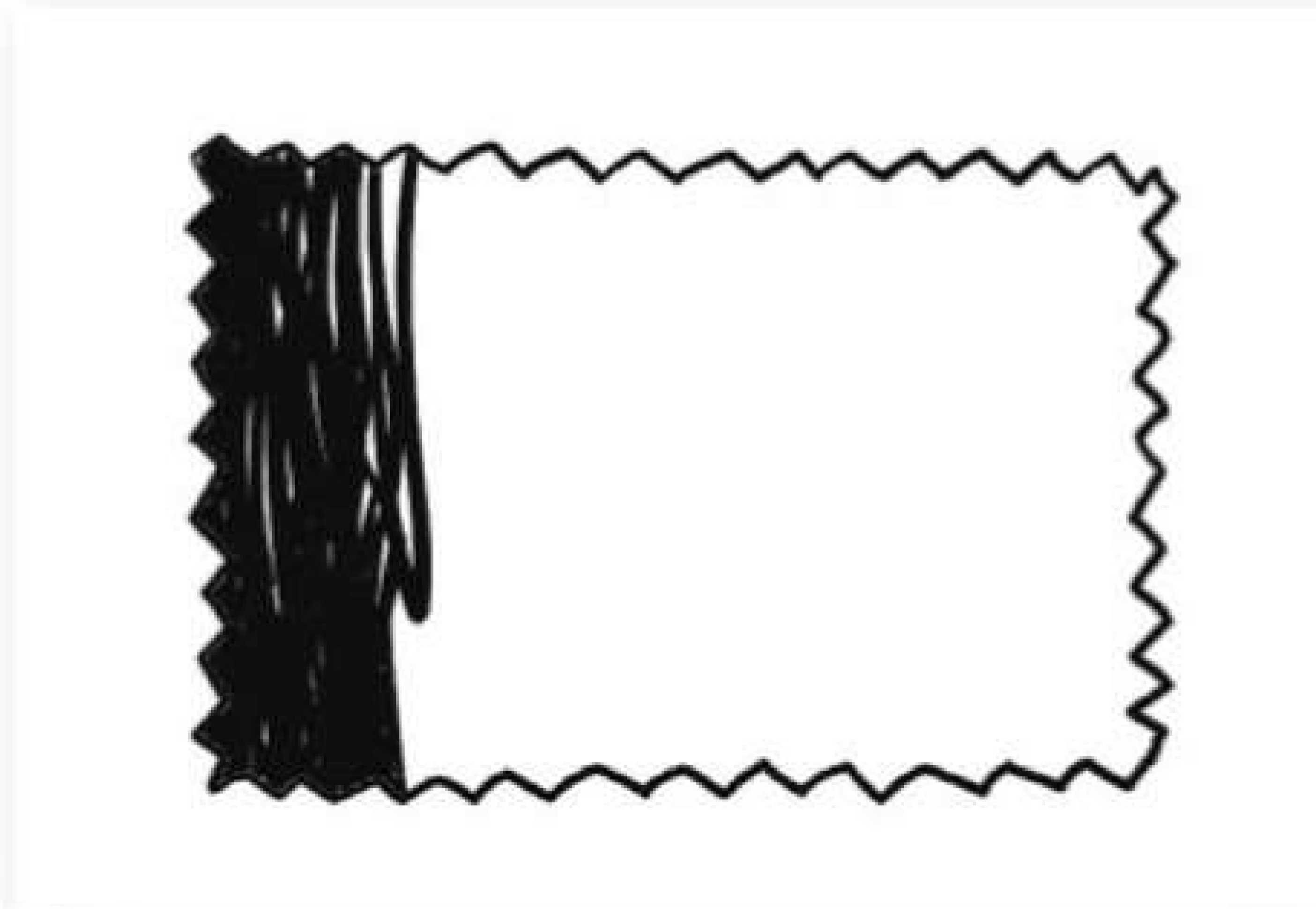


選択範囲を拡張したことでアンチエイリアス部分も描画ができるようになりました

06 拡張後、「ブラシ」ツールで選択範囲内を塗りつぶします。



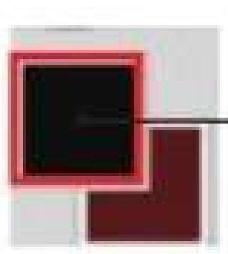


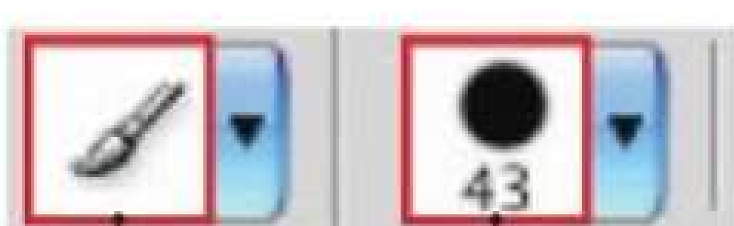


07 ザカザカ塗ったラフな感じが欲しいので、「バケツ」ツールで流し込むのではなく、あえて「ブラシ」ツールで作業します。



08 とは言ってもこれだけの面積を「ブラシ」ツールで塗るのは大変なので、まず太めの「ブラシ」ツールで塗った後、細めの「ブラシ」ツールで細かな表情をつけます。



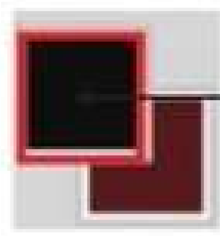


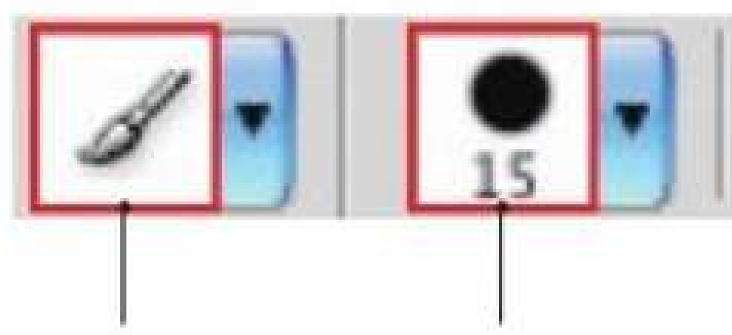


09 だいたい塗れたので選択解除します。キャラクターを乗せると、このような感じになります。



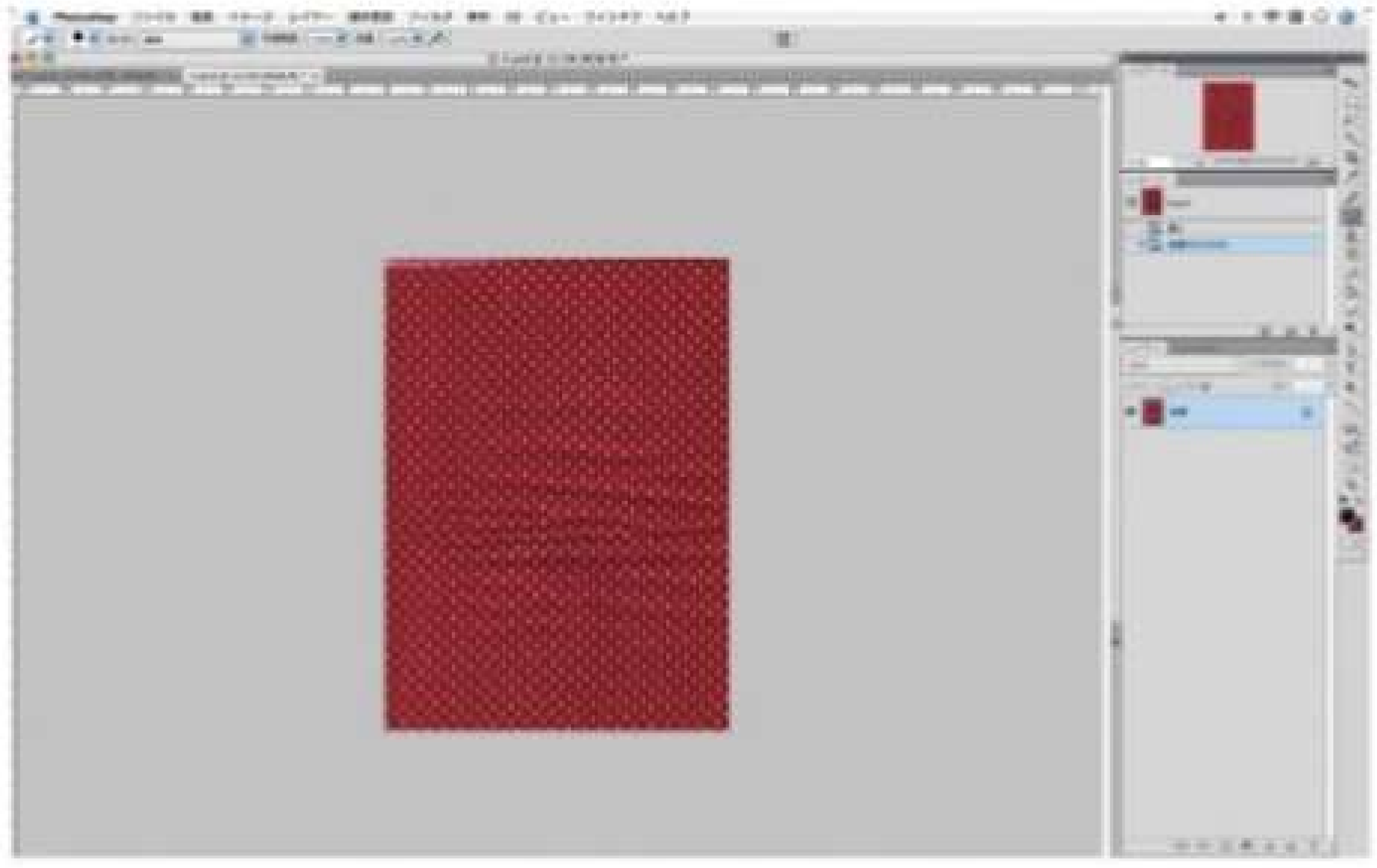
10 ふちに「ブラシ」ツールでラフな線を描きます。手書き感がより強調されるような感じです。



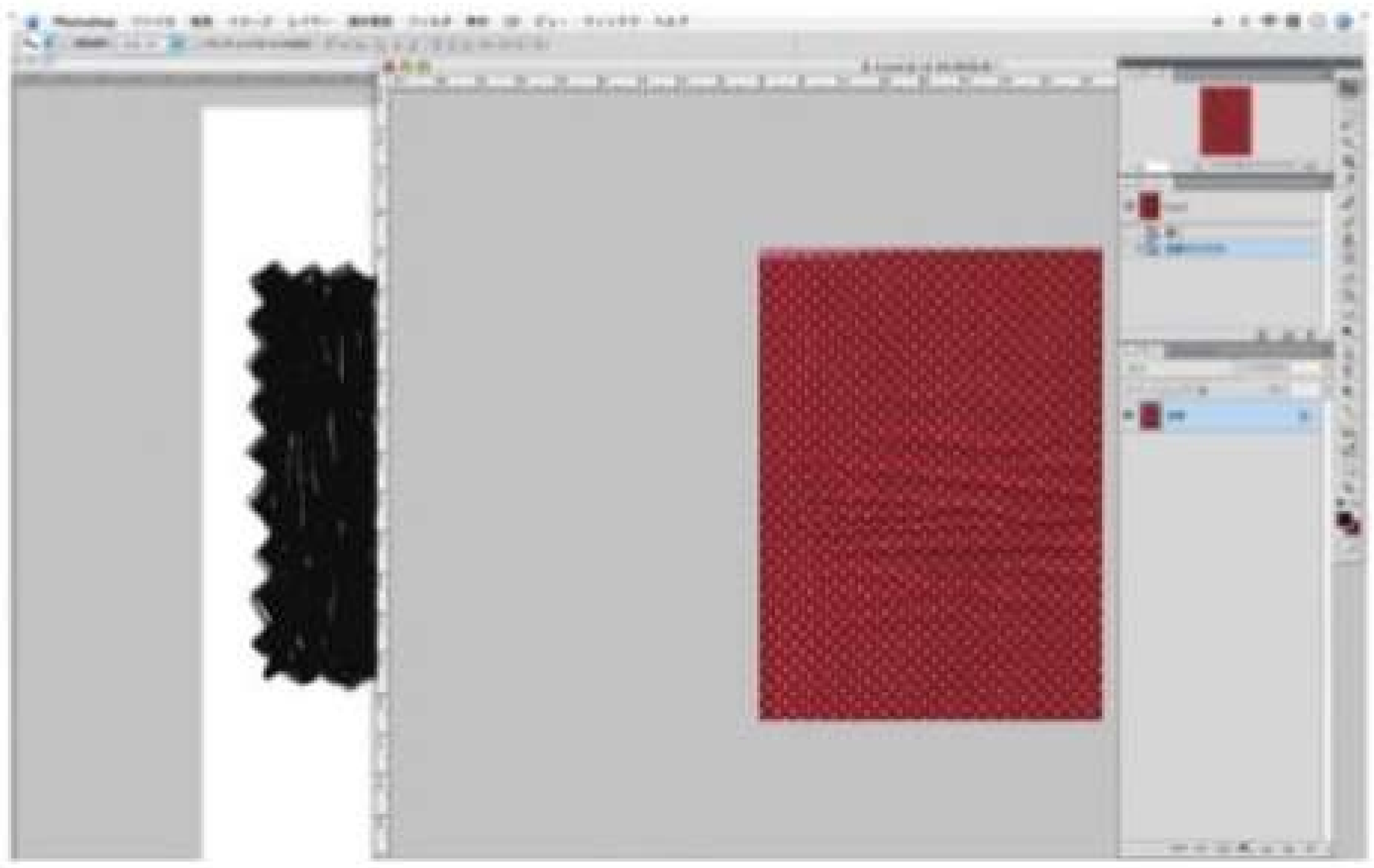


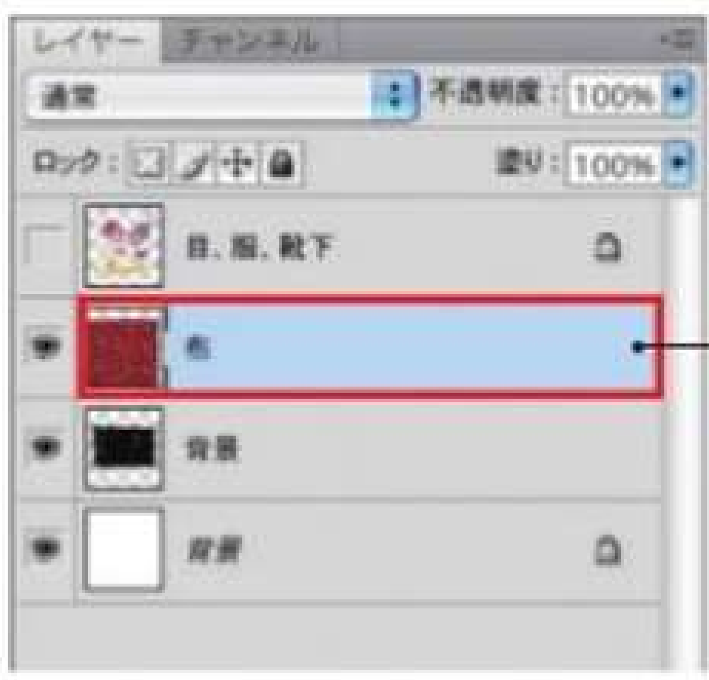


11 ここで布をスキャンしたファイルを開きます。



12 ２つのファイルを並べて、「移動」ツールでそのままキャラクターファイルまでドラッグ&ドロップすると簡単にファイルを移動できます。「布」レイヤーはキャラクターレイヤーと先ほど描いた「背景」レイヤーの間に配置します。





編集中のファイルにスキャンしたファイルが追加されました。レイヤー名を「布」レイヤーに変更しました



13 この状態で「布」レイヤーにクリッピングマスクを作成します。





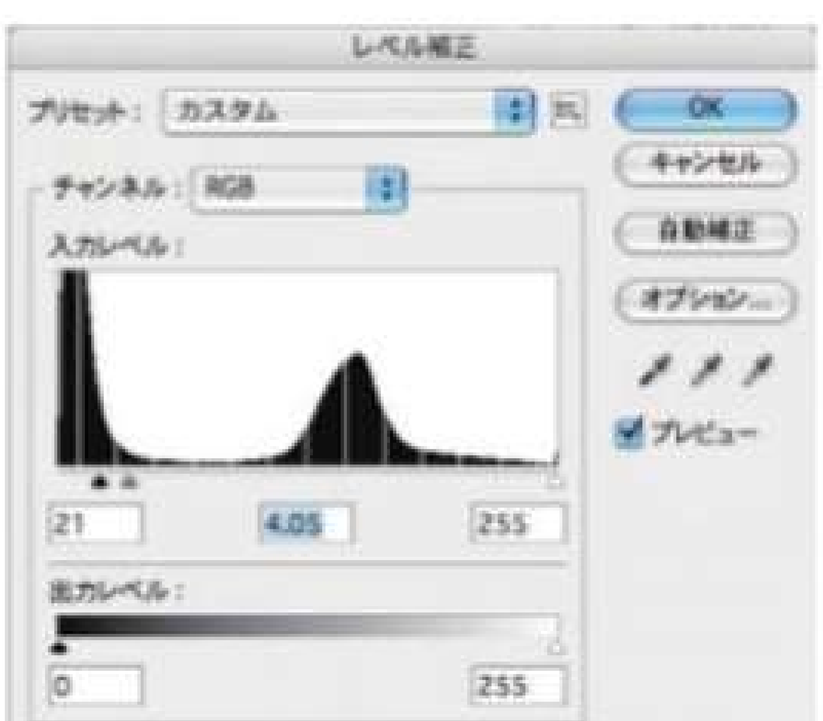
「布」レイヤーにクリッピングマスクを設定しました

14 先ほど描いた背景の上に、布の模様が反映されました。



15 このままでは布のシワなどがリアルすぎて目立ってしまうので、「レベル補正」で目立たなくします。布の風合いを残しつつ、シワをほぼなくすことができました。





メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「レベル補正」を選択しました

背景とキャラの合成

01 下部にまだ少しシワの影が残っています。キャラクターを配置すると隠れる程度のものなので、気にしません。ここでキャラクターのレイヤーを複製します。



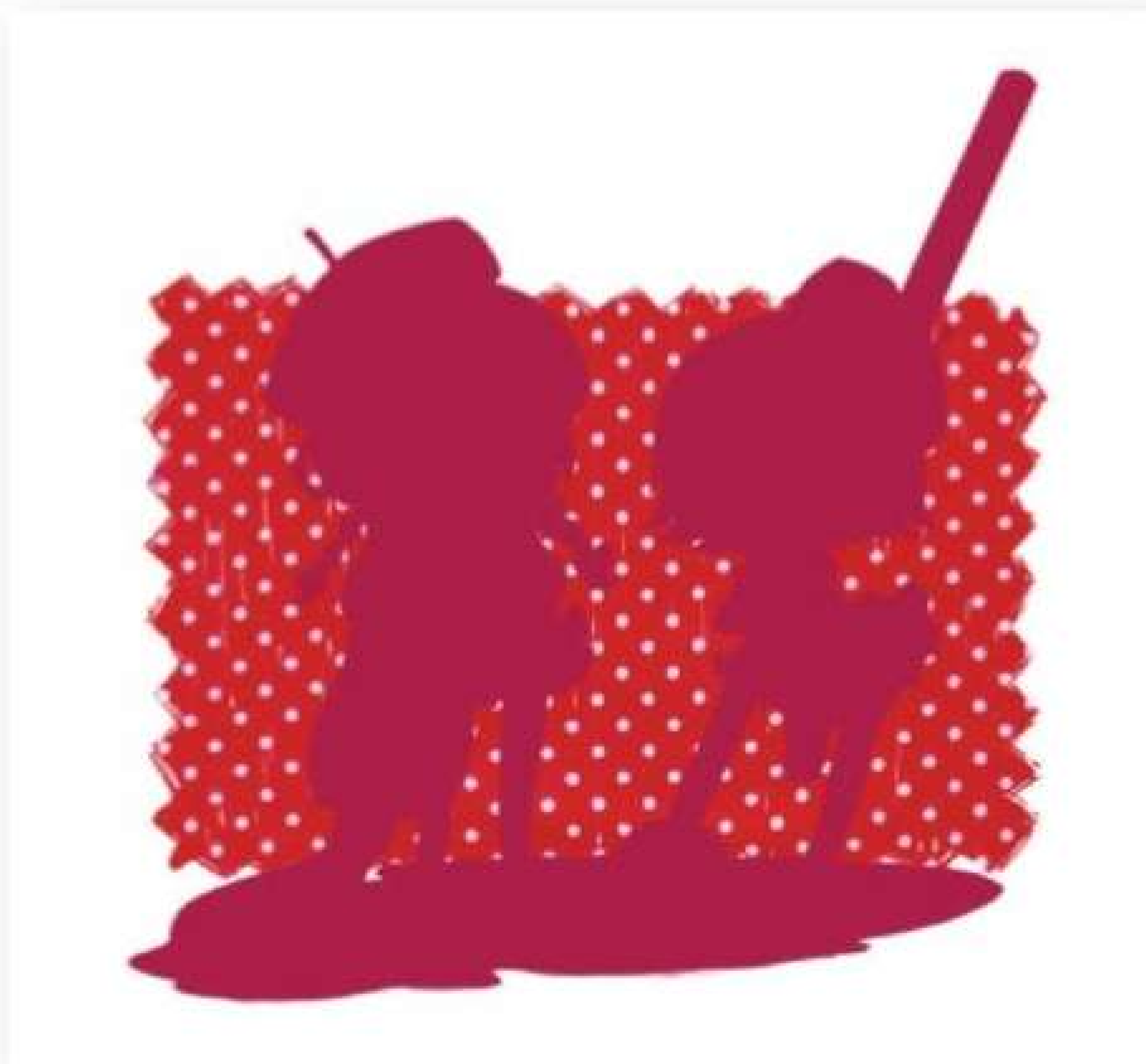
「目、服、靴下」レイヤーを複製して「目、服、靴下のコピー」が作成されました



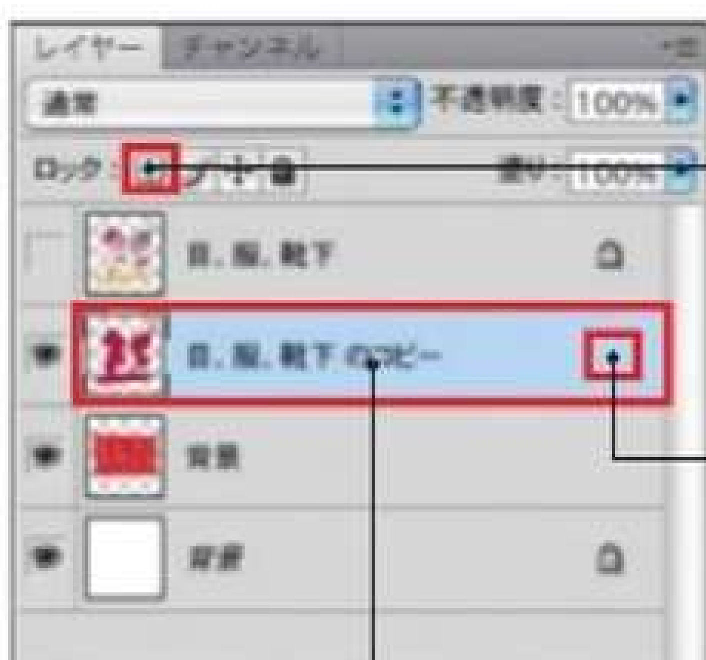
02 複製したレイヤーを、濃い赤で塗りつぶします。



複製した「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーを赤で塗りつぶしました



03 透明ピクセルのロックを外します。



②「レイヤー」パネルの「透明ピクセルをロック」をクリックにしました

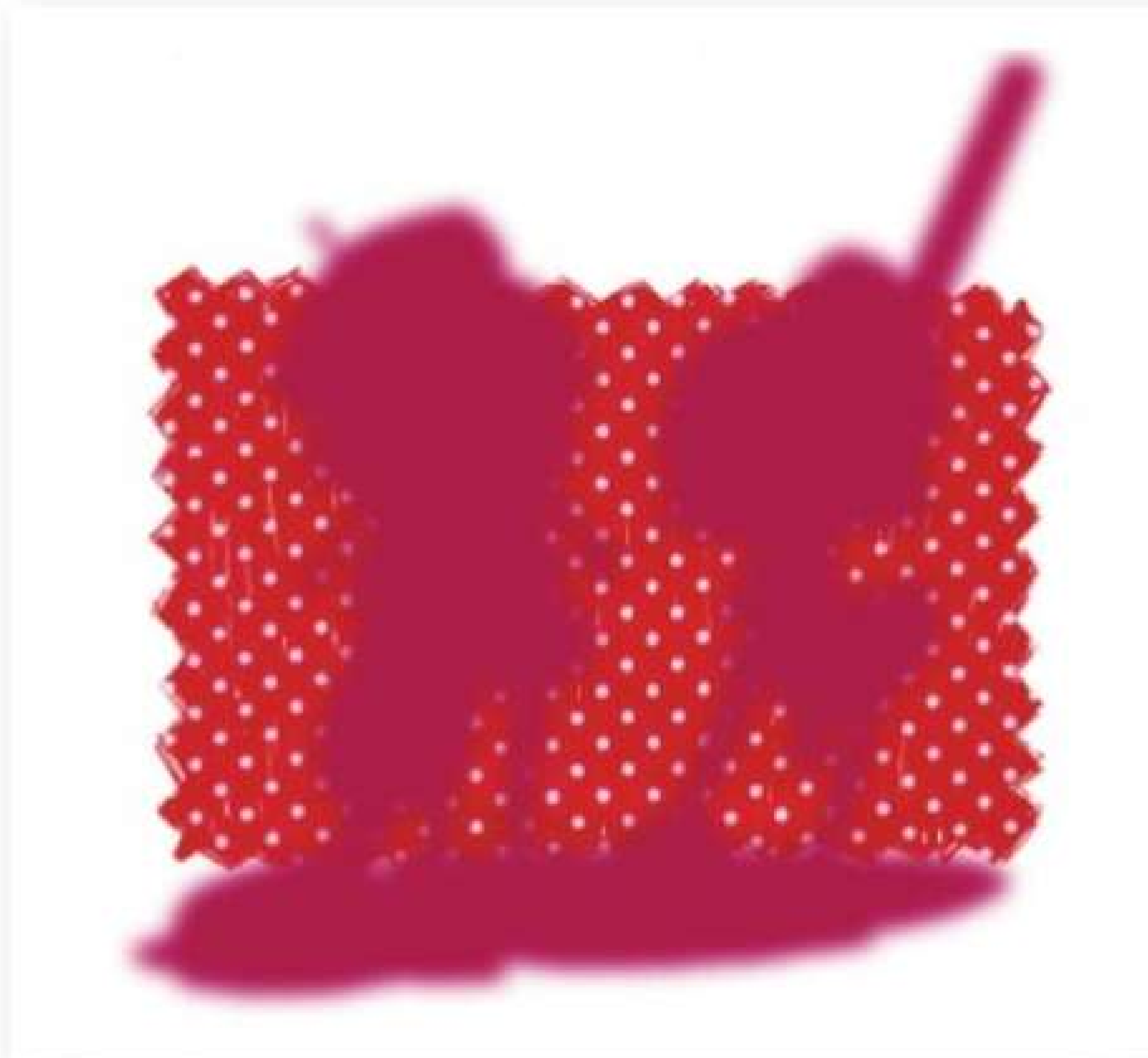
③「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーのロックが外されました

①「目、服、靴下のコピー」レイヤーを選択していることを確認します

04 複製したレイヤーを、ぼかします。



「ぼかし（ガウス）」の半径を「32.8」に設定しました

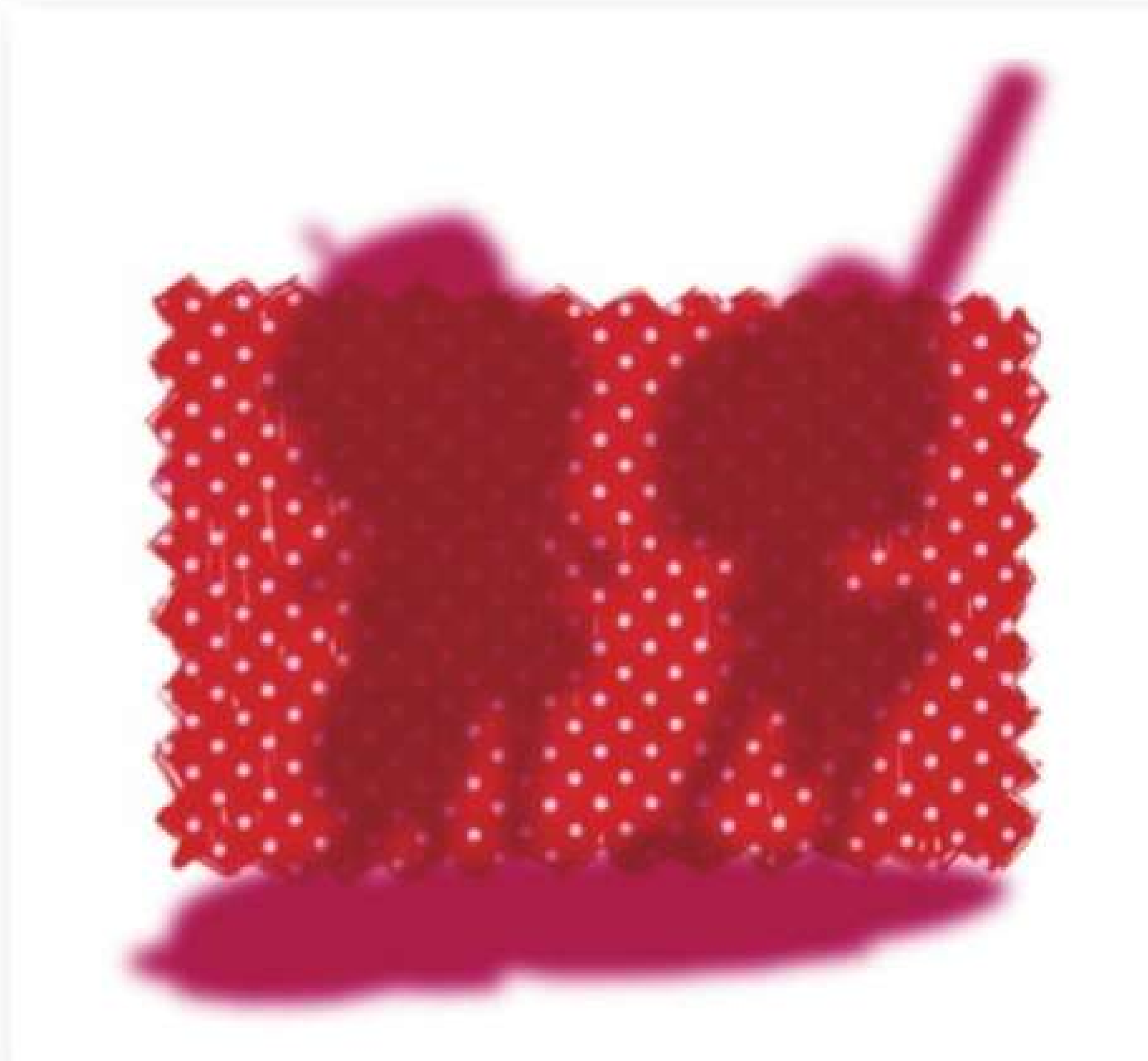


05 描画モードを「乗算」に設定します。



②描画モードは「乗算」を選択しました

①「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーを選択していることを確認します



06 更にクリッピングマスクを作成します。



「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーにクリッピングマスクを設定しました



07

「移動」ツールで少し左下に移動させます。背景にかかるキャラクターの"影"になります。これでキャラクターと背景の間に"空間"ができました。



①「移動」ツールを選択しました

②影のレイヤーである「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーを左下に移動させました



08

影となっている「髪、スカート、靴下のコピー」レイヤーと「背景」レイヤーを統合します。その後、キャラクターレイヤーを複製します。



①「背景」レイヤーに統合しました

②「髪、スカート、靴下」レイヤーを複製して「髪、スカート、靴下のコピー」を作成しました

09

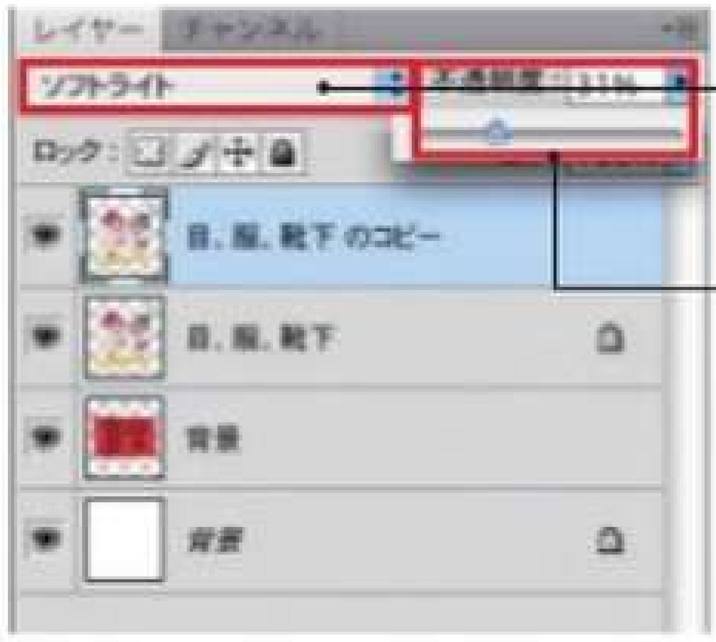
描画を柔らかいイメージにしたいので、「ぼかし(ガウス)」を適用します。



「ぼかし(ガウス)」の半径を「14.4」に設定しました



10 描画モードを「ソフトライト」に設定し、透明度を下げました。



①描画モードは「ソフトライト」を選択しました

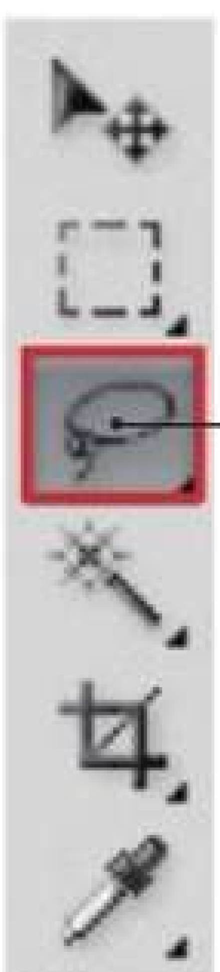
②不透明度は「31%」を選択しました



11 別の布ファイルを開きました。この布の柄を切り取り、制作中のイラストに張り込みます。



12 柄の一部分を「投げ縄」ツールで囲みます。



「投げ縄」ツールを選択しました



13

「コピー」を選択してイラストファイルに戻り、「ペースト」で先ほどコピーした布の柄を張り込みます。このように布を切り貼りしたコラージュ風の表現をPhotoshop上で行うのも、最近のお気に入りです。



①メインメニューの「編集」メニュー→「コピー」を選択しました



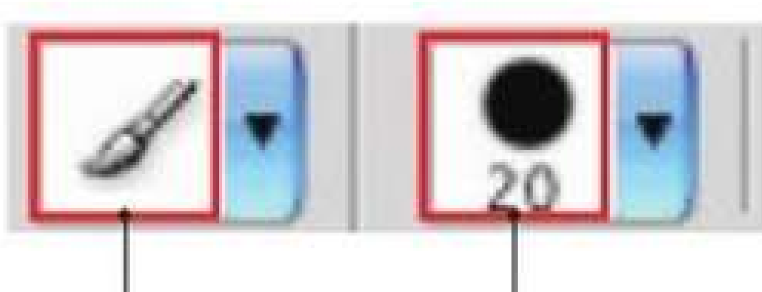
②メインメニューの「編集」メニュー→「ペースト」を選択しました



14

コピー&ペーストを繰り返し、花柄を複数張り込みました。また「背景」レイヤーに「ブラシ」ツールで手描き落書き風の描き込みをしました。





①「ブラシ」を選択

②「ハード円ブラシ」とサイズは「20」を選択

③「描画色」は白を選択しました



最終仕上げ

01 すべてのレイヤーを統合します。





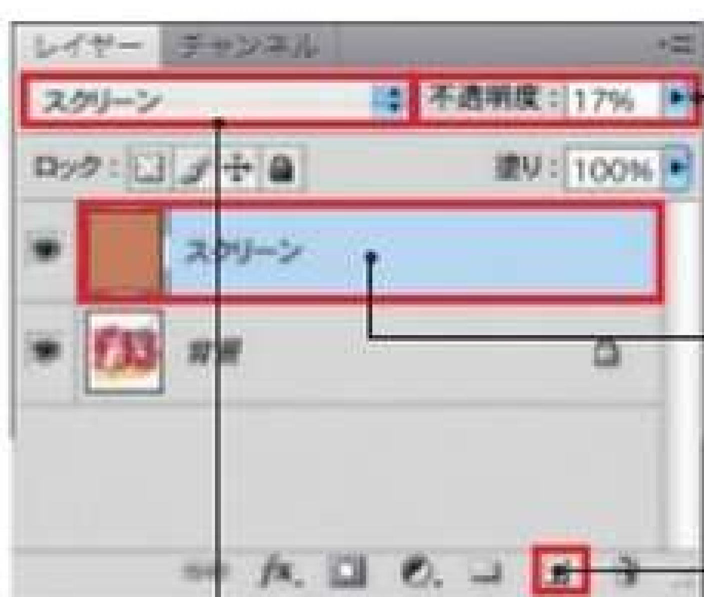
02 メインメニューの「イメージ」メニュー→「色調補正」→「トーンカーブ」の「レッド」チャンネルの値を下げて、赤味を少し抑えます。





わずかに赤みが抑えられました

03 新規で描画モードから「スクリーン」を選択したレイヤーを作成します。「バケツ」ツールで茶色を流し込み、不透明度を17%まで下げます。この作業で、絵の明度を下げるとともに全体の色合いを黄色よりの茶色系に統一します。



④不透明度は「17%」を選択しました

②新規レイヤーを作成し、名称を「スクリーン」に変更しました

①「新規レイヤーを作成」ボタンを選択しました

③描画モードは「スクリーン」を選択しました

04 これで完成です。



Gallery





Profile

しめ子 Shimeko

広島在住。イラストや漫画執筆などで活動。
「EXIT TUNES PRESENTS Vocarhythm feat.初音ミク」の
ジャケットや小学館ガガガ文庫でのライトノベル挿絵ほか。
ホームページ：http://valon-1.sakura.ne.jp/2/

Let's Make ★ Character［レッツ メイク キャラクター］

CGイラストテクニック vol.2

2009年11月13日　初版第1刷発行

［イラスト＆解説］しめ子

［デザイン］Happy and Happy（甲谷 一 / 秦泉寺 眞妃）

［編集］和田 学

［印刷］シナノ印刷株式会社

［発行人］籔内 康一

［発行所］
株式会社ビー・エヌ・エヌ新社
〒104-0042　東京都中央区入船3-7-2 35山京ビル1F
fax: 03-5543-3108　e-mail: info@bnn.co.jp
http://www.bnn.co.jp/

ISBN978-4-86100-683-8
Printed in Japan